

市政に関する意識調査 報告書

一般社団法人 長崎交流センター

平成 31 年 3 月

目次

I 調査の概要

1 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象・調査方法・回収状況	1
(3) 調査主体	1
(4) 報告書の見方	1

II 調査結果(共通調査項目)

1 共通調査項目	2
(1) 長崎市の住みやすさ	2
(2) 暮らしやすい理由	3
(3) 暮らしにくい理由	4
(4) 長崎市への継続居住意向	5
(5) 長崎市への転居意向	6
(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード	7
(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード	8
(8) 現在の幸福感	9
2 まちづくりの方針の評価	11
(1) A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	13
(2) B:平和を願い、求め、つくるまち	15
(3) C:活力に満ち、発展し続けるまち	17
(4) D:環境と調和する潤いのあるまち	19
(5) E:安全・安心で快適に暮らせるまち	21
(6) F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	23
(7) G:豊かな心を育むまち	25
(8) H:基本構想の推進(つながる + 創造する)	27
3 優先施策	29
(1) A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	29
(2) B:平和を願い、求め、つくるまち	29
(3) C:活力に満ち、発展し続けるまち	30
(4) D:環境と調和する潤いのあるまち	30
(5) E:安全・安心で快適に暮らせるまち	31
(6) F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	31
(7) G:豊かな心を育むまち	32
(8) H:基本構想の推進(つながる + 創造する)	32
4 地域活動への参加	33
(1) 地域活動、市民活動に対する考え方	33
(2) 地域活動、市民活動の経験	34
(3) 地域活動、市民活動への参加意向	35
(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁	36

Ⅲ 調査結果(市民編)

1	属性	37
2	設問回答	39
	(1) 長崎市の住みやすさ	39
	(2) 暮らしやすい理由	41
	(3) 暮らしにくい理由	43
	(4) 長崎市への継続居住意向	45
	(5) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード	47
	(6) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード	48
	(7) 現在の幸福感	49
3	施策評価分析	53
	(1) E-1: 災害に強いまちづくり	54
	(2) E-7 道路・交通の円滑化	56
	(3) E-8: 安全・安心で快適な公共空間	58
	(4) F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくり	60
	(5) F-3 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	62
	(6) F-4 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち	64
	(7) G-1: 次代を生きぬく子どもの育み	66
4	優先施策	68
	(1) A: 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	68
	(2) B: 平和を願い、求め、つくるまち	68
	(3) C: 活力に満ち、発展し続けるまち	69
	(4) D: 環境と調和する潤いのあるまち	69
	(5) E: 安全・安心で快適に暮らせるまち	70
	(6) F: 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	70
	(7) G: 豊かな心を育むまち	71
	(8) H: 基本構想の推進(つながる + 創造する)	71
5	地域活動への参加	72
	(1) 地域活動、市民活動に対する考え方	72
	(2) 地域活動、市民活動の経験	72
	(3) 地域活動、市民活動への参加意向	73
	(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁	73
6	自由回答(市政に対する自由意見)	74

IV 調査結果(大学生・短大生・高校生編)

1	属性	75
2	設問回答	77
	(1) 長崎市の住みやすさ	77
	(2) 暮らしやすい理由	79
	(3) 暮らしにくい理由	81
	(4) 長崎市への継続居留意向	83
	(5) 長崎市への転居意向	84
	(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード	85
	(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード	86
	(8) 現在の幸福感	87
3	施策評価分析	90
	(1) E-1: 災害に強いまちづくり	90
	(2) E-7: 道路・交通の円滑化	92
	(3) E-8: 安全・安心で快適な公共空間	94
	(4) F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくり	96
	(5) F-3: 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	98
	(6) F-4: 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち	100
	(7) G-1 次代を生きぬく子どもの育み	102
4	優先施策	104
	(1) A: 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	104
	(2) B: 平和を願い、求め、つくるまち	104
	(3) C: 活気に満ち、発展し続けるまち	105
	(4) D: 環境と調和する潤いのあるまち	105
	(5) E: 安全・安心で快適に暮らせるまち	106
	(6) F: 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	106
	(7) G: 豊かな心を育むまち	107
	(8) H: 基本構想の推進(つながる + 創造する)	107
5	地域活動への参加	108
	(1) 地域活動、市民活動に対する考え方	108
	(2) 地域活動、市民活動の経験	108
	(3) 地域活動、市民活動への参加意向	109
	(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁	109
6	結婚観・家庭観	110
	(1) 結婚観	110
	(2) 子どもの希望	111
	(3) 子育て支援	112
7	学校について	113
	(1) 通学中の学校	113
8	大学生・短大生	115
	(1) 出身地・長崎市のイメージ	115
	(2) 学校を選んだ理由	117
	(3) 長崎での生活の不満点	118
	(4) 情報の取得	118
9	自由回答(市政に対する自由意見)	119

V 調査結果(有識者編)

1 属性	120
2 設問回答	121
(1) 長崎市の住みやすさ	121
(2) 暮らしやすい理由	121
(3) 暮らしにくい理由	122
(4) 長崎市への継続居住意向	123
(5) 長崎市への転居意向	123
(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード	124
(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード	125
(8) 現在の幸福感	126
3 施策評価分析	128
(1) E-1: 災害に強いまちづくり	128
(2) E-7: 道路・交通の円滑化	129
(3) E-8 安全・安心で快適な公共空間	130
(4) F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくり	131
(5) F-3: 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	132
(6) F-4: 安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ち	133
(7) G-1: 次代を生きぬく子どもの育み	134
4 優先施策	135
5 自由回答(市政に対する自由意見)	139

VI 調査結果(職員編)

1 属性	140
2 設問回答	142
(1) 長崎市の住みやすさ	142
(2) 暮らしやすい理由	142
(3) 暮らしにくい理由	143
(4) 長崎市への継続居住意向	144
(5) 長崎市への転居意向	144
(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード	145
(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード	146
(8) 現在の幸福感	147
3 施策評価分析	150
(1) E-1: 災害に強いまちづくり	150
(2) E-7: 道路・交通の円滑化	152
(3) E-8: 安全・安心で快適な公共空間	154
(4) F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくり	156
(5) F-3: 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	158
(6) F-4: 安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ち	160
(7) G-1: 次代を生きぬく子どもの育み	162
4 優先施策	164
(1) A: 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	164
(2) B: 平和を願い、求め、つくるまち	164
(3) C: 活力に満ち、発展し続けるまち	165
(4) D: 環境と調和する潤いのあるまち	165
(5) E: 安全・安心で快適に暮らせるまち	166
(6) F: 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	166
(7) G: 豊かな心を育むまち	167
(8) H: 基本構想の推進(つながる + 創造する)	167

5 地域活動への参加	168
(1) 地域活動、市民活動に対する考え方.....	168
(2) 地域活動、市民活動の経験.....	168
(3) 地域活動、市民活動への参加意向.....	169
(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁.....	169

6 自由回答(市政に対する自由意見)	170
---------------------------------	-----

VII 調査結果(総括)

1 今回の調査概要	171
(1) 調査目的.....	171
(2) 調査対象・調査方法・回収状況.....	171
(3) 調査主体.....	171
(4) 報告書の見方.....	171
(5) 共通調査項目概要.....	172
(6) 施策評価.....	177
(7) 調査総括.....	184

参考資料(アンケート調査票)

市民アンケート.....	185
大学生・短大生・高校生アンケート.....	196
有識者アンケート.....	210
職員アンケート.....	219

I. 調查概要

Ⅰ. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民、学生、有識者、職員の市政に対する意識を把握・分析し、次期総合計画に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象・調査方法・回収状況

	市民	大学生、短大生・高校生	有識者	職員
調査対象者	長崎市民 18 歳以上男女個人	市内の大学生、短大生、高校生	市政に識見のある方（市外居住者を含む）	長崎市職員
対象者抽出方法	住民基本台帳より単純無作為抽出	大学、短大、高校に一任	市にて有意抽出	市にて有意抽出
調査方法	郵送法	大学、短大、高校を通じて配布	郵送法	関係所属に依頼して配布、回収
調査票配布件数	3,000 件	1,198 件	232 件	500 件
有効回答件数	N=1,264	N=804	N=142	N=492
有効回収率	42.1%	67.1%	61.2%	98.4%

3. 調査主体

長崎市 企画財政部 都市経営室

4. 報告書の見方

- (1) 比率は百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の計が 100%にならない場合がある。
- (2) 基数となる実数は n として掲載した。その比率は件数を 100%として算出した。
- (3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向を見る程度になる。
- (5) 図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。

Ⅱ. 調査結果（共通調査項目）

II. 調査結果（共通調査項目）

1. 共通調査項目

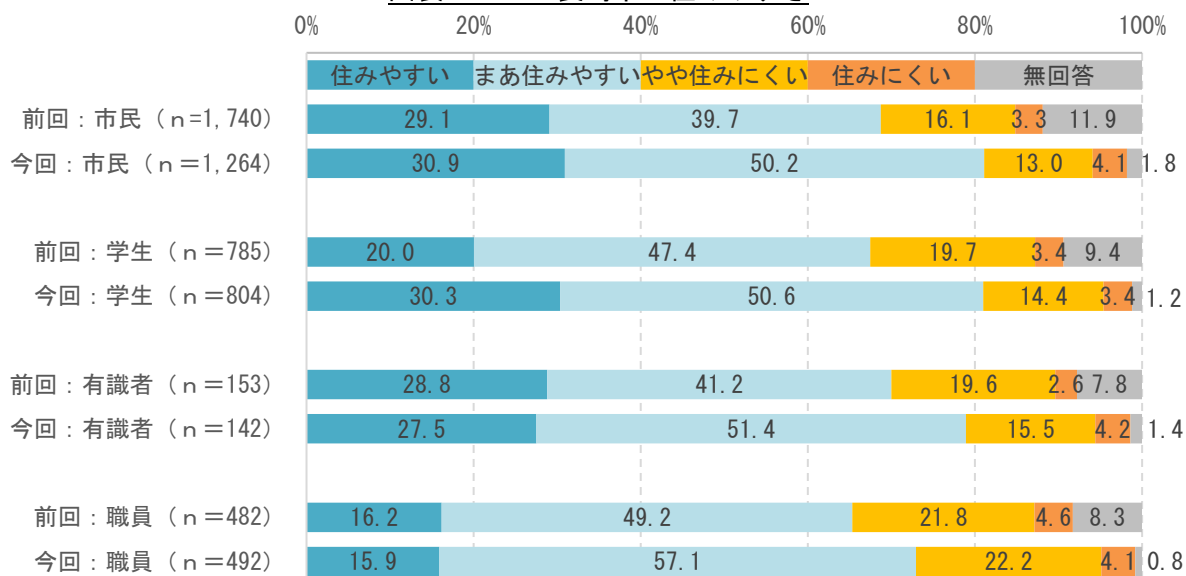
（1）長崎市の住みやすさ

長崎市の住みやすさについて「暮らしやすい」は市民が81.1%、大学生・短大生・高校生（以降、学生と表記）が80.9%、有識者が78.9%、職員が73.0%といずれの属性でも7～8割以上が「暮らしやすい」と回答している。

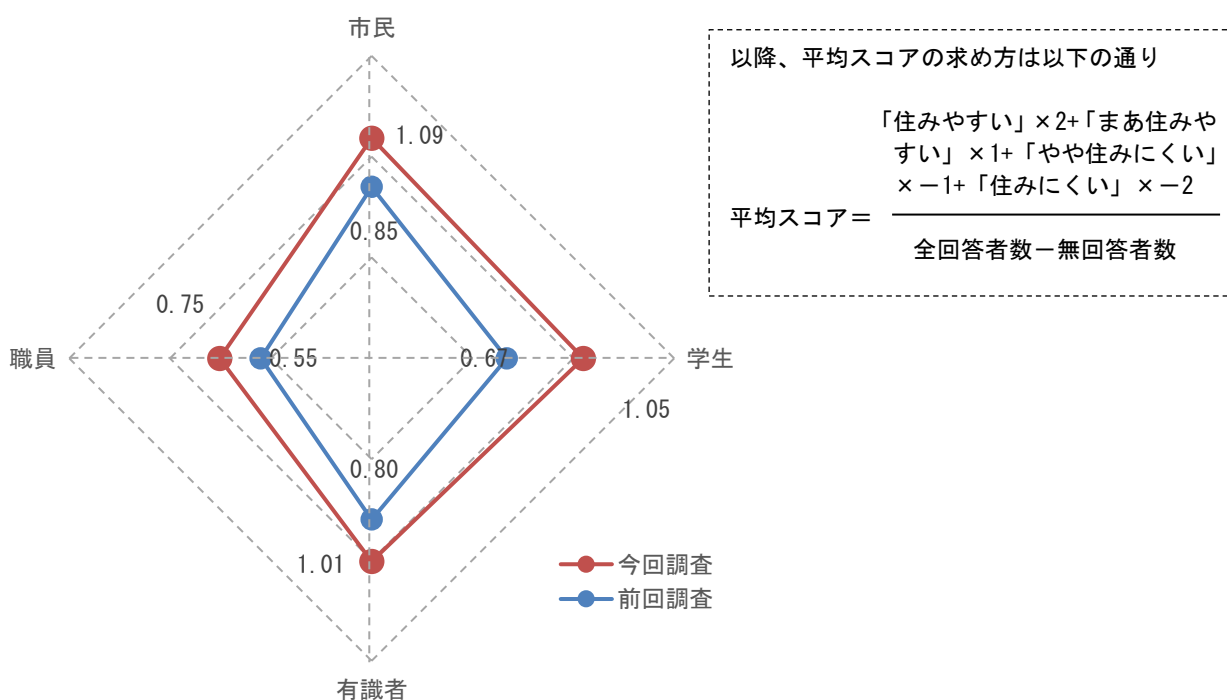
また、平均スコア、住みやすさ共にすべての属性で前回調査を上回っている。

※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様。

図表Ⅱ-1-1：長崎市の住みやすさ



図表Ⅱ-1-2：長崎市の住みやすさ（平均スコア）

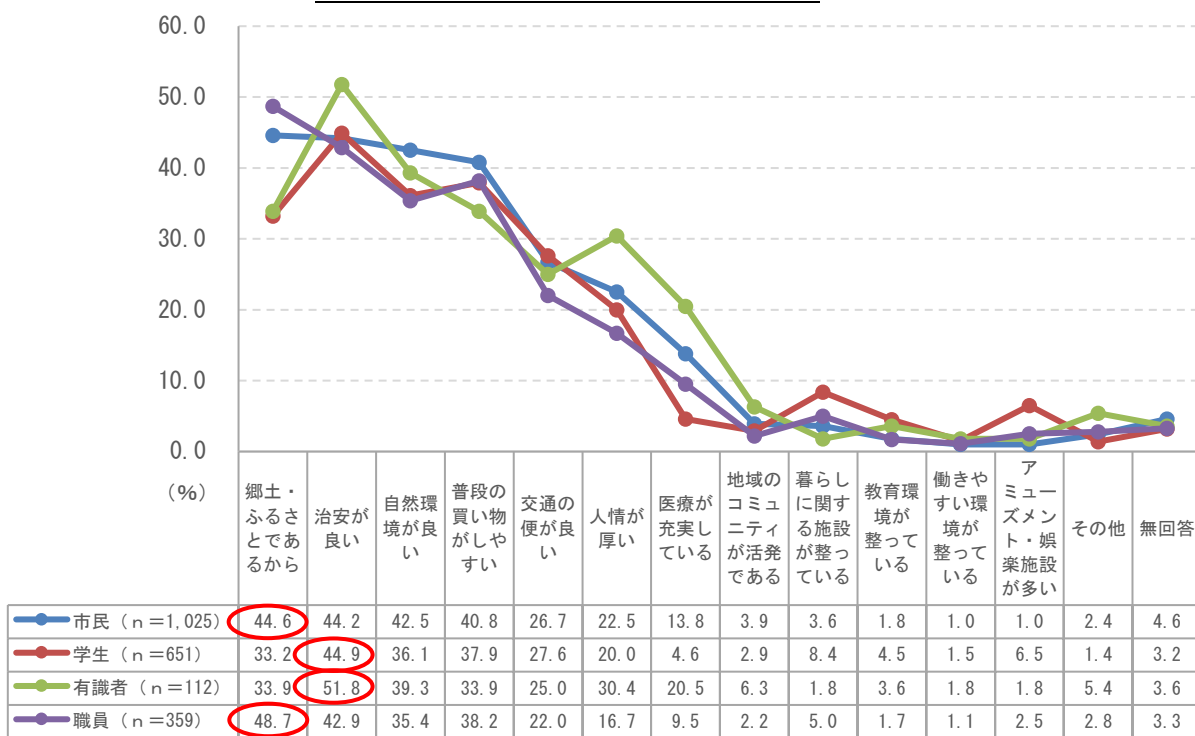


(2) 暮らしやすい理由

「暮らしやすい」と回答した理由は、市民・職員では「郷土・ふるさとであるから」が最も多く、市民 44.6%、職員 48.7%となっており、学生・有識者では「治安が良い」が最も多く、学生 44.9%、有識者 51.8%となっている。

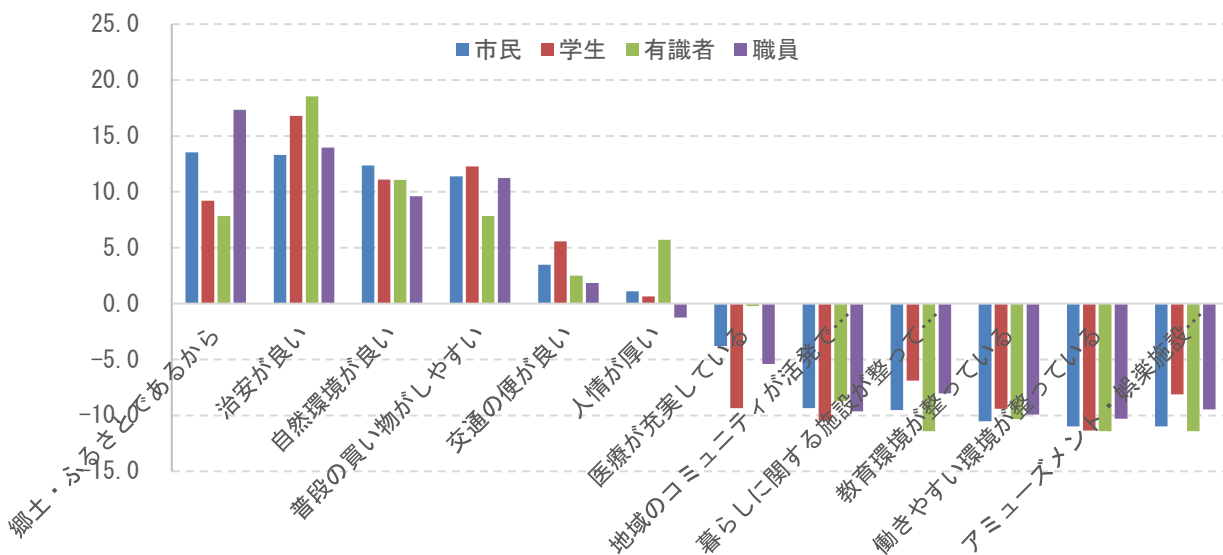
また、偏差値での比較を行うと「郷土・ふるさとであるから」「治安が良い」「自然環境が良い」「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」の5項目は平均以上の評価がされている。また、「人情が厚い」も職員がマイナス評価となっているものの、他の属性では平均以上の評価となっている。

図表Ⅱ-1-3：長崎市の暮らしやすい理由



○ 最大値

図表Ⅱ-1-4：暮らしやすい理由偏差値比較



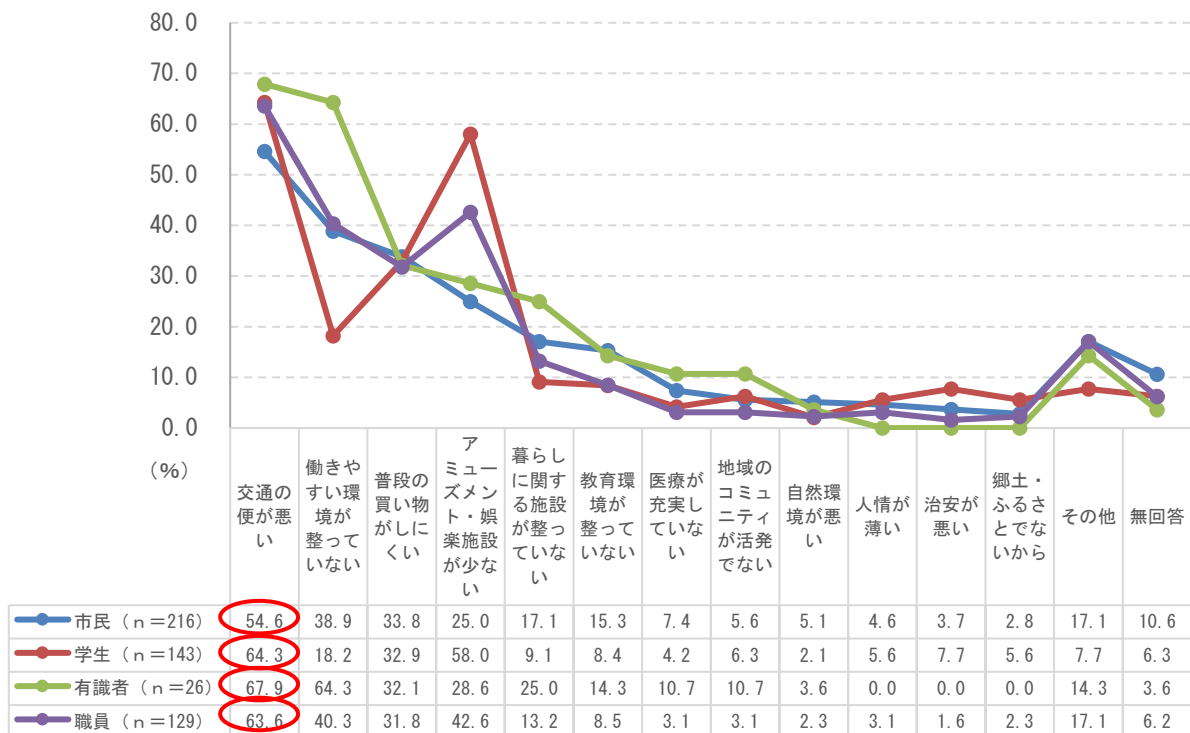
※偏差値はその他・無回答を除き算出している（以降同様）

(3) 暮らしにくい理由

「暮らしにくい」理由は、全ての属性で「交通の便が悪い」が最も多く、市民54.6%、学生64.3%、有識者67.9%、職員63.6%となっている。

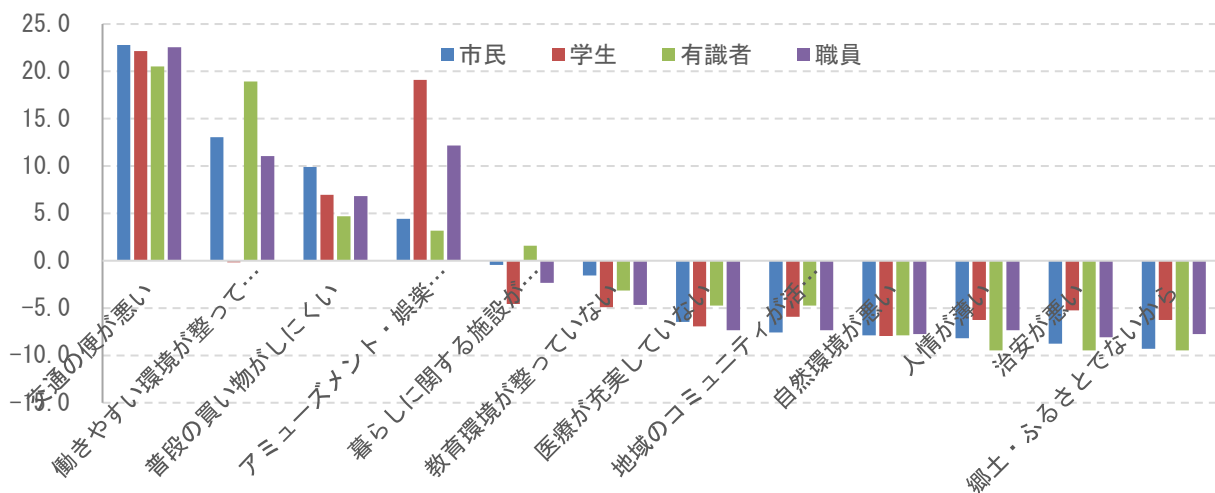
また、偏差値での比較を行うと「交通の便が悪い」「普段の買い物がしにくい」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」の3項目が住みにくい理由として評価がされており、「働きやすい環境が整っていない」は学生以外の属性で暮らしにくい理由となっている。また、有識者は「暮らしに関する施設が整っていない」が平均以上の評価で暮らしにくい理由となっている。

図表Ⅱ-1-5：長崎市の暮らしにくい理由



○ 最大値

図表Ⅱ-1-6：暮らしにくい理由偏差値比較



(4) 長崎市への継続居住意向

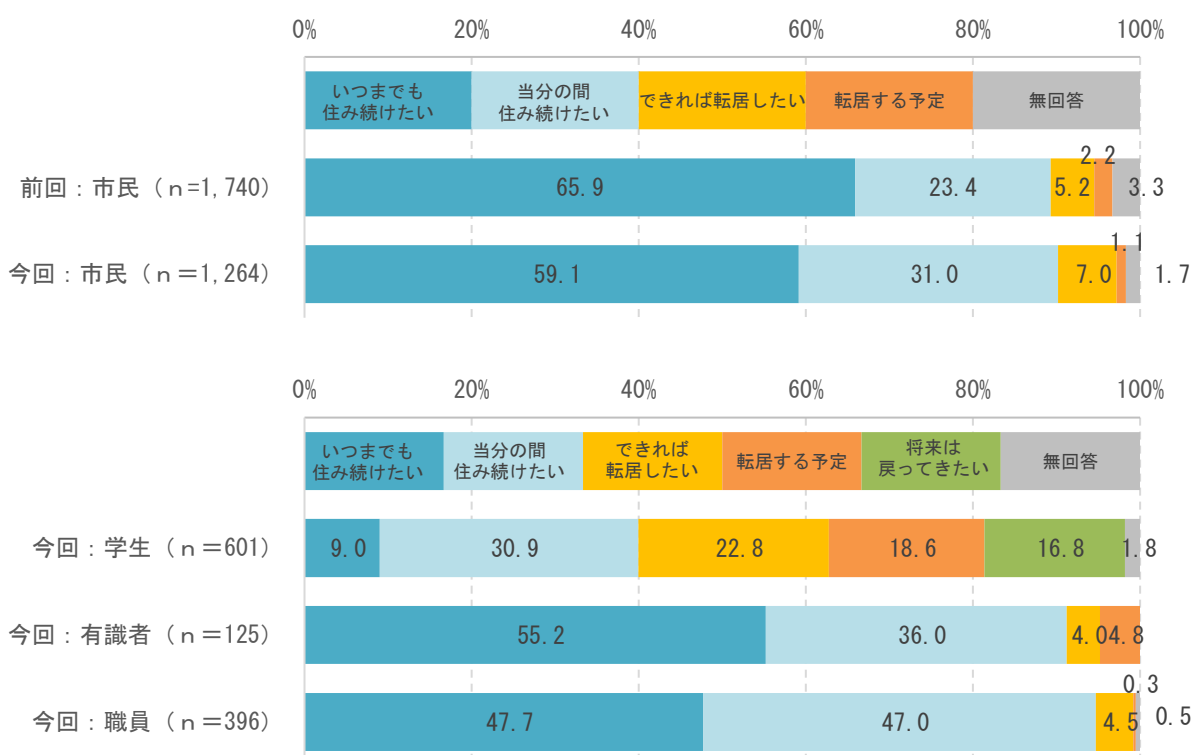
長崎市への継続居住意向は、「住み続けたい」が市民では 90.1%と前回調査よりも 0.8 ポイント増加しているが、「いつまでも住み続けたい」は 6.8 ポイント減少となった。

有識者・職員は継続居住意向で「住み続けたい」が有識者で 91.2%、職員で 94.7%と 9 割以上を占めているのに対し、学生は 39.9%と「転居する」が 41.4%と逆転している。しかし、「転居するが、将来は戻ってきたい」の 16.8%を含めると将来継続居住意向は 56.7%となっており、単純比較はできないが前回調査の 53.0%をやや上回っている。

※「住み続けたい」＝「いつまでも住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」以降同様。

「転居する」＝「できれば、他の市町村に転居したい」＋「他の市町村に転居する予定である」以降同様。

図表Ⅱ-1-7：長崎市への継続居住意向

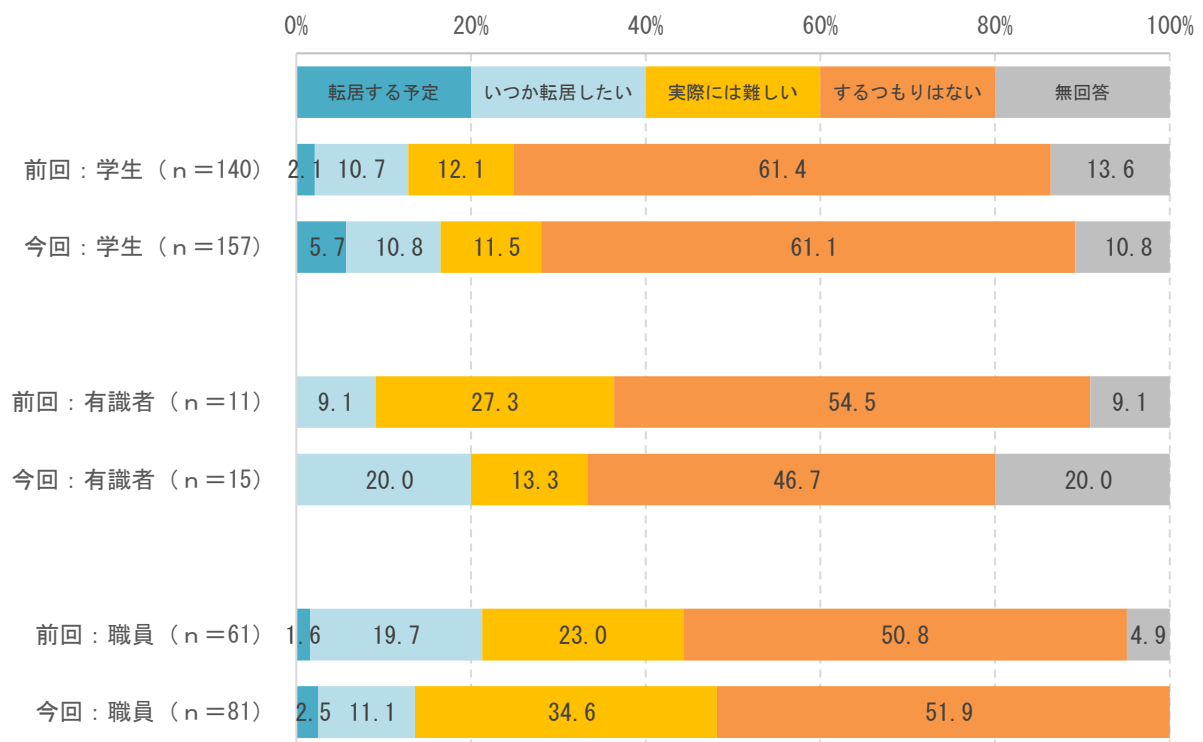


(5) 長崎市への転居意向

長崎市への転居意向は、「転居したい（「長崎市に転居する予定である」+「いつか、長崎市に転居したい）」が学生は16.5%と前回調査よりも3.7ポイント増加、有識者は20.0%と10.9ポイント増加したものの、職員は13.6%と7.7ポイント減少となった。

一方、「長崎市に転居するつもりはない」は学生61.1%、有識者46.7%、職員51.9%と5～6割を占めており、前回調査に続き、転居意向は低い結果となっている。

図表Ⅱ-1-8：長崎市への転居意向

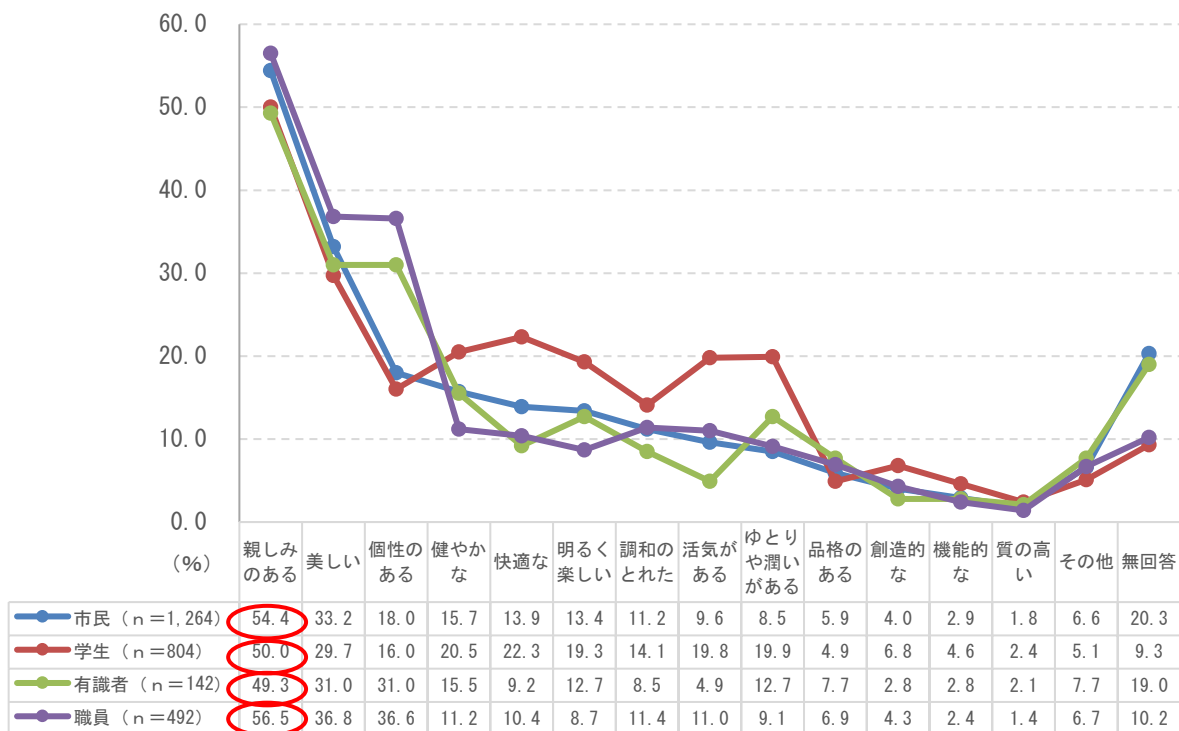


(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード

現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワードは、全ての属性で「親しみのある」が最も多く、市民 54.4%、学生 50.0%、有識者 49.3%、職員 56.5%となっている。

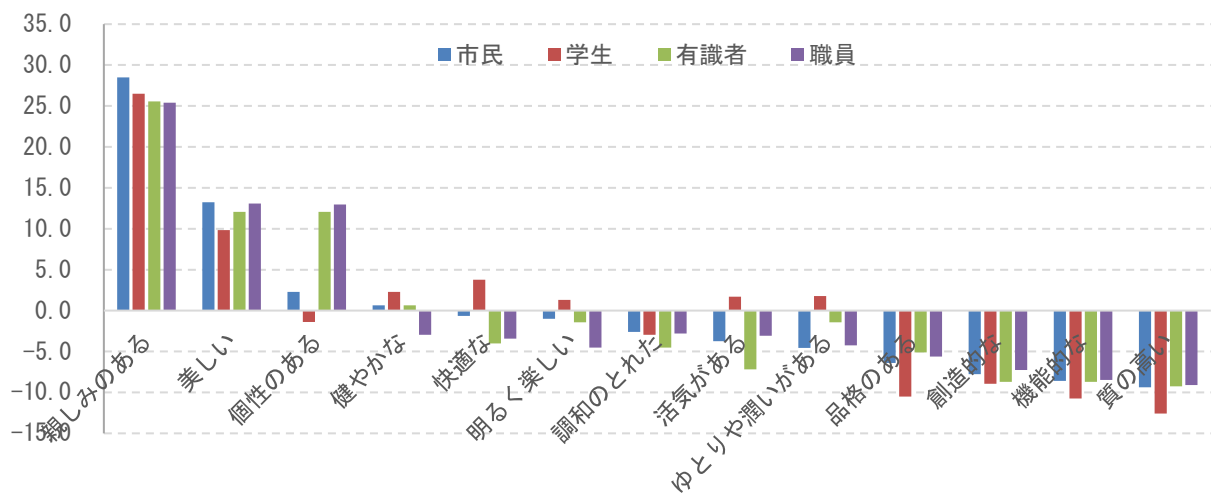
また、偏差値での比較を行うと「親しみのある」「美しい」の2項目は全ての属性で平均以上となっており現在の長崎市にふさわしいイメージと認識されており、「個性のある」「健やかな」も学生、職員でややマイナスとなっているものの、他の3属性ではふさわしいイメージとして認識されている。

図表 II-1-9：現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード



○ 最大値

図表 II-1-10：現在の長崎市のイメージ偏差値比較

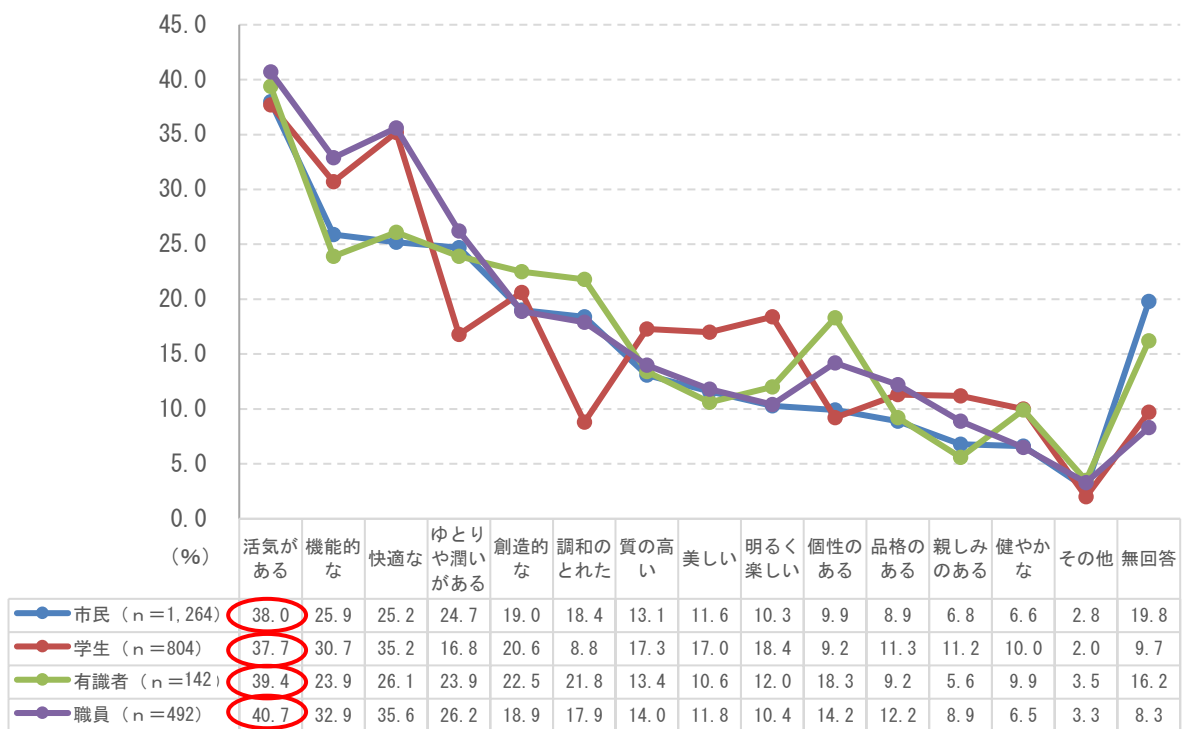


(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード

将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワードは、全ての属性で「活気がある」が最も多く、市民 38.0%、学生 37.7%、有識者 39.4%、職員 40.7%となっている。

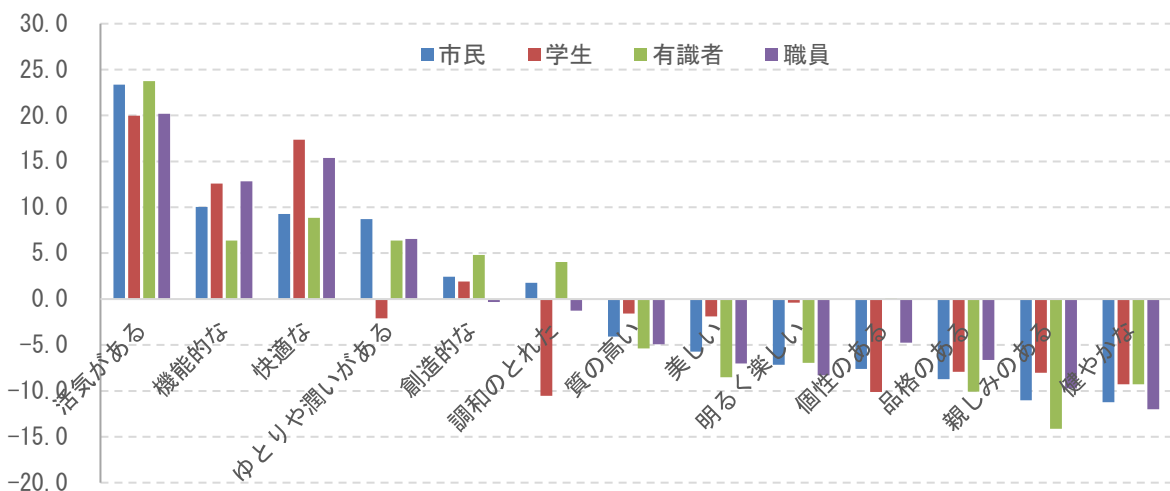
また、偏差値での比較を行うと「活気がある」「機能的な」「快適な」の3項目は全ての属性で将来の都市づくりのイメージにふさわしいと認識されており、「ゆとりや潤いがある」「創造的な」も学生、職員でややマイナスとなっているものの、他の3属性ではふさわしいイメージとして認識されている。

図表Ⅱ-1-11：将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード



○ 最大値

図表Ⅱ-1-12：将来の都市づくりのイメージ偏差値比較

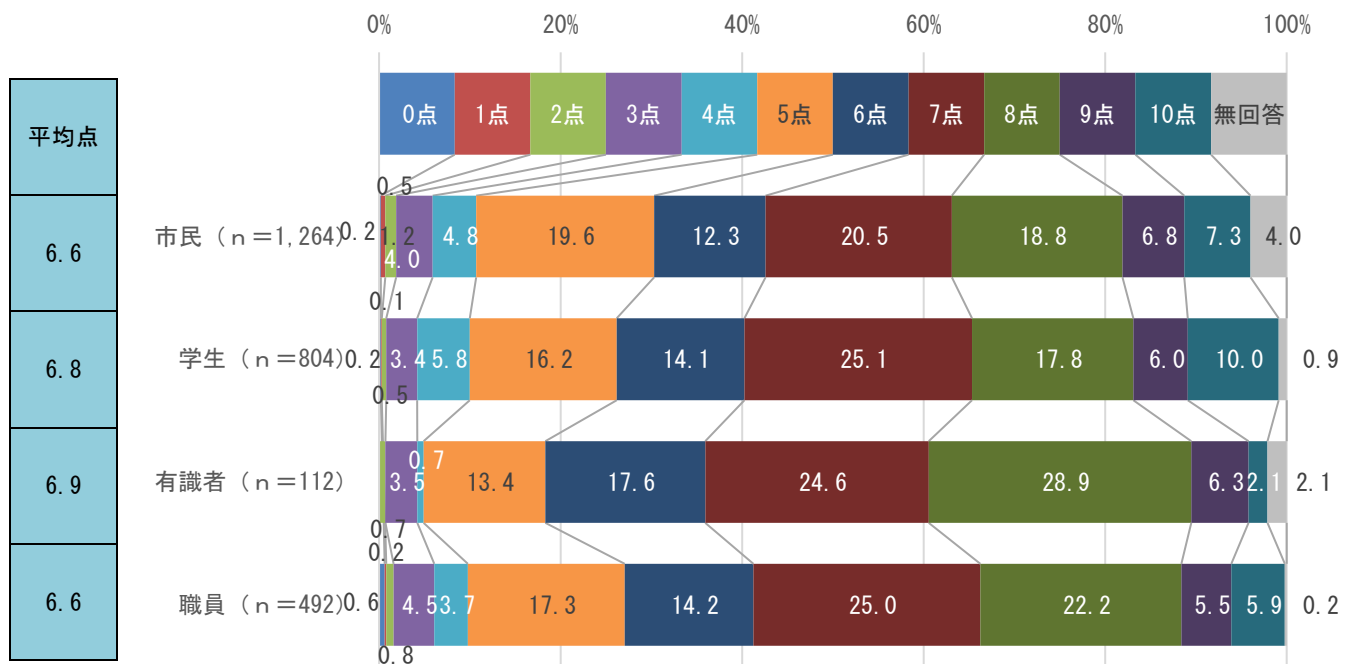


(8) 現在の幸福感

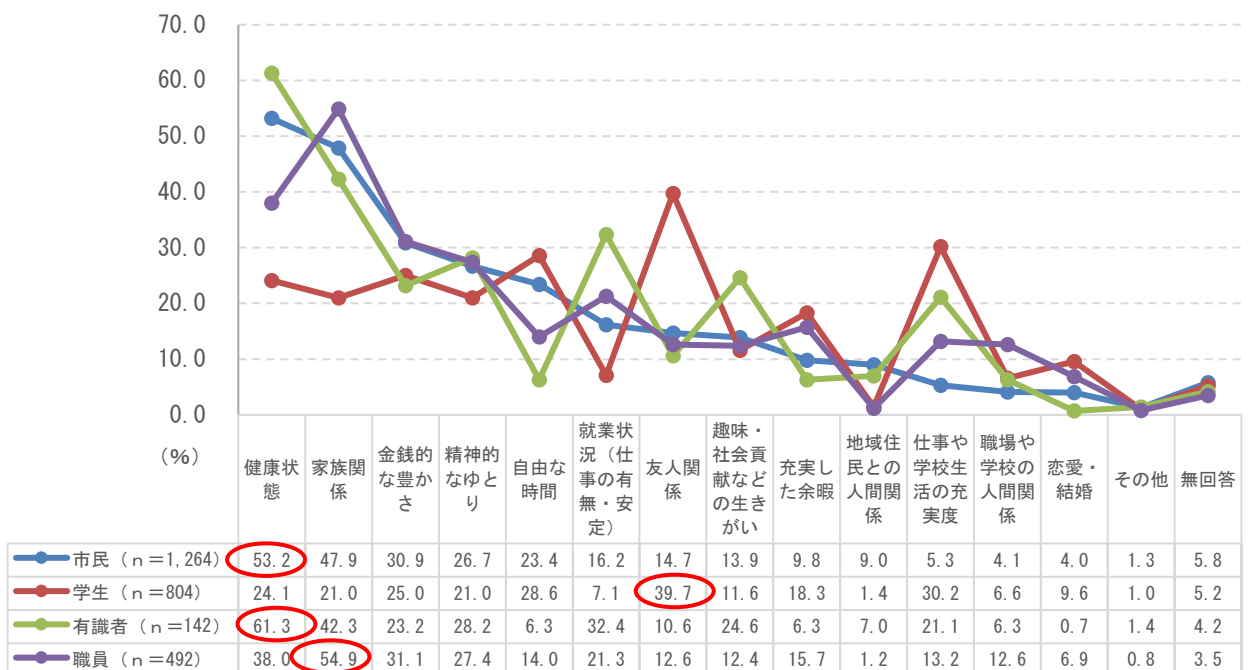
現在の幸福感を10点満点で表したところ、市民・学生・職員では「7点」の割合が最も多く、市民20.5%、学生25.1%、職員25.0%となっており、有識者は「8点」が28.9%で最も多く、全属性で6点以上が約7～8割を占めている。

また、平均点は市民が6.6点、学生が6.8点、有識者が6.9点、職員が6.6点となっており、幸福感を判断する際に重要視することは市民・有識者は「健康状態」、学生は「友人関係」、職員は「家族関係」が最も多くなっている。

図表Ⅱ-1-13：現在の幸福感



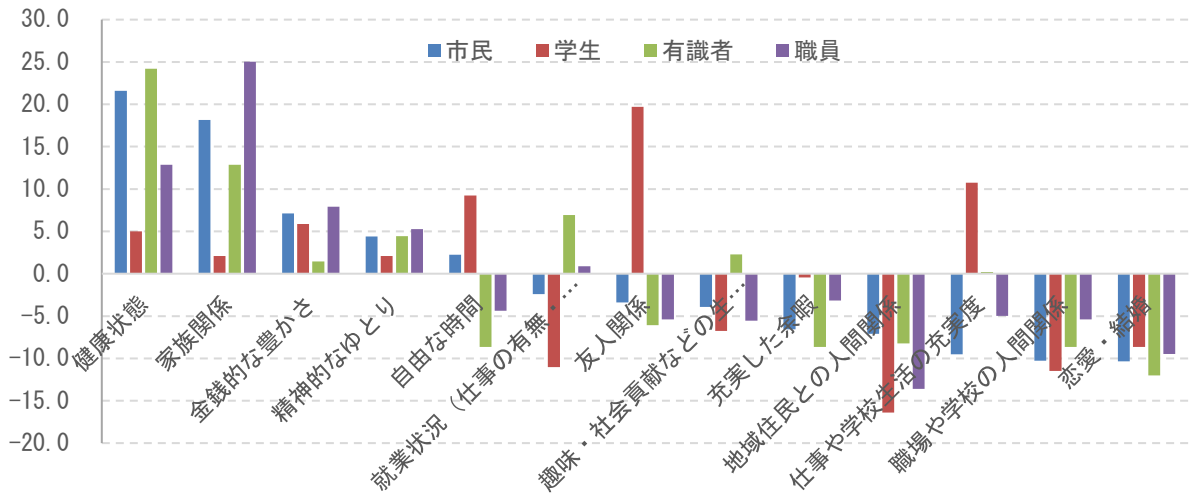
図表Ⅱ-1-14：幸福感の判断に重要視すること



○ 最大値

幸福感を判断する際に重要視することを偏差値での比較を行うと、全ての属性において「健康状態」「家族関係」「金銭的な豊かさ」「精神的なゆとり」が重要視されていることがわかる。

図表Ⅱ-1-15：幸福感の判断に重要視することの偏差値比較

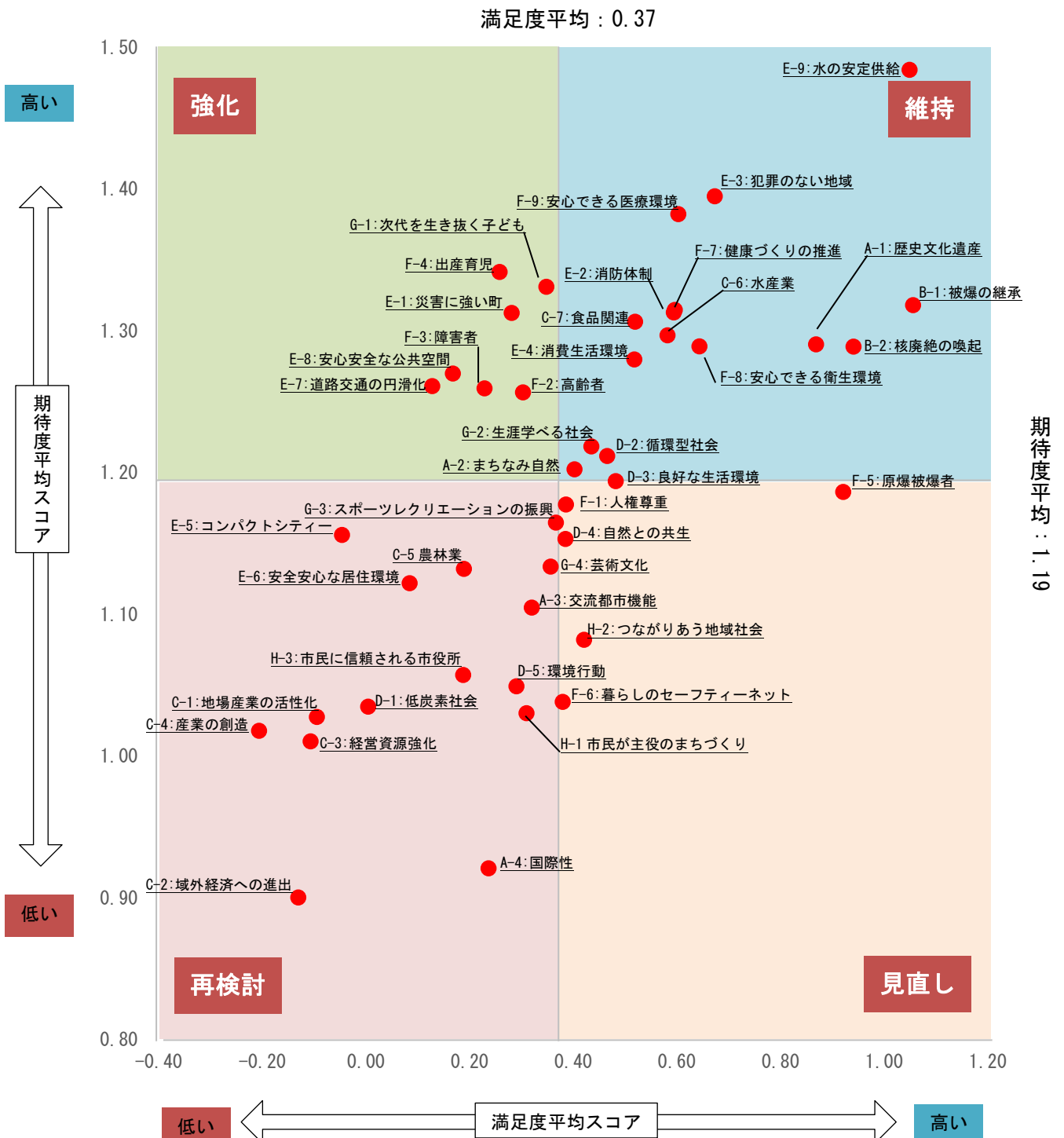


2. 施策評価

基本施策を全体での平均スコアで表すと「維持（満足度が高く期待度も高い）」エリアに「安全・安心な水を安定して供給します」を含む 15 施策、「見直し（満足度が低く期待度が高い）」エリアに「安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」を含む 7 施策、「強化（満足度が高く期待度が低い）」エリアに「つながりあう地域社会をつくります」を含む 6 施策、「再検討（満足度が低く期待度も低い）」エリアに「域外経済への進出を加速します」を含む 15 施策となった。

図表Ⅱ-2-1：満足度と期待度の平均スコア散布図

- ※評価区分は以下の通り
- 「維持」：期待度、満足度ともに高いため、現在のサービス水準の維持が求められると考えられる。
 - 「強化」：期待度が高く、満足度が低いため、重要かつ緊急に対処すべき課題と考えられる。
 - 「見直し」：期待度が低く、満足度が高いため、行政コストの見直しが考えられる。
 - 「再検討」：期待度、満足度ともに低いため、サービス提供自体の再検討が考えられる。



平均スコア一覧

図表Ⅱ-2-2：満足度と期待度の平均スコア一覧

	全体		市民		学生		有識者		職員	
	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度
A-1: 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	0.86	1.29	0.73	1.23	1.09	1.42	0.39	1.19	0.93	1.25
A-2: まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	0.39	1.20	0.21	1.14	0.70	1.33	0.05	1.19	0.43	1.15
A-3: 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	0.31	1.11	0.18	1.01	0.67	1.36	-0.35	1.04	0.22	0.95
A-4: 国際性を豊かにします	0.23	0.92	0.10	0.84	0.61	1.22	-0.31	0.78	0.06	0.68
B-1: 被爆の実相を継承します	1.05	1.32	0.91	1.31	1.26	1.44	0.91	1.12	1.09	1.21
B-2: 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	0.93	1.29	0.79	1.28	1.12	1.42	0.80	1.10	1.02	1.15
C-1: 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	-0.10	1.03	-0.25	0.96	0.33	1.16	-0.75	0.97	-0.28	0.99
C-2: 域外経済への進出を加速します	-0.14	0.90	-0.27	0.81	0.34	1.11	-0.77	0.88	-0.42	0.79
C-3: 地場企業の経営資源を強化します	-0.12	1.01	-0.32	0.97	0.45	1.13	-0.79	0.95	-0.38	0.93
C-4: 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	-0.22	1.02	-0.36	0.96	0.27	1.19	-0.94	0.85	-0.45	0.93
C-5: 農林業に新しい活力を生み出します	0.18	1.13	-0.07	1.09	0.65	1.28	-0.29	0.96	0.13	1.02
C-6: 水産業で長崎の強みを活かします	0.57	1.30	0.41	1.26	0.96	1.41	0.03	1.17	0.50	1.25
C-7: 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	0.51	1.31	0.37	1.27	0.86	1.40	0.00	1.17	0.42	1.28
D-1: 持続可能な低炭素社会を実現します	0.00	1.04	-0.12	1.03	0.31	1.26	-0.61	0.80	-0.06	0.74
D-2: 循環型社会の形成を推進します	0.46	1.21	0.47	1.25	0.51	1.31	0.17	1.10	0.40	1.00
D-3: 良好な生活環境を確保します	0.47	1.19	0.38	1.20	0.66	1.30	0.15	1.14	0.50	1.03
D-4: 人と自然が共生する環境をつくります	0.38	1.15	0.22	1.15	0.69	1.28	0.07	0.99	0.33	1.01
D-5: 環境行動を実践します	0.28	1.05	0.07	1.02	0.67	1.26	-0.12	0.79	0.29	0.85
E-1: 災害に強いまちづくりを進めます	0.27	1.31	0.09	1.26	0.50	1.38	-0.02	1.30	0.42	1.32
E-2: 消防体制を強化します	0.59	1.32	0.48	1.29	0.74	1.38	0.49	1.32	0.61	1.26
E-3: 犯罪のない地域づくりを進めます	0.66	1.40	0.54	1.39	0.77	1.45	0.63	1.39	0.79	1.33
E-4: 安心できる消費生活環境をつくります	0.51	1.28	0.35	1.29	0.78	1.38	0.12	1.07	0.57	1.17
E-5: 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	-0.06	1.16	-0.23	1.14	0.37	1.24	-0.61	0.99	-0.17	1.11
E-6: 安全・安心な居住環境をつくります	0.08	1.12	-0.16	1.08	0.57	1.28	-0.42	0.96	-0.02	1.01
E-7: 道路・交通の円滑化を図ります	0.12	1.26	0.05	1.25	0.30	1.33	-0.03	1.13	0.03	1.20
E-8: 安全・安心で快適な公共空間をつくります	0.16	1.27	-0.04	1.24	0.53	1.38	-0.16	1.13	0.14	1.20
E-9: 安全・安心な水を安定して供給します	1.04	1.48	0.93	1.46	1.16	1.54	0.89	1.37	1.16	1.47
F-1: 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	0.38	1.18	0.13	1.17	0.70	1.40	0.27	1.17	0.48	0.85
F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	0.29	1.26	0.09	1.25	0.64	1.34	-0.04	1.36	0.31	1.12
F-3: 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	0.22	1.26	-0.01	1.23	0.60	1.41	-0.20	1.26	0.25	1.10
F-4: 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	0.25	1.34	0.07	1.30	0.59	1.43	-0.01	1.24	0.20	1.33
F-5: 原爆被爆者の援護を充実します	0.91	1.19	0.84	1.17	1.03	1.44	0.87	1.01	0.90	0.86
F-6: 暮らしのセーフティネットを充実します	0.37	1.04	0.14	0.98	0.73	1.32	0.30	0.91	0.35	0.76
F-7: 自らすすめる健康づくりを推進します	0.59	1.31	0.52	1.34	0.71	1.39	0.26	1.04	0.64	1.19
F-8: 安心できる衛生環境を確保します	0.63	1.29	0.47	1.30	0.87	1.41	0.48	1.14	0.68	1.12
F-9: 安心できる医療環境の充実を図ります	0.59	1.38	0.41	1.38	0.88	1.43	0.54	1.43	0.58	1.31
G-1: 次代を生きぬく子どもを育みます	0.34	1.33	0.19	1.33	0.65	1.40	0.03	1.17	0.28	1.27
G-2: だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	0.43	1.22	0.26	1.22	0.71	1.35	0.21	1.09	0.42	1.05
G-3: スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	0.36	1.17	0.22	1.13	0.62	1.28	0.04	0.96	0.36	1.13
G-4: 芸術文化あふれる暮らしを創出します	0.35	1.13	0.19	1.14	0.65	1.21	-0.10	0.99	0.35	1.02
H-1: 市民が主役のまちづくりを進めます	0.30	1.03	0.12	1.01	0.59	1.22	0.04	1.01	0.33	0.77
H-2: つながりあう地域社会をつくります	0.41	1.08	0.29	1.08	0.66	1.21	0.09	1.11	0.40	0.89
H-3: 市民に信頼される市役所にします	0.18	1.06	-0.06	1.00	0.60	1.23	-0.04	0.99	0.13	0.94

※平均スコアの求め方は以下の通り

「満足している」×2+「まあ満足している」×1+「あまり満足していない」×-1+「満足していない」×-2

満足度平均スコア＝

全回答者数－無回答者数

「期待する」×2+「まあ期待する」×1+「あまり期待しない」×-1+「期待しない」×-2

期待度平均スコア＝

全回答者数－無回答者数

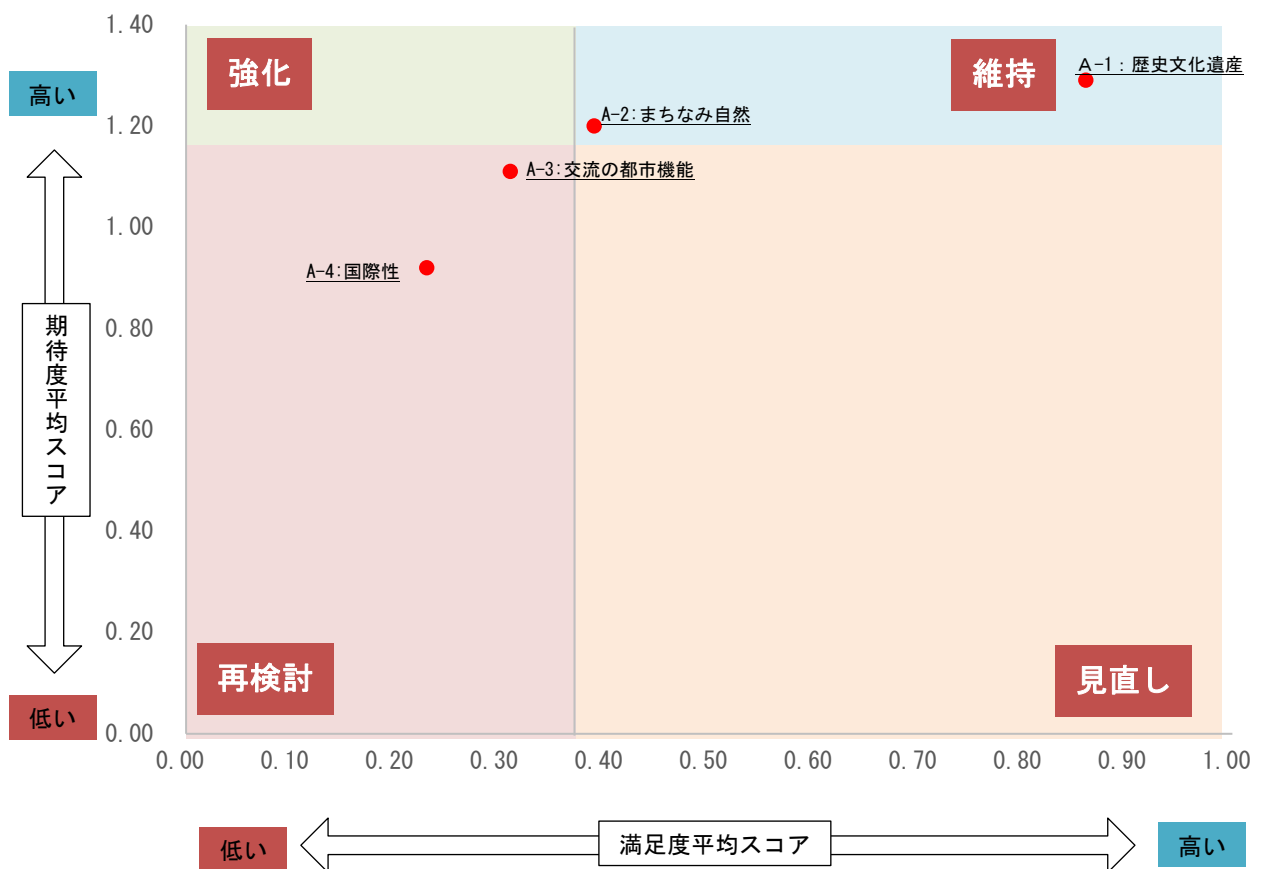
以降、算出方法は同様

(1) 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち

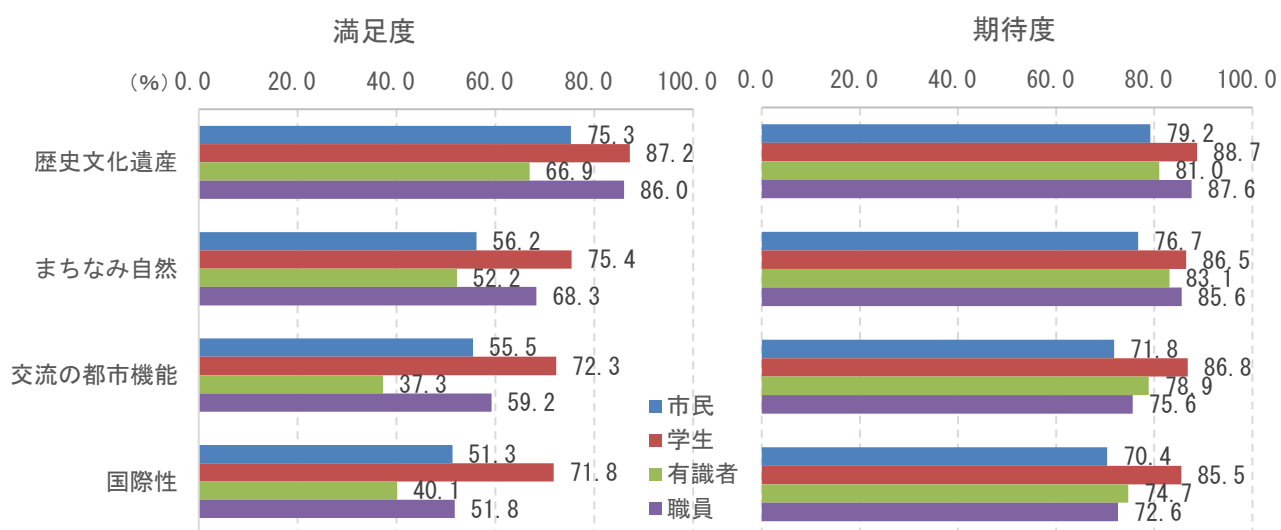
まちづくりの方針「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「A-1:歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます」「A-2:まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます」は満足度が高く期待度も高くなっている。一方、「A-3:交流のための都市機能高め、交流を促進し、賑わいを創出します」「A-4:国際性を豊かにします」は満足度が低く期待度も低くなっている。

また、満足度と期待度の差では4施策全てで有識者は10ポイント以上期待度が高く、最も乖離が大きかったのは「A-3:交流のための都市機能高め、交流を促進し、賑わいを創出します」で41.6ポイント期待度が高くなっている。

図表Ⅱ-2-3：住む人が誇り、誰もが訪れたいまち満足度と期待度の平均スコア散布図

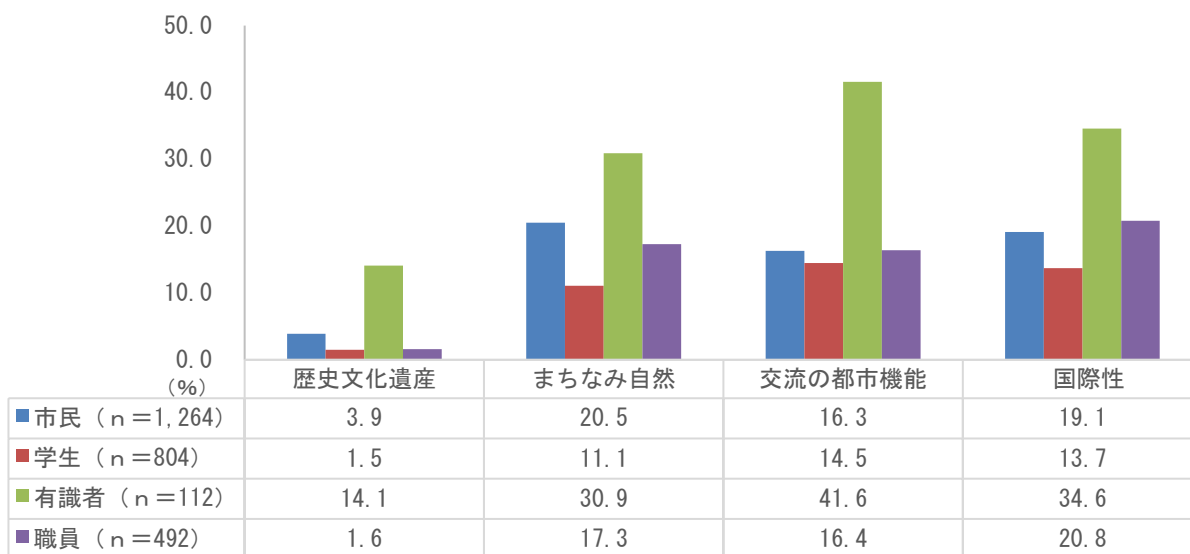


図表Ⅱ-2-4：住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの満足度と期待度



※満足度＝「満足している」＋「まあ満足している」 期待度＝「期待する」＋「まあ期待する」以降同様

図表Ⅱ-2-5：住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの満足度と期待度の乖離



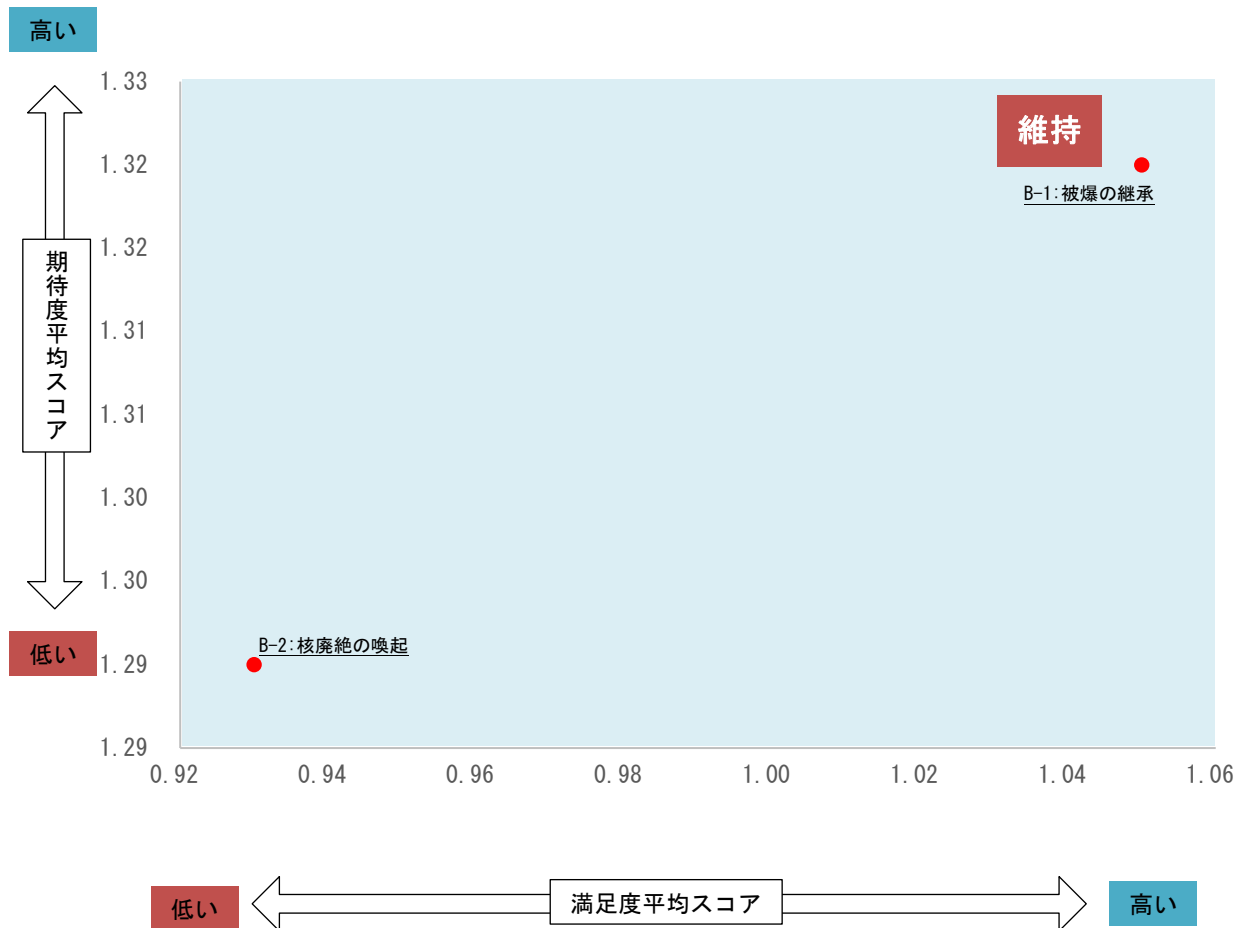
※満足度と期待度の乖離＝期待度－満足度、以降同様

(2) 平和を願い、求め、つくるまち

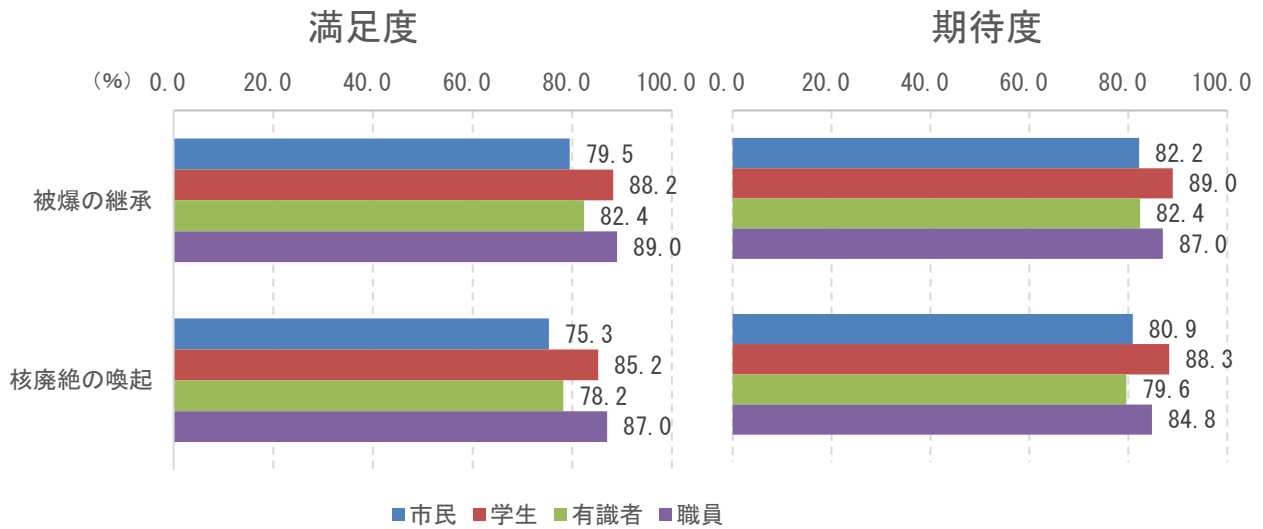
まちづくりの方針「B:平和を願い、求め、つくるまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「B-1:被爆の実相を継承します」、「B-2:核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します」はともに満足度が高く期待度も高くなっている。

また、満足度と期待度の差では2施策全てで職員の期待度が満足度よりも2ポイント低くなっている以外、3属性は期待度が満足度を上回っている。そのうち、最も差が大きかったのは市民の「B-2:核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します」で期待度が満足度よりも5.6ポイント高くなっている。

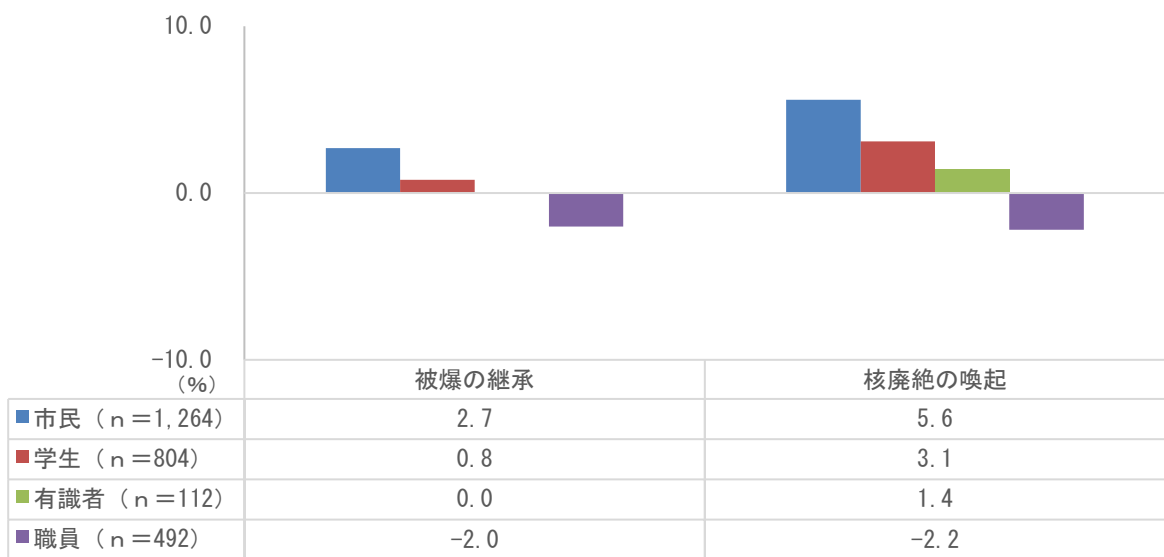
図表Ⅱ-2-6：平和を願い、求め、つくるまちの満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-7：平和を願い、求め、つくるまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-8：平和を願い、求め、つくるまちの満足度と期待度の乖離

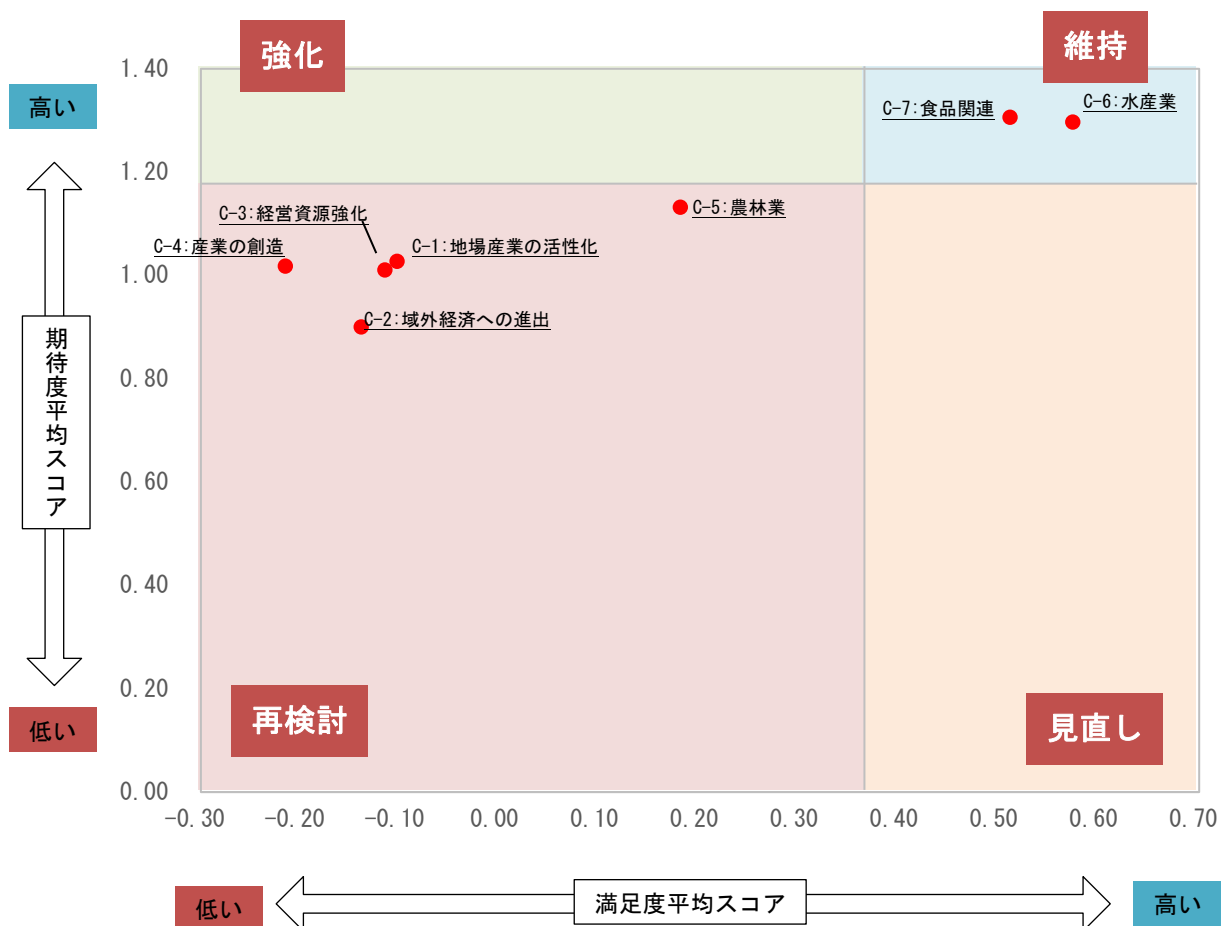


(3) 活力に満ち、発展し続けるまち

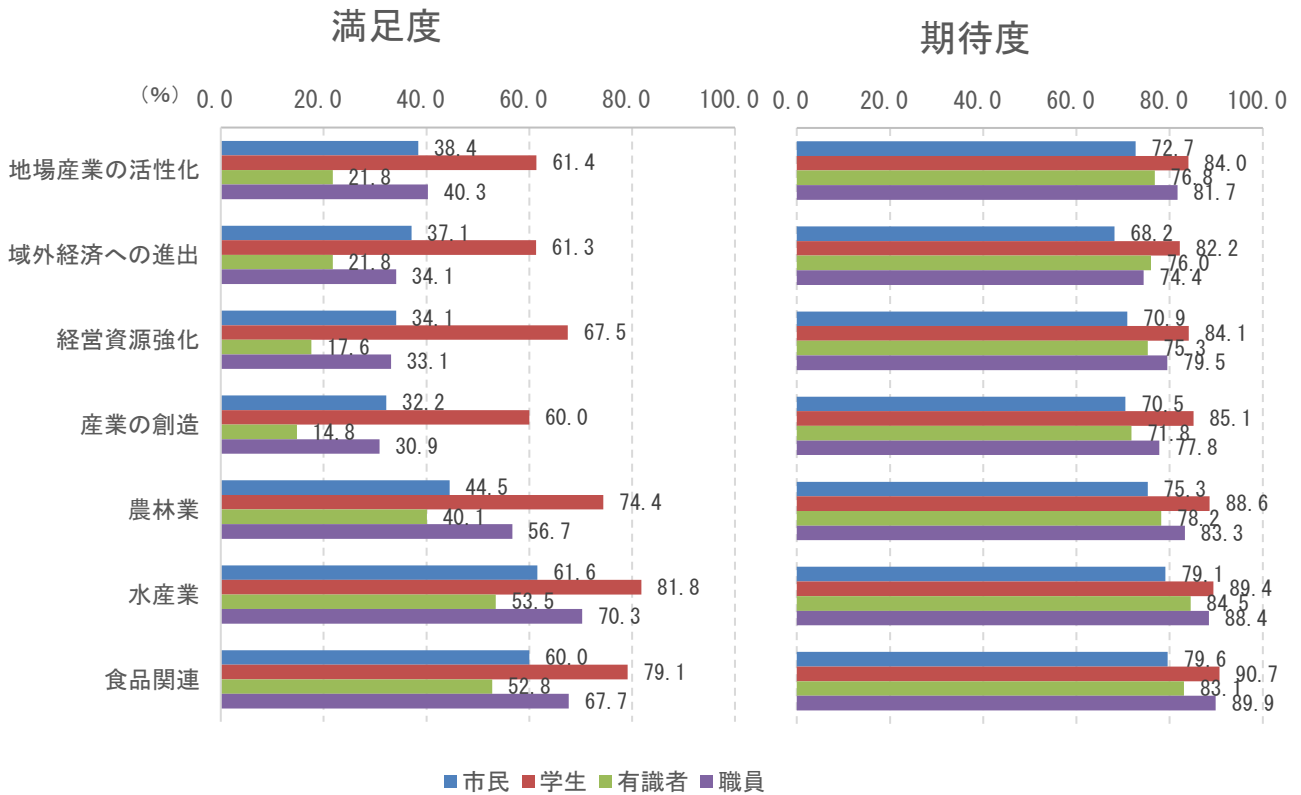
まちづくりの方針「C:活力に満ち、発展し続けるまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「C-6:水産業で長崎の強みを活かします」、「C-7:地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します」はともに満足度が高く期待度も高くなっており、「C-1:交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します」、「C-2:域外経済への進出を加速します」、「C-3:地場企業の経営資源を強化します」、「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」、「C-5:農林業に新しい活力を生み出します」の5施策は満足度が低く期待度も低くなっている。

また、7施策全部が全属性で満足度を期待度が上回っており、特に、有識者においては期待度と満足度の乖離が大きく30ポイント以上の差となっている。

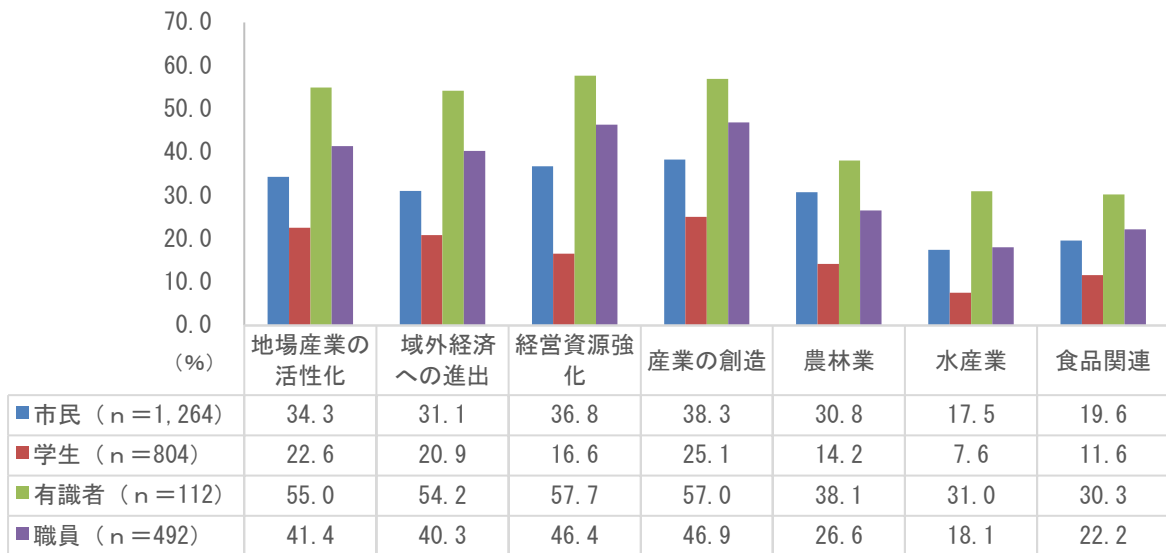
図表Ⅱ-2-9：活力に満ち、発展し続けるまち満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-10：活力に満ち、発展し続けるまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-11：活力に満ち、発展し続けるまちの満足度と期待度の乖離

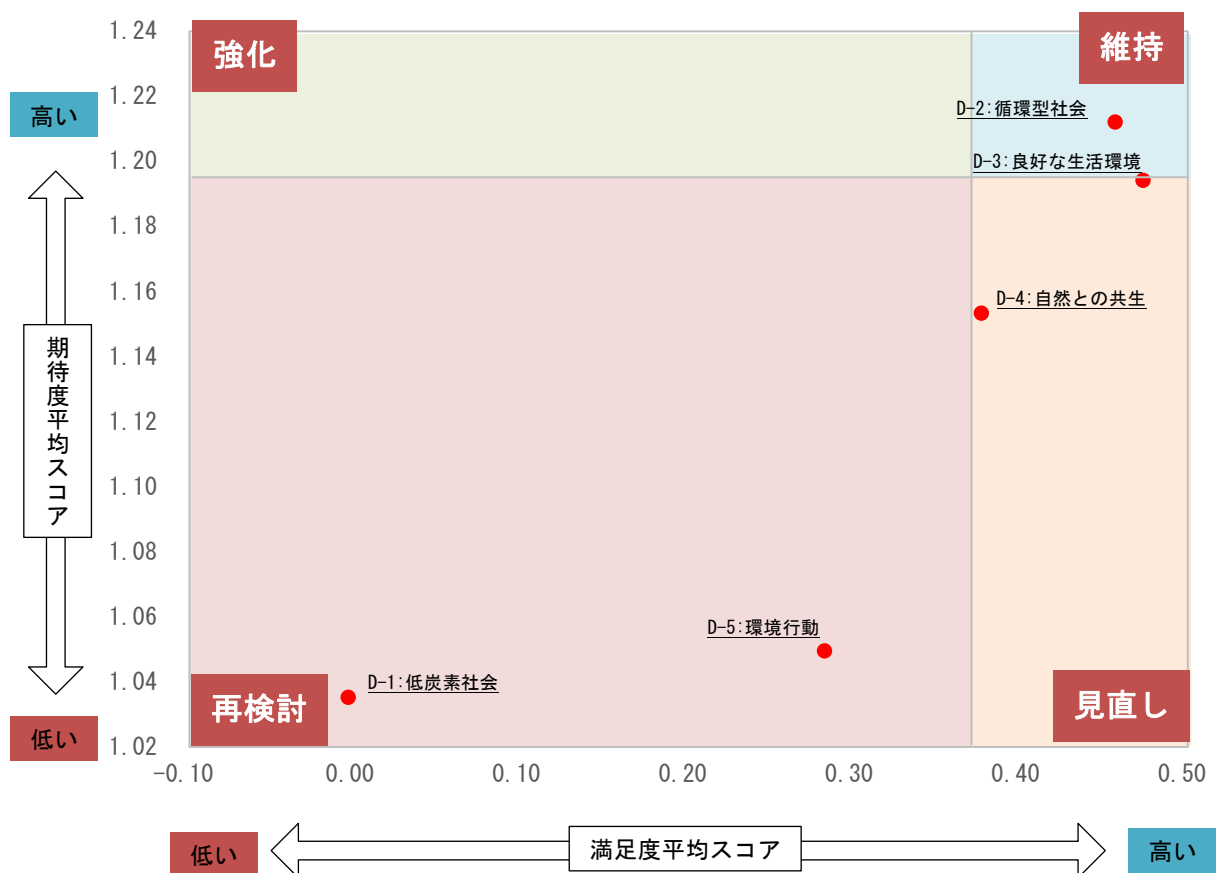


(4) 環境と調和する潤いのあるまち

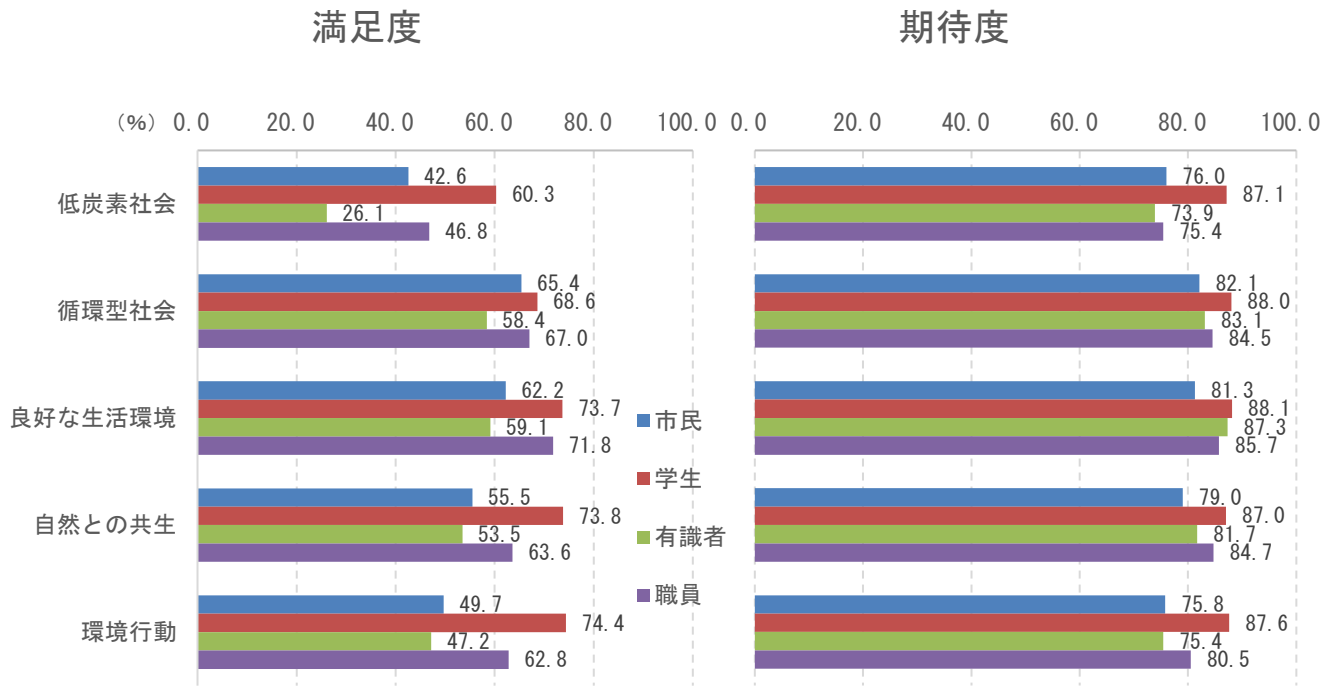
まちづくりの方針「D:環境と調和する潤いのあるまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「D-2:循環型社会の形成を推進します」、「D-3:良好な生活環境を確保します」はともに満足度が高く期待度も高くなっており、「D-5:環境行動を実践します」、「D-1:持続可能な低炭素社会を実現します」の2施策は満足度が低く期待度も低くなっている。「D-4:人と自然が共生する環境をつくります」は満足度が高く期待度が低くなっている。

また、5施策全部が全属性で満足度を期待度が上回っており、特に、「D-1:持続可能な低炭素社会を実現します」においては期待度と満足度の乖離が大きく全属性で26ポイント以上の差となっている。

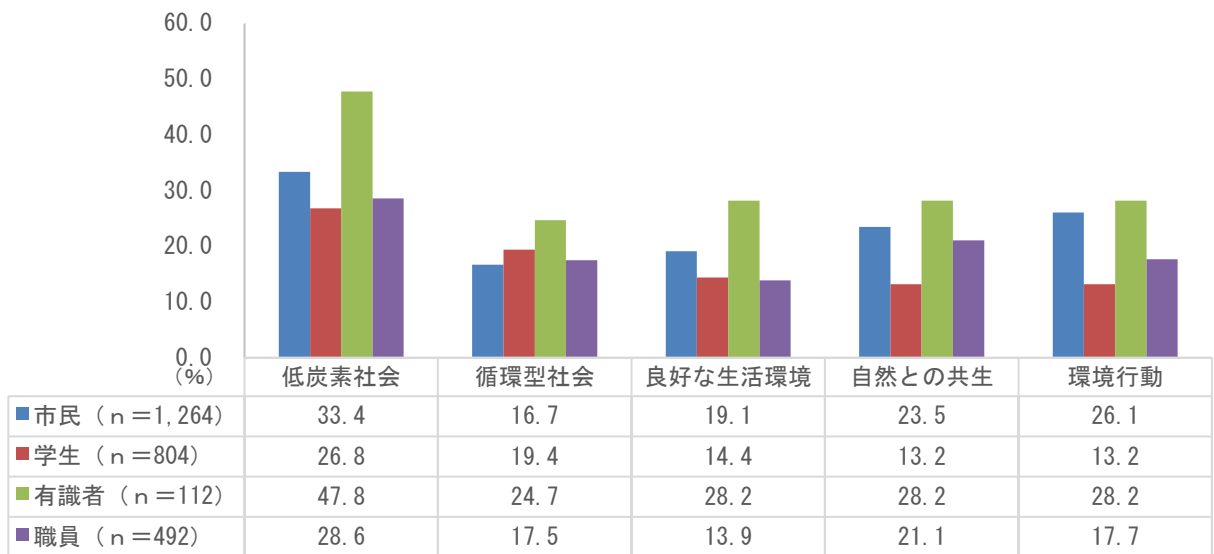
図表Ⅱ-2-12：環境と調和する潤いのあるまち満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-13：環境と調和する潤いのあるまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-14：環境と調和する潤いのあるまちの満足度と期待度の乖離

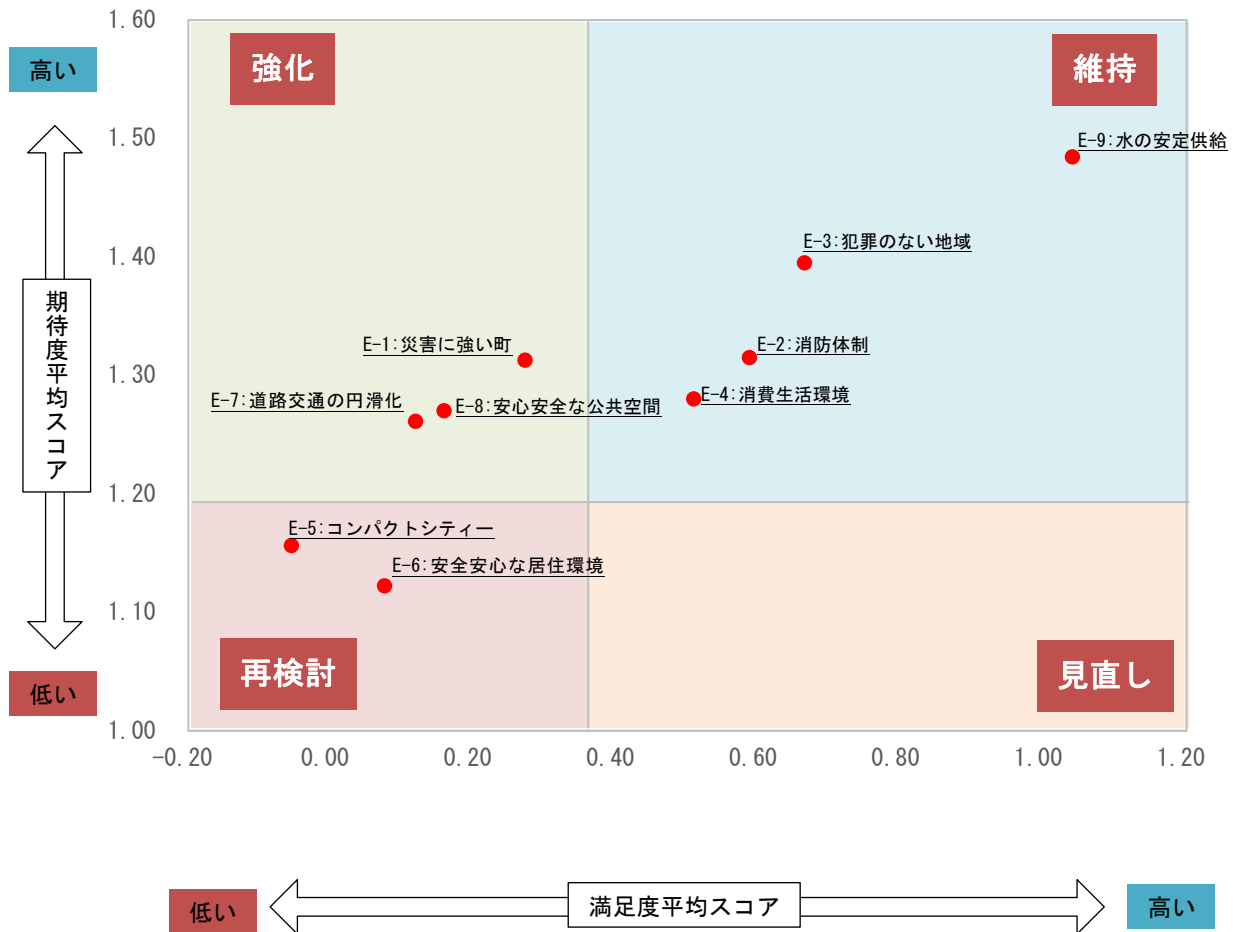


(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち

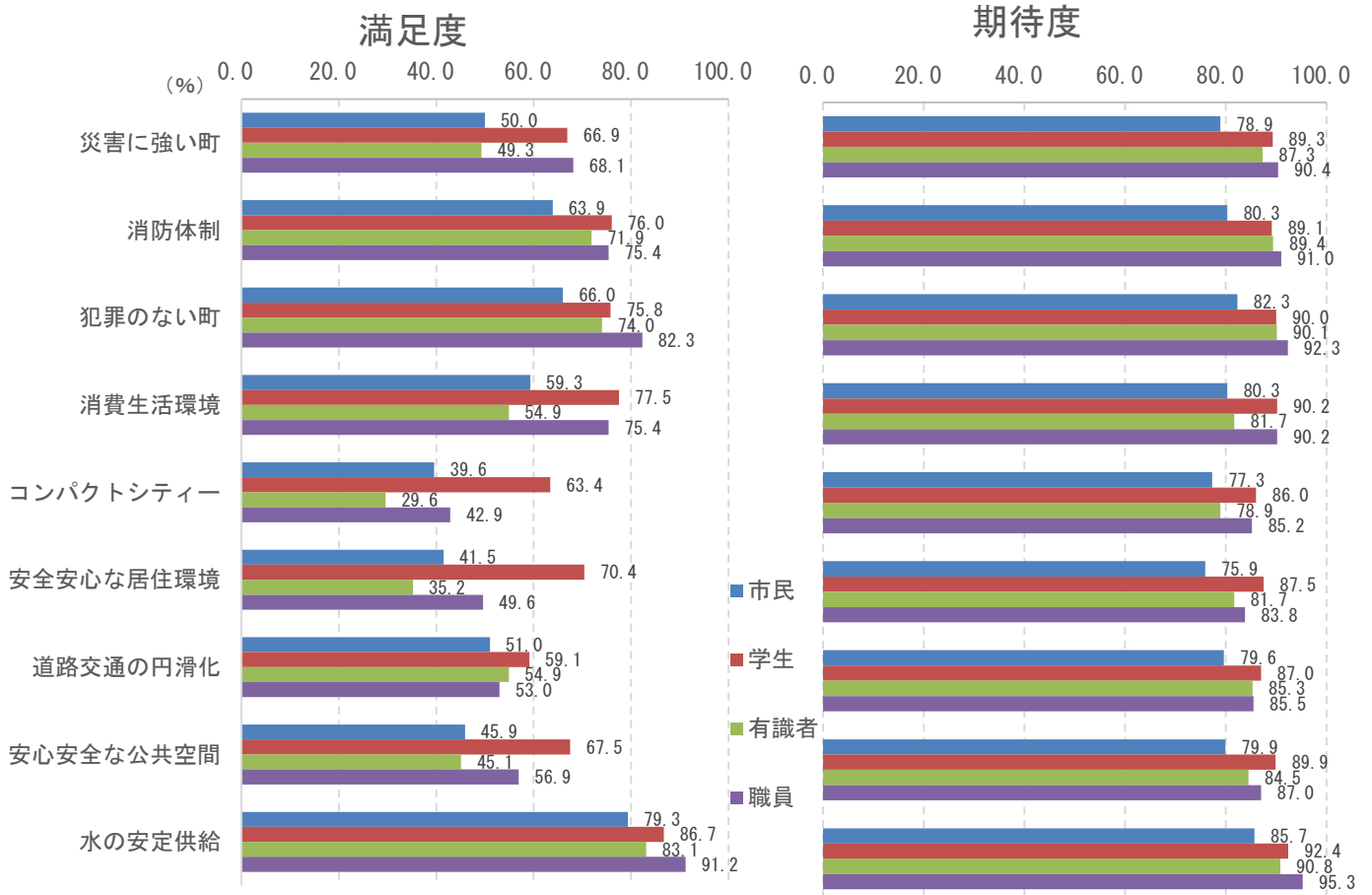
まちづくりの方針「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「E-2:消防体制を強化します」、「E-3:犯罪のない地域づくりを進めます」、「E-4:安心できる消費生活環境をつくります」、「E-9:安全・安心な水を安定して供給します」はともに満足度が高く期待度も高くなっており、「E-5:暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します」、「E-6:安全・安心な居住環境をつくります」の2施策は満足度が低く期待度も低くなっている。「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」、「E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります」、「E-8:道路・交通の円滑化を図ります」は満足度が低く期待度が高くなっている。

また、9施策全部が全属性で満足度を期待度が上回っており、特に、「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」においては期待度と満足度の乖離が大きく全属性で22ポイント以上の差となっている。

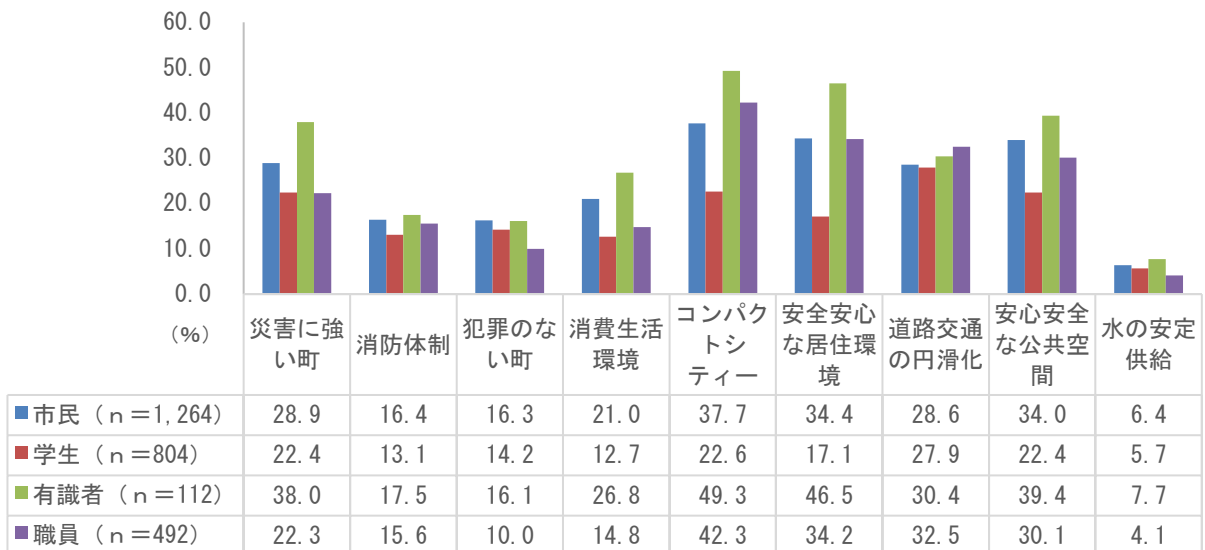
図表Ⅱ-2-15：安全・安心で快適に暮らせるまちの満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-16：安全・安心で快適に暮らせるまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-17：安全・安心で快適に暮らせるまちの満足度と期待度の乖離

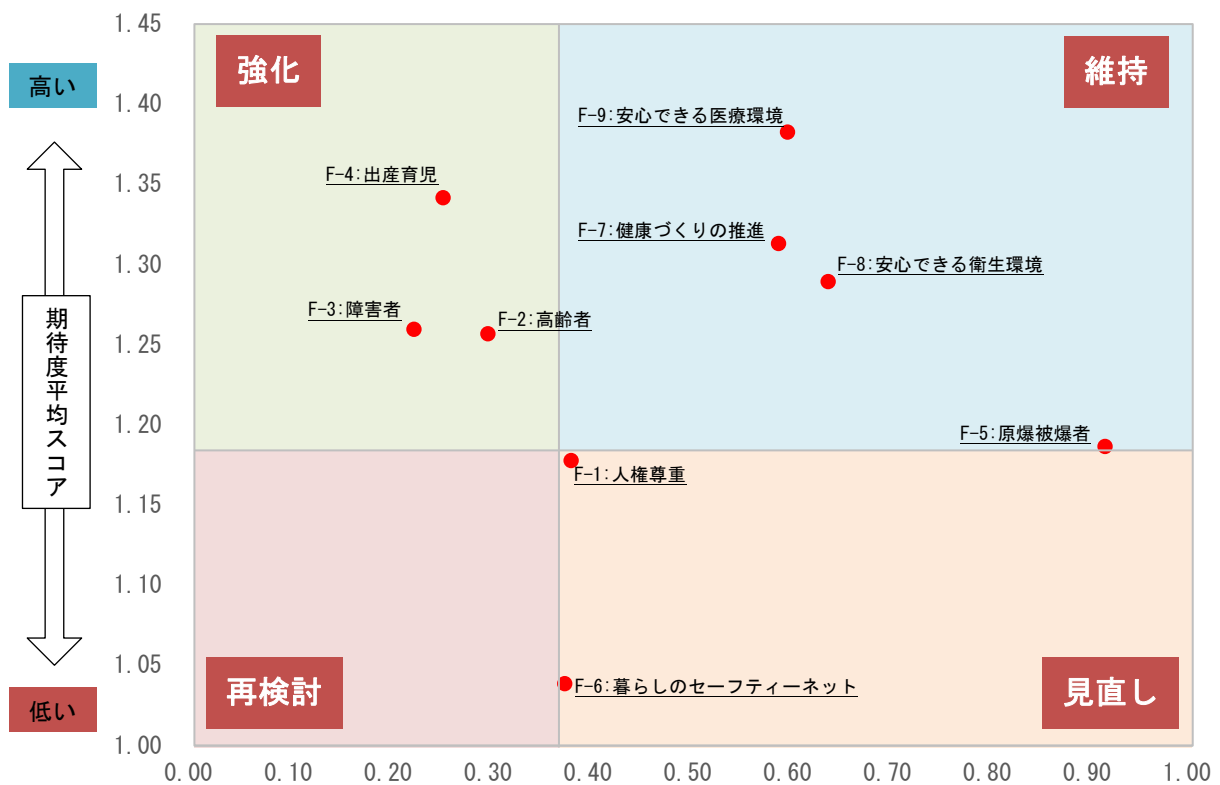


(6) 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち

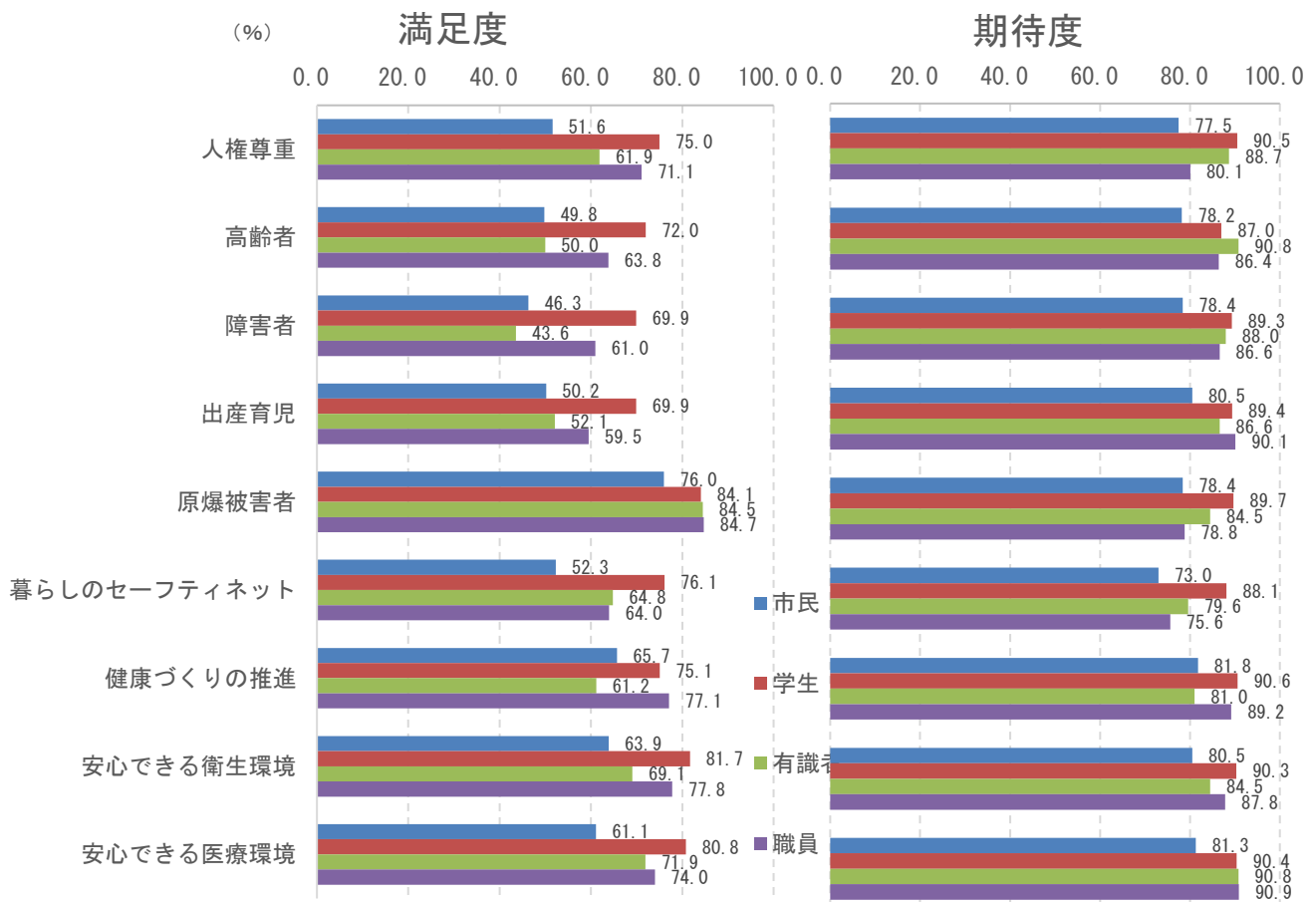
まちづくりの方針「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「F-5:原爆被爆者の援護を充実します」、「F-7:自らすすめる健康づくりを推進します」、「F-8:安心できる衛生環境を確保します」、「F-9:安心できる医療環境の充実を図ります」はともに満足度が高く期待度も高くなっており、「F-1:人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します」、「F-6:暮らしのセーフティネットを充実します」の2施策は満足度が高く期待度が低くなっている。「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」、「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」、「F-4:安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」は満足度が低く期待度が高くなっている。

また、「F-5:原爆被爆者の援護を充実します」を除く8施策が全属性で満足度を期待度が大きく上回っている中、「F-5:原爆被爆者の援護を充実します」においては満足度が高く、乖離は6ポイント未満となっている。

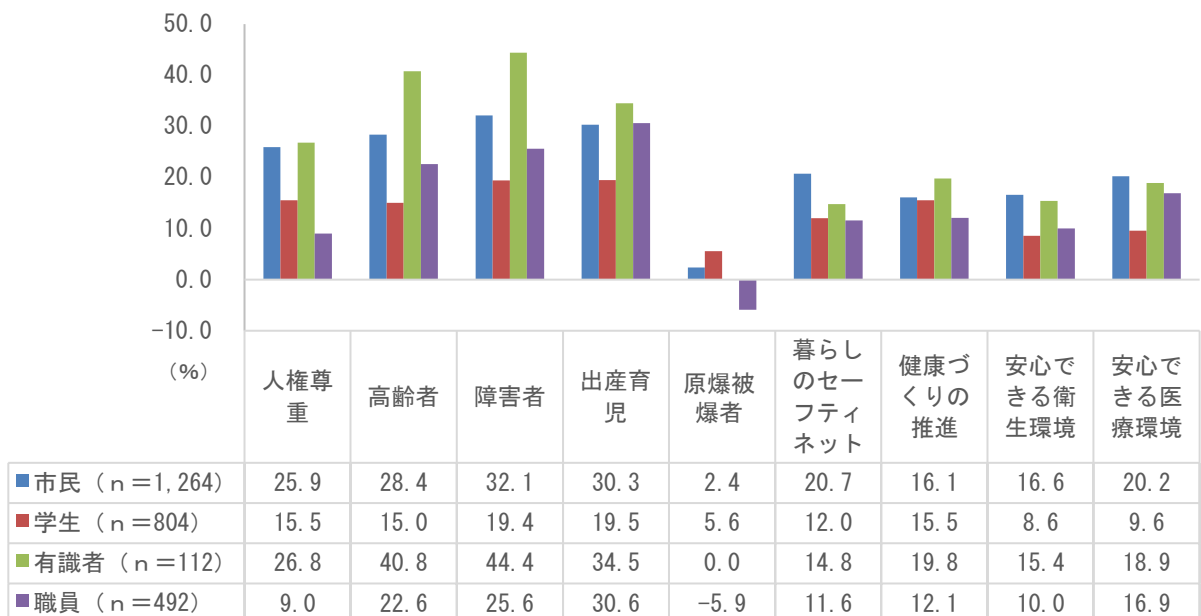
図表Ⅱ-2-18：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-19：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-20：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの満足度と期待度の乖離

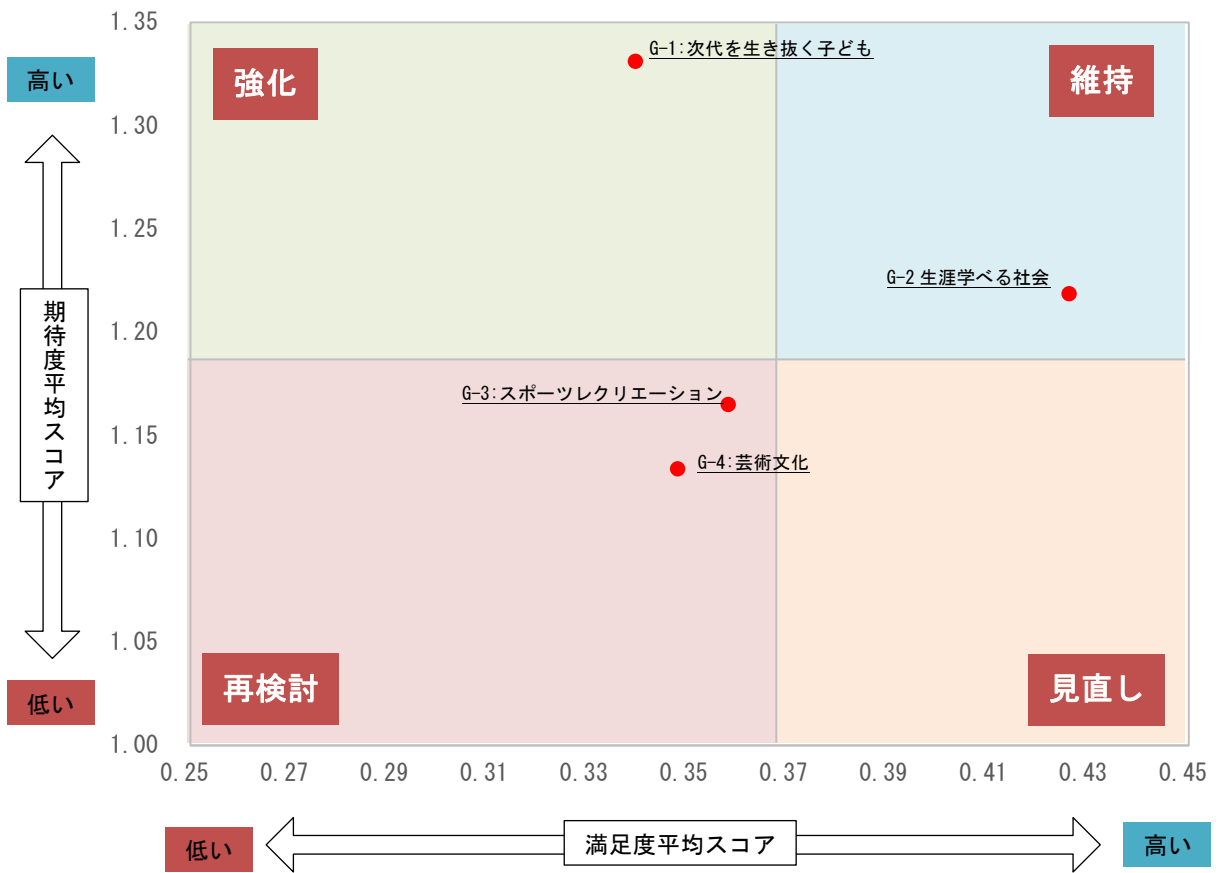


(7) 豊かな心を育むまち

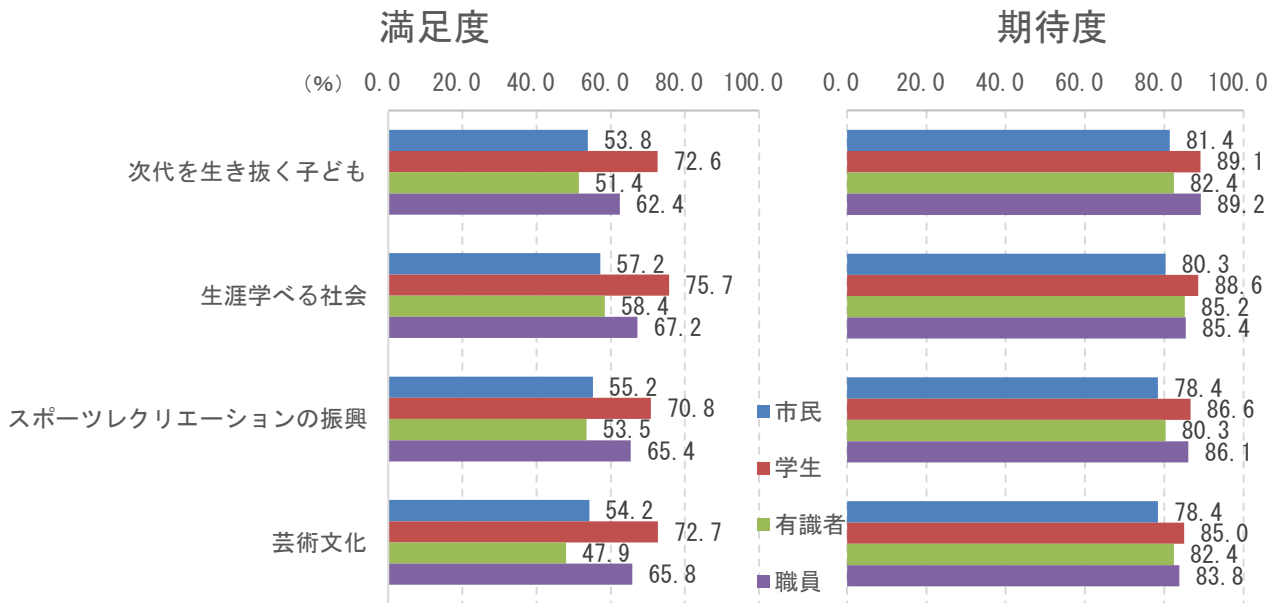
まちづくりの方針「G:豊かな心を育むまち」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「G-2:だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります」は満足度が高く期待度も高くなっており、「G-3:スポーツ・レクリエーションの振興を図ります」、「G-4:芸術文化あふれる暮らしを創出します」の2施策は満足度が低く期待度も低くなっている。「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」は満足度が低く期待度が高くなっている。

また、4 施策全部が全属性で満足度を期待度が大きく上回っているが、市民と有識者において、乖離は23ポイント以上となっている。

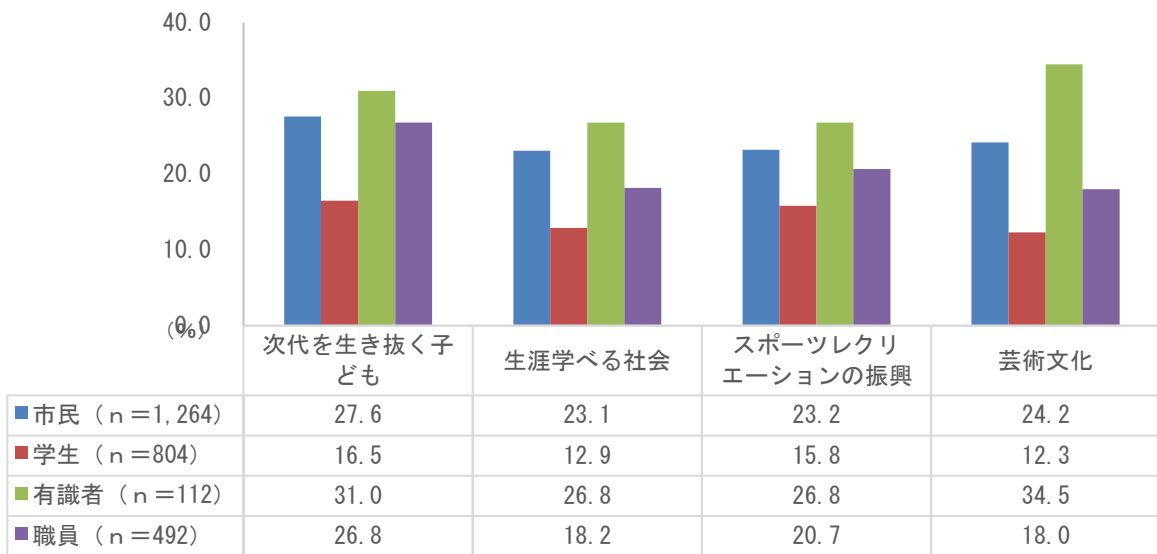
図表Ⅱ-2-21：豊かな心を育むまちの満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-22：豊かな心を育むまちの満足度と期待度



図表Ⅱ-2-23：豊かな心を育むまちの満足度と期待度の乖離

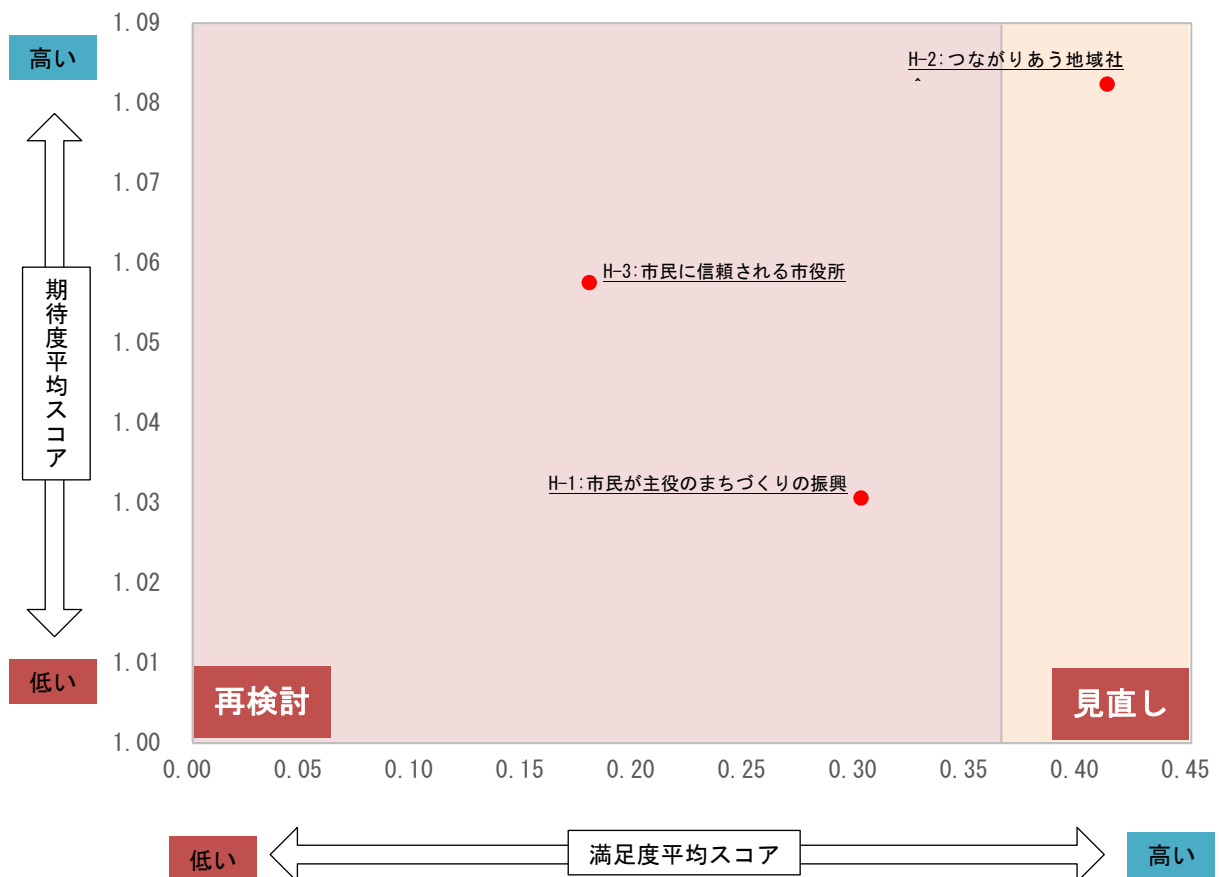


(8) 基本構想の推進（つながる + 創造する）

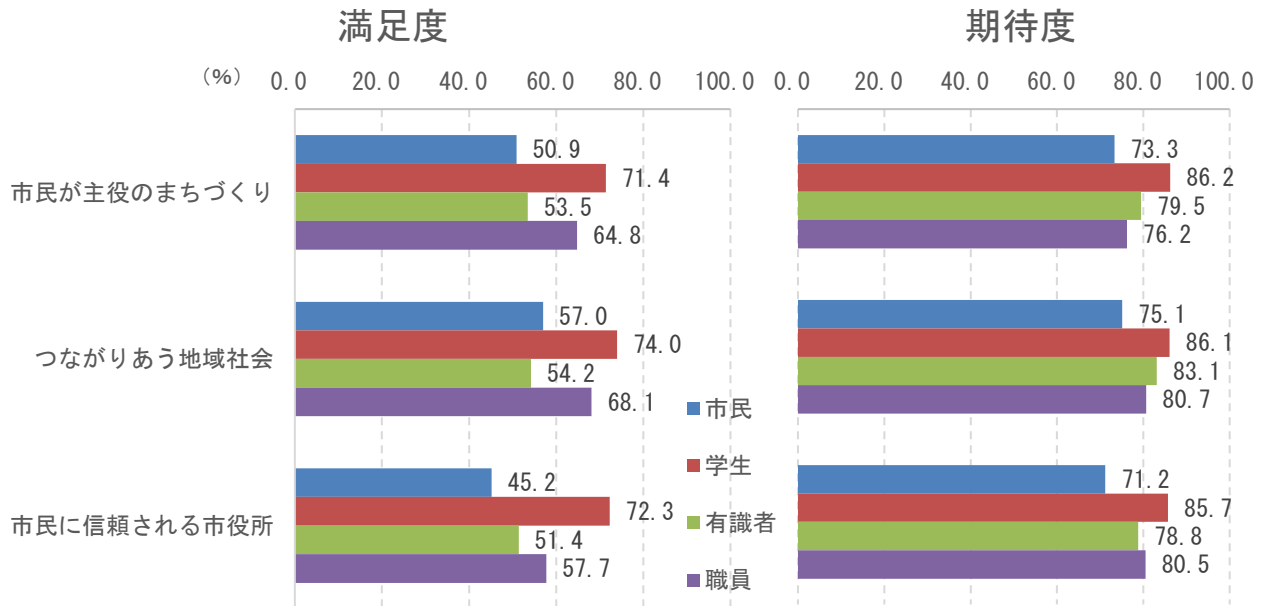
まちづくりの方針「H:基本構想の推進（つながる + 創造する）」の基本施策を全体での平均スコアで表すと「H-1:市民が主役のまちづくりを進めます」、「H-3:市民に信頼される市役所にします」の2施策は満足度が低く期待度も低くなっており、「H-2:つながりあう地域社会をつくりまします」は満足度が高く期待度が低くなっている。

また、3 施策全部が全属性で満足度を期待度が大きく上回っているが、有識者における乖離は26ポイント以上となっている。

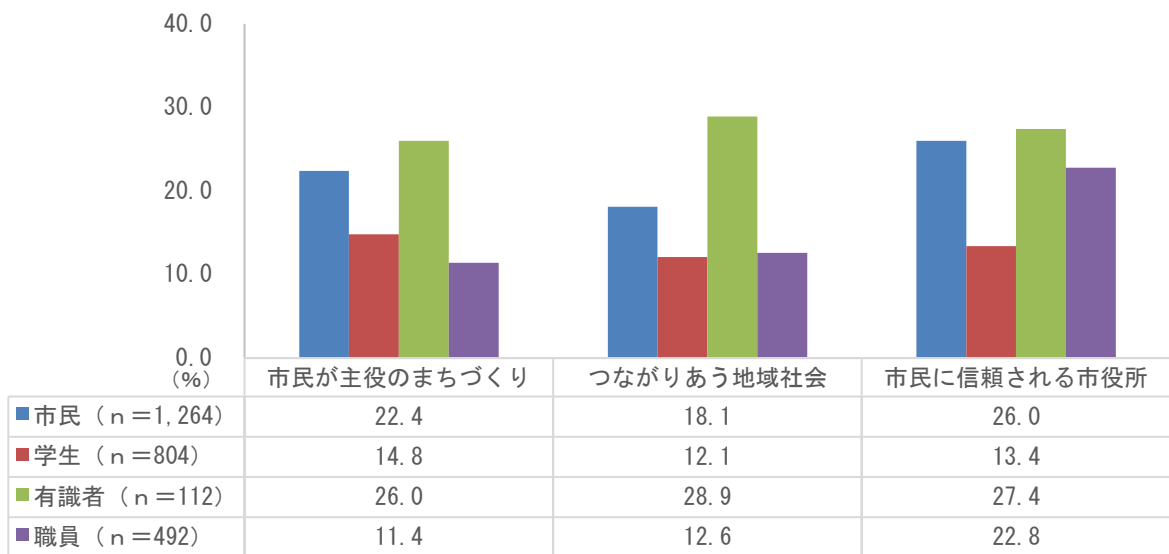
図表Ⅱ-2-24：基本構想の推進（つながる + 創造する）の満足度と期待度の平均スコア散布図



図表Ⅱ-2-25：基本構想の推進（つながる + 創造する）の満足度と期待度



図表Ⅱ-2-26：基本構想の推進（つながる + 創造する）の満足度と期待度の比較差



3. 優先施策

(1) 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち

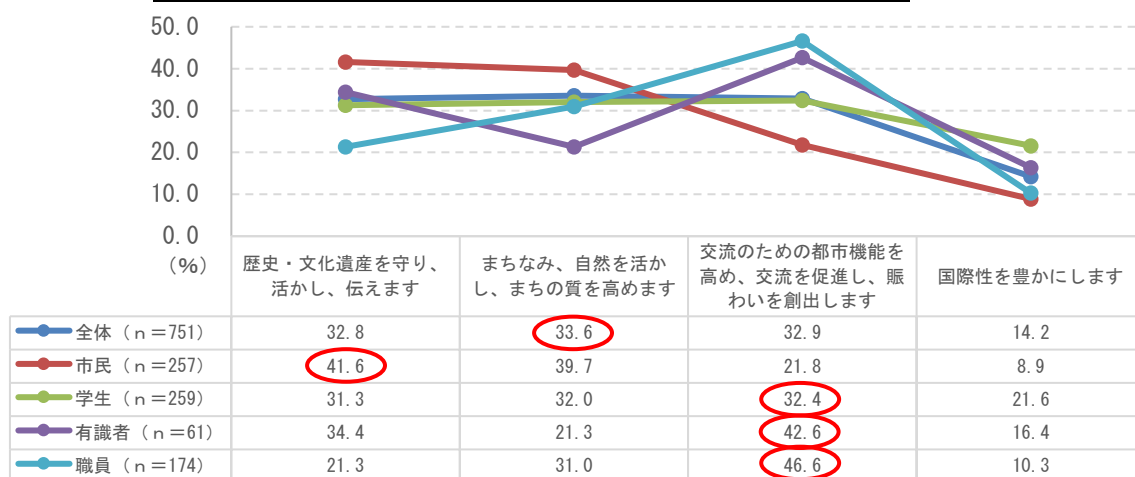
「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「A-2:まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます」が最も多い。

属性別での相違は学生、有識者、職員は「A-3:交流のための都市機能高め、交流を促進し、賑わいを創出します」が32.4%、42.6%、46.6%と高くなっている。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は36.2%となっている。

※比率は無回答を除き算出している。

図表Ⅱ-3-1: 住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの優先施策



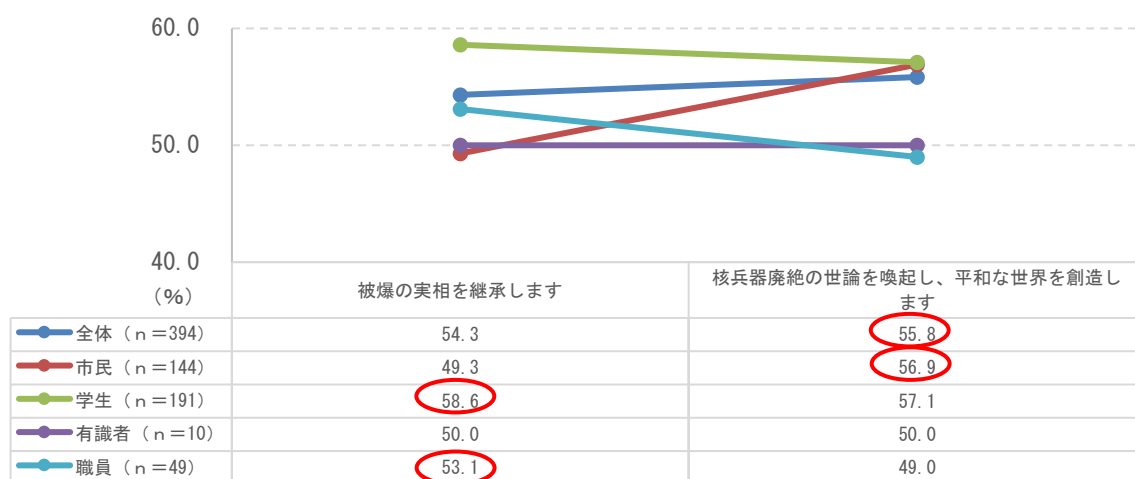
(2) 平和を願い、求め、つくるまち

○ 最大値

「B:平和を願い、求め、つくるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「B-2:核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します」が最も多く、属性別での相違は学生・職員では「B-1:被爆の実相を継承します」が多くなっており、有識者は同数となっている。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は19.0%となっている。

図表Ⅱ-3-2: 平和を願い、求め、つくるまちの優先施策



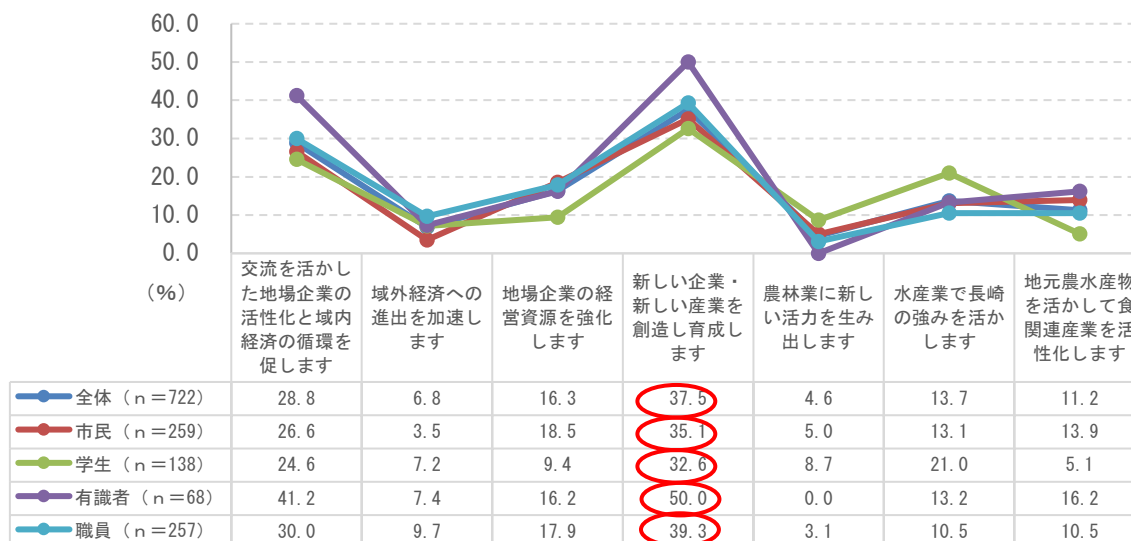
○ 最大値

(3) 活力に満ち、発展し続けるまち

「C:活力に満ち、発展し続けるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」が最も多く、属性別での相違は学生で「C-6:水産業で長崎の強みを活かします」が他属性と比べて多く、「C-3:地場企業の経営資源を強化します」がやや低くなっている。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は34.8%となっている。

図表Ⅱ-3-3：活力に満ち、発展し続けるまちの優先施策



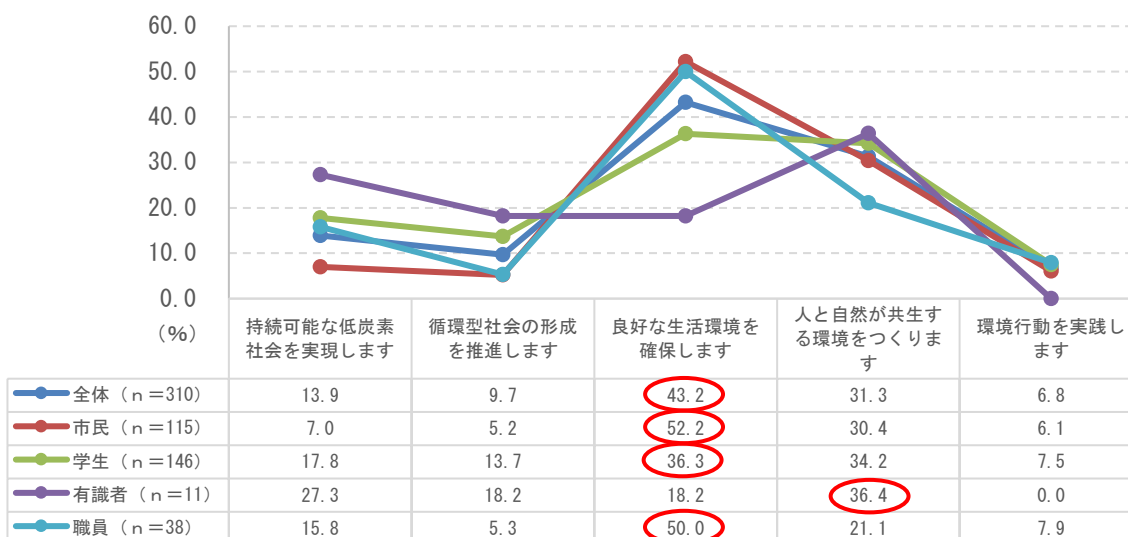
○ 最大値

(4) 環境と調和する潤いのあるまち

「D:環境と調和する潤いのあるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「D-3:良好な生活環境を確保します」が最も多く、属性別での大きな相違は、有識者は「D-4:人と自然が共生する環境をつくります」が36.4%で最も多く、なっている。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は15.0%となっている。

図表Ⅱ-3-4：環境と調和する潤いのあるまちの優先施策



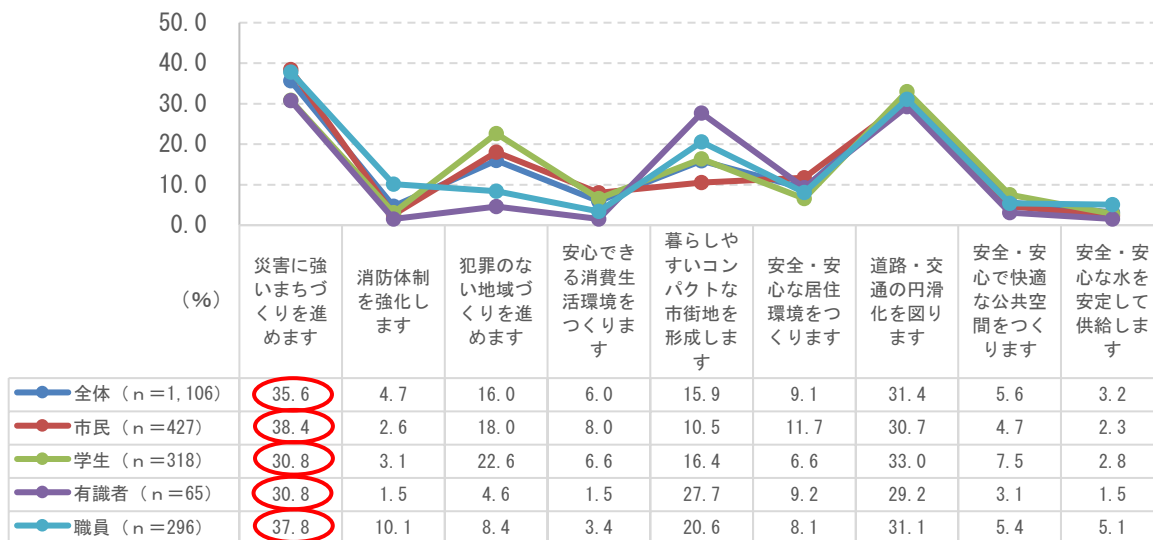
○ 最大値

(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち

「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」が最も多く、属性別での相違は「E-3:犯罪のない地域づくりを進めます」・「E-5:暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します」でバラツキが見られるものの、大きな差は見られない。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は53.4%となっている。

図表Ⅱ-3-5：安全・安心で快適に暮らせるまちの優先施策



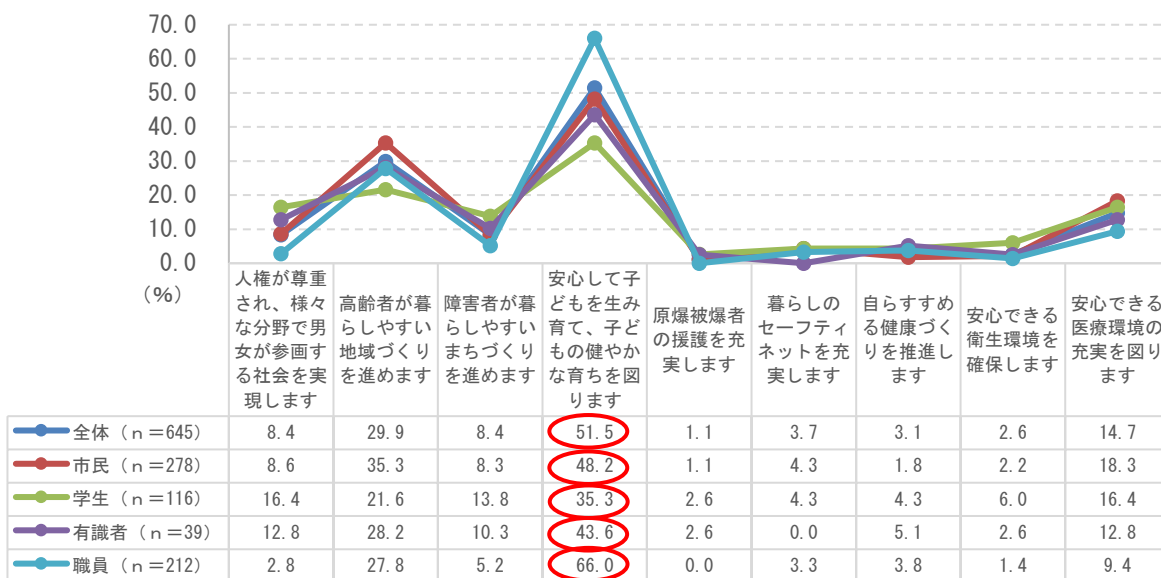
○ 最大値

(6) 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち

「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」が最も多く、属性別での相違はややバラツキが見られるものの、大きな差は見られない。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は31.1%となっている。

図表Ⅱ-3-6：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの優先施策



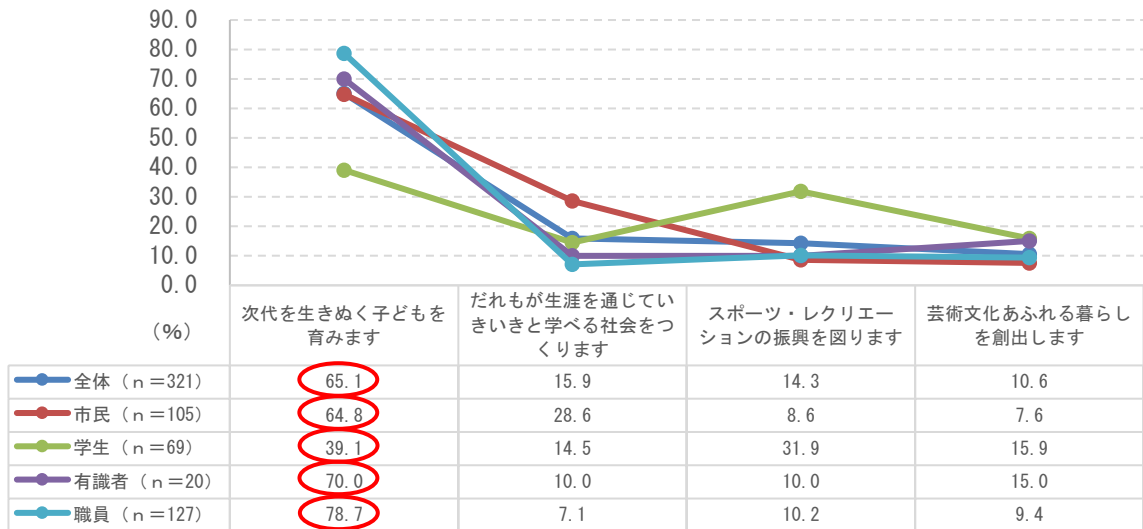
○ 最大値

(7) 豊かな心を育むまち

「G:豊かな心を育むまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」が最も多く、属性別での相違はややバラツキが見られるものの、大きな差は見られない。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は15.5%となっている。

図表Ⅱ-3-7：豊かな心を育むまちの優先施策



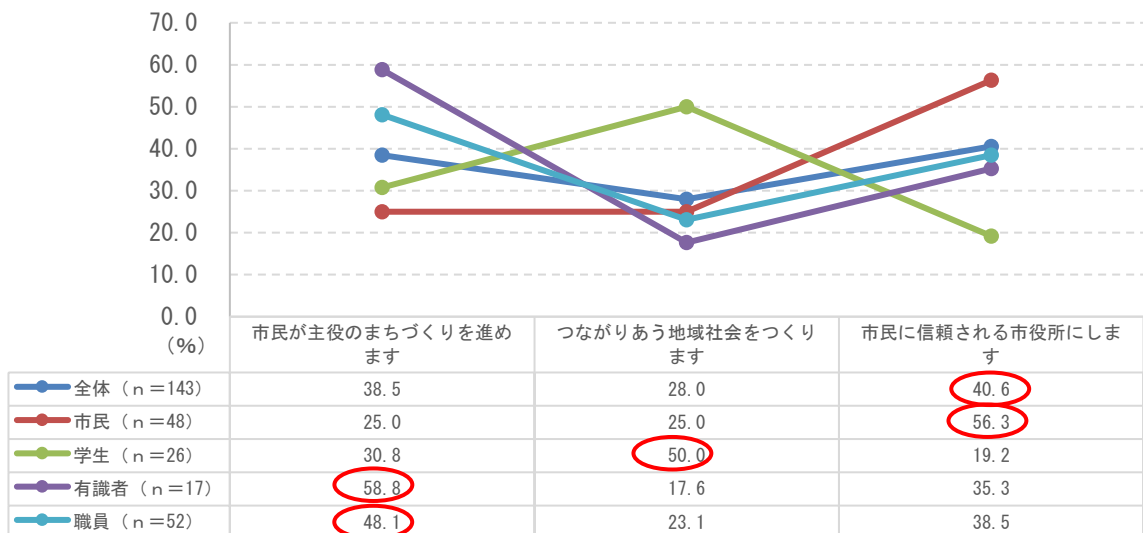
○ 最大値

(8) 基本構想の推進 (つながる + 創造する)

「H:基本構想の推進 (つながる + 創造する)」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、全体では「H-3:市民に信頼される市役所にします」が最も多く、属性別での相違は学生が「H-2:つながりあう地域社会をつくります」が最も多く、有識者・職員は「H-1:市民が主役のまちづくりを進めます」が最も多くなっている。

本まちづくりの方針に関する施策への回答率は6.9%となっている。

図表Ⅱ-3-8：基本構想の推進 (つながる + 創造する) の優先施策



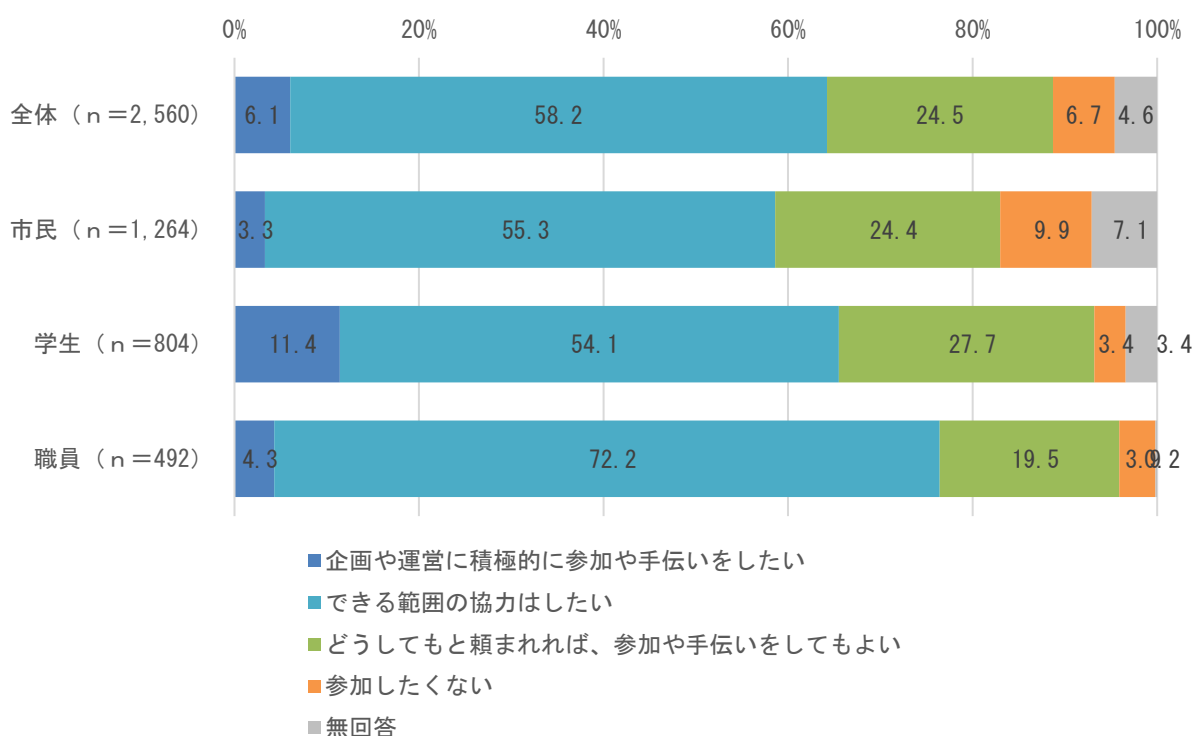
○ 最大値

4. 地域活動への参加

(1) 地域活動、市民活動に対する考え方

地域活動、市民活動に対する考え方として、全体では「できる範囲の協力はしたい」が58.2%で最も多く、次いで「どうしてもと頼まれれば、参加や手伝いをしてもよい」が24.5%、「参加したくない」が6.7%、「企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい」が6.1%と続いている。属性別での大きな相違は見られず、積極的な参加の意向はうかがえない。

図表Ⅱ-4-1：地域活動、市民活動に対する考え方

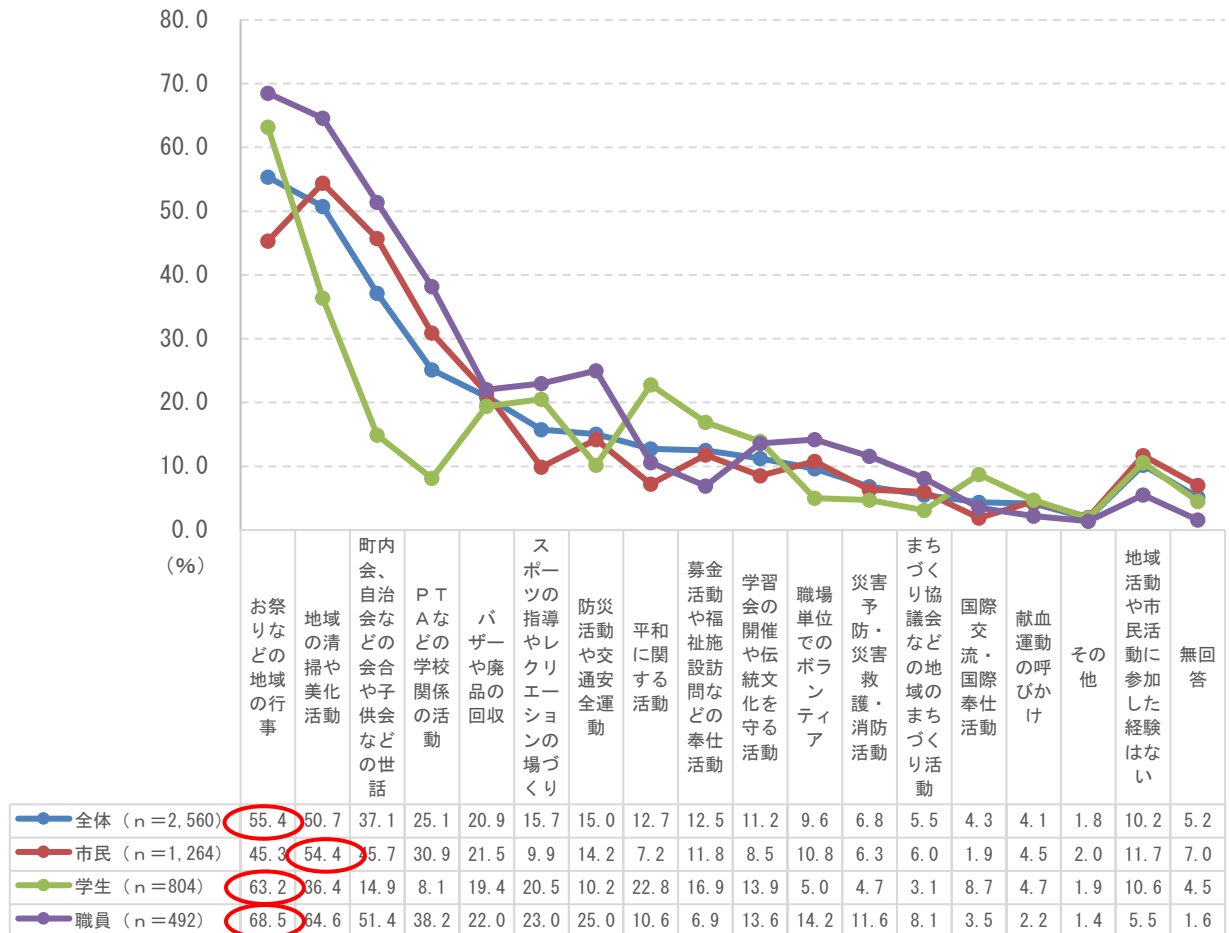


(2) 地域活動、市民活動の経験

地域活動、市民活動の経験は、全体では「お祭りなどの地域の行事」が55.4%で最も多く、次いで「地域の清掃や美化活動」が50.7%、「町内会、自治会などの会合や子供会などの世話」が37.1%と続いている一方、「地域活動や市民活動に参加した経験はない」が10.2%あった。

属性別では、市民と学生・職員の間で上位項目の順番の入れ替わりがあるものの、参加内

図表Ⅱ-4-2：地域活動、市民活動の経験



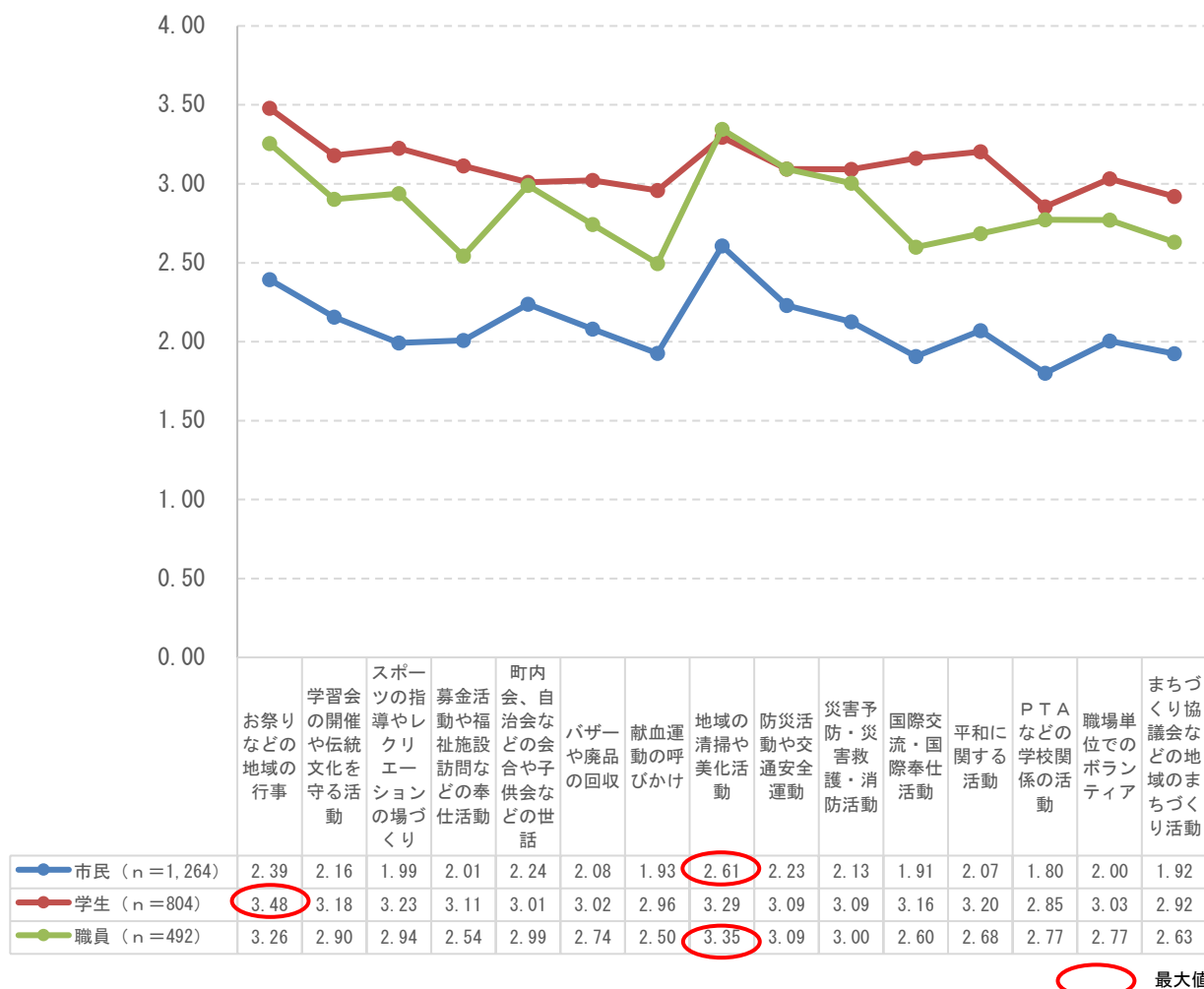
○ 最大値

(3) 地域活動、市民活動への参加意向

地域活動、市民活動への参加意向を平均スコア化してみると、市民は「地域の清掃や美化活動」が2.61で最も多く、次いで「お祭りなどの地域の行事」が2.39、「町内会、自治会などの会合や子供会などの世話」が2.24と続いている。

学生は「お祭りなどの地域の行事」が3.48で最も多く、次いで「地域の清掃や美化活動」が3.29、「スポーツの指導やレクリエーションの場づくり」が3.23と続いており、職員は「地域の清掃や美化活動」が3.35で最も多く、次いで「お祭りなどの地域の行事」が3.26、「防災活動や交通安全運動」が3.09と続いている。

図表Ⅱ-4-3：地域活動、市民活動への参加意向



※平均スコアの求め方は以下の通り

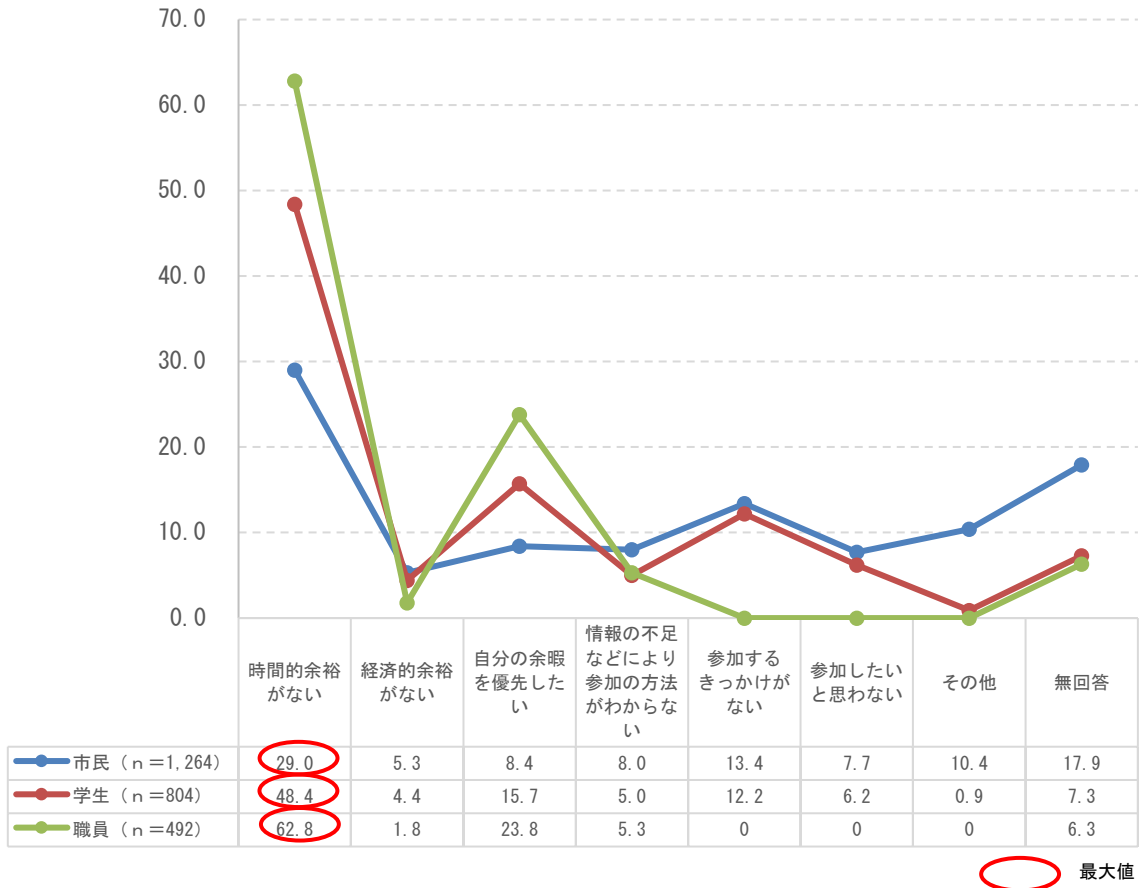
$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「積極的に参加したい」} \times 5 + \text{「できれば参加したい」} \times 4 + \text{「参加してもよい」} \times 3 + \text{「できれば参加したくない」} \times 2 + \text{「参加したくない」} \times 1}{\text{全回答者数}}$$

(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁

地域活動、市民活動への参加の障壁は、属性にかかわらず「時間的余裕がない」がトップとなっている。

※職員の設問には「参加するきっかけがない」「参加したいと思わない」「その他」の項目が該当しないため0表示

図表Ⅱ-4-4：地域活動、市民活動への参加の障壁



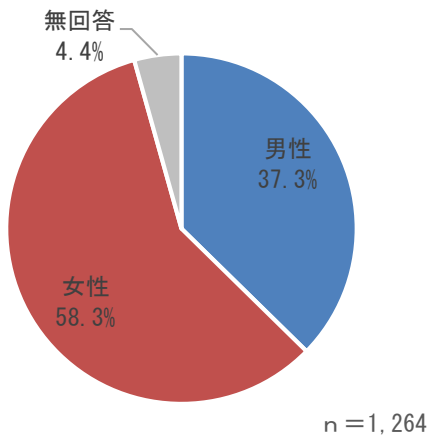
Ⅲ. 調查結果（市民編）

Ⅲ. 調査結果（市民編）

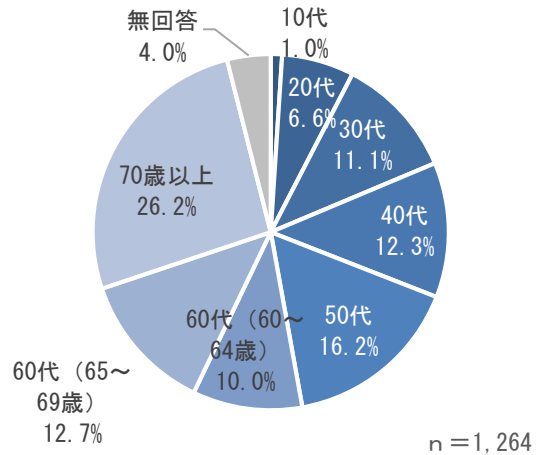
1. 属性

回答者の基本的属性を「性別」「年代別」「家族構成」「同居家族」「職業」「勤務先」「住居種類」「居住年数」「居住地」の別で示すと、その内訳は以下の通り。

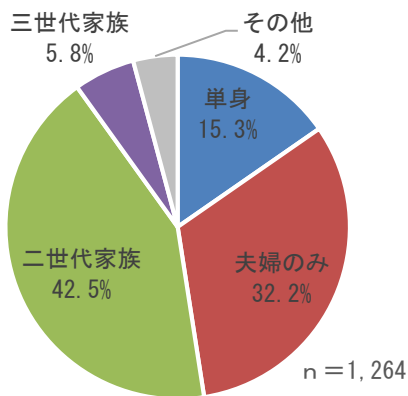
図表Ⅲ-1-1：性別



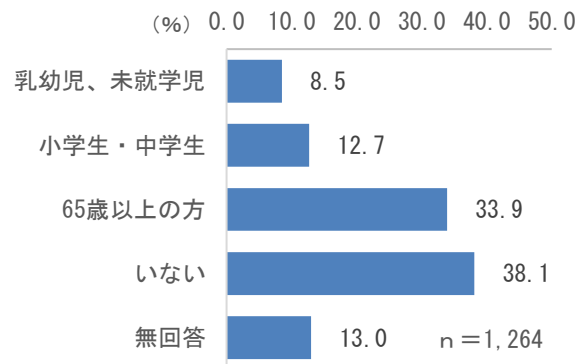
図表Ⅲ-1-2：年代別



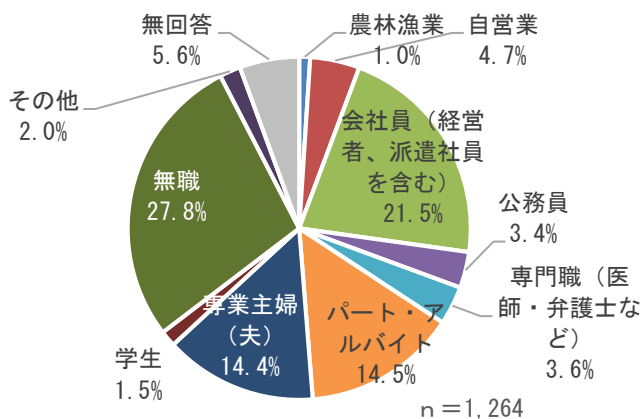
図表Ⅲ-1-3：家族構成



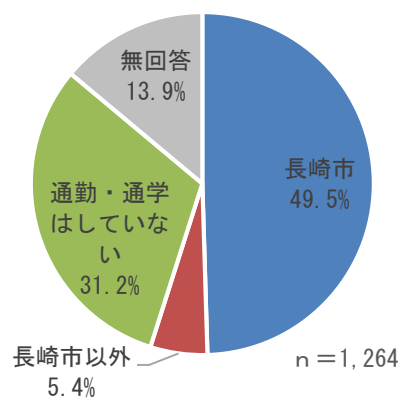
図表Ⅲ-1-4：同居家族



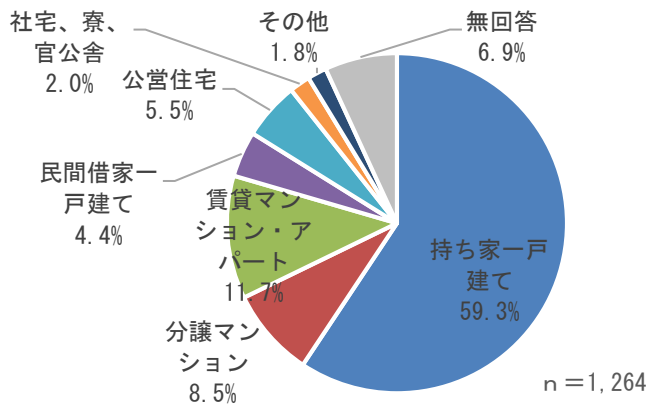
図表Ⅲ-1-5：職業



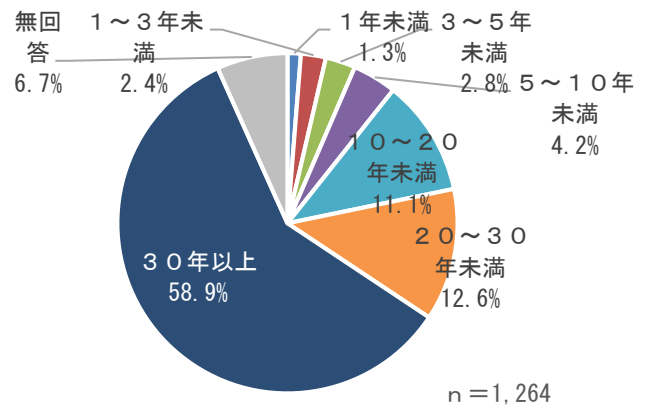
図表Ⅲ-1-6：勤務先



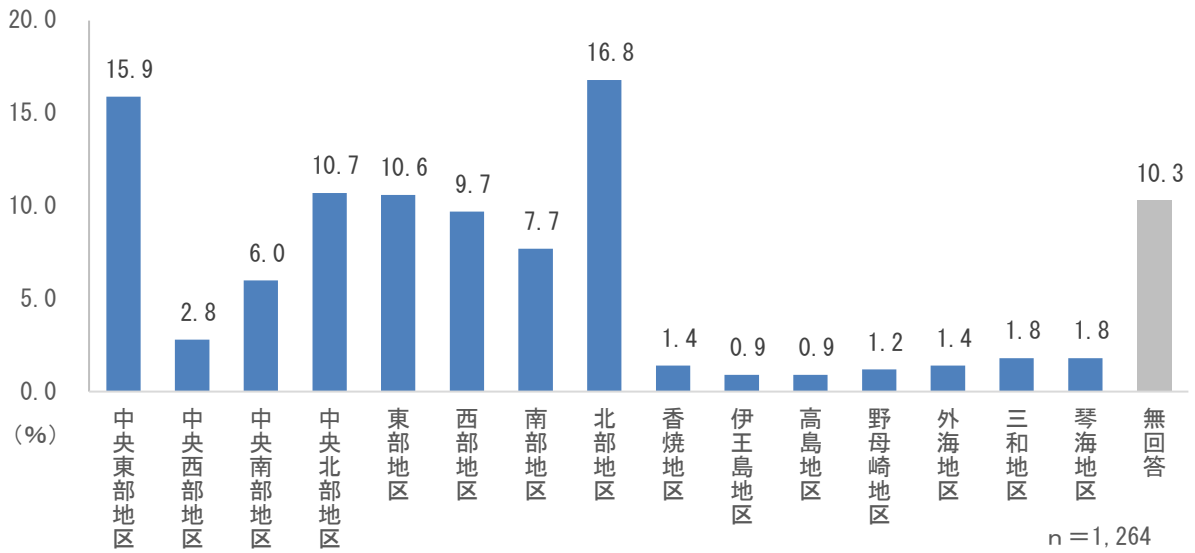
図表Ⅲ-1-7：住宅種類



図表Ⅲ-1-8：居住年数



図表Ⅲ-1-9：居住地



2. 設問回答

(1) 長崎市の住みやすさ

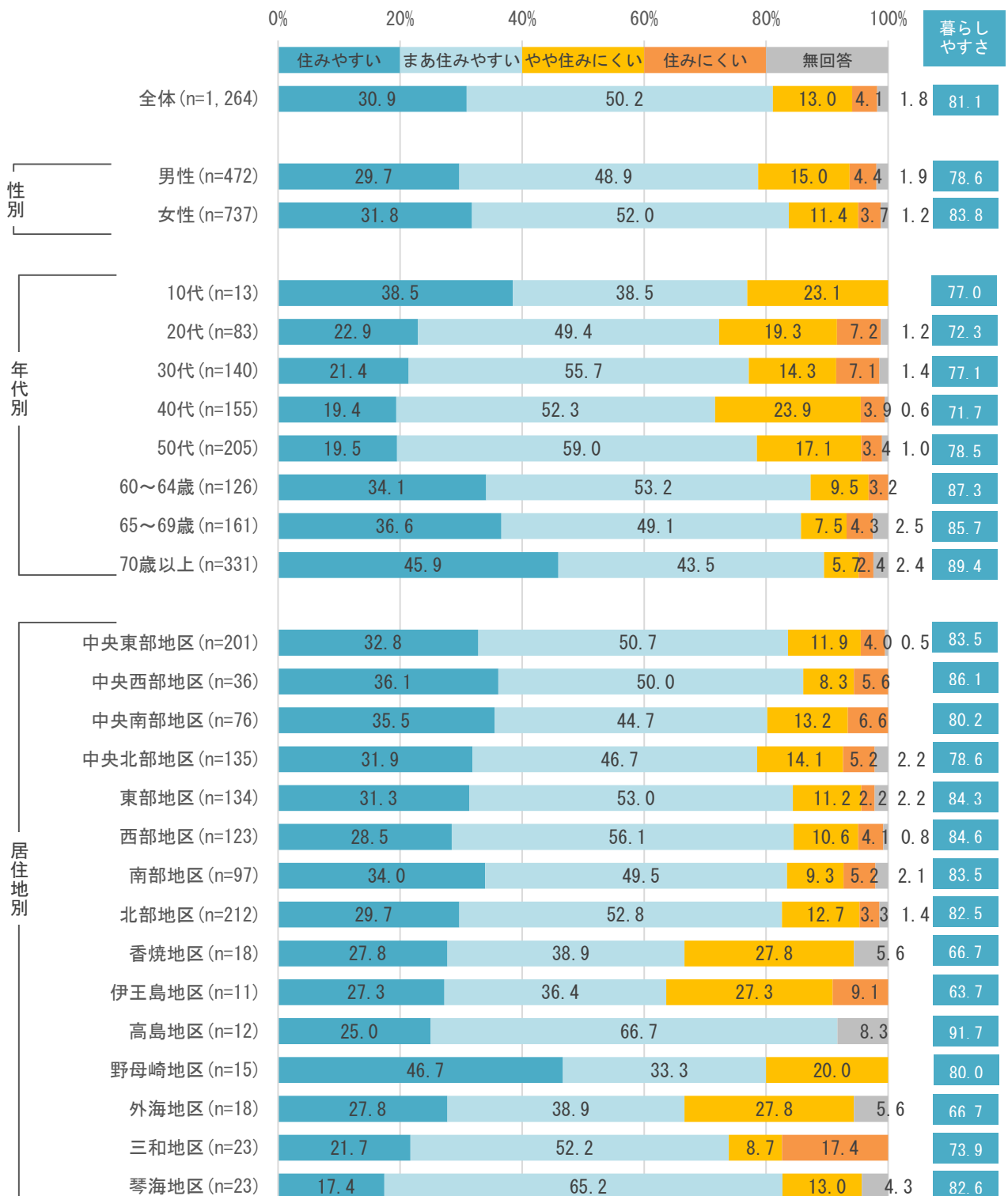
長崎市の住みやすさについて「暮らしやすい」は全体で81.1%となっており、性別では女性が男性よりも「暮らしやすい」と回答している。

年代別では年代の上昇に伴い「暮らしやすい」の割合が高くなっており、50歳代をラインに分かれている。全年代で7~8割以上が「暮らしやすい」と回答している。

地域別ではややバラツキが見られ、「香焼地区」「伊王島地区」「外海地区」が60%台と低くなっている。

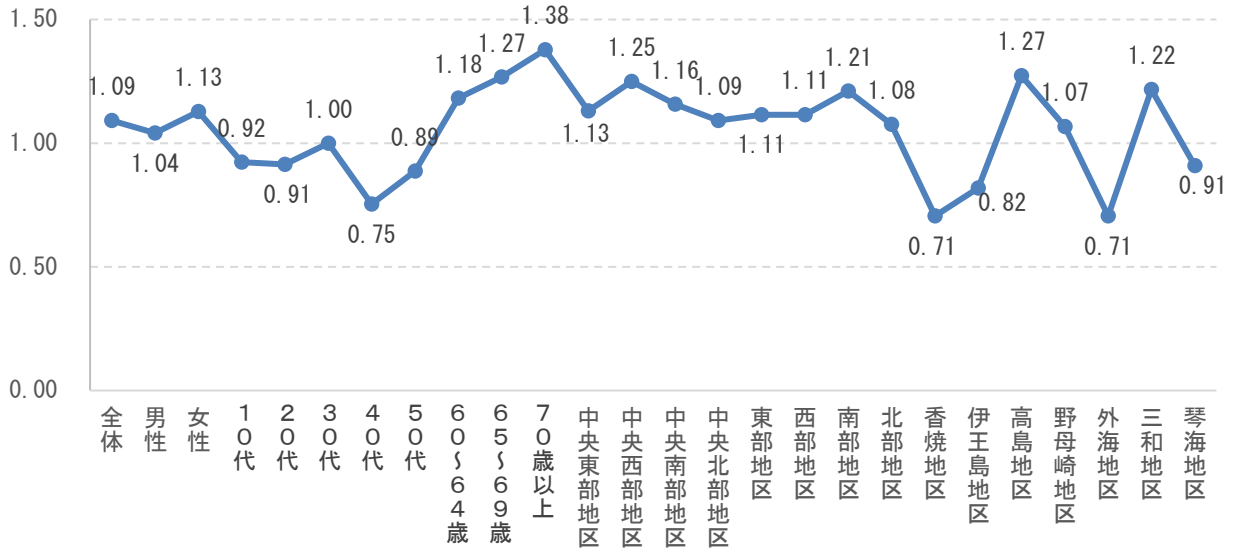
※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様。

図表Ⅲ-2-1：長崎市の住みやすさ

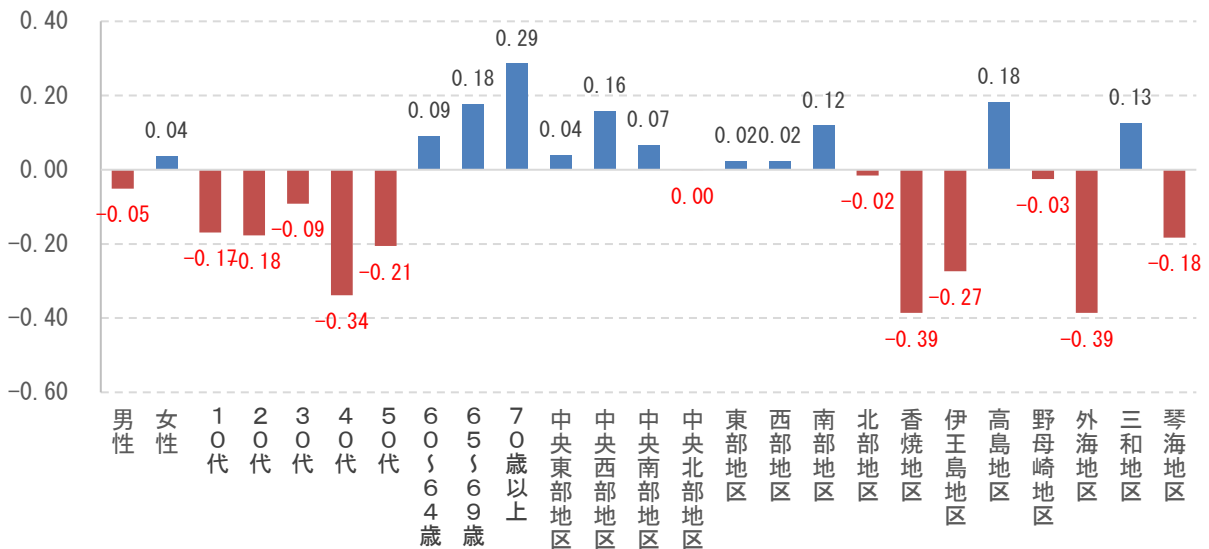


長崎市の住みやすさを平均スコアで見ると性別では「男性」、年代別では10～50代、地域別では「中央北部地区」「北部地区」「香焼地区」「伊王島地区」「野母崎地区」「外海地区」「琴海地区」の7地域で全体の平均スコアを下回っている。

図表Ⅲ-2-2：長崎市の住みやすさ平均スコア



図表Ⅲ-2-3：長崎市の住みやすさ平均スコア差



以降、平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「住みやすい」} \times 2 + \text{「まあ住みやすい」} \times 1 + \text{「やや住みにくい」} \times -1 + \text{「住みにくい」} \times -2}{\text{全回答者数} - \text{無回答者数}}$$

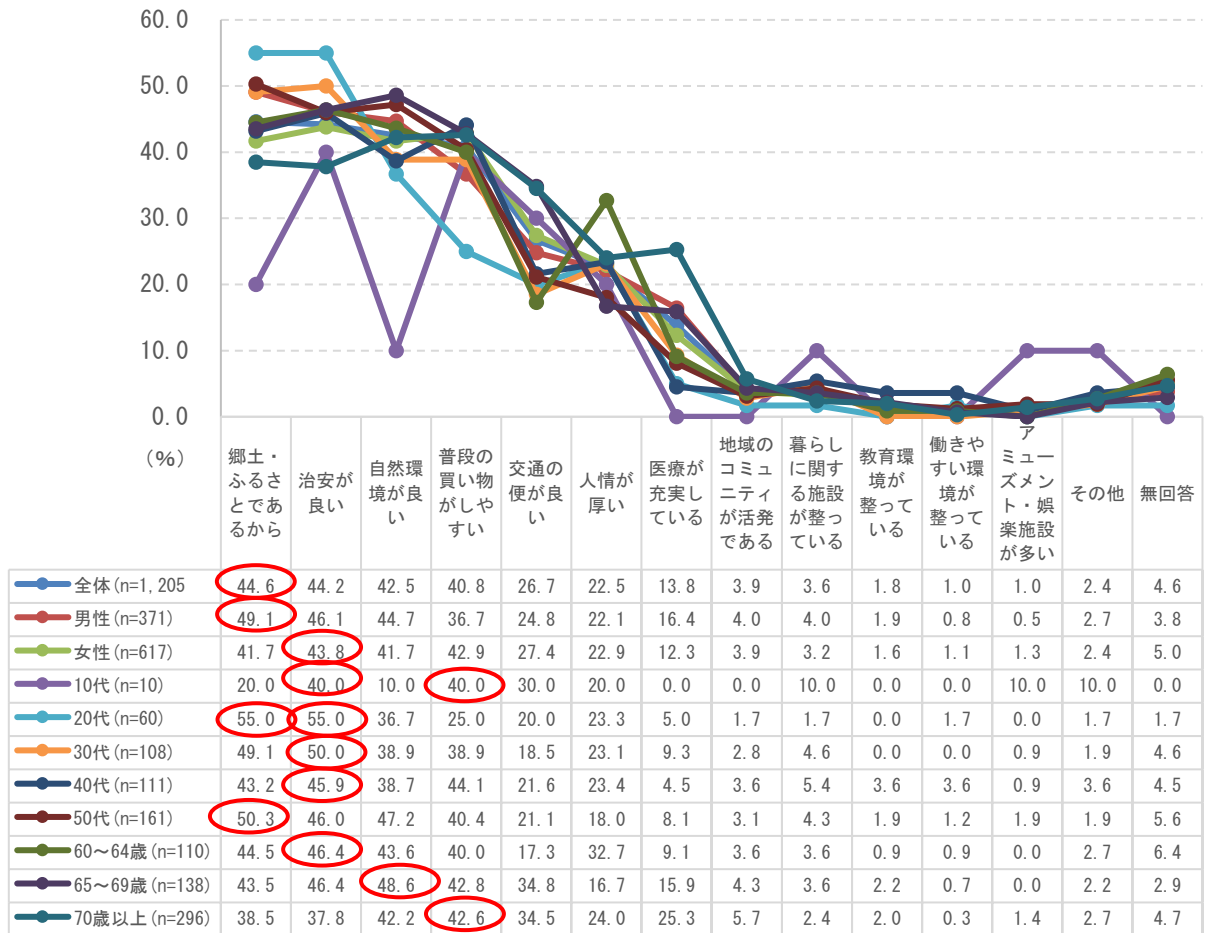
(2) 暮らしやすい理由

「暮らしやすい」と回答した理由は、性別・年代でバラツキが見られ「郷土・ふるさとであるから」が最も多いのは「男性」「20代」「50代」、「治安が良い」が最も多いのは「女性」「10～40代」「60～64歳」、「自然環境が良い」が最も多いのは「65～69歳」、「普段の買い物がしやすい」が最も多いのは「10代」「70歳以上」となっている。

また、偏差値での比較を行うと「郷土・ふるさとであるから」「治安が良い」「自然環境が良い」「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」「人情が良い」の6項目で平均以上の評価がされている。

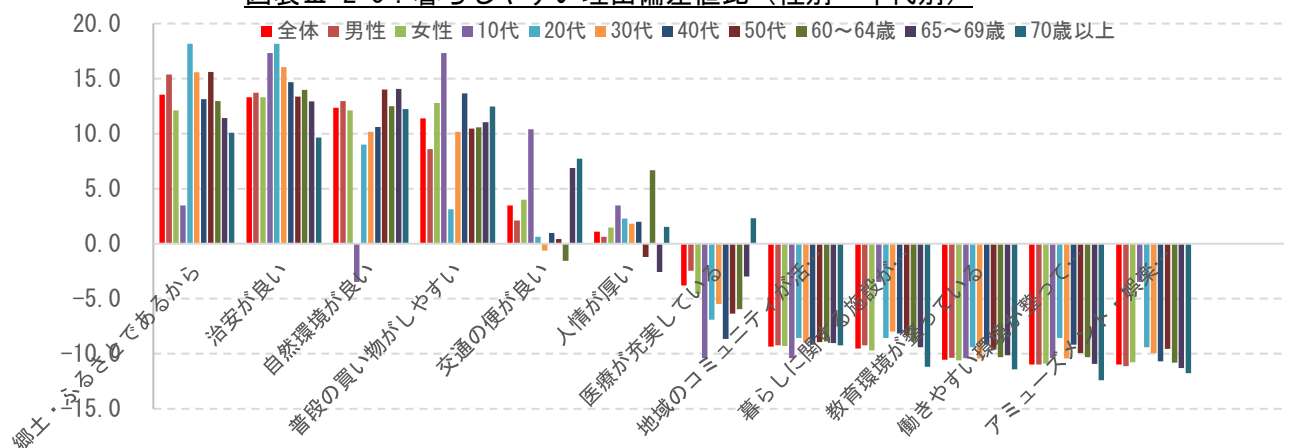
※母数が小さい区分は参考程度とする必要がある

図表Ⅲ-2-4：長崎市の暮らしやすい理由（性別・年代別）



○ 最大値

図表Ⅲ-2-5：暮らしやすい理由偏差値比（性別・年代別）



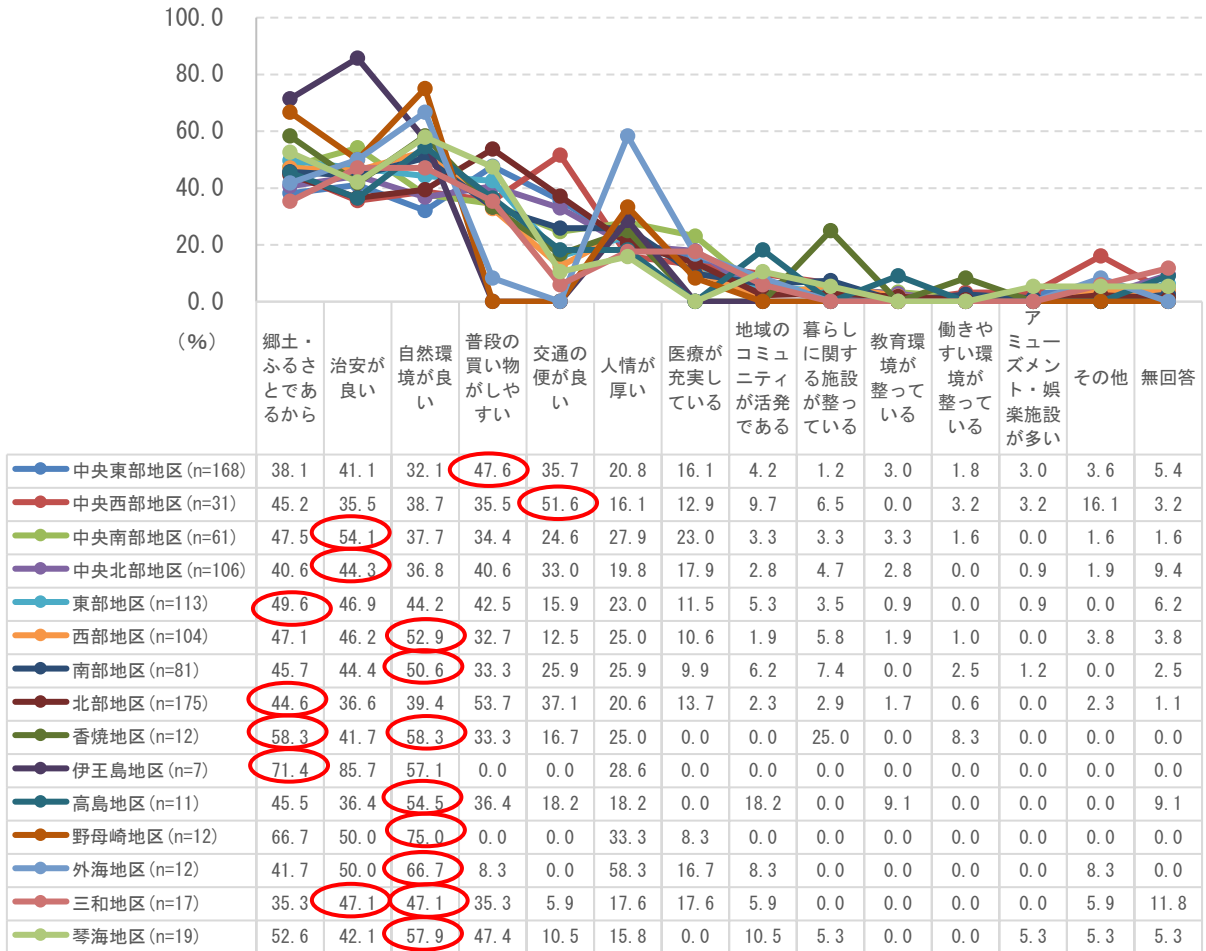
※偏差値はその他・無回答を除き算出している（以降同様）

「暮らしやすい」と回答した理由は、「郷土・ふるさとであるから」が最も多いのは「東部地区」「北部地区」「香焼地区」「伊王島地区」、「治安が良い」が最も多いのは「中央南部地区」「中央北部地区」「三和地区」、「自然環境が良い」が最も多いのは「西部地区」「南部地区」「香焼地区」「高島地区」「野母崎地区」「外海地区」「三和地区」「琴海地区」、「普段の買い物がしやすい」が最も多いのは「中央東部地区」、「交通の便が良い」が最も多いのは「中央西部地区」となっている。

また、偏差値での比較を行うと「郷土・ふるさとであるから」「治安が良い」「自然環境が良い」「普段の買い物がしやすい」の4項目で平均以上の評価がされている。

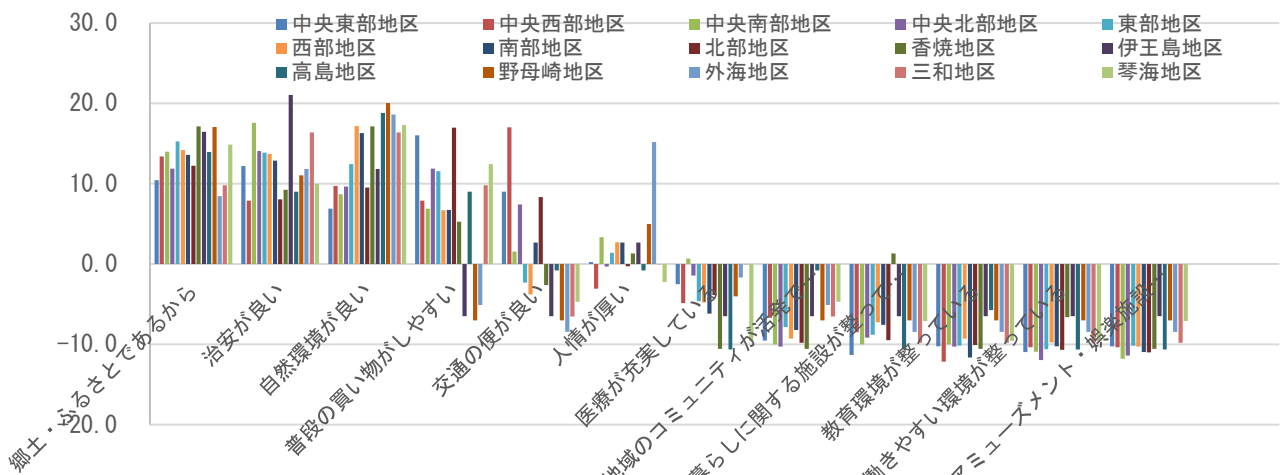
※母数が小さい区分は参考程度とする必要がある

図表Ⅲ-2-6：長崎市の暮らしやすい理由（居住地別）



○ 最大値

図表Ⅲ-2-7：暮らしやすい理由偏差値比（居住地別）



(3) 暮らしにくい理由

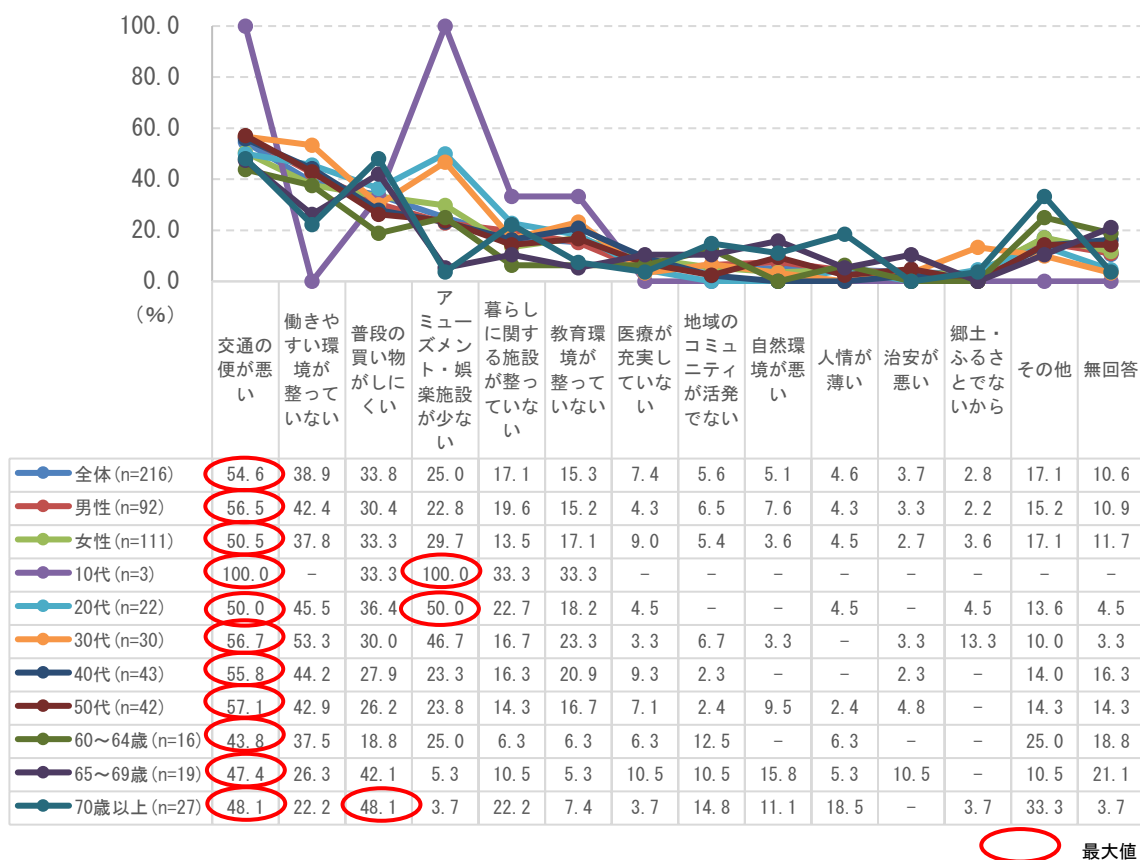
「暮らしにくい」理由は、全ての属性で「交通の便が悪い」が最も多く、「10～20代」で「アミューズメント・娯楽施設が少ない」、「70歳以上」で「普段の買い物がしにくい」が同率で1位となっている。

また、偏差値での比較を行うと「交通の便が悪い」「働きやすい環境が整っていない」「普段の買い物がしにくい」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」の4項目が暮らしにくい理由と評価がされている。

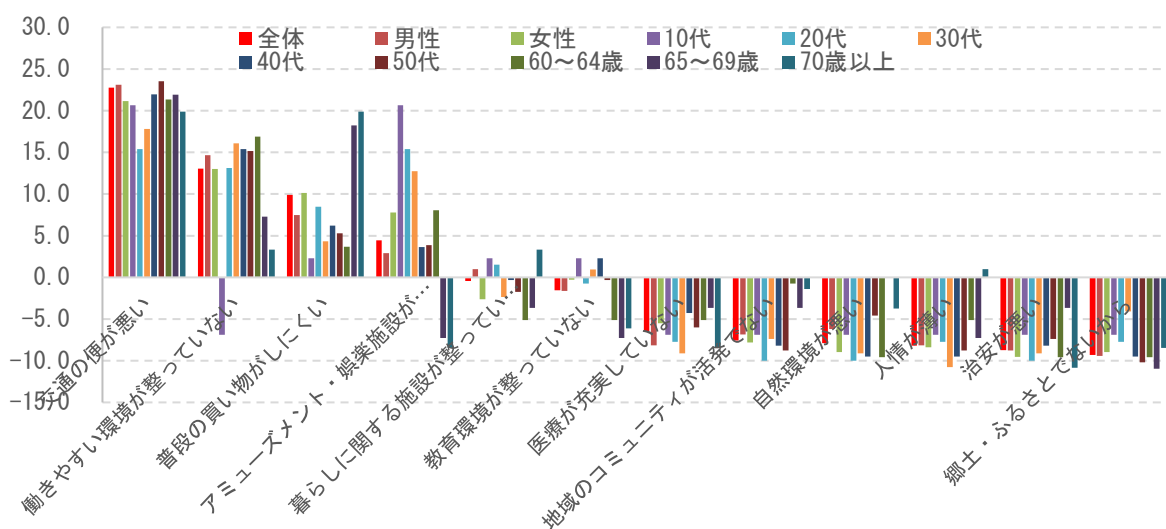
※暮らしにくい＝「やや暮らしにくい」＋「暮らしにくい」以降同様。

※母数が小さい区分は参考程度とする必要がある

図表Ⅲ-2-8：長崎市の暮らしにくい理由（性別・年代別）



図表Ⅲ-2-9：暮らしにくい理由偏差値比較（性別・年代別）

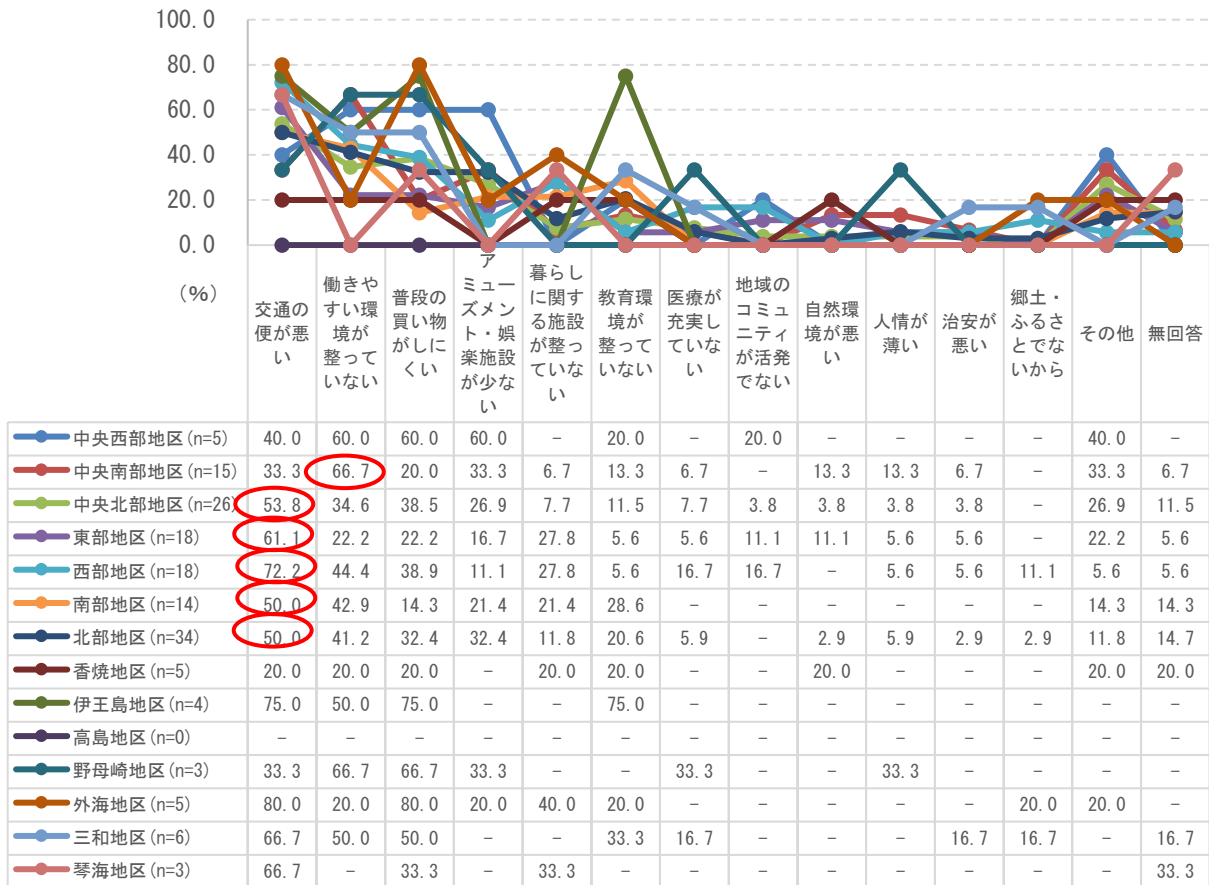


居住地別の「暮らしにくい」理由は、「交通の便が悪い」が最も多いのは「中央北部地区」「東部地区」「西部地区」「南部地区」「北部地区」、「働きやすい環境が整っていない」が最も多いのは「中央南部地区」となっている。

また、偏差値での比較を行うと「交通の便が悪い」「働きやすい環境が整っていない」「普段の買い物がしにくい」の3項目が住みにくい理由と評価がされている。

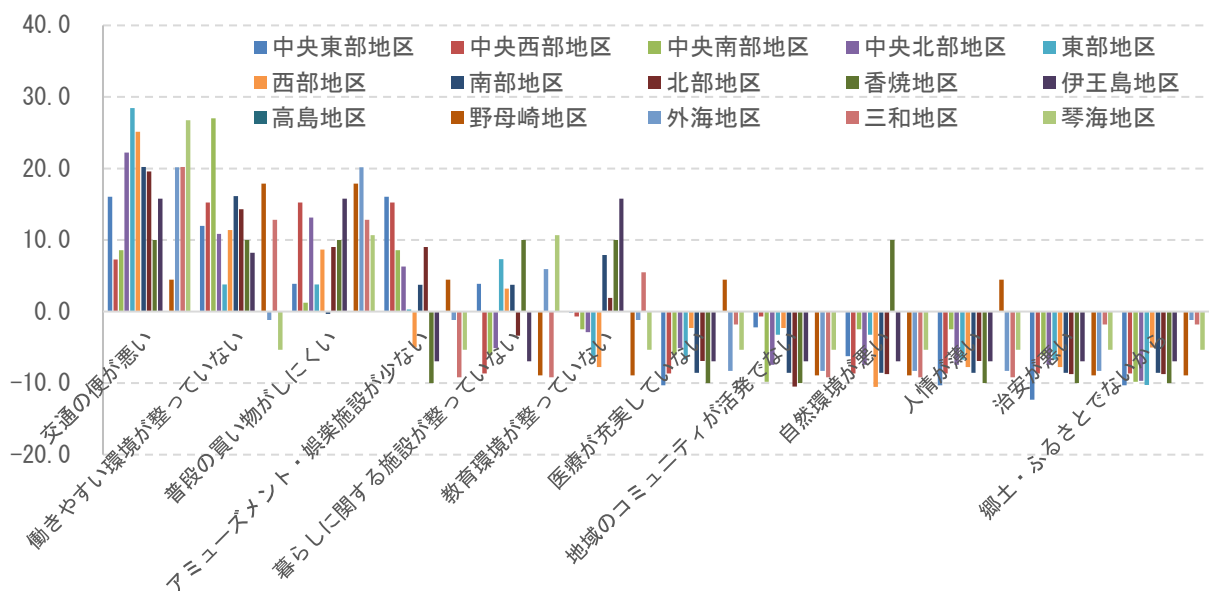
※中央西部地区と香焼地区以下は母数が小さいため、評価の対象としていない。

図表Ⅲ-2-10：長崎市の暮らしにくい理由（居住地別）



図表Ⅲ-2-11：暮らしにくい理由偏差値比較（居住地別）

○ 最大値



(4) 長崎市への継続居住意向

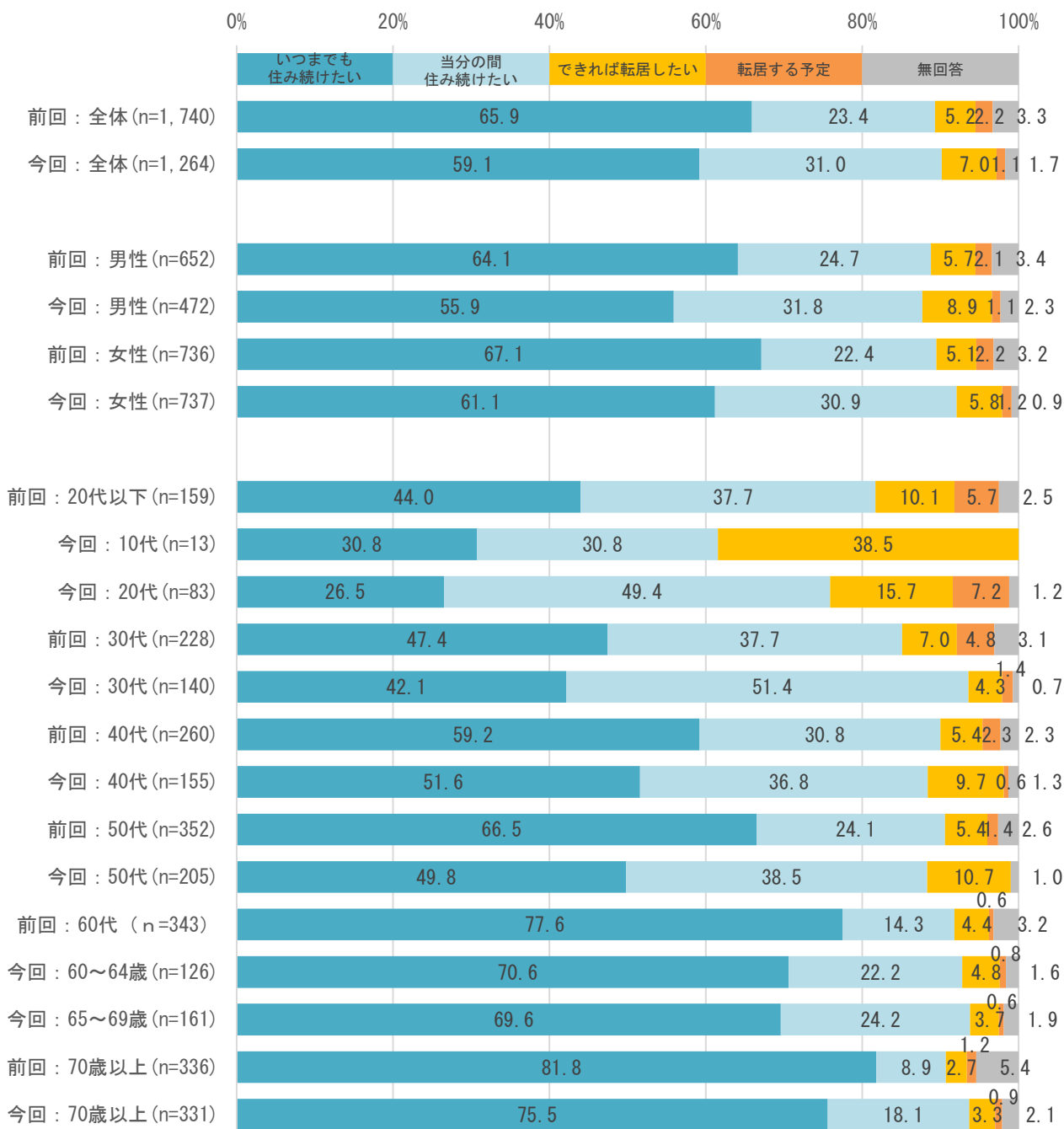
長崎市への継続居住意向は、「住み続けたい」が90.1%と前回調査よりも0.8ポイント増加しているが、「いつまでも住み続けたい」は6.8ポイント減少となった。

性別で女性は全体と同様の結果であったが、男性は「住み続けたい」が前回調査よりも1.1ポイント減少している。

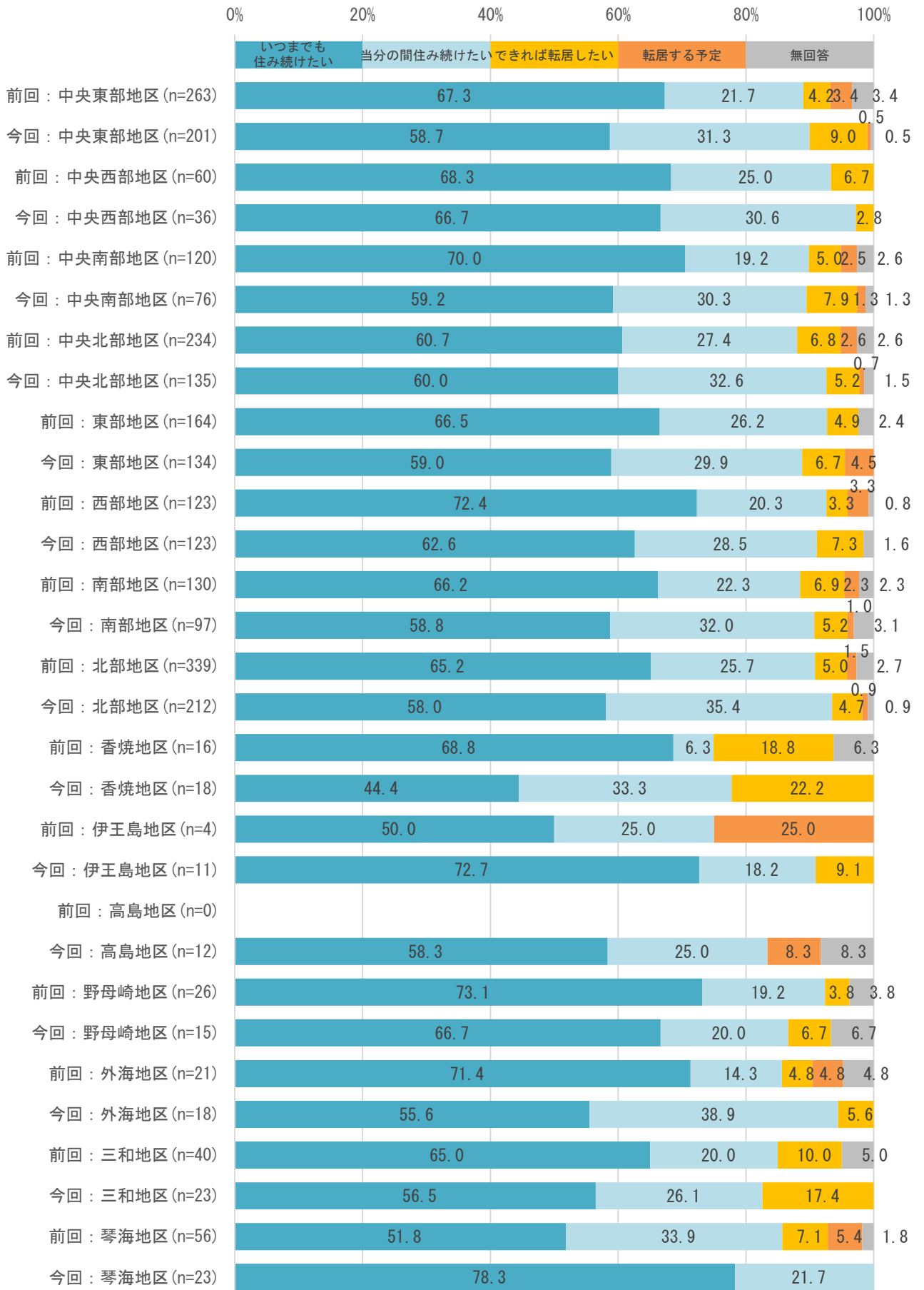
年代別では20代以下、40～50代で「住み続けたい」が前回調査よりも減少しており、同様に、居住地域別では「東部地区」「西部地区」「野母崎地区」「三和地区」で「住み続けたい」が前回調査よりも減少している。

※「住み続けたい」＝「いつまでも住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」以降同様。

図表Ⅲ-2-12：長崎市への継続居住意向（性別・年代別）



図表Ⅲ-2-13：長崎市への継続居住意向（居住地別）

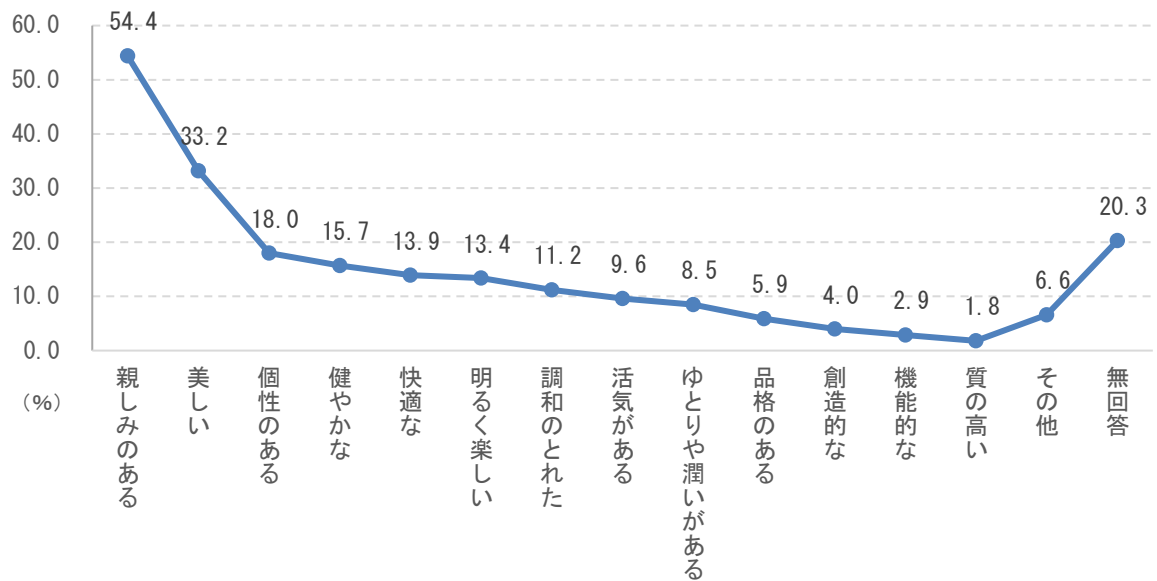


(5) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード

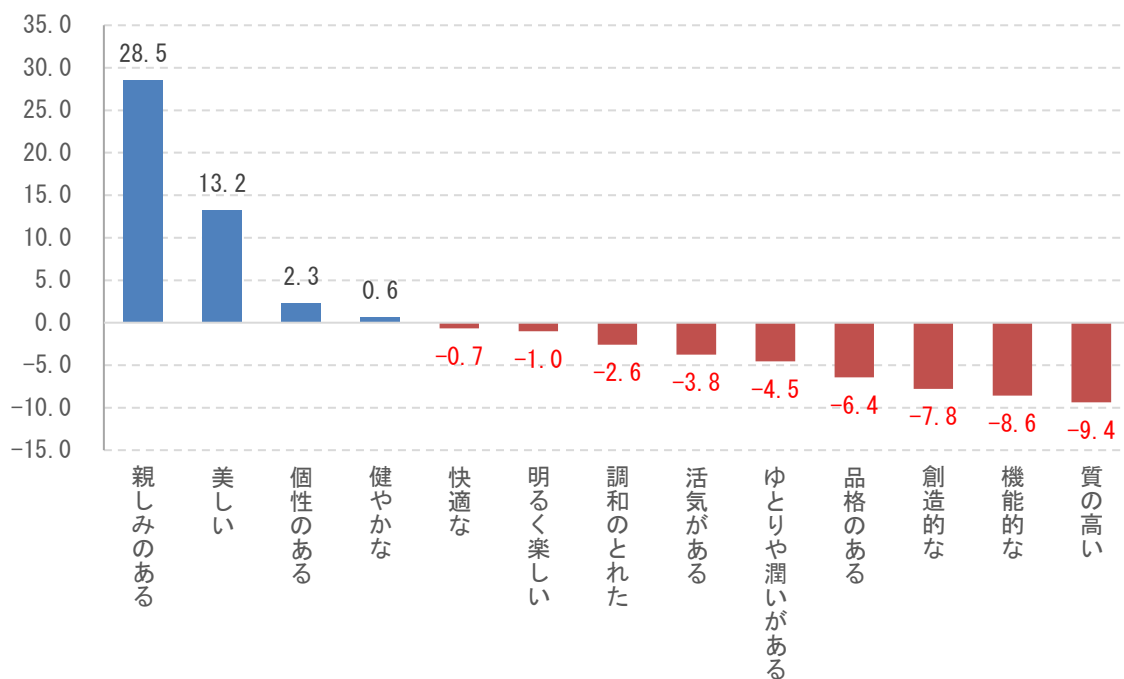
現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワードは「親しみのある」が54.4%で最も多く、次いで「美しい」が33.2%、「個性的な」が18.0%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「親しみのある」「美しい」「個性のある」「健やかな」の4項目は平均以上となっており、現在の長崎市にふさわしいイメージと認識されている。

図表Ⅲ-2-14：現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード



図表Ⅲ-2-15：現在の長崎市のイメージ偏差値比較

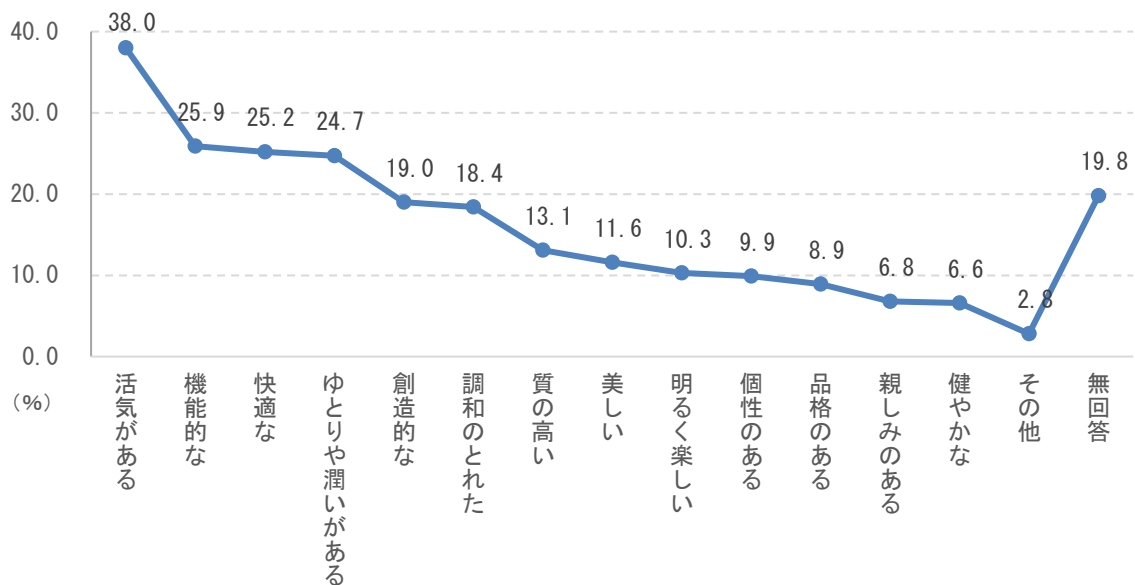


(6) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード

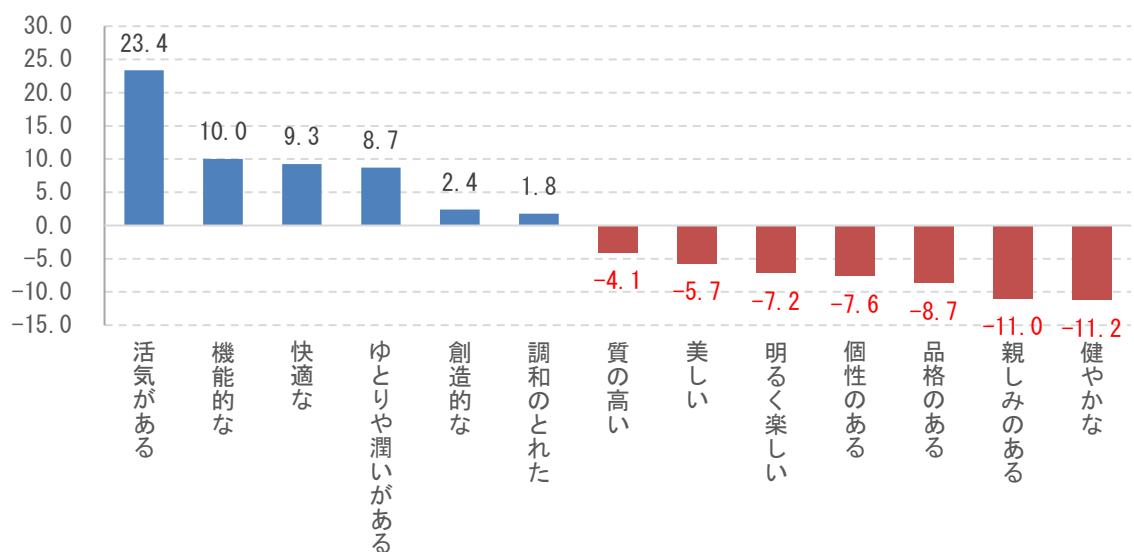
将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワードは「活気がある」が38.0%で最も多く、次いで「機能的な」が25.9%、「快適な」が25.2%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「活気がある」「機能的な」「快適な」「ゆとりや潤いがある」「創造的な」「調和のとれた」の6項目は平均以上となっており、将来の都市づくりにふさわしいイメージと認識されている。

図表Ⅲ-2-16：将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード



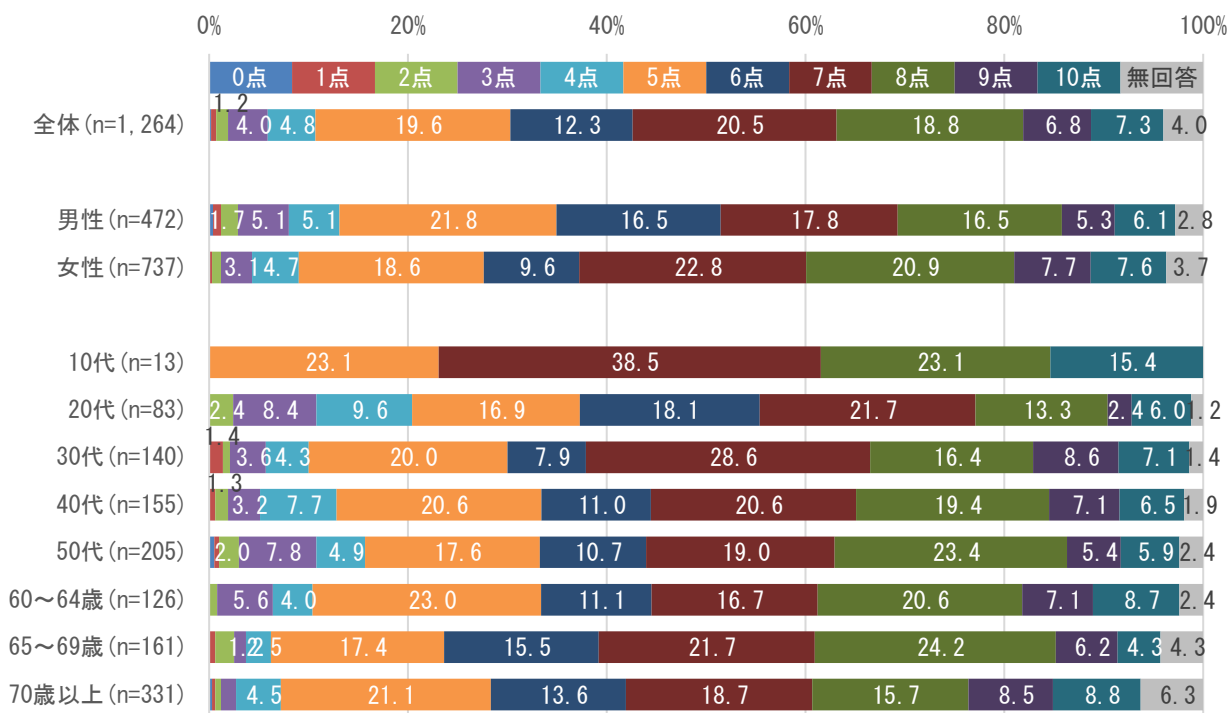
図表Ⅲ-2-17：将来の都市づくりのイメージ偏差値比較



(7) 現在の幸福感

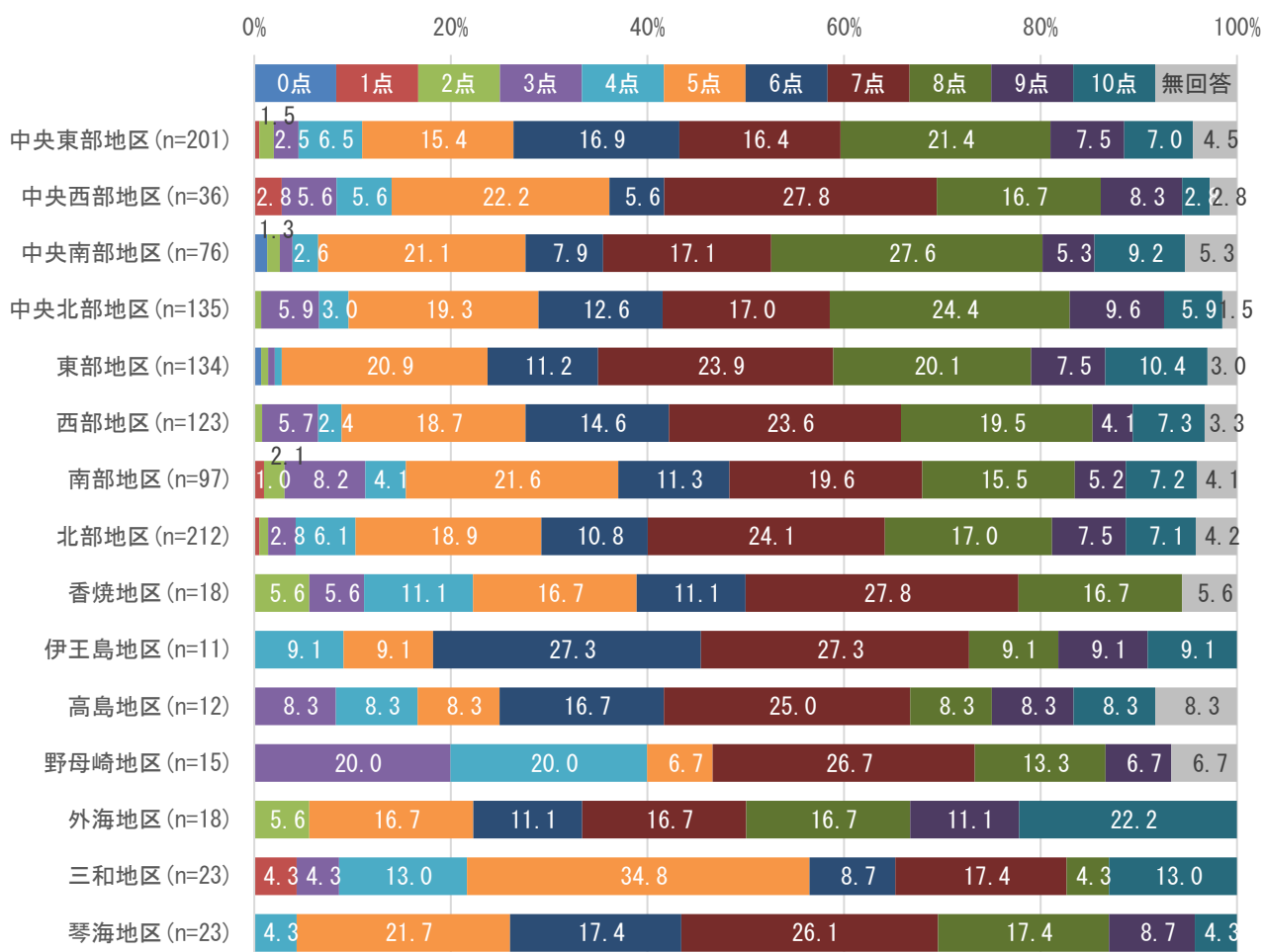
現在の幸福感を10点満点で表したところ、全体で「6点」以上の割合は65.7%となっており、これを下回ったのは性別で「男性」、年代別では「20代」「40～64歳」「70歳以上」、居住地別では「中央西部地区」「南部地区」「香焼地区」「野母崎地区」「三和地区」となっており、特に、三和地区は43.4%と5割を切っている。

図表Ⅲ-2-18：現在の幸福感（性別・年代別）



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (n=1,264)	0.2	0.5	1.2	4.0	4.8	19.6	12.3	20.5	18.8	6.8	7.3	4.0
男性 (n=472)	0.4	0.8	1.7	5.1	5.1	21.8	16.5	17.8	16.5	5.3	6.1	2.8
女性 (n=737)		0.3	0.9	3.1	4.7	18.6	9.6	22.8	20.9	7.7	7.6	3.7
10代 (n=13)						23.1		38.5	23.1		15.4	
20代 (n=83)			2.4	8.4	9.6	16.9	18.1	21.7	13.3	2.4	6.0	1.2
30代 (n=140)		1.4	0.7	3.6	4.3	20.0	7.9	28.6	16.4	8.6	7.1	1.4
40代 (n=155)		0.6	1.3	3.2	7.7	20.6	11.0	20.6	19.4	7.1	6.5	1.9
50代 (n=205)	0.5	0.5	2.0	7.8	4.9	17.6	10.7	19.0	23.4	5.4	5.9	2.4
60～64歳 (n=126)			0.8	5.6	4.0	23.0	11.1	16.7	20.6	7.1	8.7	2.4
65～69歳 (n=161)		0.6	1.9	1.2	2.5	17.4	15.5	21.7	24.2	6.2	4.3	4.3
70歳以上 (n=331)	0.3	0.3	0.6	1.5	4.5	21.1	13.6	18.7	15.7	8.5	8.8	6.3

図表Ⅲ-2-19：現在の幸福感（居住地別）

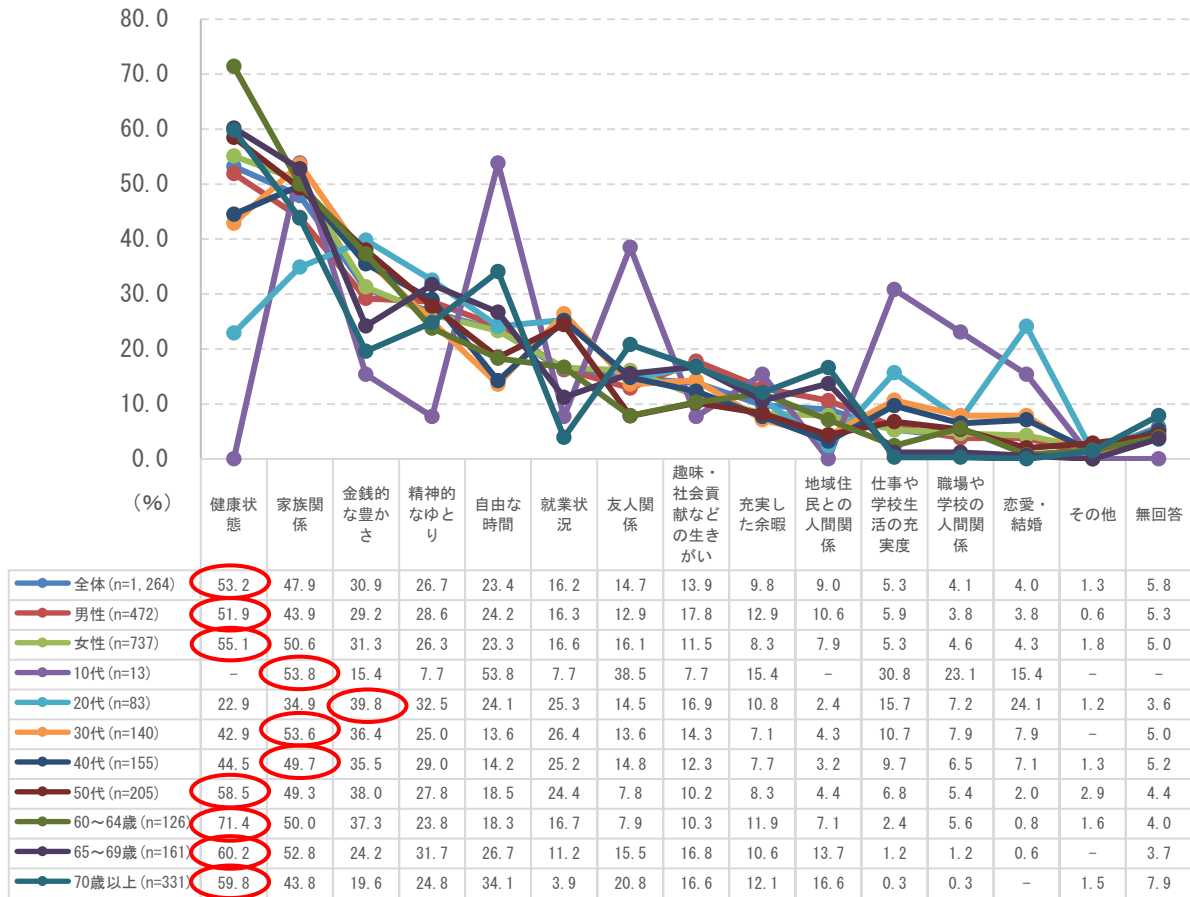


	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体(n=1,264)	0.2	0.5	1.2	4.0	4.8	19.6	12.3	20.5	18.8	6.8	7.3	4.0
中央東部地区(n=201)		0.5	1.5	2.5	6.5	15.4	16.9	16.4	21.4	7.5	7.0	4.5
中央西部地区(n=36)		2.8		5.6	5.6	22.2	5.6	27.8	16.7	8.3	2.8	2.8
中央南部地区(n=76)	1.3		1.3	1.3	2.6	21.1	7.9	17.1	27.6	5.3	9.2	5.3
中央北部地区(n=135)			0.7	5.9	3.0	19.3	12.6	17.0	24.4	9.6	5.9	1.5
東部地区(n=134)	0.7		0.7	0.7	0.7	20.9	11.2	23.9	20.1	7.5	10.4	3.0
西部地区(n=123)			0.8	5.7	2.4	18.7	14.6	23.6	19.5	4.1	7.3	3.3
南部地区(n=97)		1.0	2.1	8.2	4.1	21.6	11.3	19.6	15.5	5.2	7.2	4.1
北部地区(n=212)		0.5	0.9	2.8	6.1	18.9	10.8	24.1	17.0	7.5	7.1	4.2
香焼地区(n=18)			5.6	5.6	11.1	16.7	11.1	27.8	16.7			5.6
伊王島地区(n=11)					9.1	9.1	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1	
高島地区(n=12)				8.3	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3
野母崎地区(n=15)				20.0	20.0	6.7		26.7	13.3	6.7		6.7
外海地区(n=18)			5.6			16.7	11.1	16.7	16.7	11.1	22.2	
三和地区(n=23)		4.3		4.3	13.0	34.8	8.7	17.4	4.3		13.0	
琴海地区(n=23)					4.3	21.7	17.4	26.1	17.4	8.7	4.3	

幸福感を判断する際に重要視することを性別・年代別でみると「健康状態」が最も多いのは、性別で男女とも、年代別は「50代以上」、「家族関係」が最も多いのは「10代」「30～40代」、「金銭的な豊かさ」が最も多いのは「20代」となっている。

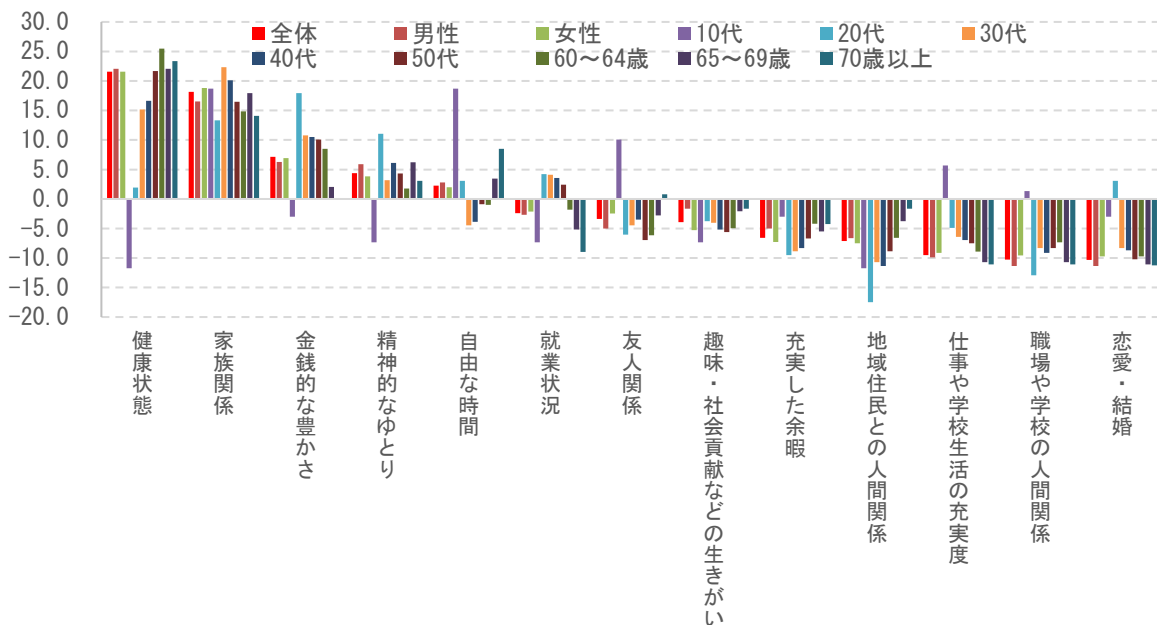
また、偏差値での比較を行うと、全ての属性において「家族関係」が重要視されていることがわかる。

図表Ⅲ-2-20：幸福感の判断に重要視すること（性別・年代別）



○ 最大値

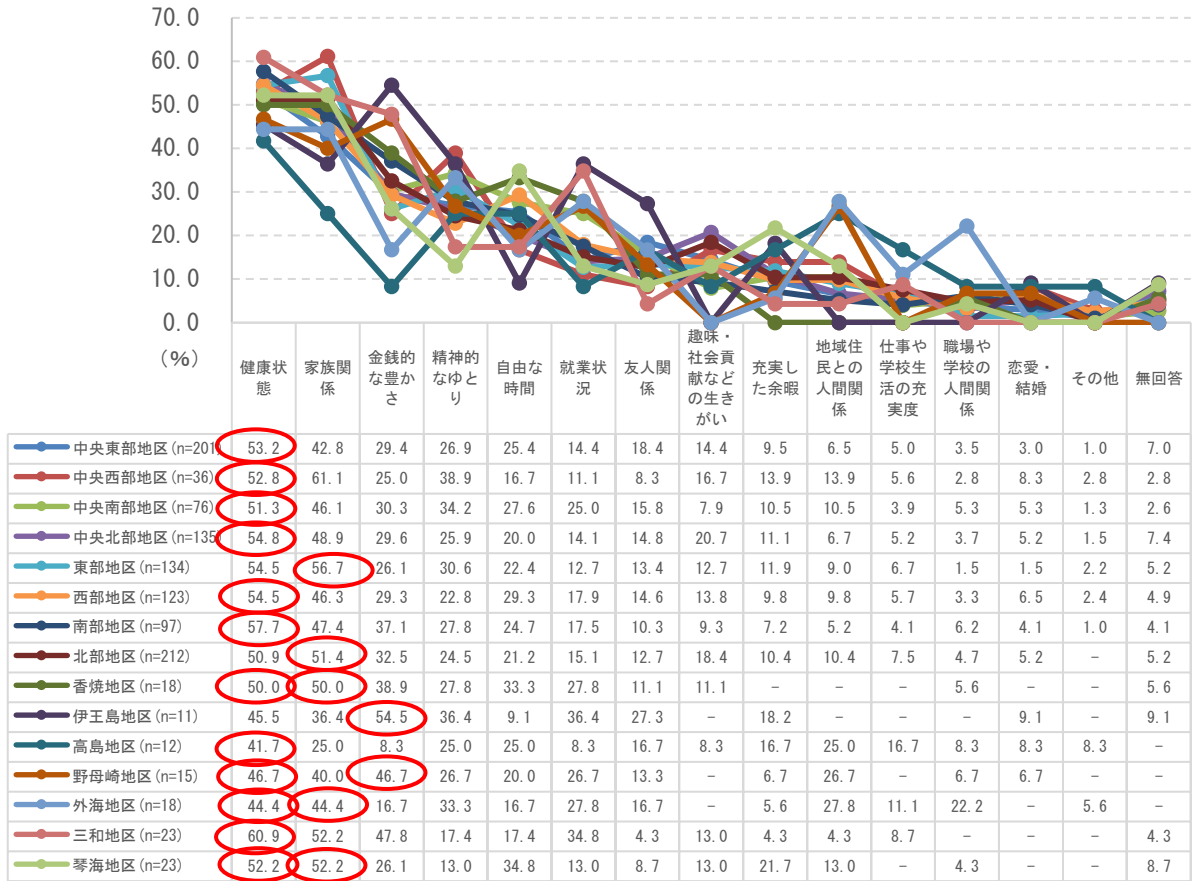
図表Ⅲ-2-21：幸福感の判断に重要視すること（性別・年代別）



幸福感を判断する際に重要視することを居住地別でみると「健康状態」が最も多いのは「東部地区」「北部地区」「伊王島地区」以外全ての地区、「家族関係」が最も多いのは「東部地区」「北部地区」「香焼地区」「外海地区」「琴海地区」、「金銭的な豊かさ」が最も多いのは「伊王島地区」「野母崎地区」となっている。

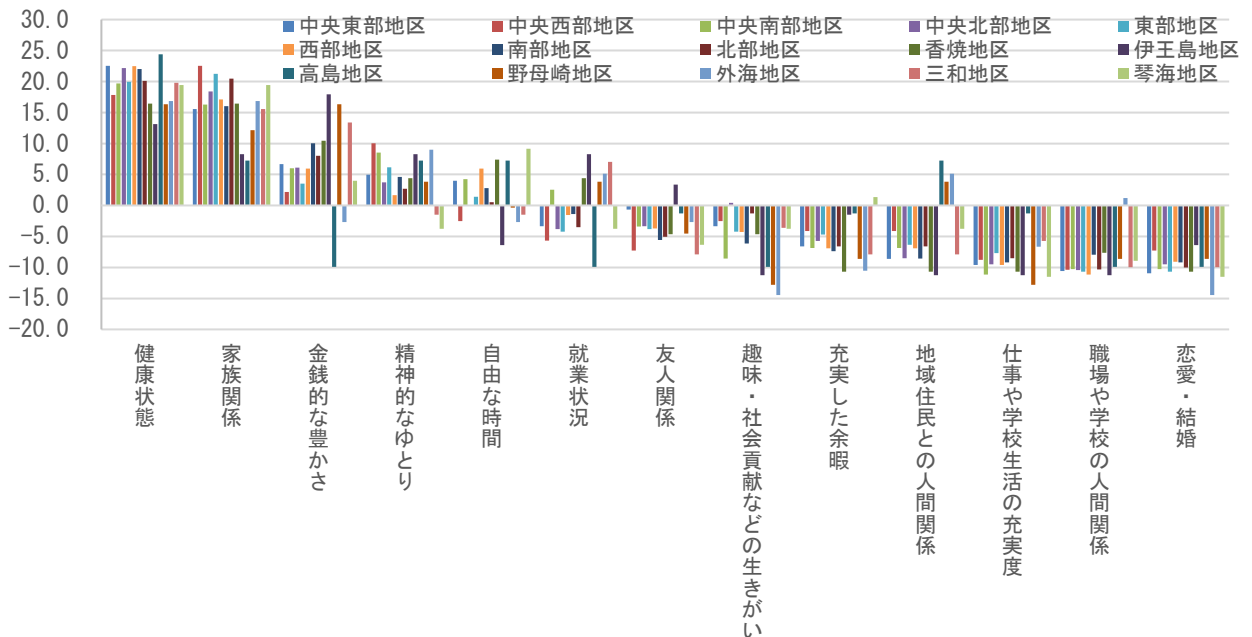
また、偏差値での比較を行うと、全ての属性において「健康状態」「家族関係」が重要視されていることがわかる。

図表Ⅲ-2-22：幸福感の判断に重要視すること（居住地別）



○ 最大値

図表Ⅲ-2-23：幸福感の判断に重要視すること（居住地別）

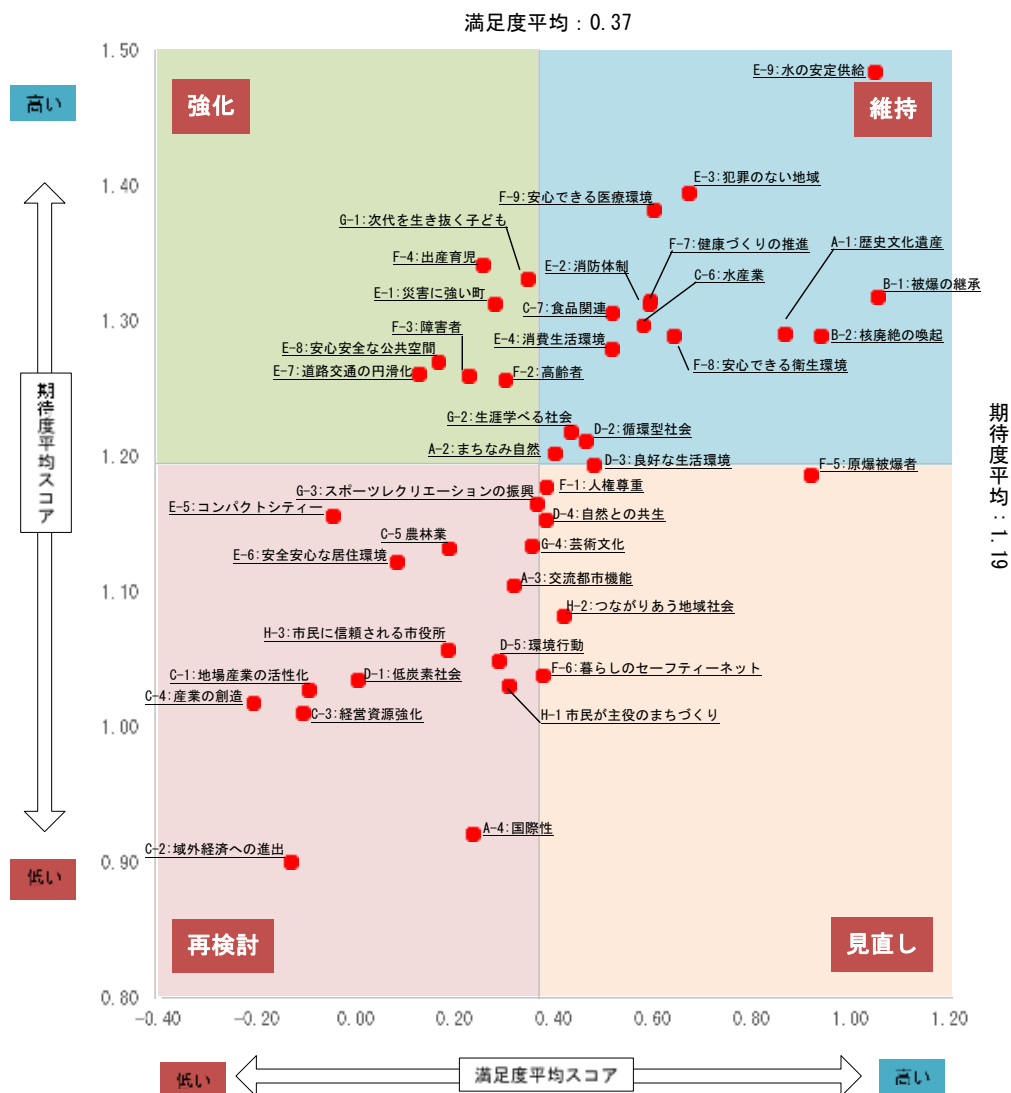


3. 施策評価分析

P11で行った平均スコアでの分類で期待度が高く、満足度が低い「強化」の施策に対し詳細分析をすることとし、今回の対象施策は「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」「E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります」「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」の7施策とする。

強化施策	満足度	期待度
E-1:災害に強いまちづくりを進めます	0.27	1.31
E-7:道路・交通の円滑化を図ります	0.12	1.26
E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります	0.16	1.27
F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	0.29	1.26
F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	0.22	1.26
F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	0.25	1.34
G-1:次代を生きぬく子どもを育みます	0.34	1.33

図表Ⅱ-2-1：満足度と期待度の平均スコア散布図（再掲）



※図表Ⅱ-2-1は市民・学生・有識者・職員の合計による分類を行っている

(1) 災害に強いまちづくり

強化施策の「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で28.9ポイント満足度が低くなっている。

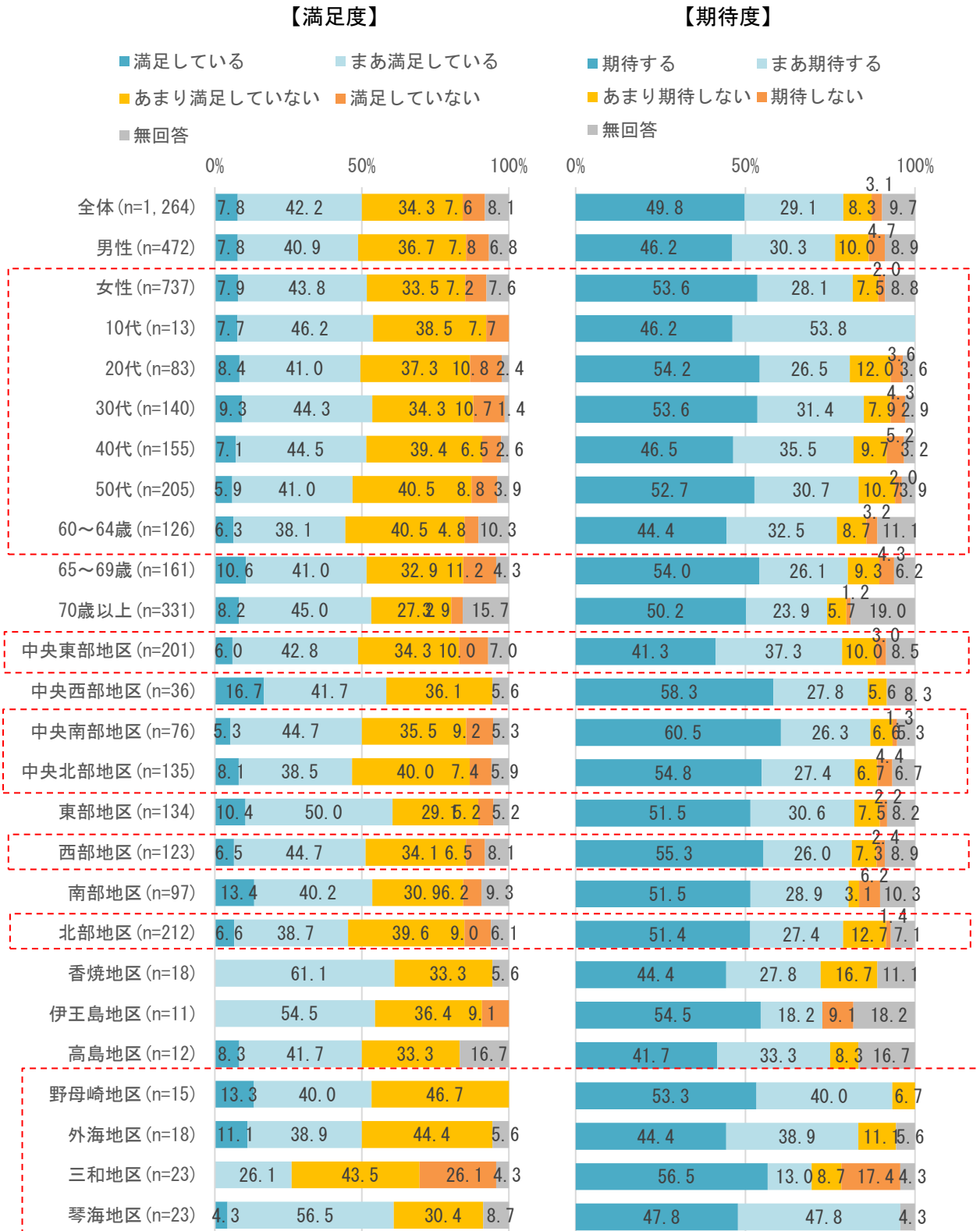
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.17ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「10～30代」「50～64歳」「中央南部地区」「中央北部地区」「西部地区」「北部地区」「三和地区」での評価改善が必要となる。

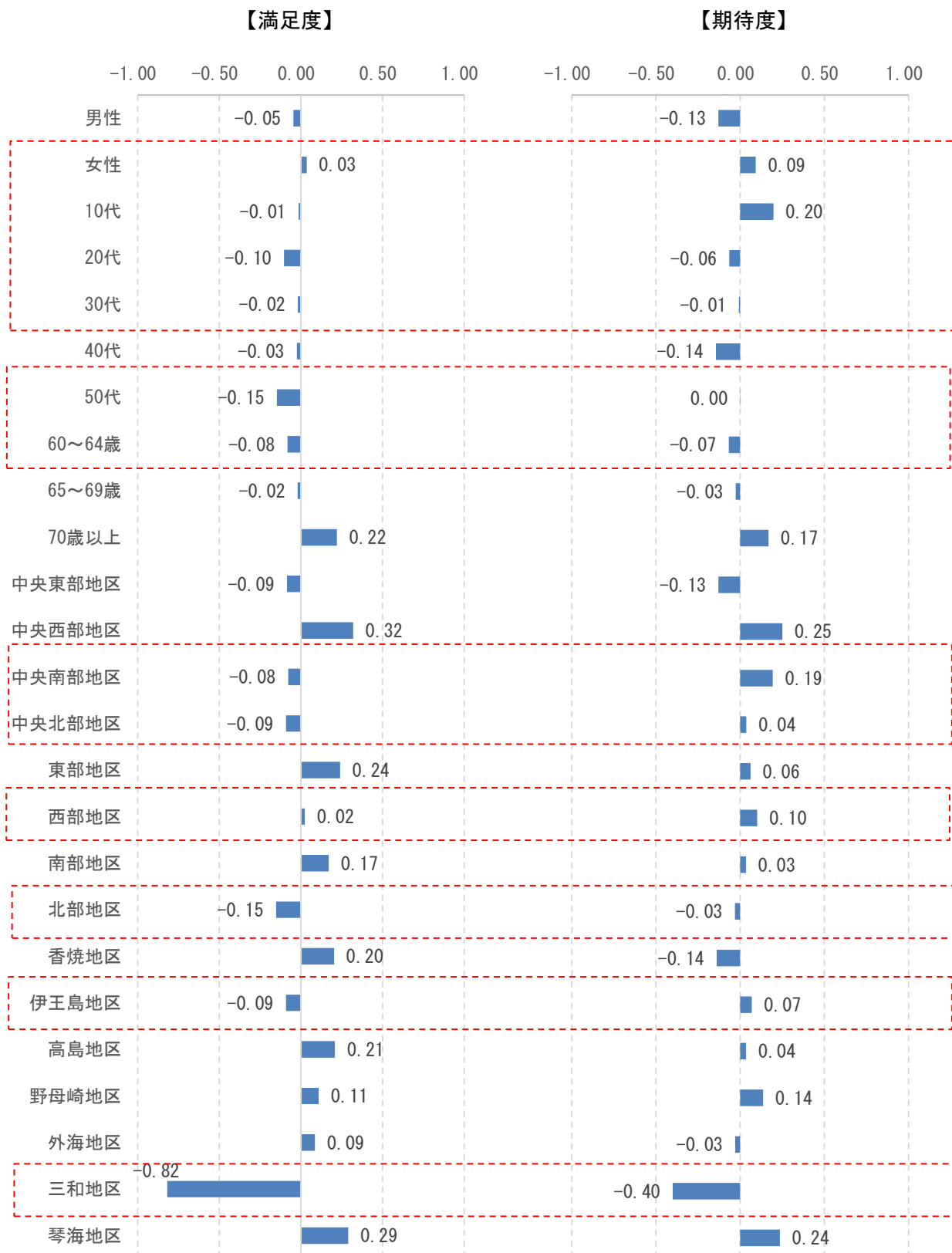
※平均スコアはP12一覽参照 以降同様

満足度＝「満足している」＋「まあ満足している」 期待度＝「期待する」＋「まあ期待する」以降同様

図表Ⅲ-3-1：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-2：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



は満足度と期待度の図表では期待度と満足度の差（期待度－満足度）全体を基準としてプラス（差の拡大）となる項目、平均スコアの図表では満足度平均スコアと期待度平均スコアの差がプラス（差の拡大）となる項目を表している。以降同様。

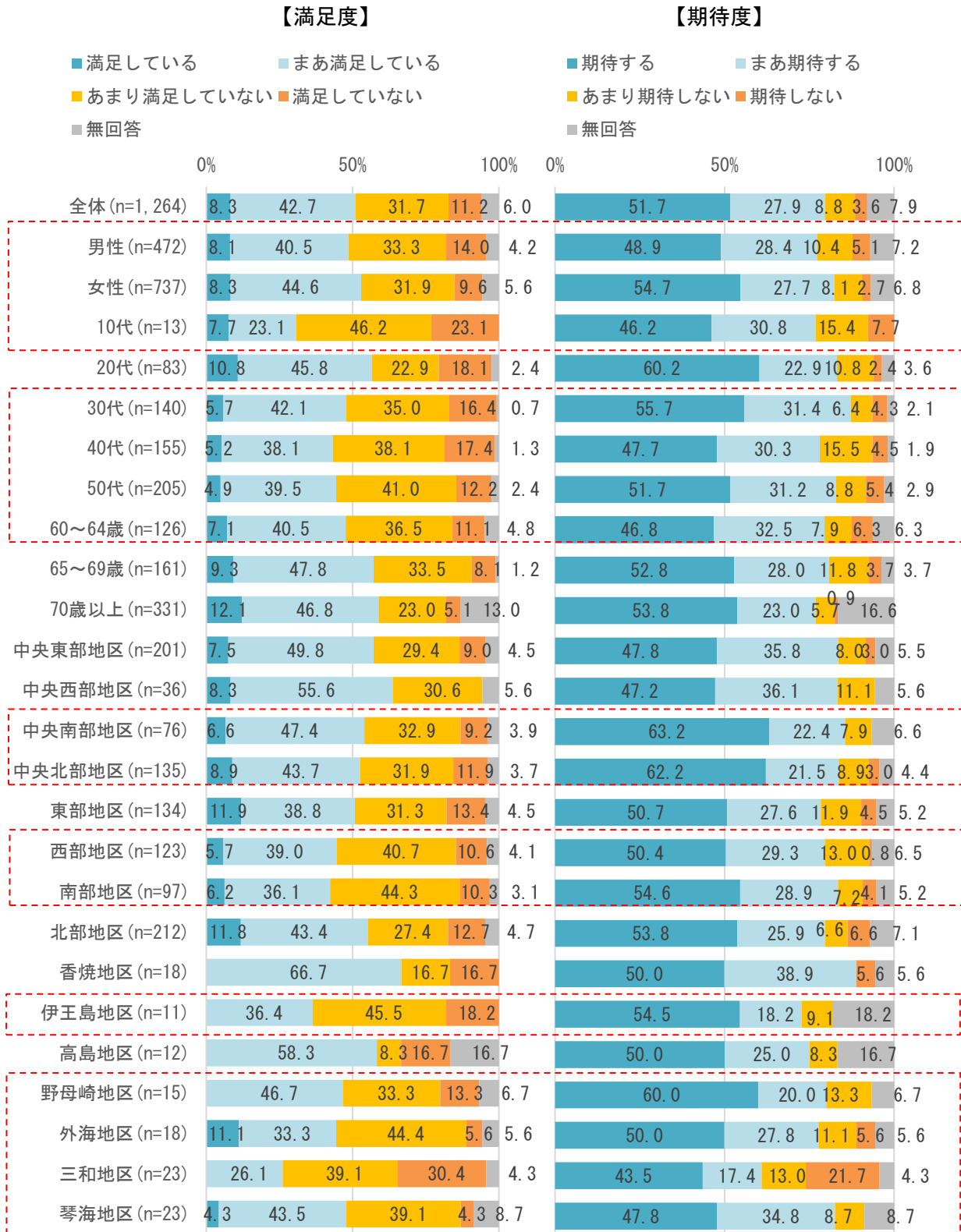
(2) 道路・交通の円滑化

強化施策の「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で28.6ポイント満足度が低くなっている。

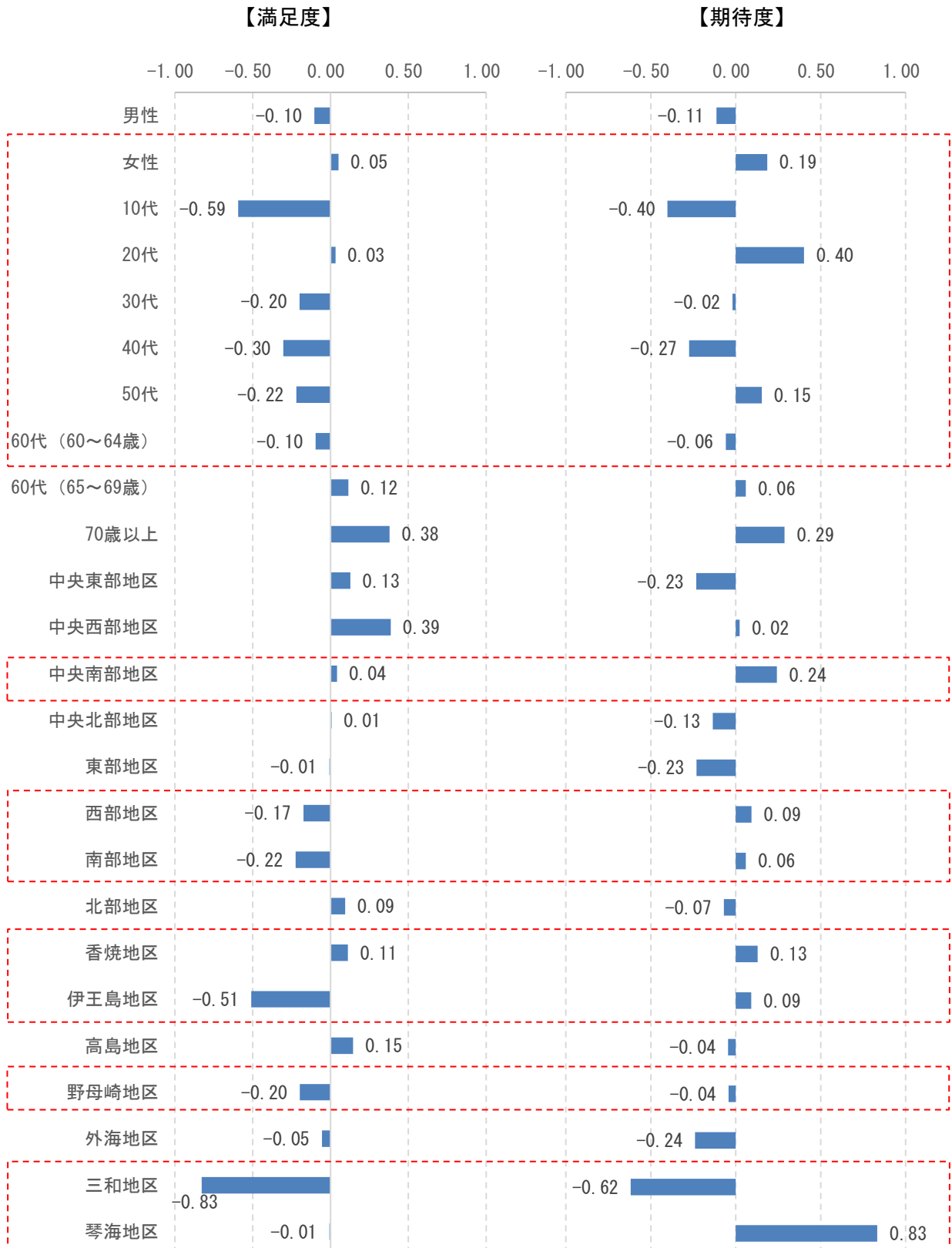
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.20ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「男性」「女性」「10代」「30～69歳」「中央南部地区」「西部地区」「南部地区」「伊王島地区」「野母崎地区」「三和地区」「琴海地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-3：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-4：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



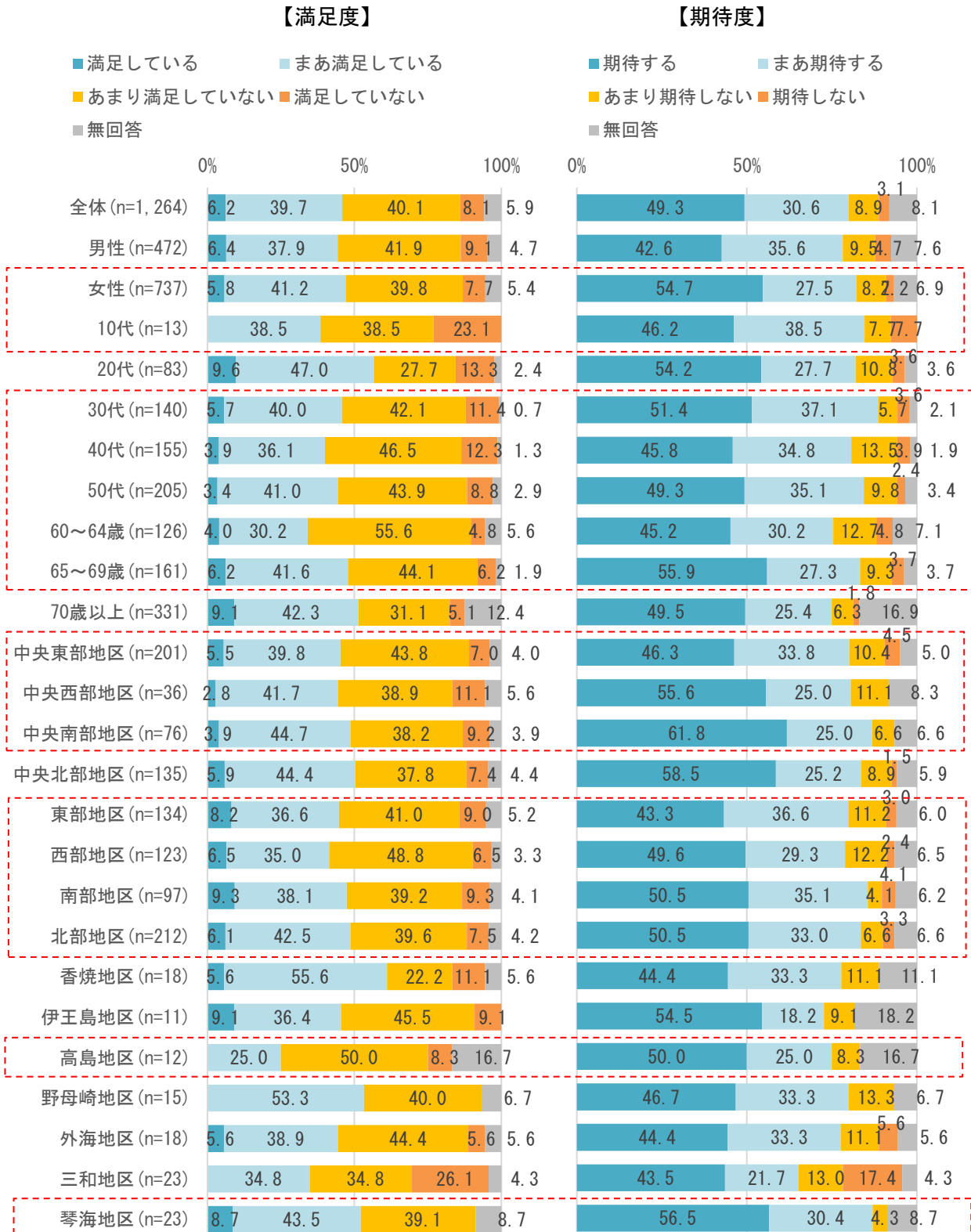
(3) 安全・安心で快適な公共空間

強化施策の「E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で34.0ポイント満足度が低くなっている。

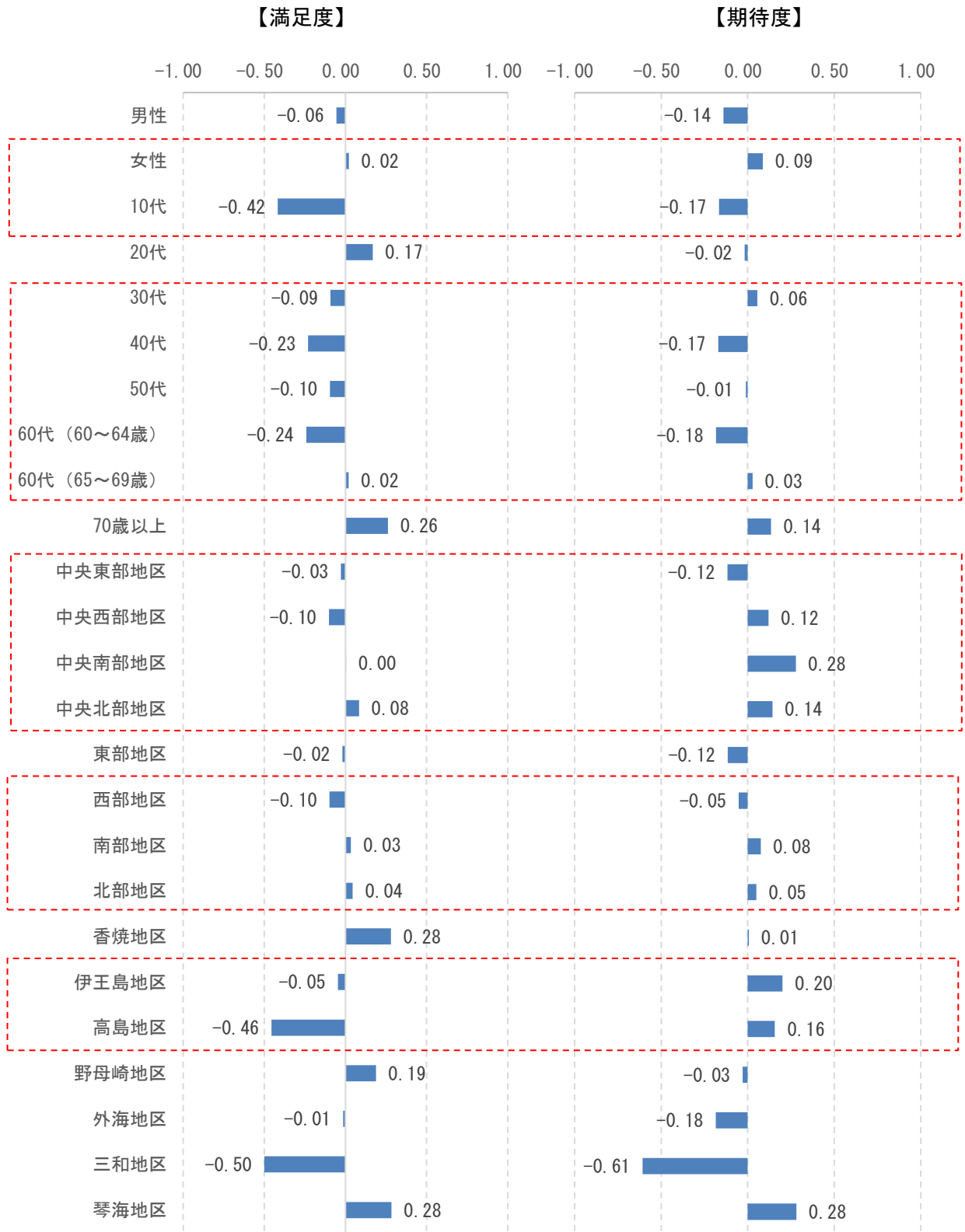
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.28ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「10代」「30～64歳」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「西部地区」「南部地区」「北部地区」「高島地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-5：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-6：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



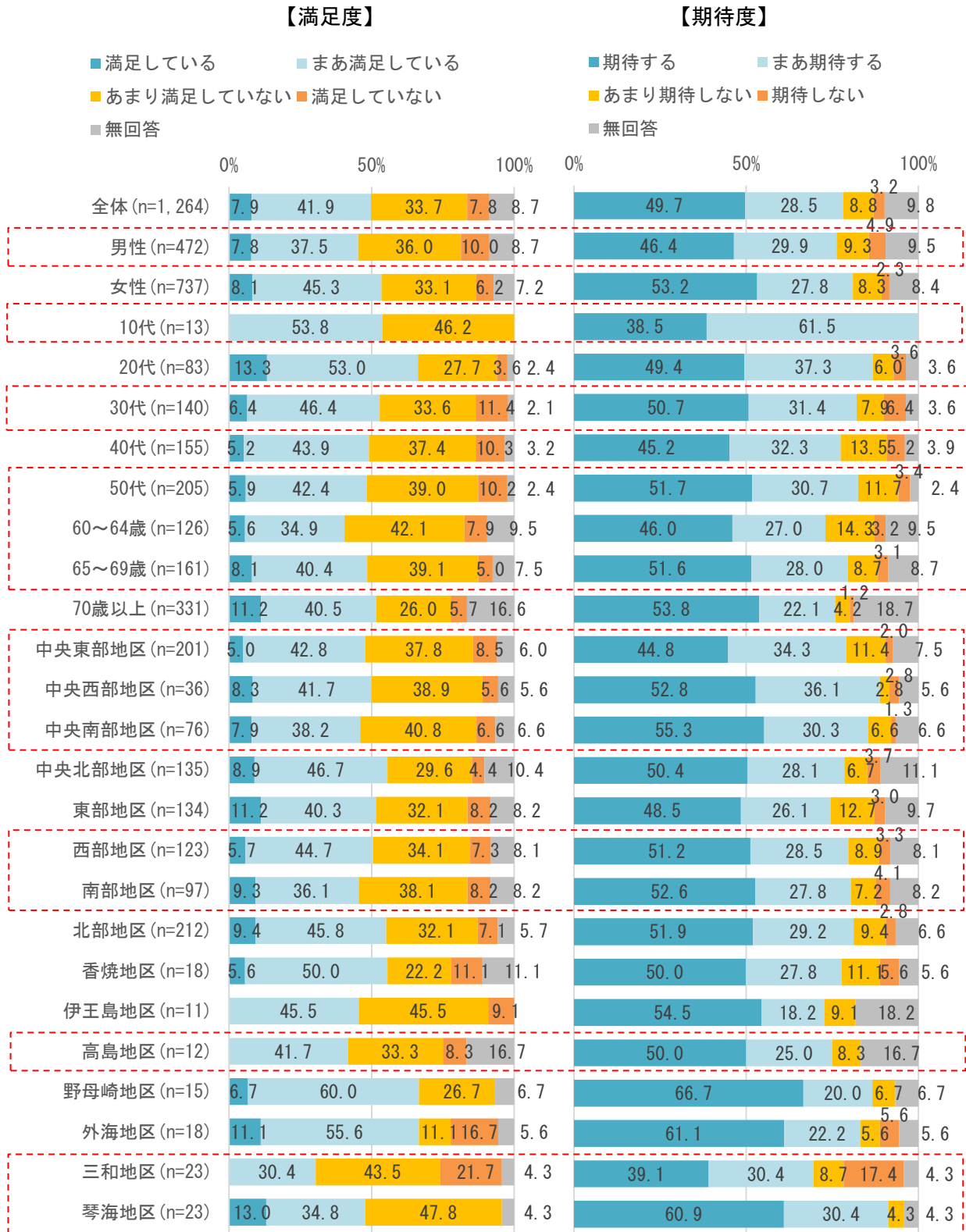
(4) 高齢者が暮らしやすい地域づくり

強化施策の「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で28.4ポイント満足度が低くなっている。

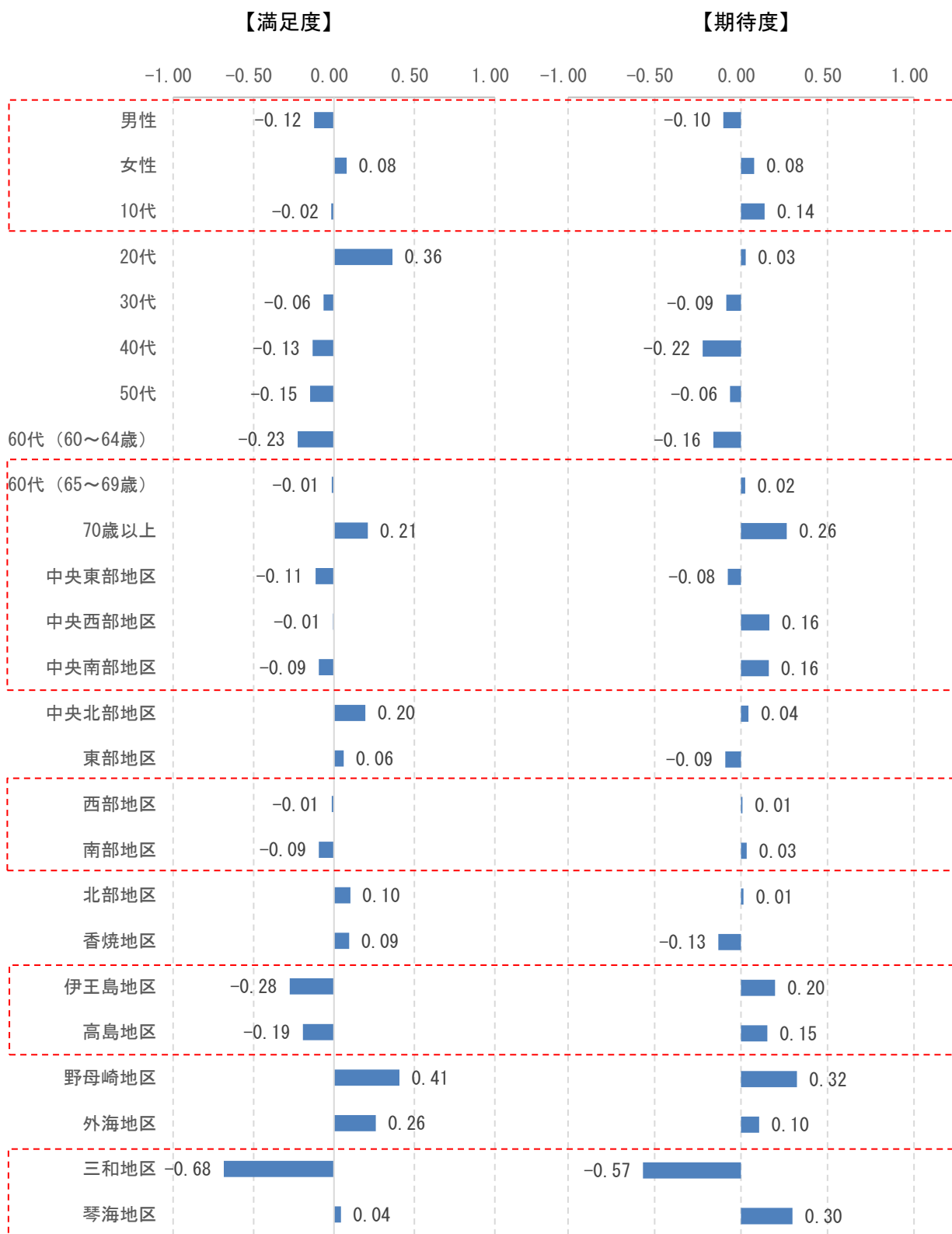
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.15ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「男性」「10代」「65～69歳」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「西部地区」「南部地区」「高島地区」「三和地区」「琴海地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-7：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-8：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



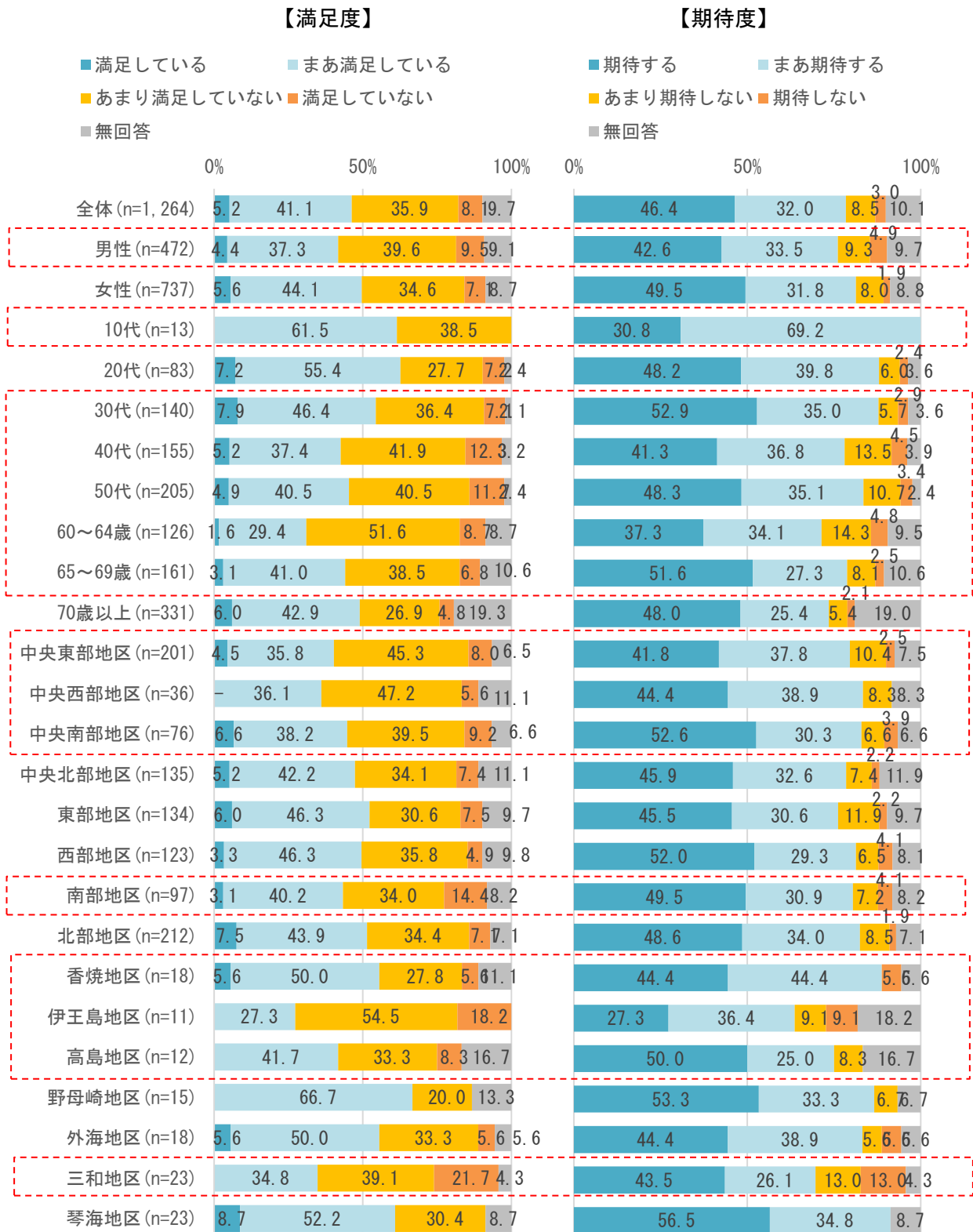
(5) 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます

強化施策の「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で32.1ポイント満足度が低くなっている。

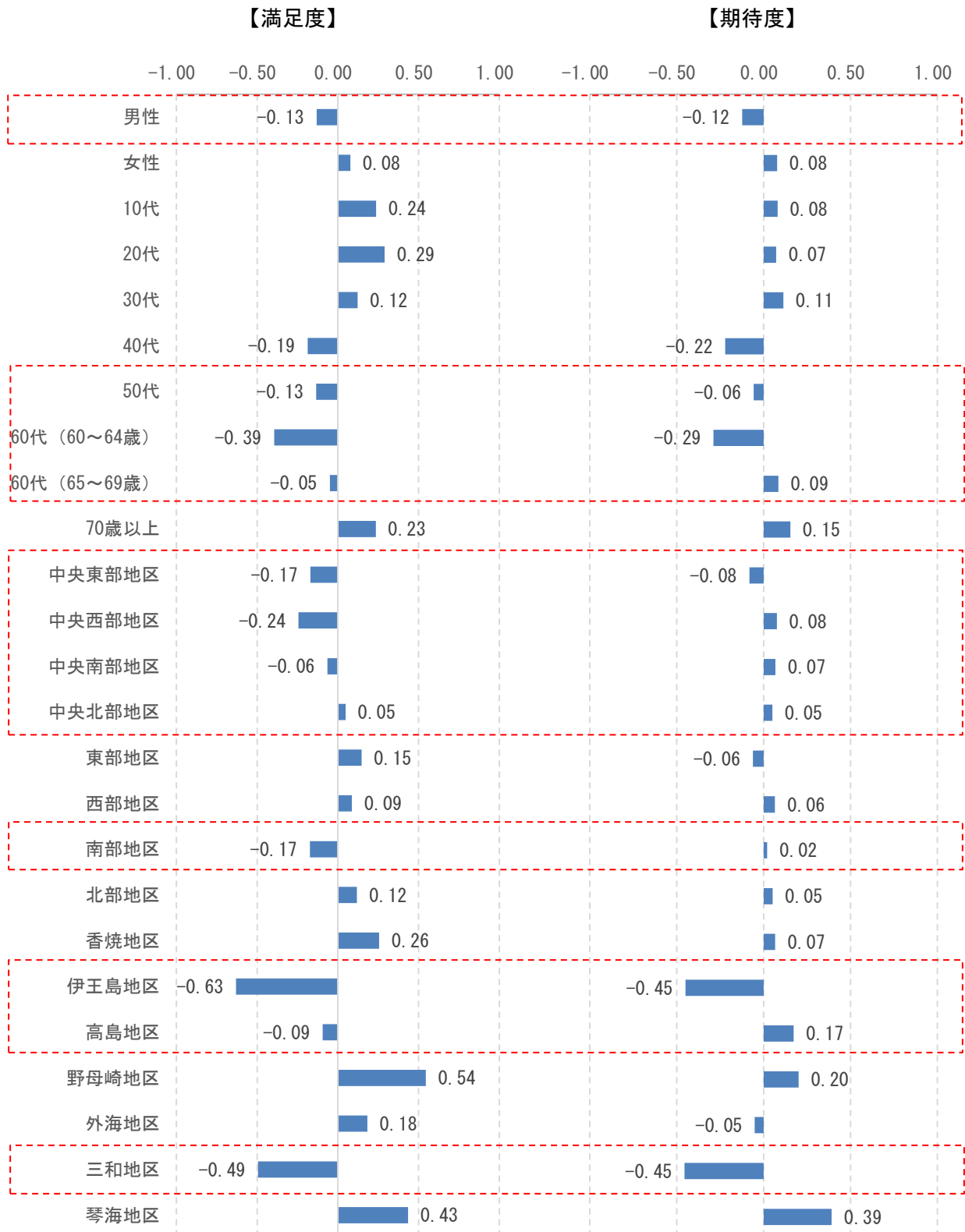
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.23ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「男性」「10代」「50～69歳」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「南部地区」「伊王島地区」「高島地区」「三和地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-9：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-10：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



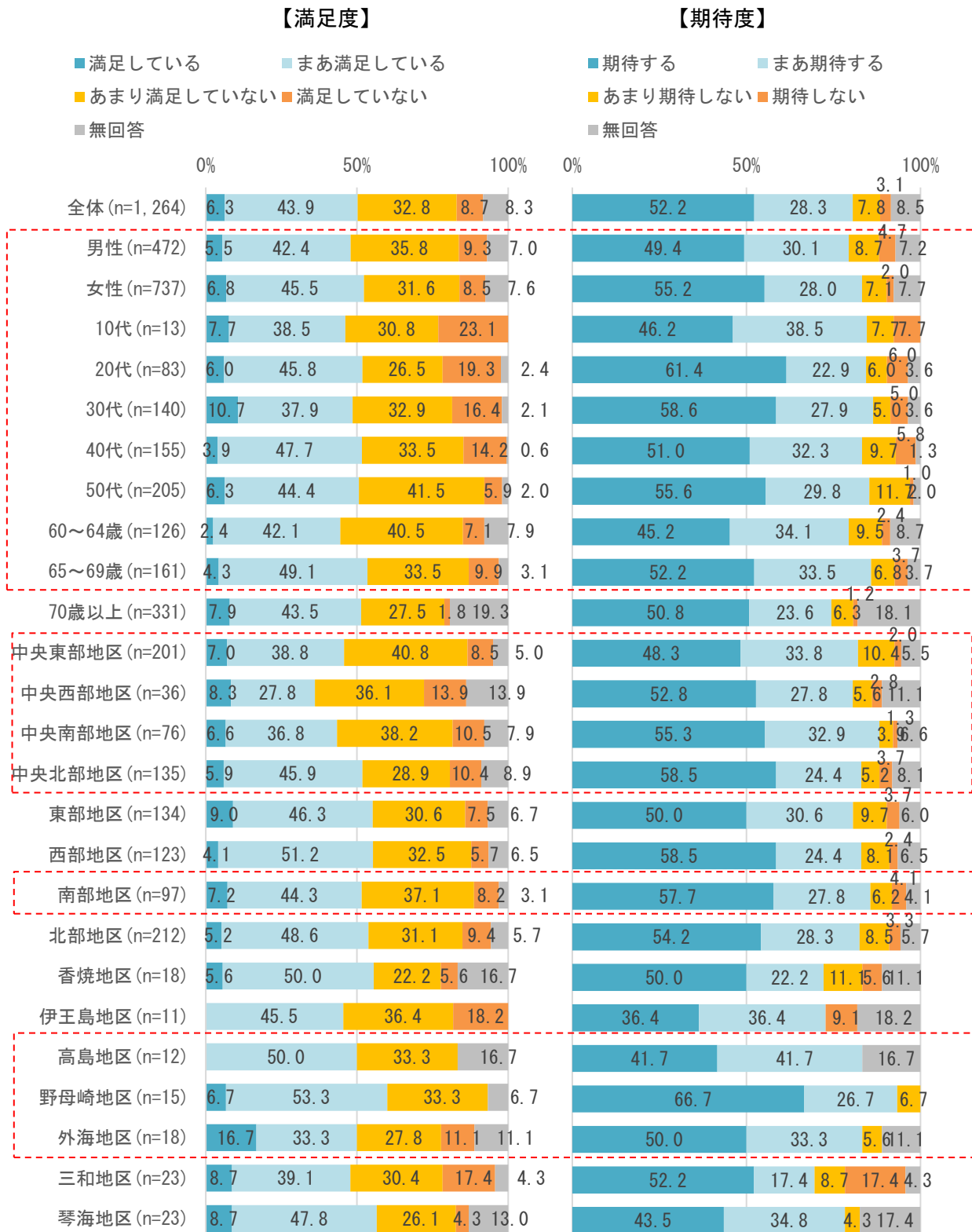
(6) 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち

強化施策の「F-4 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で 30.3 ポイント満足度が低くなっている。

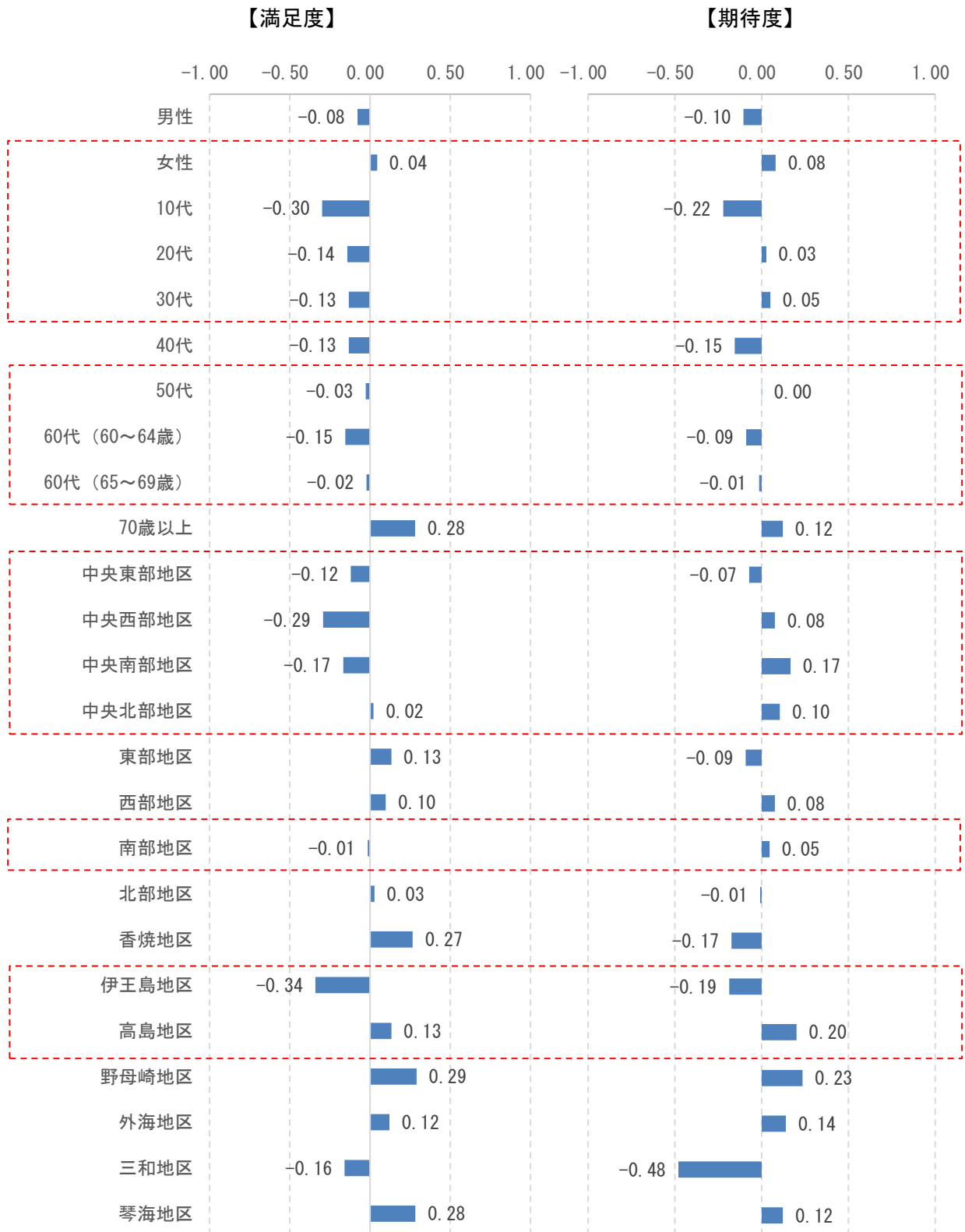
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で 1.23 ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「10～30代」「50～69歳」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「中央北部地区」「南部地区」「高島地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-11：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-12：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



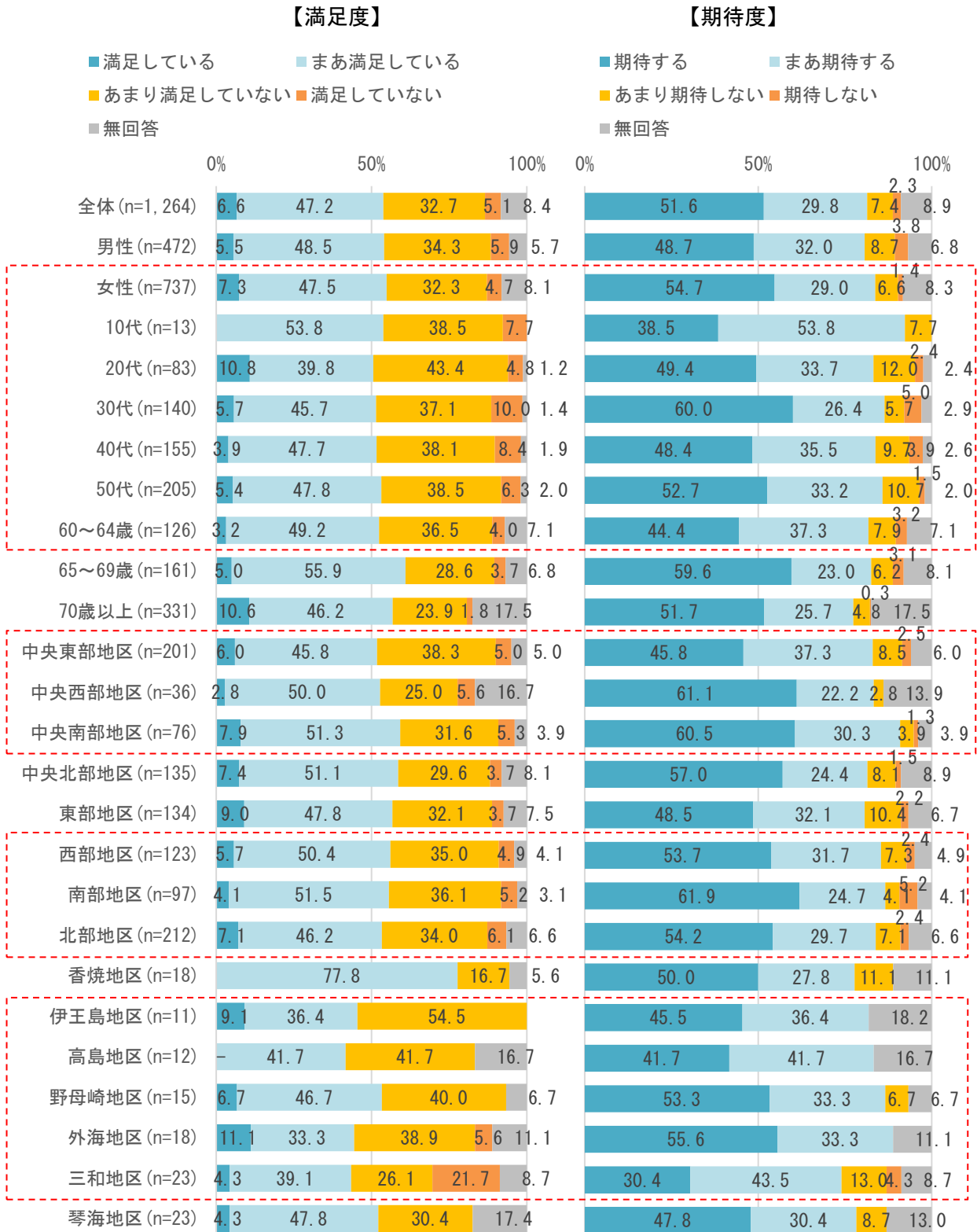
(7) 次代を生きぬく子どもの育み

強化施策の「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で27.6ポイント満足度が低くなっている。

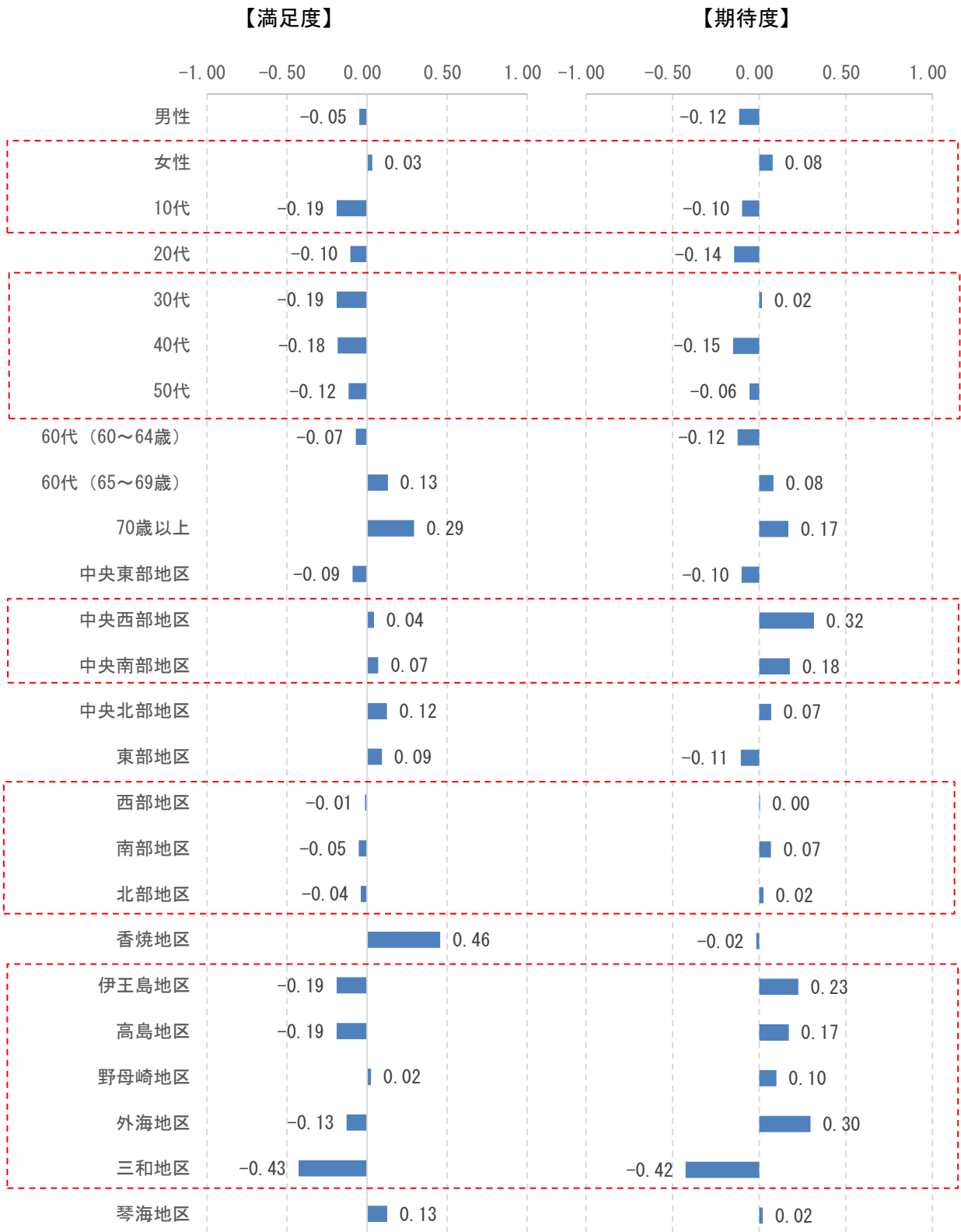
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.14ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「10代」「30～50代」「中央西部地区」「中央南部地区」「西部地区」「南部地区」「北部地区」「伊王島地区」「高島地区」「野母崎地区」「外海地区」「三和地区」での評価改善が必要となる。

図表Ⅲ-3-13：満足度と期待度



図表Ⅲ-3-14：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



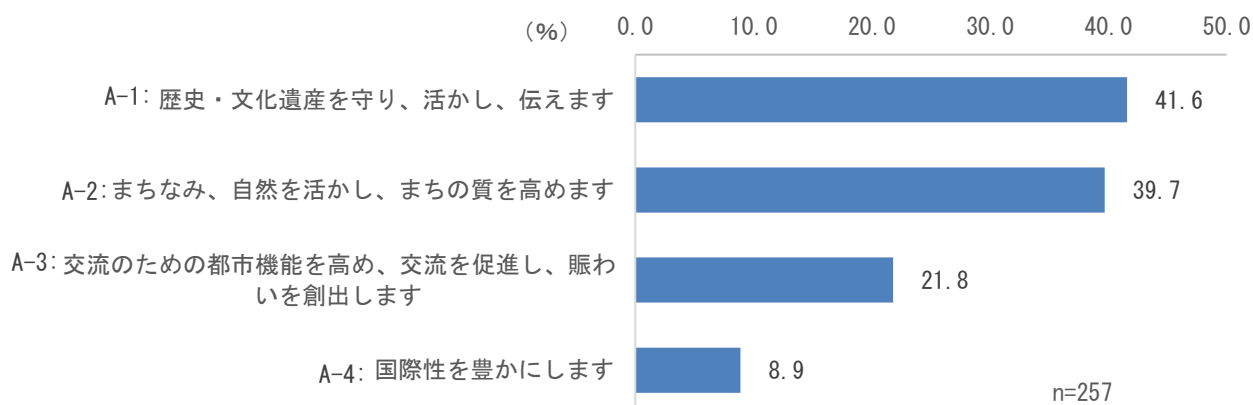
4. 優先施策

(1) 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち

「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は「A-1:歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます」が最も多い。

※比率は無回答を除き算出している。

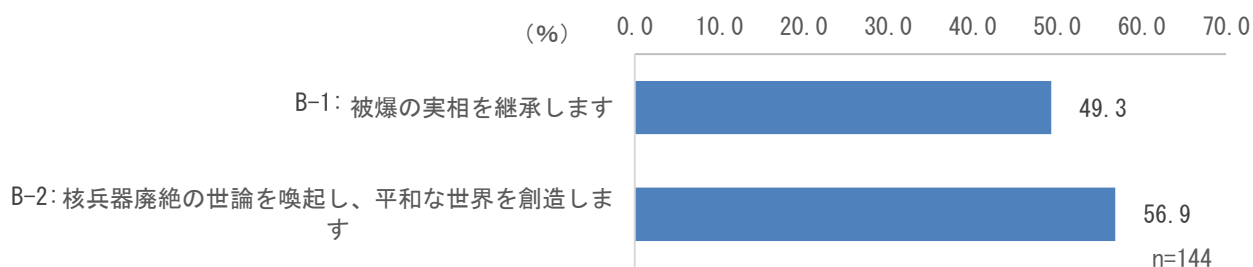
図表Ⅲ-4-1：住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの優先施策



(2) 平和を願い、求め、つくるまち

「B:平和を願い、求め、つくるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「B-2:核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します」が最も多くなっている。

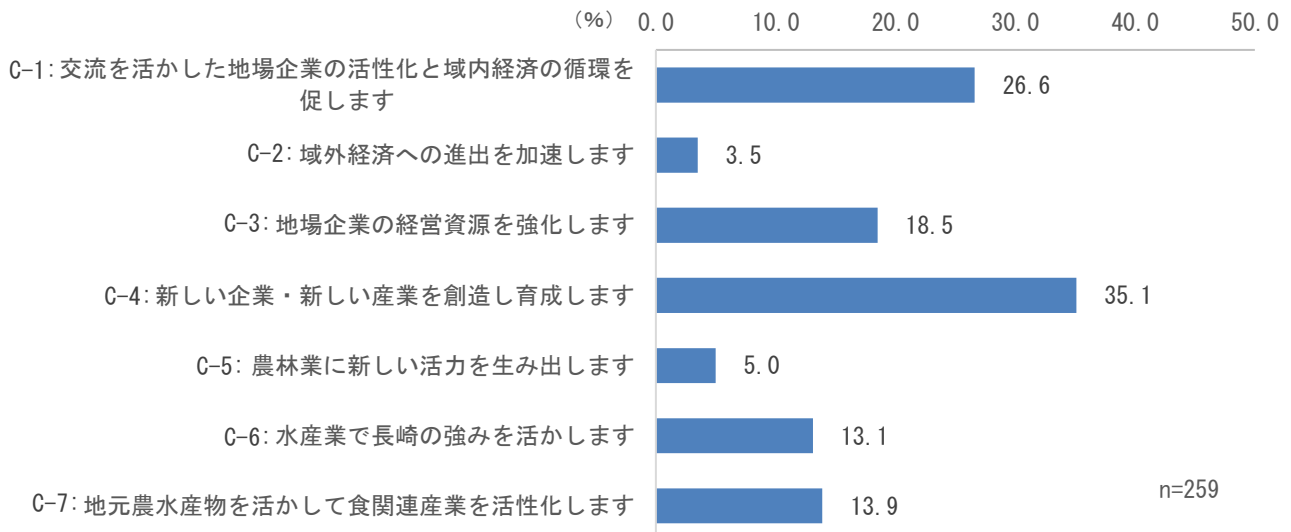
図表Ⅲ-4-2：平和を願い、求め、つくるまちの優先施策



(3) 活力に満ち、発展し続けるまち

「C:活力に満ち、発展し続けるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」が最も多くなっている。

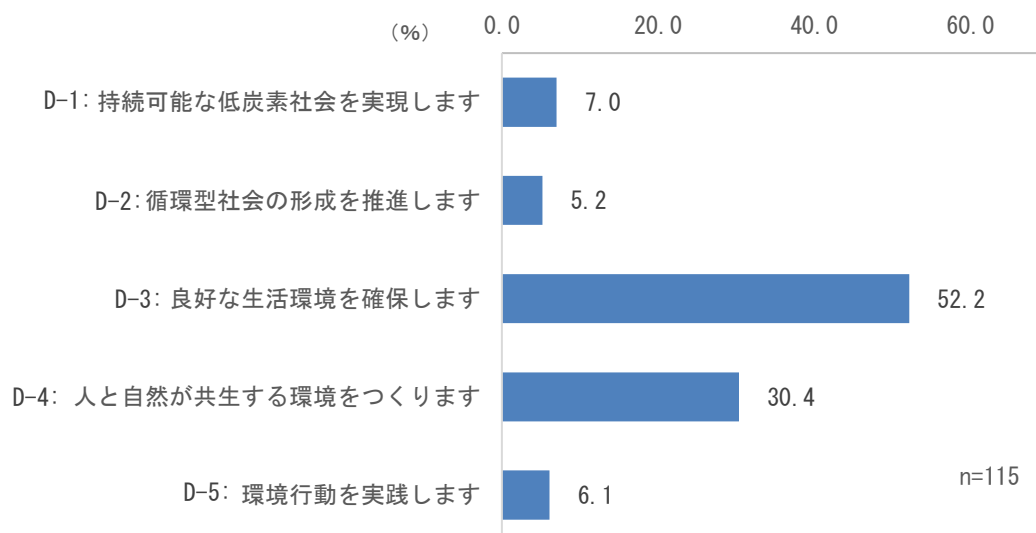
図表Ⅲ-4-3：活力に満ち、発展し続けるまちの優先施策



(4) 環境と調和する潤いのあるまち

「D:環境と調和する潤いのあるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「D-3:良好な生活環境を確保します」が最も多くなっている。

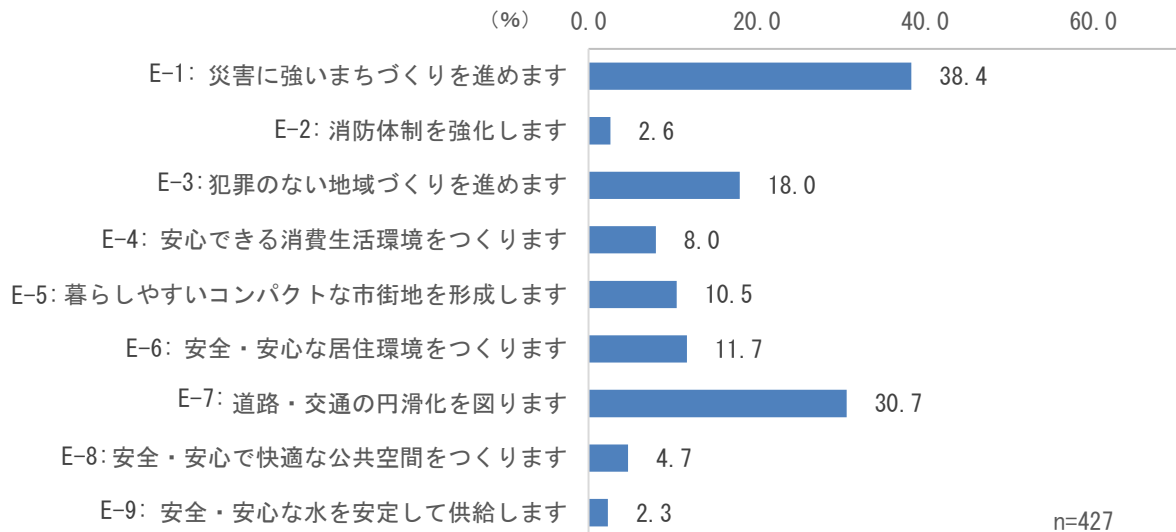
図表Ⅲ-4-4：環境と調和する潤いのあるまちの優先施策



(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち

「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」が最も多くなっている。

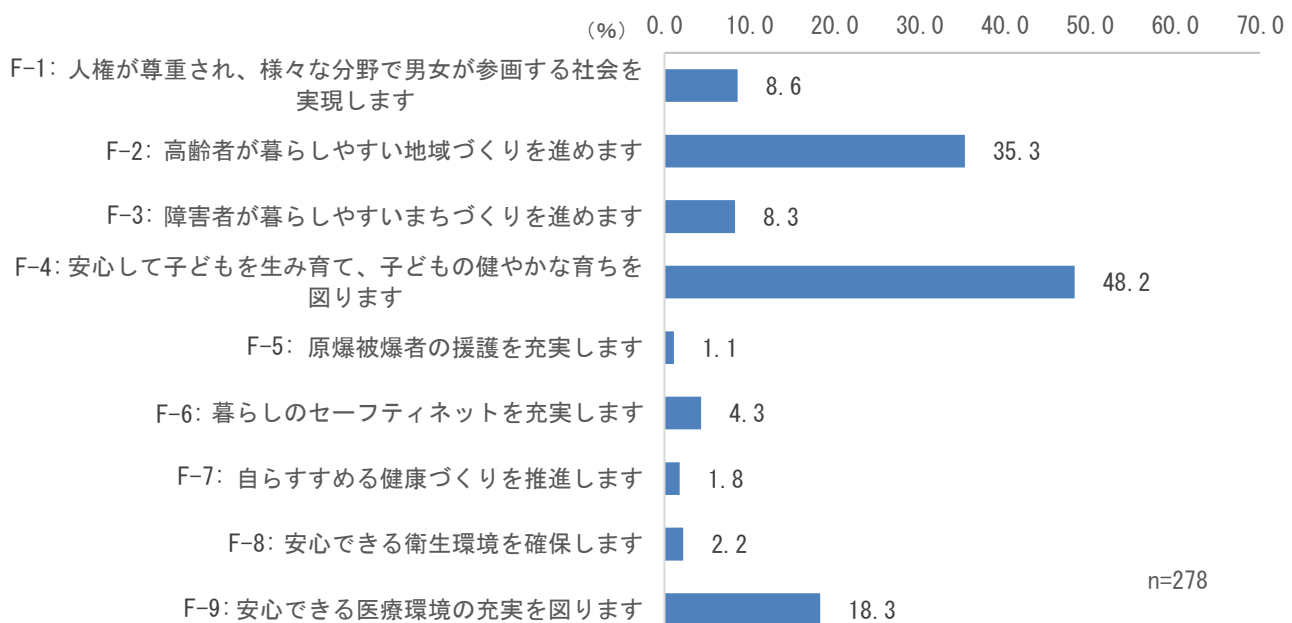
図表Ⅲ-4-5：安全・安心で快適に暮らせるまちの優先施策



(6) 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち

「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」が最も多くなっている。

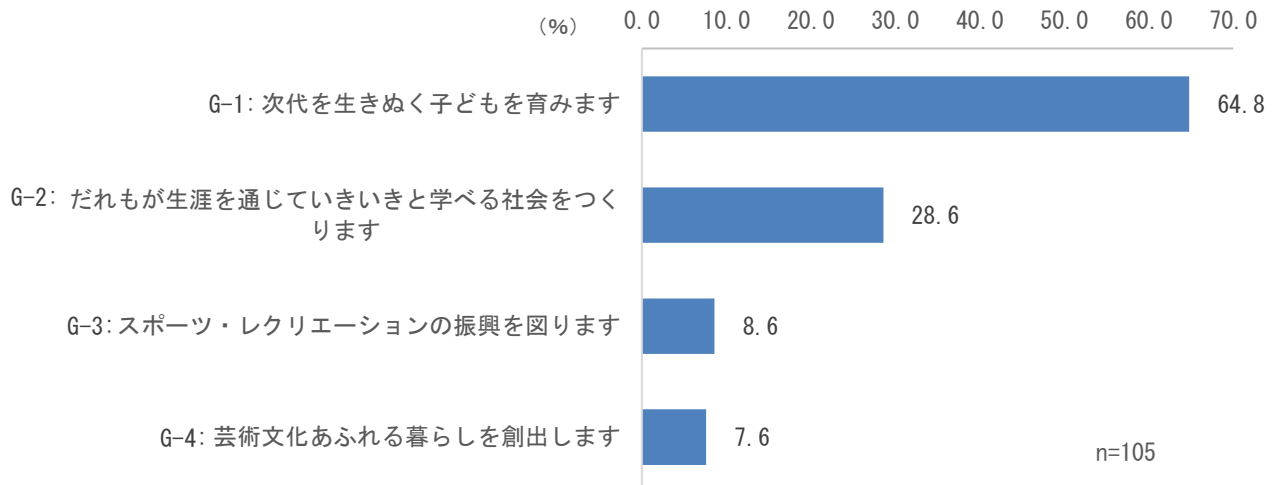
図表Ⅲ-4-6：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの優先施策



(7) 豊かな心を育むまち

「G:豊かな心を育むまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」が最も多くなっている。

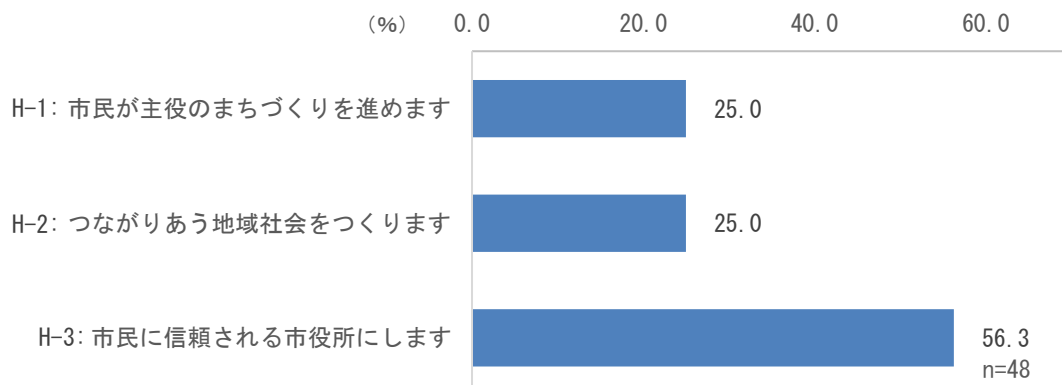
図表Ⅲ-4-7: 豊かな心を育むまちの優先施策



(8) 基本構想の推進 (つながる + 創造する)

「H:基本構想の推進 (つながる + 創造する)」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「H-3:市民に信頼される市役所にします」が最も多くなっている。

図表Ⅲ-4-8: 基本構想の推進 (つながる + 創造する) の優先施策

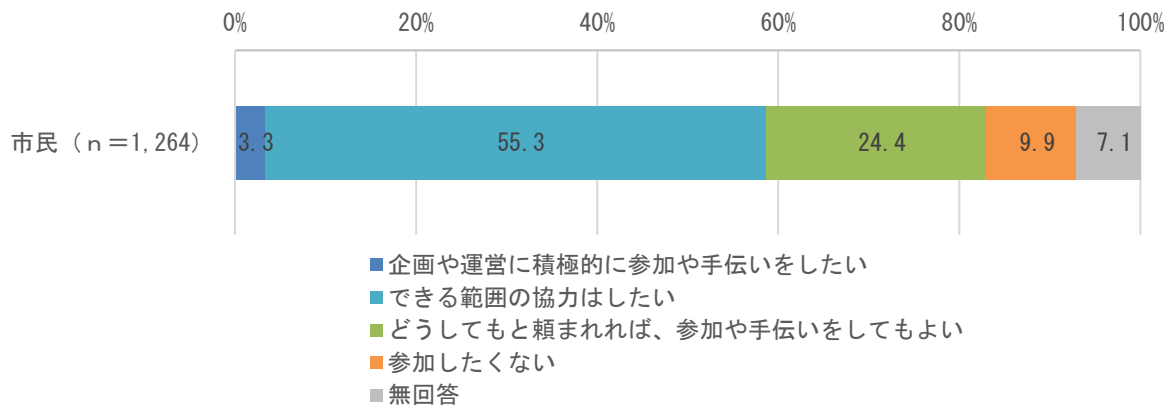


5. 地域活動への参加

(1) 地域活動、市民活動に対する考え方

地域活動、市民活動に対する考え方として「できる範囲の協力はしたい」が55.3%で最も多く、次いで「どうしてもと頼まれれば、参加や手伝いをしてもよい」が24.4%、「参加したくない」が9.9%、「企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい」が3.3%と続いており、積極的な参加の意向はうかがえない。

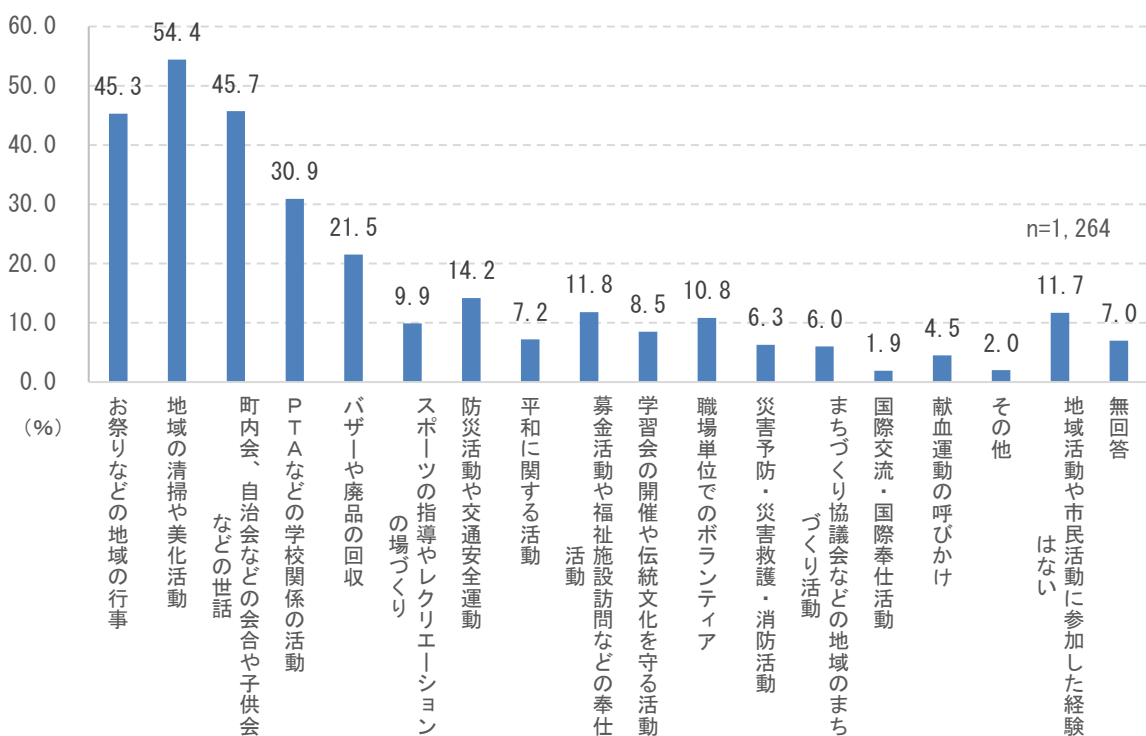
図表Ⅲ-5-1：地域活動、市民活動に対する考え方



(2) 地域活動、市民活動の経験

地域活動、市民活動の経験は「地域の清掃や美化活動」が54.4%で最も多く、次いで「町内会、自治会などの会合や子供会などの世話」が45.7%、「お祭りなどの地域の行事」が45.3%と続いている一方、「地域活動や市民活動に参加した経験はない」が11.7%あった。

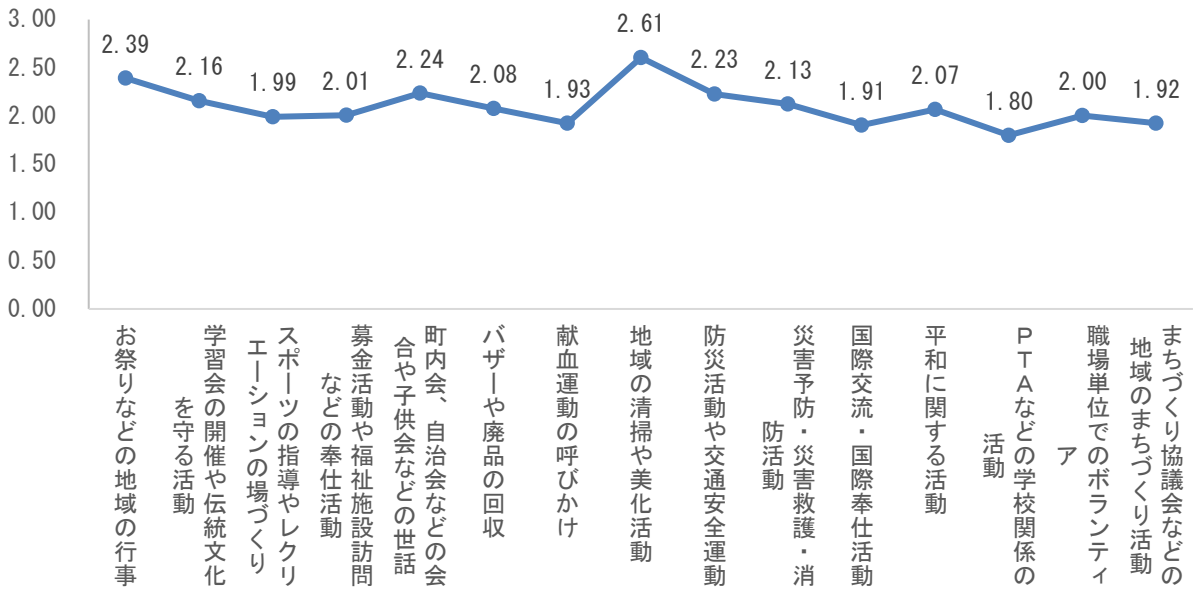
図表Ⅲ-5-2：地域活動、市民活動の経験



(3) 地域活動、市民活動への参加意向

地域活動、市民活動への参加意向を平均スコア化してみると、「地域の清掃や美化活動」が2.61で最も多く、次いで「お祭りなどの地域の行事」が2.39、「町内会、自治会などの会合や子供会などの世話」が2.24と続いている。

図表Ⅲ-5-3：地域活動、市民活動への参加意向



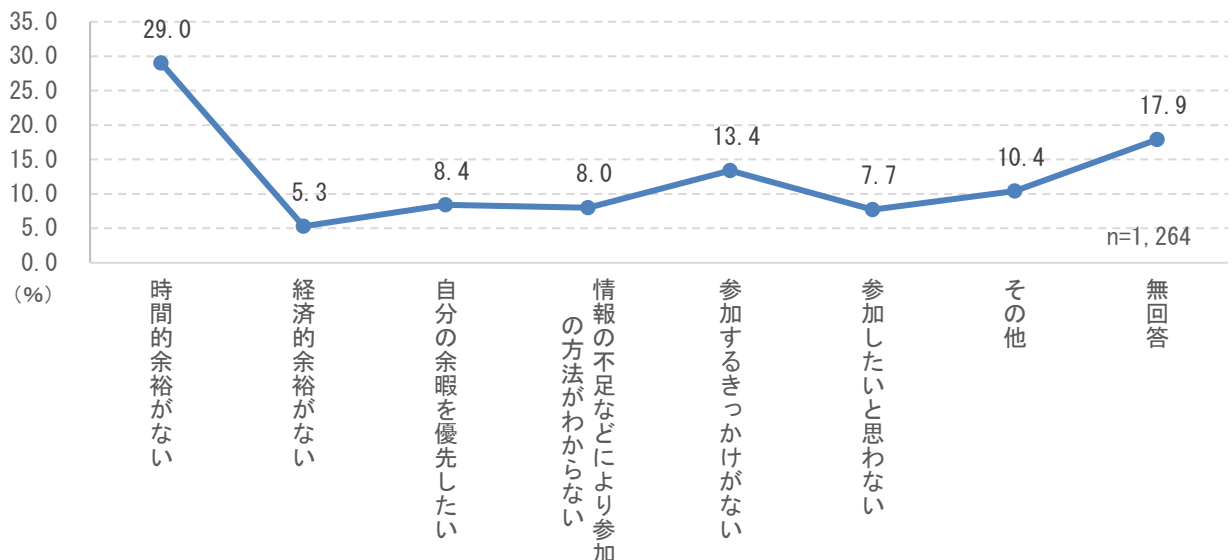
※平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「積極的に参加したい」} \times 5 + \text{「できれば参加したい」} \times 4 + \text{「参加してもよい」} \times 3 + \text{「できれば参加したくない」} \times 2 + \text{「参加したくない」} \times 1}{\text{全回答者数}}$$

(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁

地域活動、市民活動への参加の障壁は、「時間的余裕がない」がトップとなっている。

図表Ⅲ-5-4：地域活動、市民活動への参加の障壁

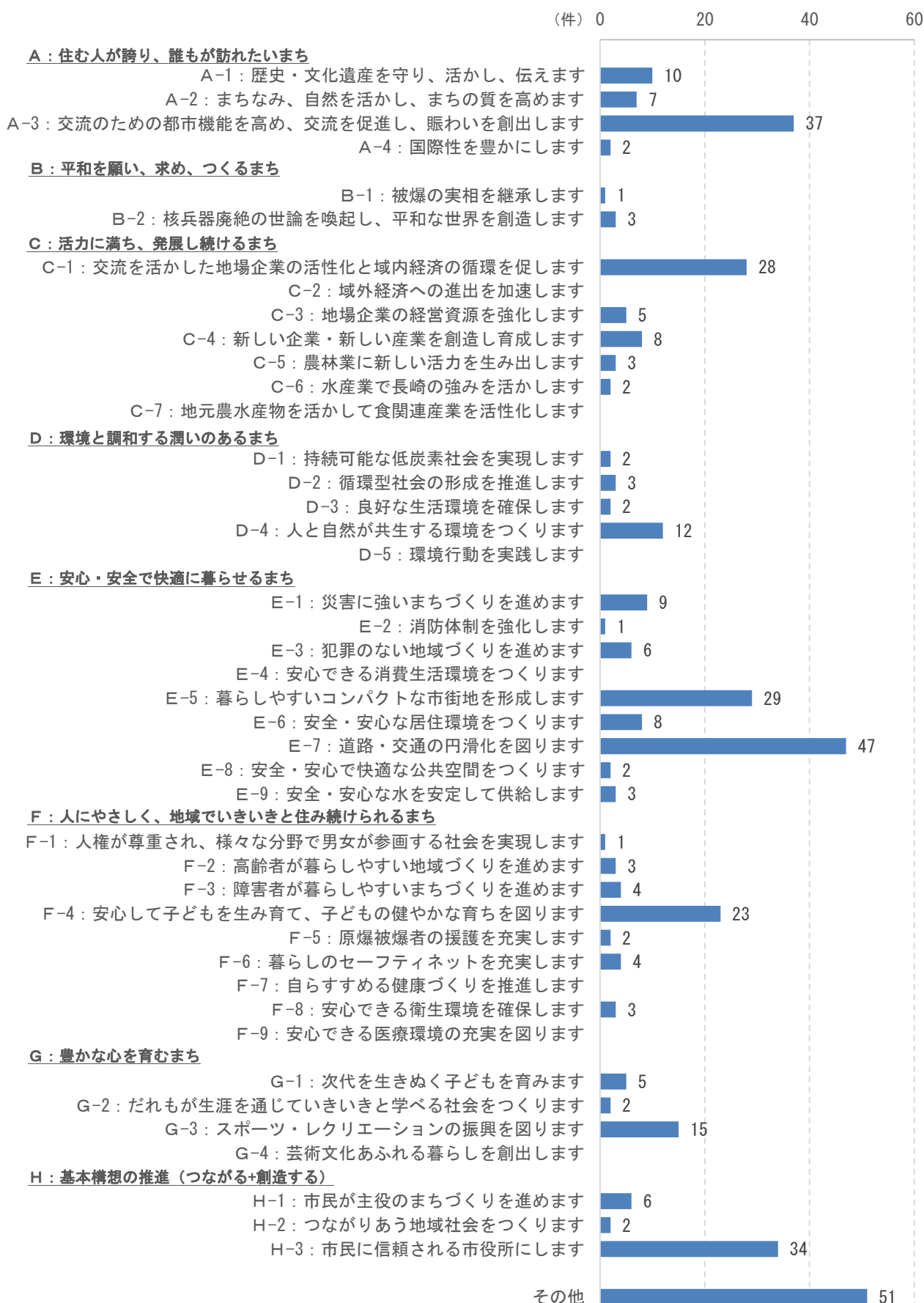


6. 自由回答（市政に対する自由意見）

長崎市のまちづくりに関する意見（自由意見）について、回答内容をまちづくりの方針及び基本施策で分類をおこなった。施策別回答内容の件数をまとめ以下に掲載する。

※個別詳細内容は、別冊参考資料の自由回答集を参照のこと。

図表Ⅲ-6-1：市政に対する自由意見



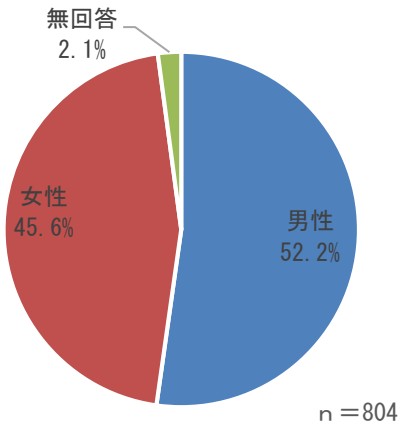
IV. 調査結果（大学生・短大生・高校生編）

IV. 調査結果（大学生・短大生・高校生編）

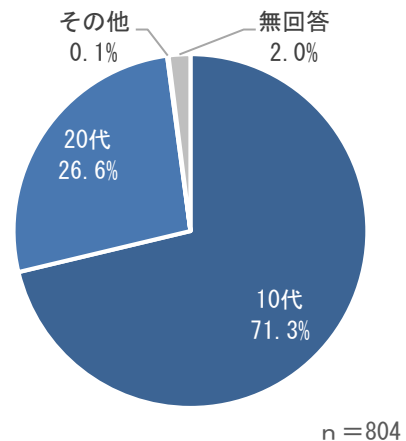
1. 属性

回答者の基本的属性を「性別」「年代別」「家族構成」「同居家族」「住居種類」「居住年数」「居住地」の別で示すと、その内訳は以下の通り。

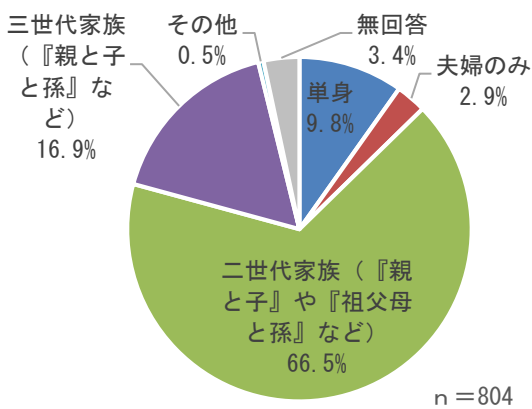
図表IV-1-1：性別



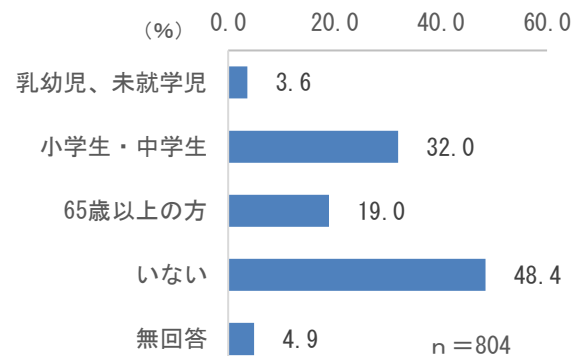
図表IV-1-2：年代別



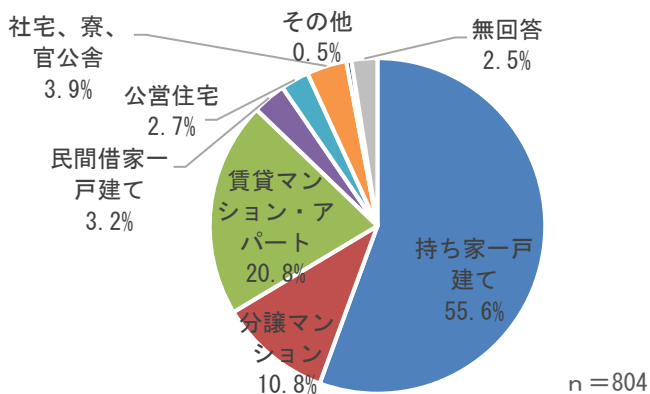
図表IV-1-3：家族構成



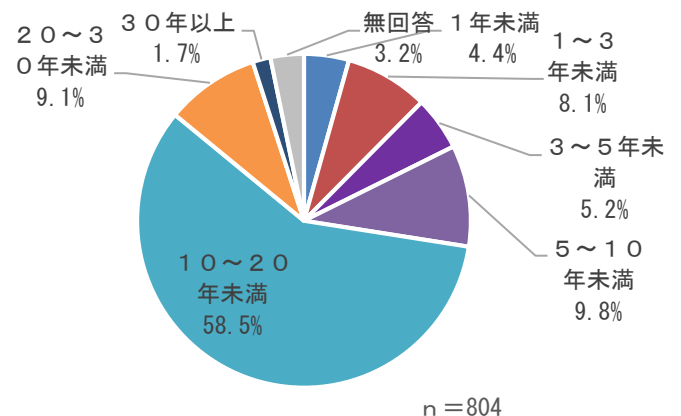
図表IV-1-4：同居家族



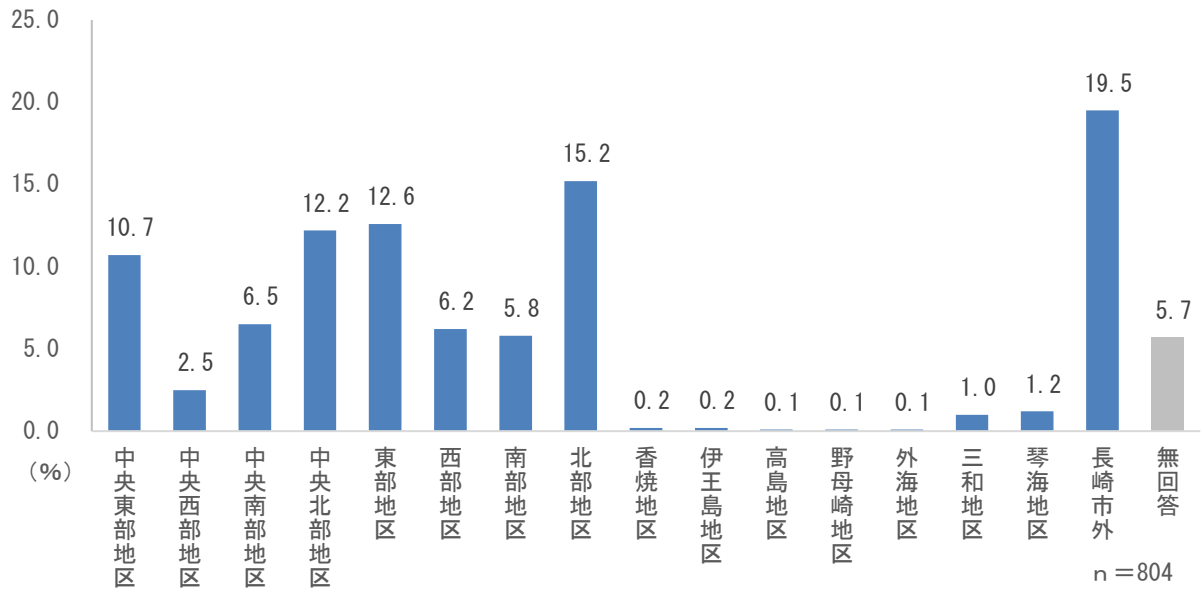
図表IV-1-5：住居種類



図表IV-1-6：居住年数



图表IV-1-7：居住地



2. 設問回答

(1) 長崎市の住みやすさ

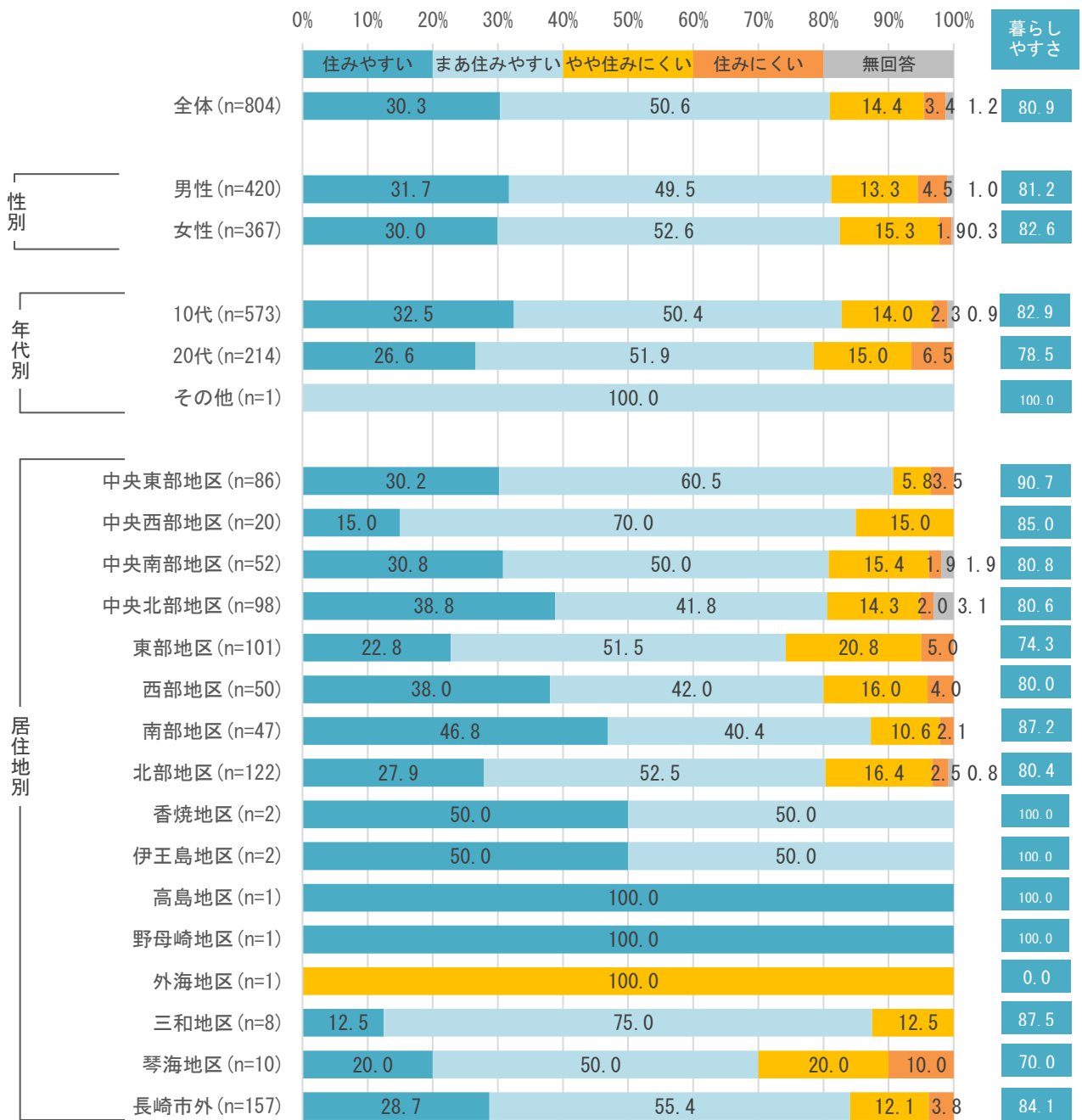
長崎市の住みやすさについて「暮らしやすい」は全体で80.9%となっており、性別では女性が男性よりも「暮らしやすい」と回答しており、年代別では10代が最も多く「暮らしやすい」と回答している。

地域別ではややバラツキが見られ、「東部地区」「琴海地区」が70%台とやや低くなっている。

※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様。

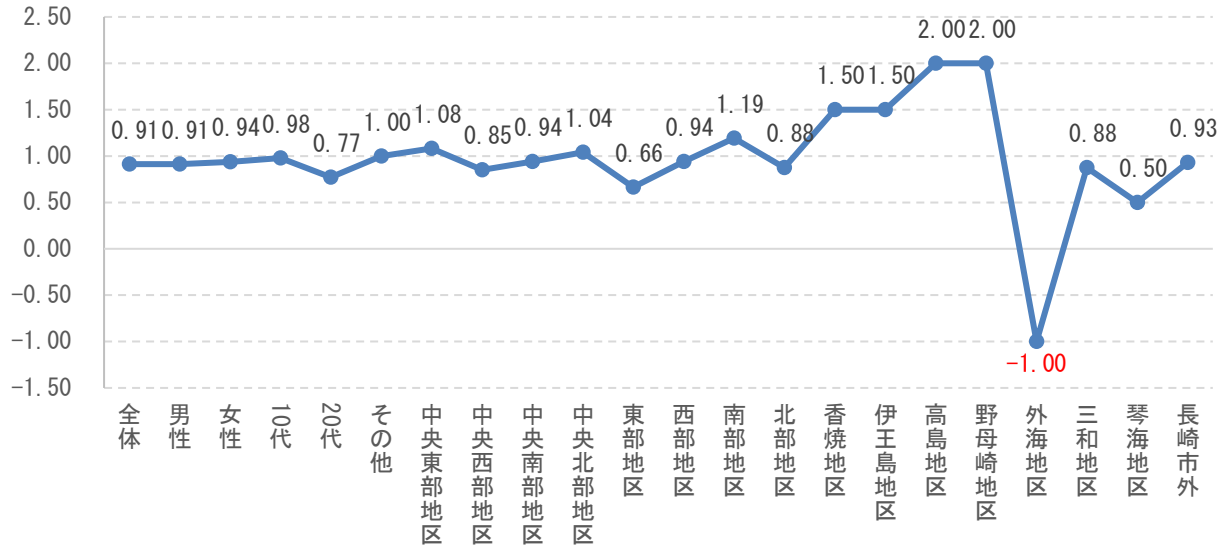
※母数が小さい区分は参考程度とする必要があり、香焼地区～三和地区は母数が1桁のため評価に含めていない。(以降同様)

図表IV-2-1：長崎市の住みやすさ

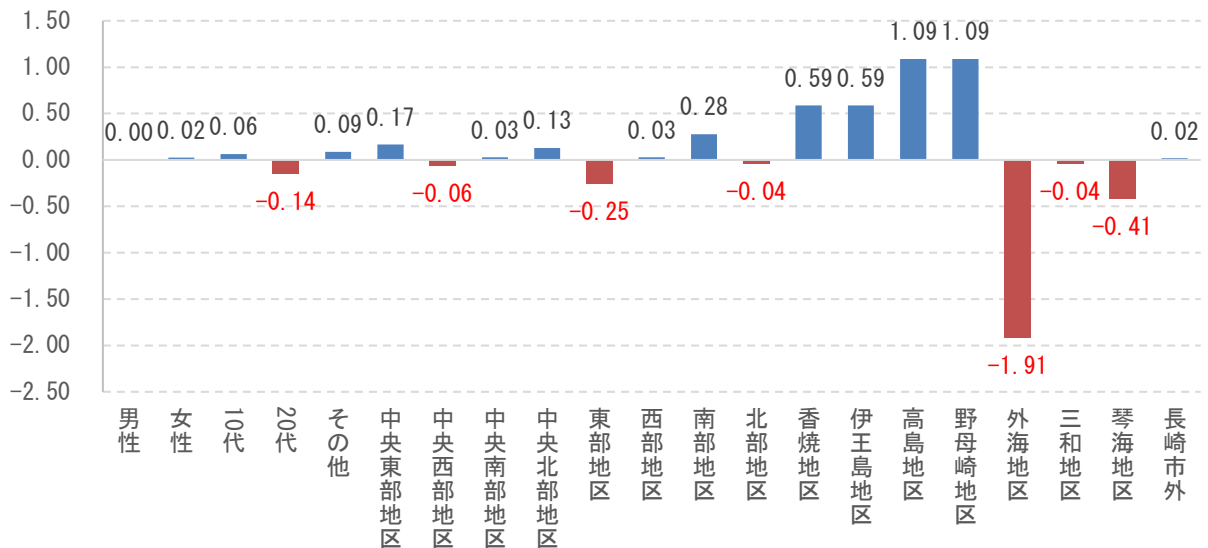


長崎市の住みやすさを平均スコアで見ると性別では年代別では「20代」、地域別では「中央西地区」「東部地区」「北部地区」の3地域で全体の平均スコアを下回っている。

図表IV-2-2：長崎市の住みやすさ平均スコア



図表IV-2-3：長崎市の住みやすさ平均スコア差



以降、平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「住みやすい」} \times 2 + \text{「まあ住みやすい」} \times 1 + \text{「やや住みにくい」} \times -1 + \text{「住みにくい」} \times -2}{\text{全回答者数} - \text{無回答者数}}$$

(2) 暮らしやすい理由

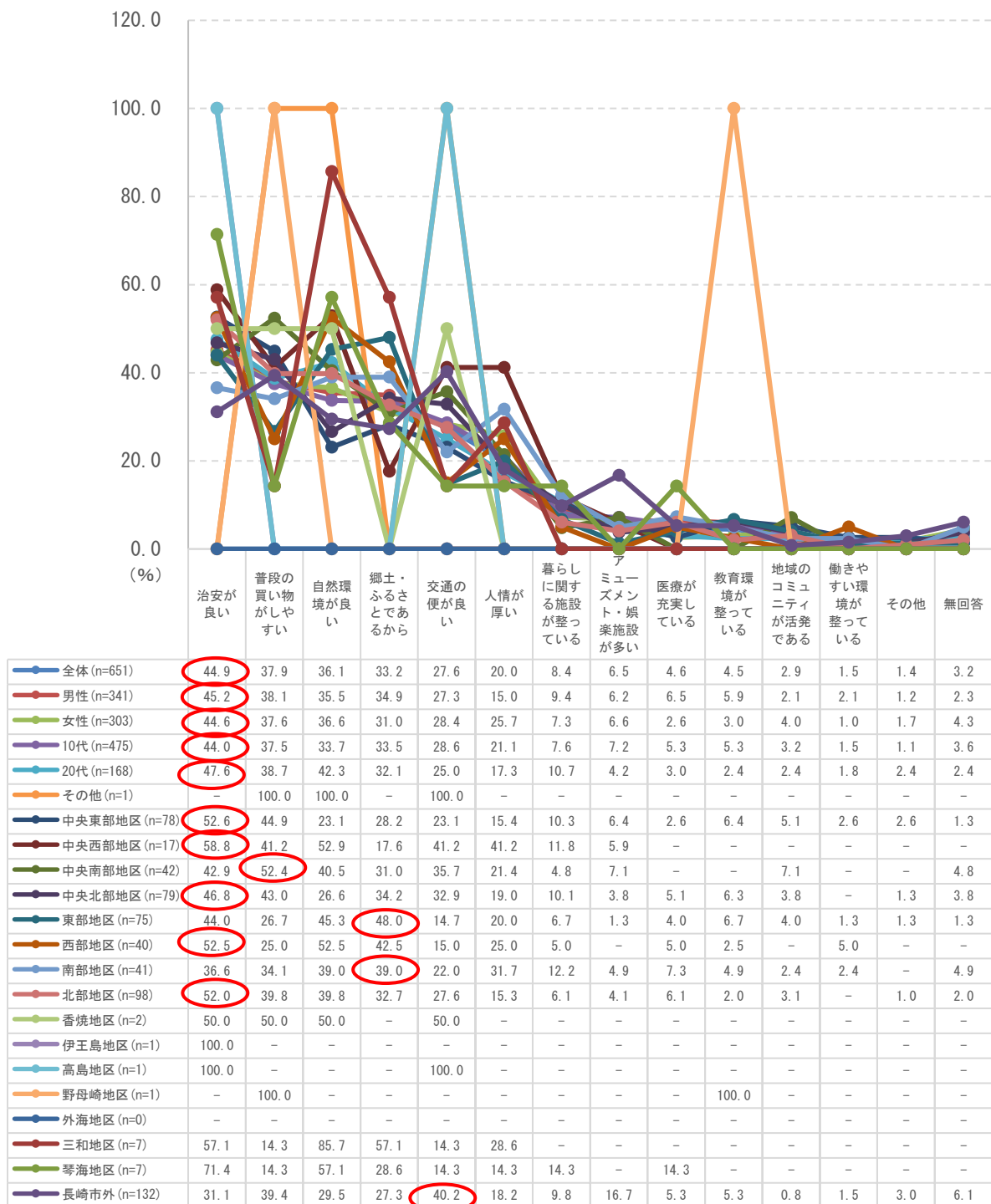
「暮らしやすい」と回答した理由は、ほとんどの属性で「治安が良い」が最も多く、相違は「中央南部地区」で「普段の買い物がしやすい」が最も多く、「東部地区」「南部地区」で「郷土・ふるさとであるから」が最も多くなっている。

また、偏差値での比較を行うと「郷土・ふるさとであるから」「治安が良い」「自然環境が良い」「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」の5項目で平均以上の評価がされている。

※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様。

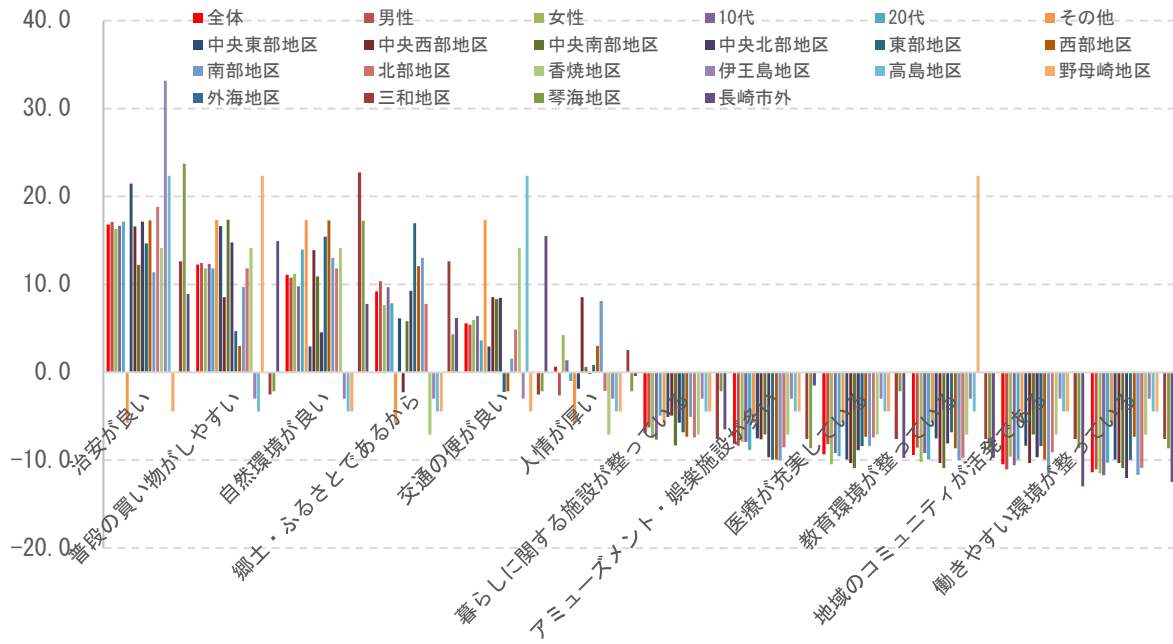
※母数が小さい区分は参考程度とする必要がある

図表IV-2-4：長崎市の暮らしやすい理由



○ 最大値

図表IV-2-5：暮らしやすい理由偏差値比較



※偏差値はその他・無回答を除き算出している（以降同様）

(3) 暮らしにくい理由

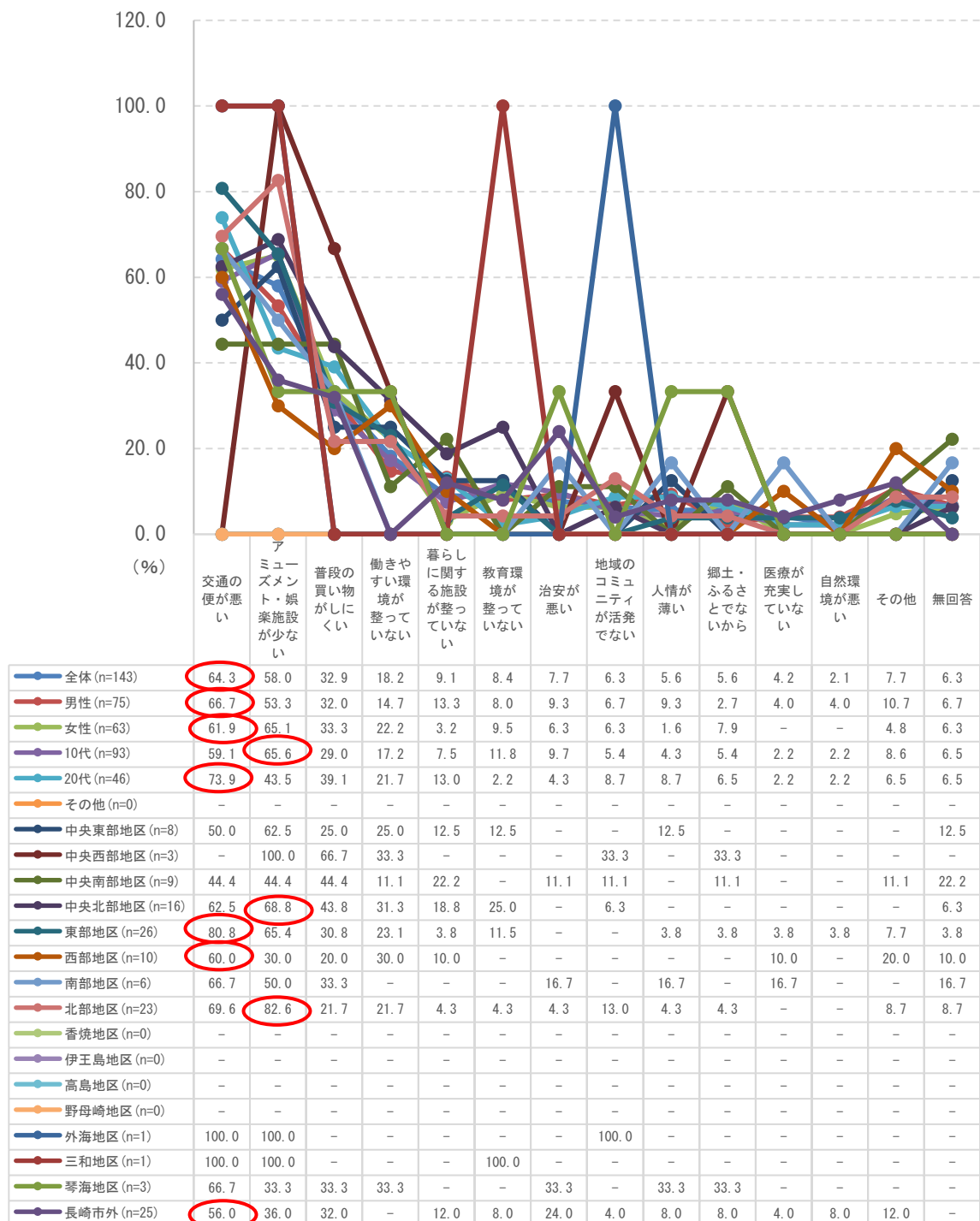
「暮らしにくい」理由は、全体では「交通の便が悪い」が最も多くなっている。属性別で見られる相違は「10代」「中央北部地区」「北部地区」で「アミューズメント・娯楽施設が少ない」が最も多くなっている。

また、偏差値での比較を行うと「交通の便が悪い」「普段の買い物がしにくい」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」の3項目が「暮らしにくい」理由と評価がされている。

※暮らしにくい＝「やや住みにくい」＋「住みにくい」以降同様。

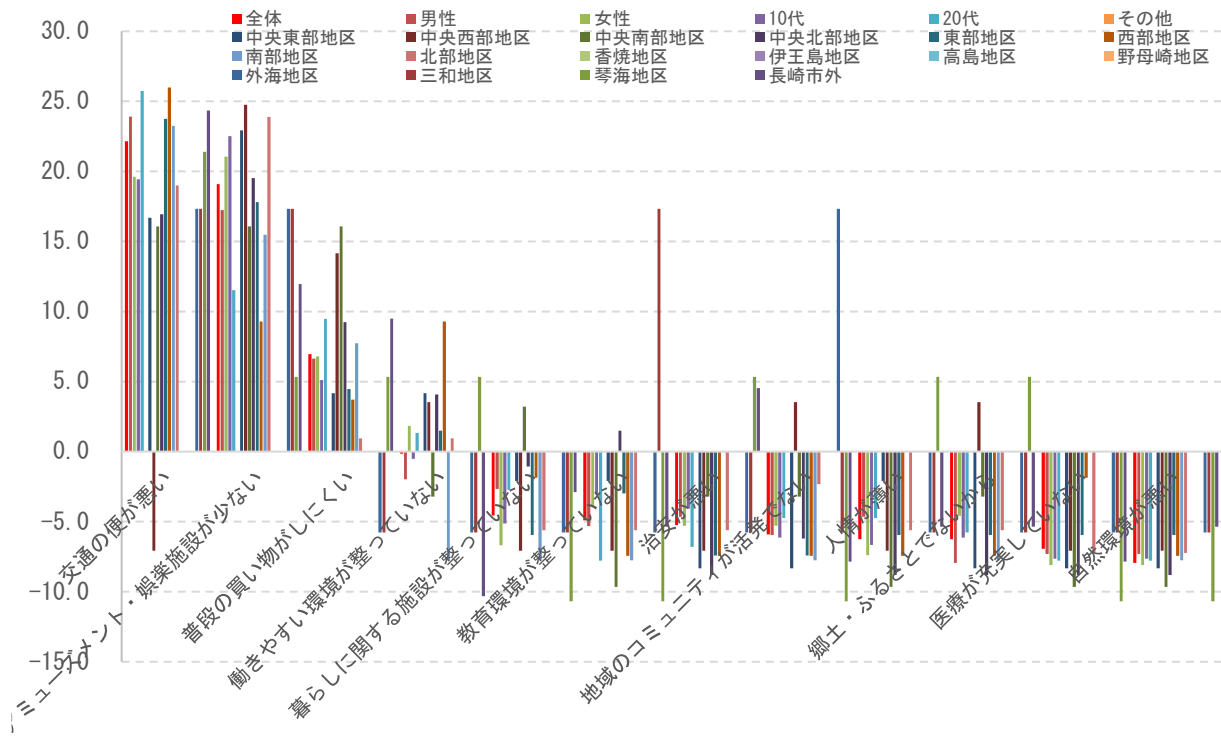
※母数が小さい区分は参考程度とする必要がある

図表IV-2-6：長崎市の暮らしにくい理由



○ 最大値

図表IV-2-7：暮らしにくい理由偏差値比較



(4) 長崎市への継続居住意向

長崎市への継続居住意向は、「住み続けたい」は39.9%、「転居」が41.4%、「転居するが、将来は戻ってきたい」が16.8%となっており、「転居する」が「住み続けたい」を1.5ポイント上回っている。

性別で女性は「住み続けたい」が「転居する」を2.3ポイント上回り、男性は「転居する」が「住み続けたい」を4.3ポイント上回っている。

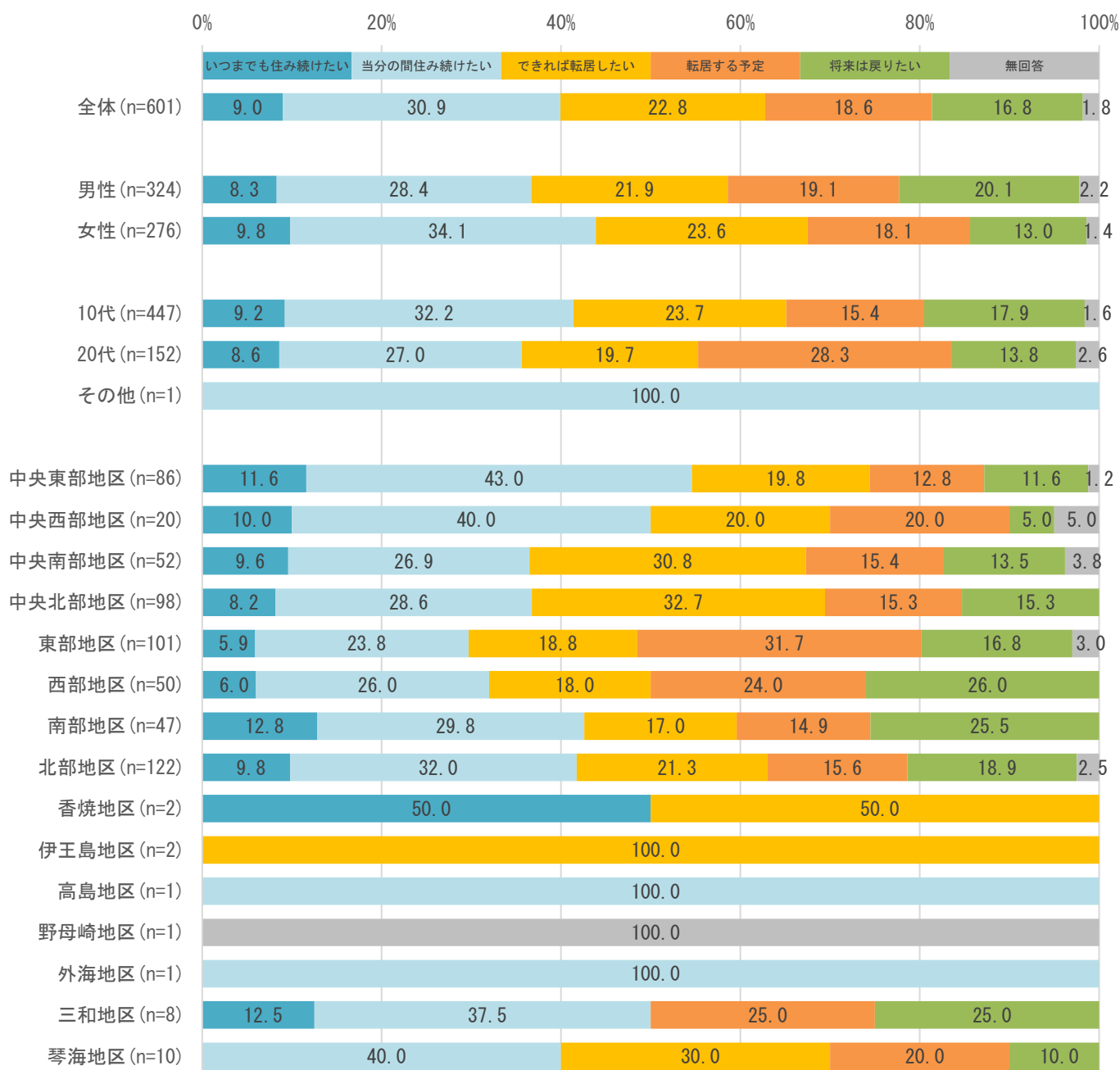
年代別で10代は「住み続けたい」が「転居する」を2.2ポイント上回り、20代は「転居する」が「住み続けたい」を12.4ポイント上回っている。

居住地域別では「住み続けたい」が「転居する」を上回ったのは「中央東部地区」「中央西部地区」「南部地区」「北部地区」となり、「中央南部地区」「中央北部地区」「東部地区」「西部地区」は「転居する」が「住み続けたい」を上回っている。

※「住み続けたい」＝「いつまでも住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」以降同様。

「転居する」＝「できれば、他の市町村に転居したい」＋「他の市町村に転居する予定である」以降同様。

図表IV-2-8：長崎市への継続居住意向

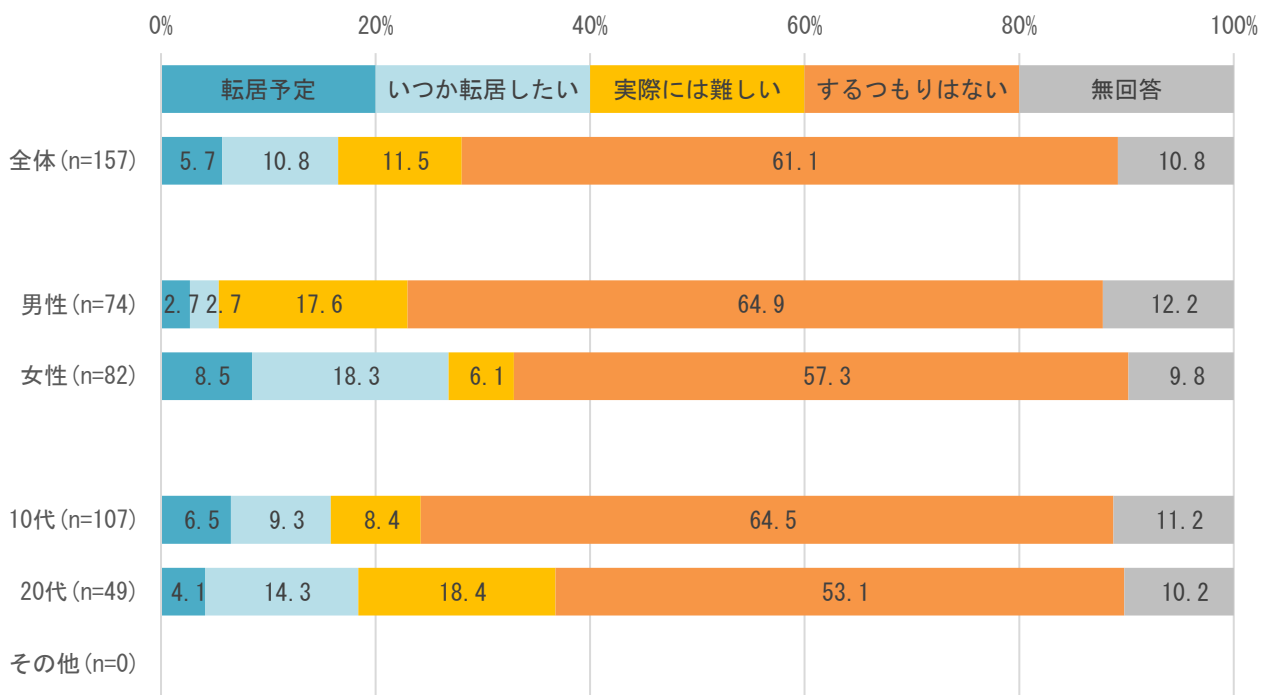


(5) 長崎市への転居意向

長崎市への転居意向は、「長崎市に転居するつもりはない」が 61.1%で最も多く、次いで「長崎市に転居したいが、実際には難しい」が 11.5%、「いつか、長崎市に転居したい」が 10.8%、「長崎市に転居する予定である」が 5.7%となっている。

性別で女性は男性よりも長崎市への転居意向は高く、年代別では 20 代が 10 代よりも長崎市への転居意向は高くなっている。

図表IV-2-9：長崎市への転居意向

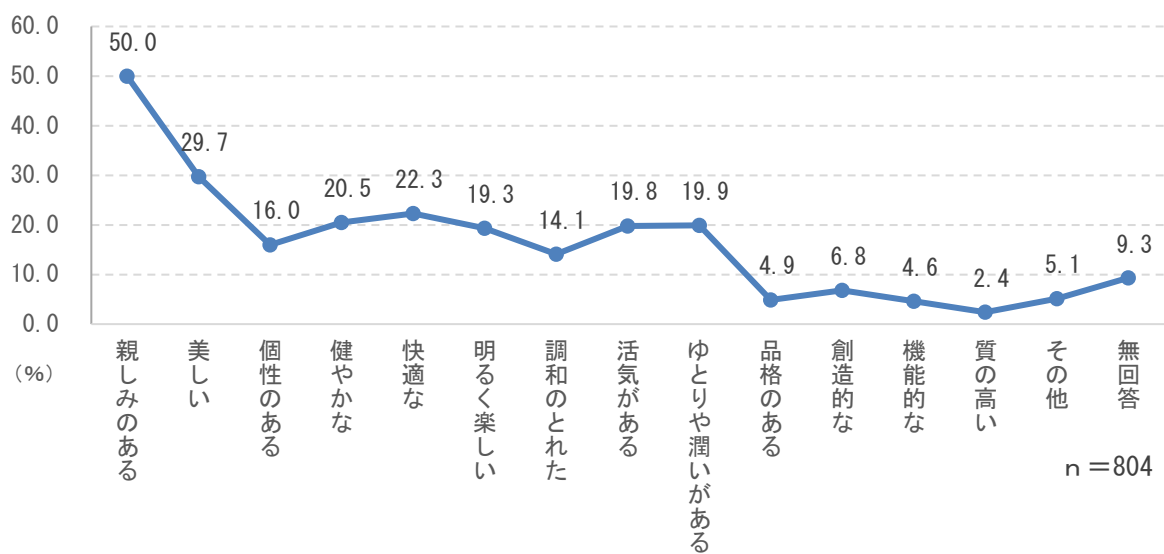


(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード

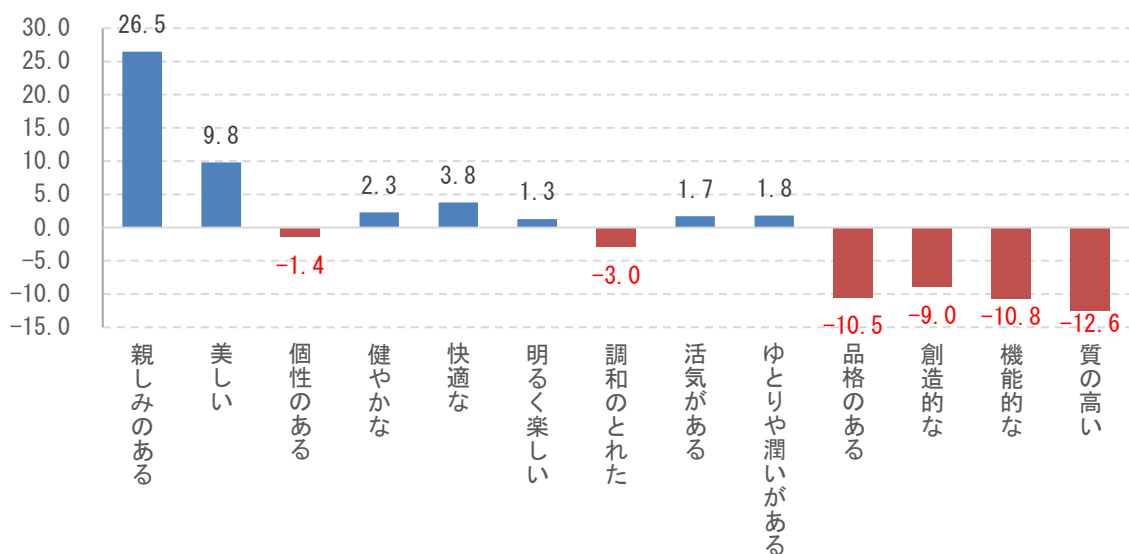
現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワードは「親しみのある」が50.0%で最も多く、次いで「美しい」が29.7%、「快適な」が22.3%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「親しみのある」「美しい」「健やかな」「快適な」「明るく楽しい」「活気がある」「ゆとりや潤いがある」の7項目は平均以上となっており、現在の長崎市にふさわしいイメージと認識されている。

図表IV-2-10：現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード



図表IV-2-11：現在の長崎市のイメージ偏差値比較

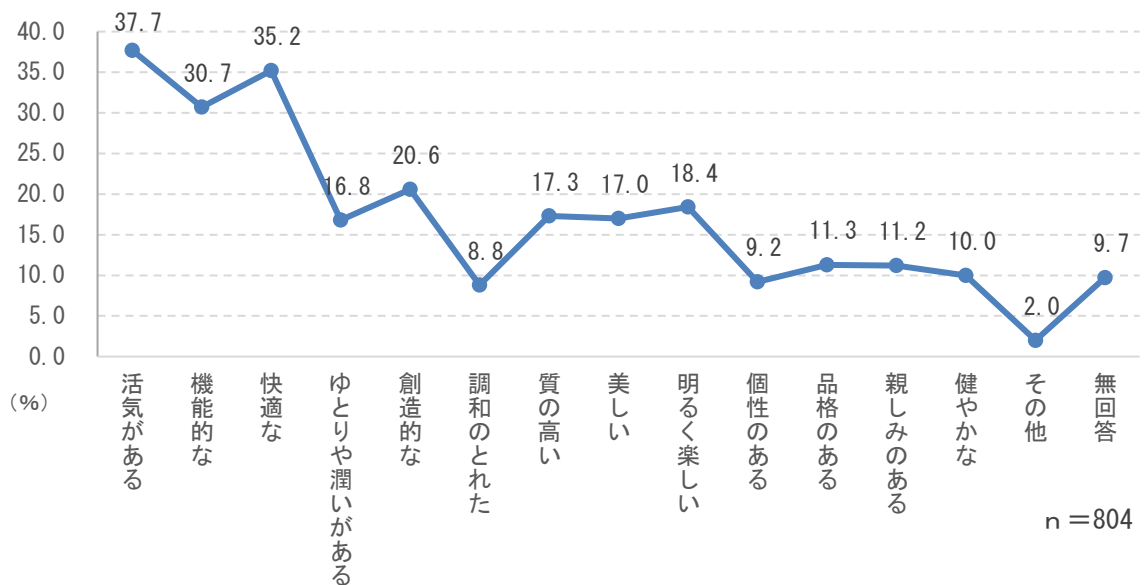


(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード

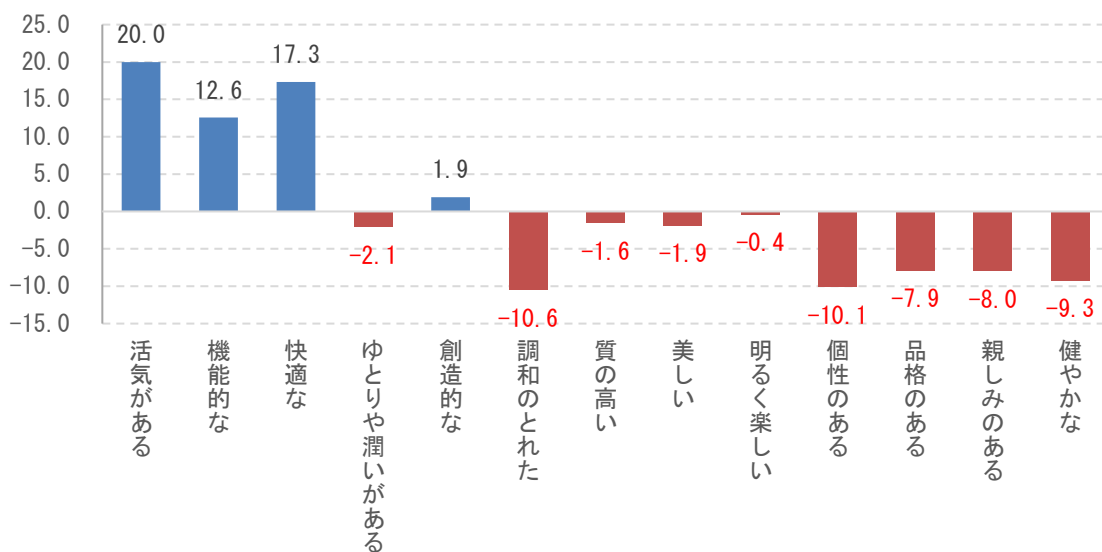
将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワードは「活気がある」が37.7%で最も多く、次いで「快適な」が35.2%、「機能的な」が30.7%が続いている。

また、偏差値での比較を行うと「活気がある」「機能的な」「快適な」「創造的な」の4項目は平均以上となっており、将来の都市づくりにふさわしいイメージと認識されている。

図表IV-2-12：将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード



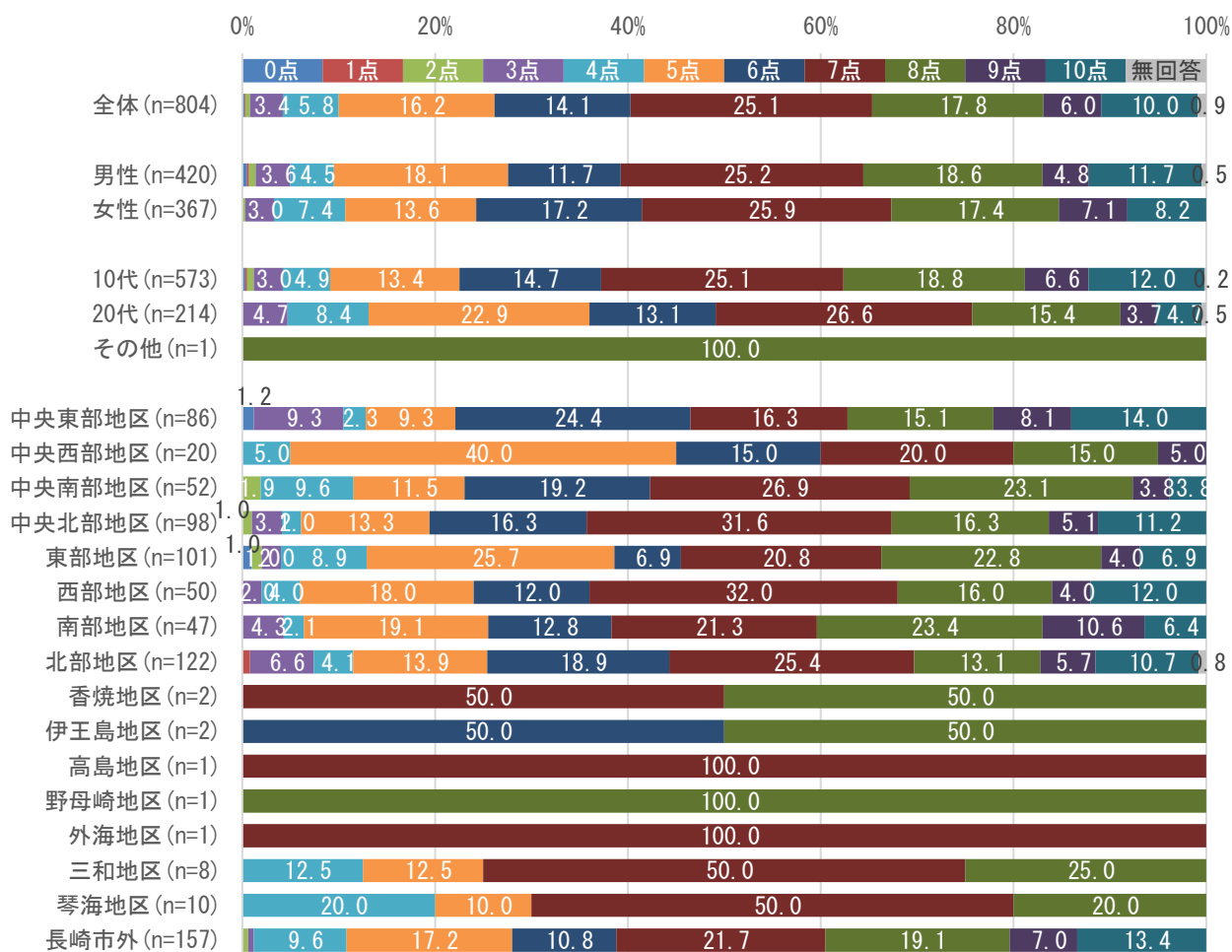
図表IV-2-13：将来の都市づくりのイメージ偏差値比較



(8) 現在の幸福感

現在の幸福感を10点満点で表したところ、全体で「6点」以上の割合は73.0%となっており、これを下回ったのは性別で「男性」、年代別では「20代」、居住地別では「中央西部地区」「東部地区」となっており、特に、「中央西部地区」は55.0%と6割を切っている。

図表IV-2-14：現在の幸福感

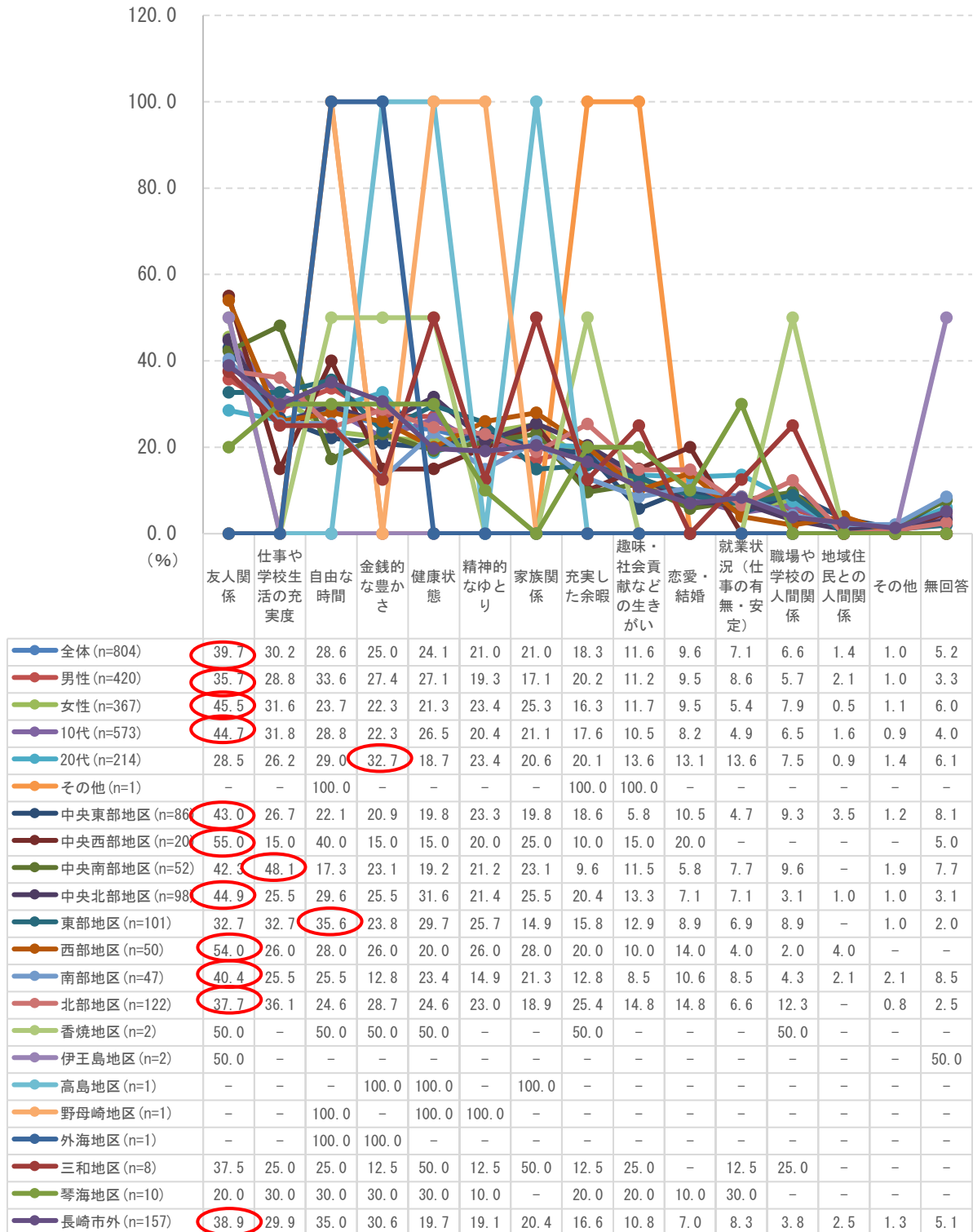


	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (n=804)	0.2	0.1	0.5	3.4	5.8	16.2	14.1	25.1	17.8	6.0	10.0	0.9
男性 (n=420)	0.5	0.2	0.7	3.6	4.5	18.1	11.7	25.2	18.6	4.8	11.7	0.5
女性 (n=367)			0.3	3.0	7.4	13.6	17.2	25.9	17.4	7.1	8.2	
10代 (n=573)	0.3	0.2	0.7	3.0	4.9	13.4	14.7	25.1	18.8	6.6	12.0	0.2
20代 (n=214)				4.7	8.4	22.9	13.1	26.6	15.4	3.7	4.7	0.5
その他 (n=1)									100.0			
中央東部地区 (n=86)	1.2			9.3	2.3	9.3	24.4	16.3	15.1	8.1	14.0	
中央西部地区 (n=20)					5.0	40.0	15.0	20.0	15.0	5.0		
中央南部地区 (n=52)			1.9	9.6	11.5	19.2	26.9	23.1	3.8	3.8		
中央北部地区 (n=98)			1.0	3.1	2.0	13.3	16.3	31.6	16.3	5.1	11.2	
東部地区 (n=101)	1.0		1.0	2.0	8.9	25.7	6.9	20.8	22.8	4.0	6.9	
西部地区 (n=50)				2.0	4.0	18.0	12.0	32.0	16.0	4.0	12.0	
南部地区 (n=47)			4.3	3.1	19.1	12.8	21.3	23.4	10.6	6.4		
北部地区 (n=122)		0.8	6.6	4.1	13.9	18.9	25.4	13.1	5.7	10.7	0.8	
香焼地区 (n=2)								50.0	50.0			
伊王島地区 (n=2)							50.0		50.0			
高島地区 (n=1)							100.0					
野母崎地区 (n=1)								100.0				
外海地区 (n=1)								100.0				
三和地区 (n=8)				12.5	12.5		50.0	25.0				
琴海地区 (n=10)				20.0	10.0		50.0	20.0				
長崎市外 (n=157)			0.6	0.6	9.6	17.2	10.8	21.7	19.1	7.0	13.4	

幸福感を判断する際に重要視することは、ほとんどの区分で「友人関係」が最も多く、相違が見られるのは、「中央南部地区」は「仕事や学校生活の充実度」が最も多く、「東部地区」は「自由な時間」が最も多い、「20代」は「金銭的な豊かさ」が最も多くなっている。

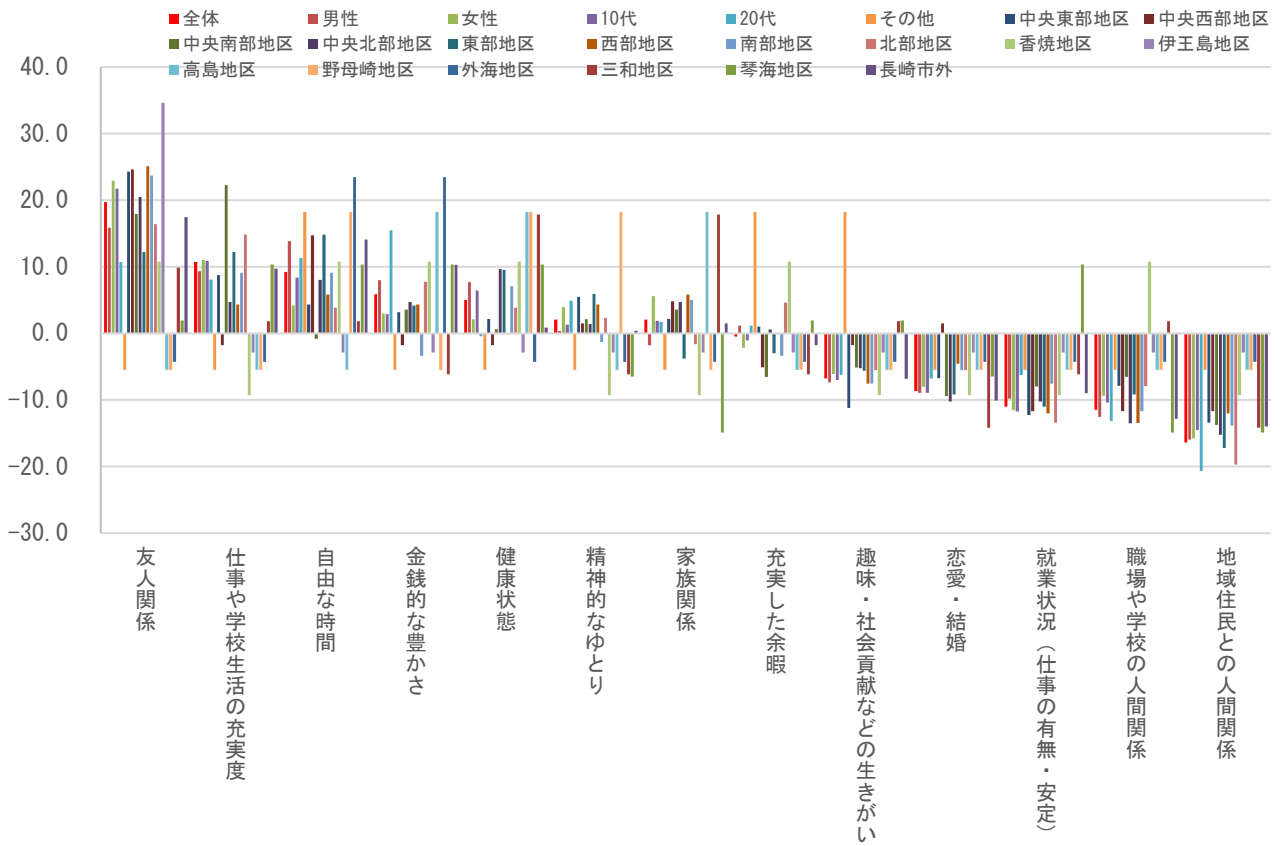
また、偏差値での比較を行うと、ややバラツキが見られるもののほとんどの属性において「友人関係」「仕事や学校生活の充実度」「自由な時間」「金銭的な豊かさ」「健康状態」が重要視されていることがわかる。

図表IV-2-15：幸福感の判断に重要視すること



○ 最大値

図表IV-2-16：幸福度の判断に重要視すること



3. 施策評価分析

(1) 災害に強いまちづくり

強化施策の「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で22.4ポイント満足度が低くなっている。

一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.88ポイント満足度が低くなっている。

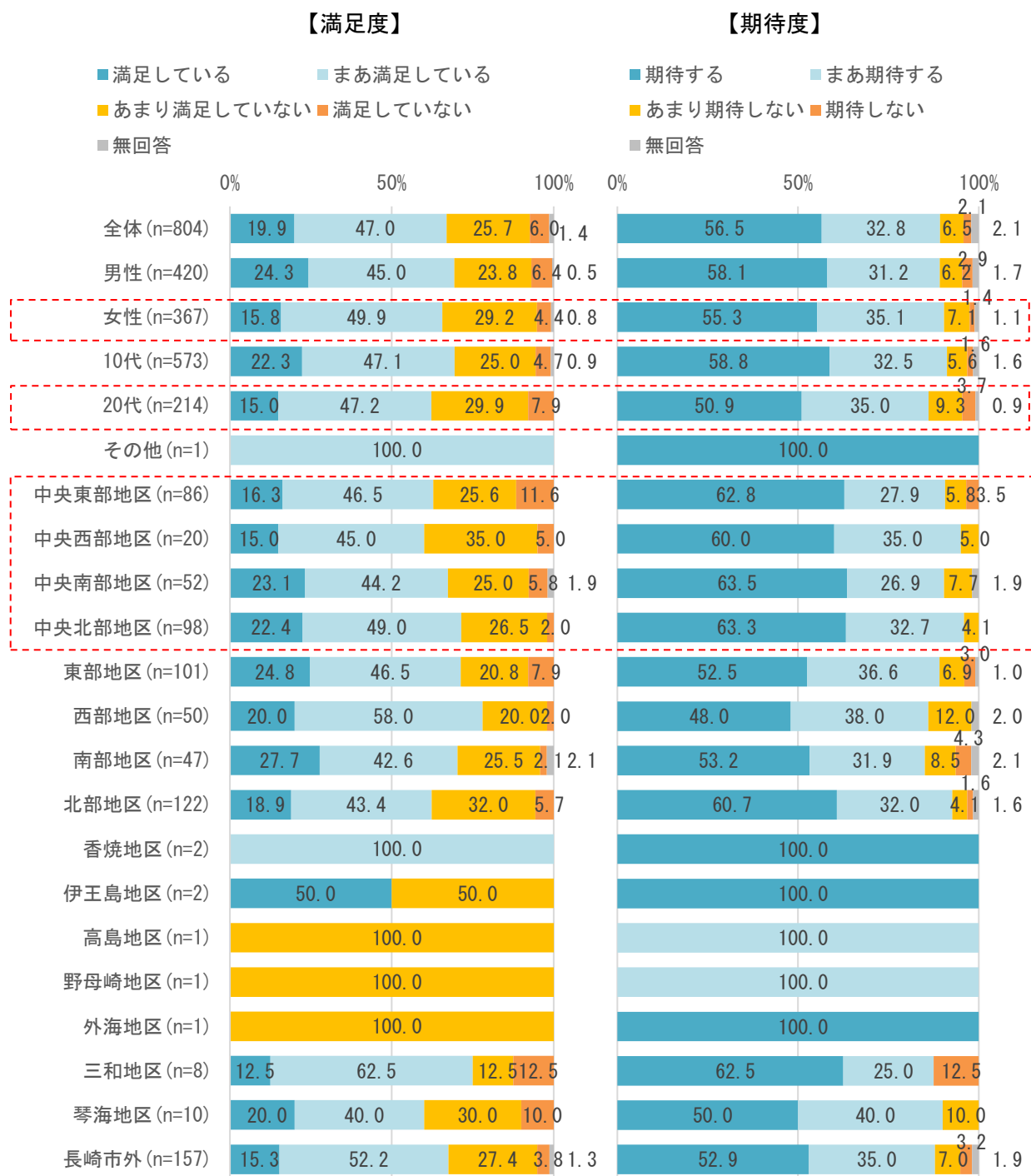
各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「中央北部地区」での評価改善が必要となる。

※満足度＝「満足している」＋「まあ満足している」 期待度＝「期待する」＋「まあ期待する」以降同様

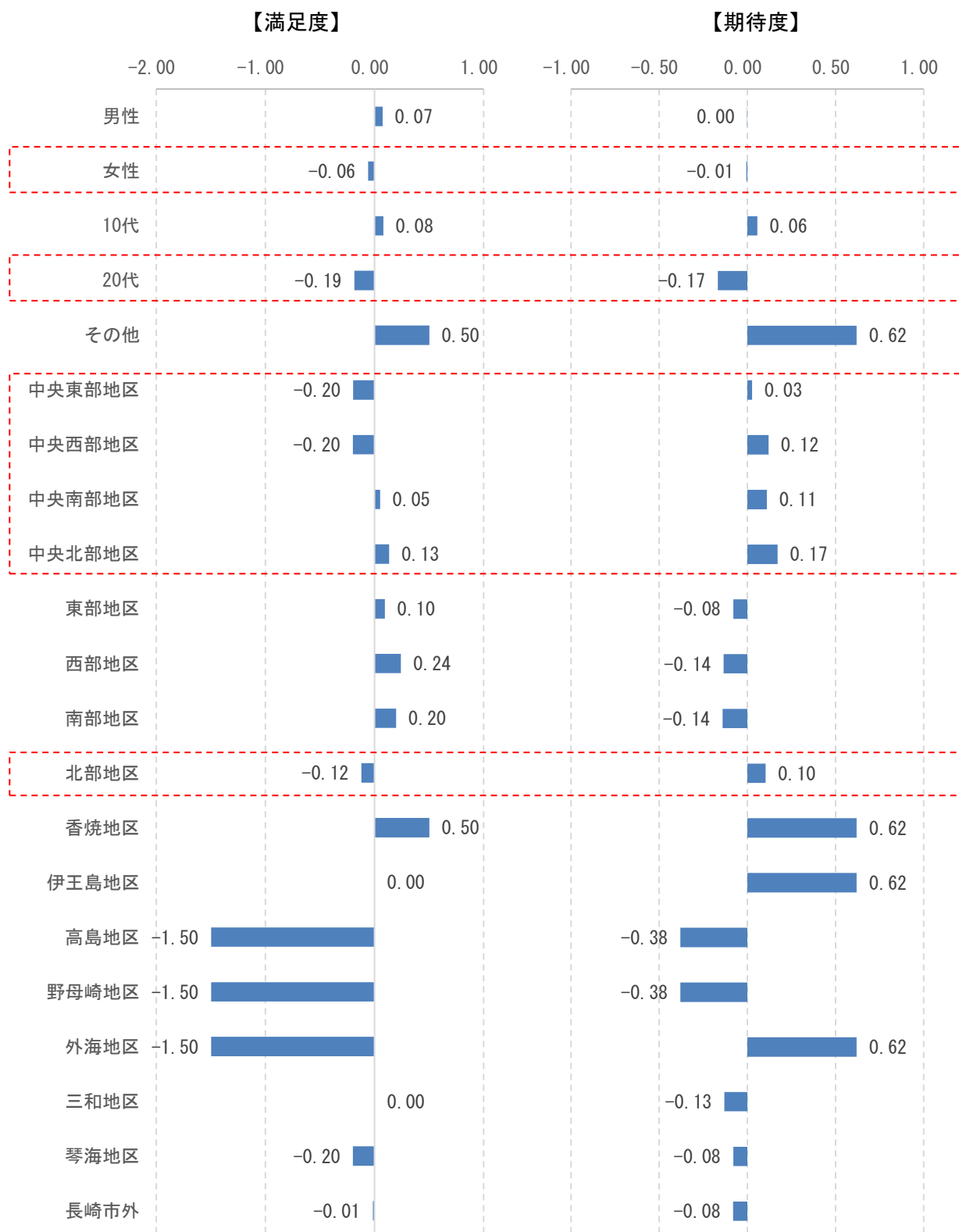
その他、香焼地区～琴海地区は母数が少ないため評価していない

※平均スコアはP12 一覧参照 以降同様

図表IV-3-1：満足度と期待度



図表IV-3-2：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



は満足度と期待度の図表では期待度と満足度の差（期待度－満足度）全体を基準としてプラス（差の拡大）となる項目、平均スコアの図表では満足度平均スコアと期待度平均スコアの差がプラス（差の拡大）となる項目を表している。以降同様。

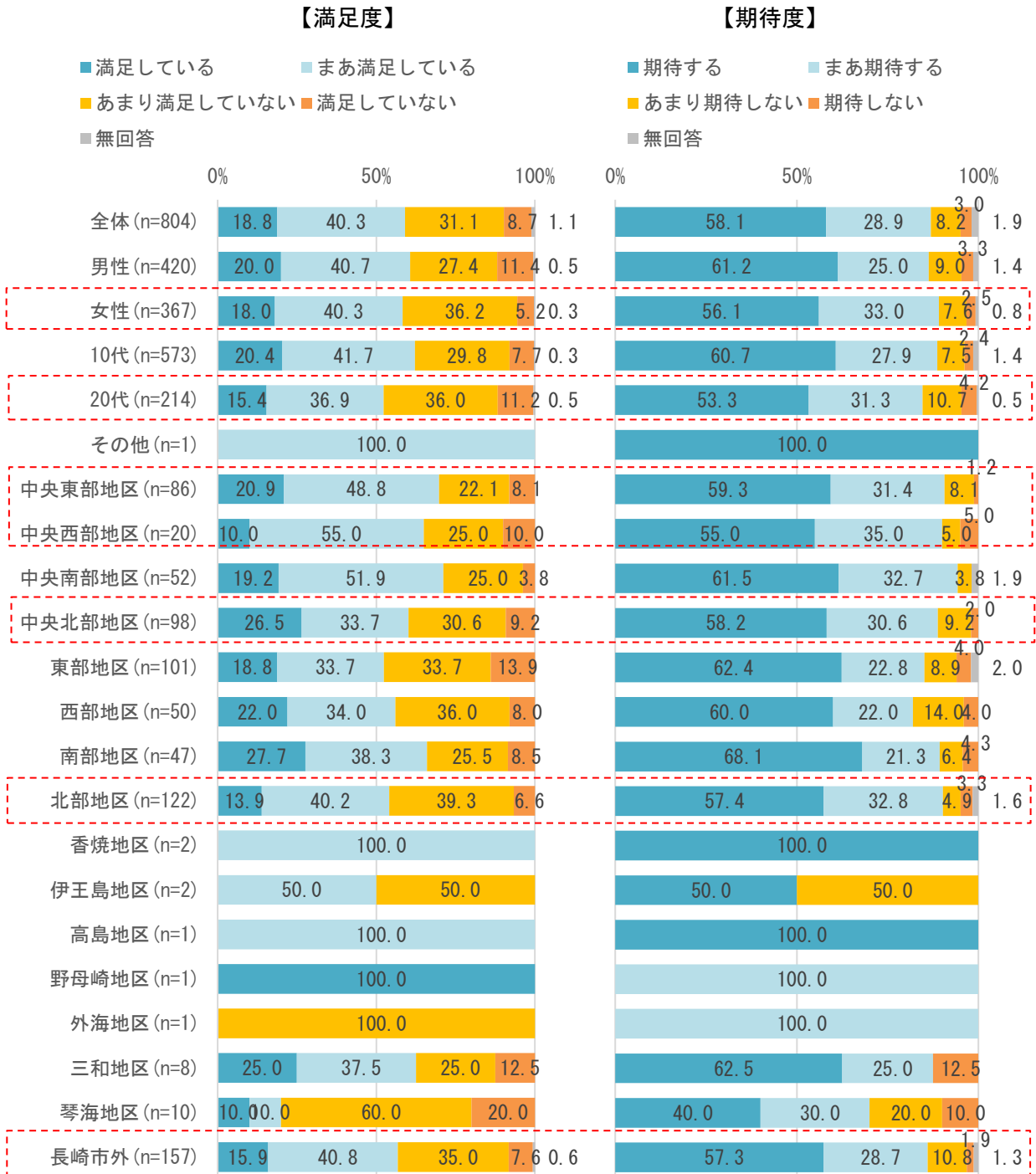
(2) 道路・交通の円滑化

強化施策の「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で27.9ポイント満足度が低くなっている。

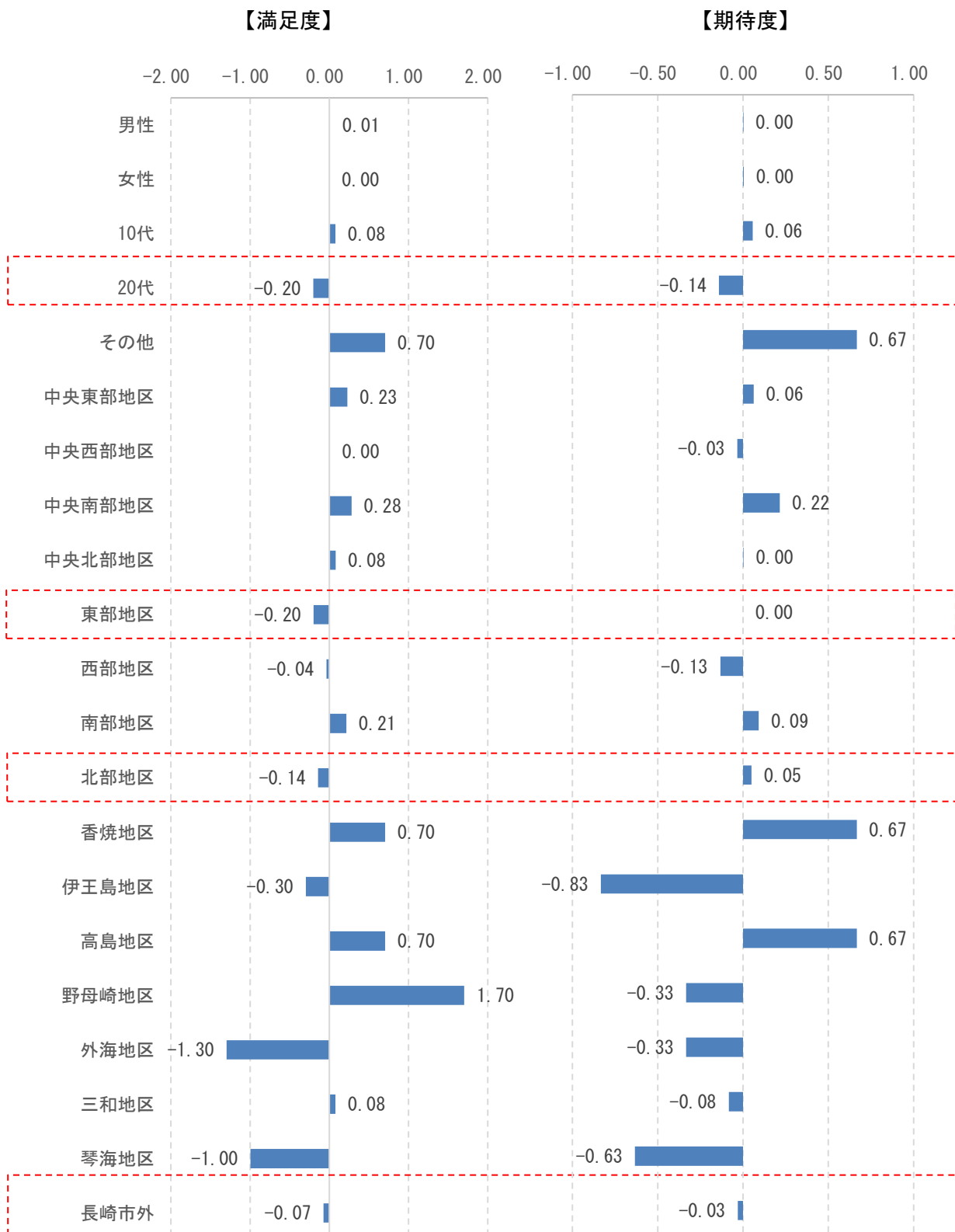
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.04ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性「20代」「北部地区」「長崎市外」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-3：満足度と期待度



図表IV-3-4：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



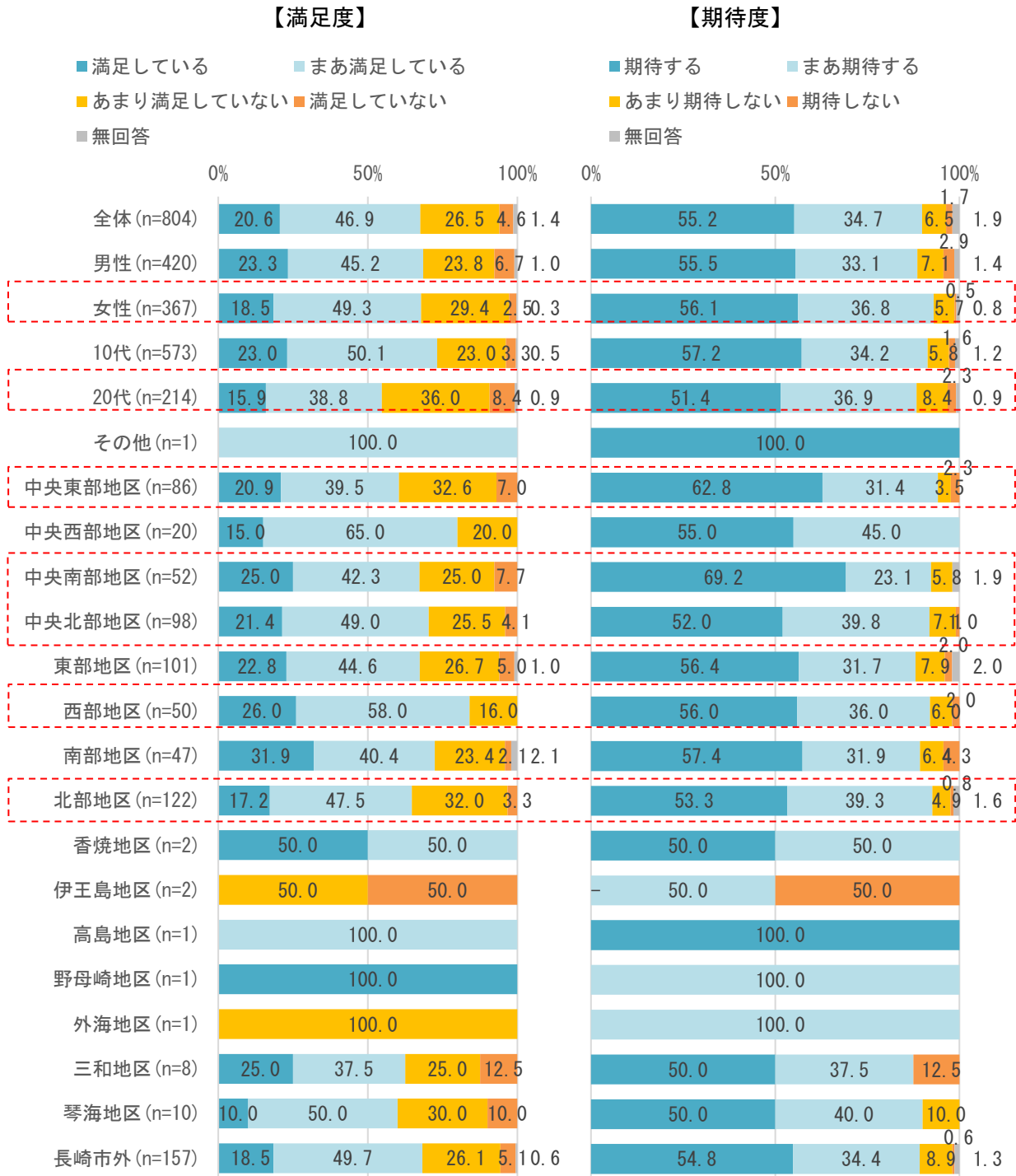
(3) 安全・安心で快適な公共空間

強化施策の「E-8：安全・安心で快適な公共空間をつくります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で22.4ポイント満足度が低くなっている。

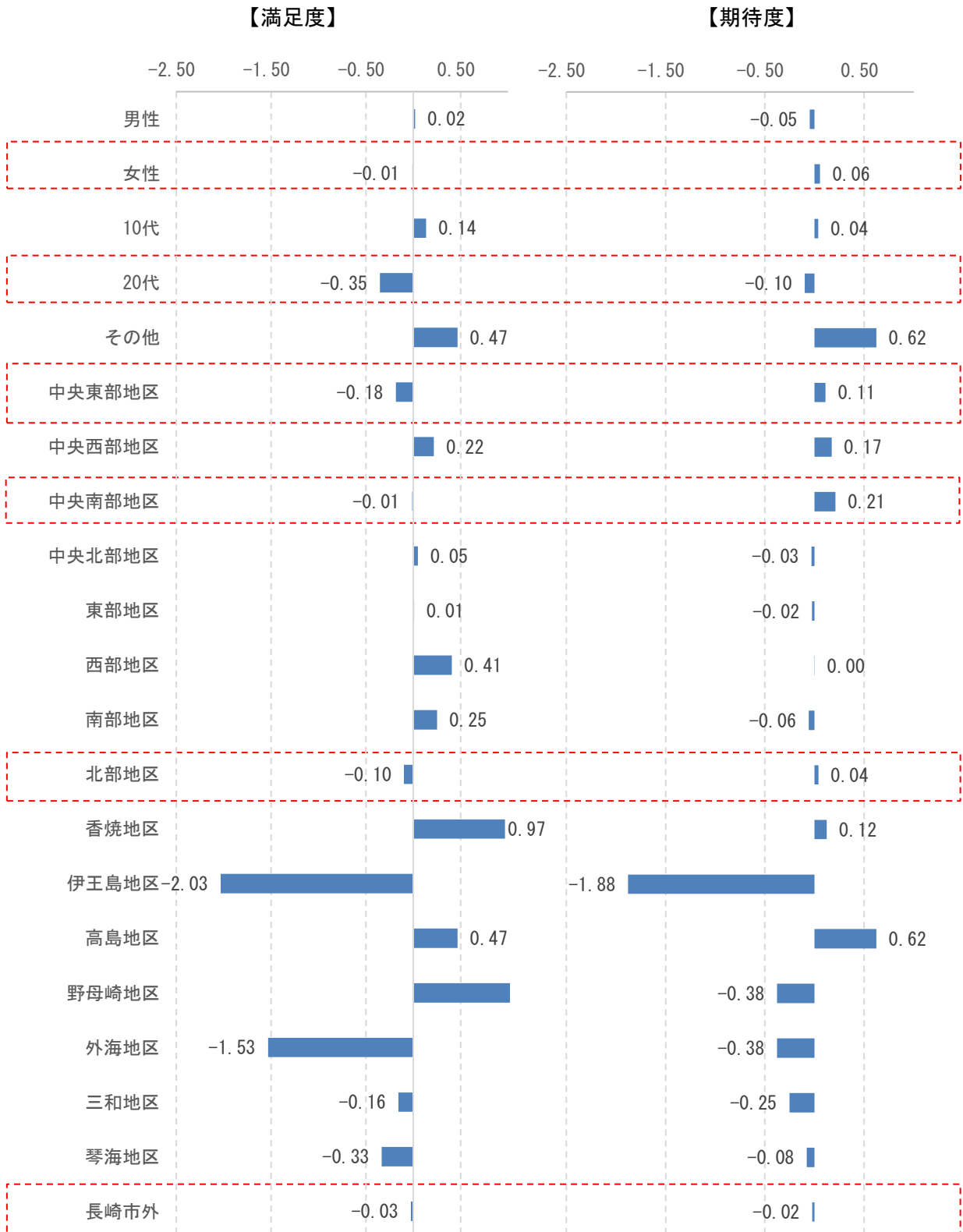
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.85ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「中央東部地区」「中央南部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-5：満足度と期待度



図表IV-3-6：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



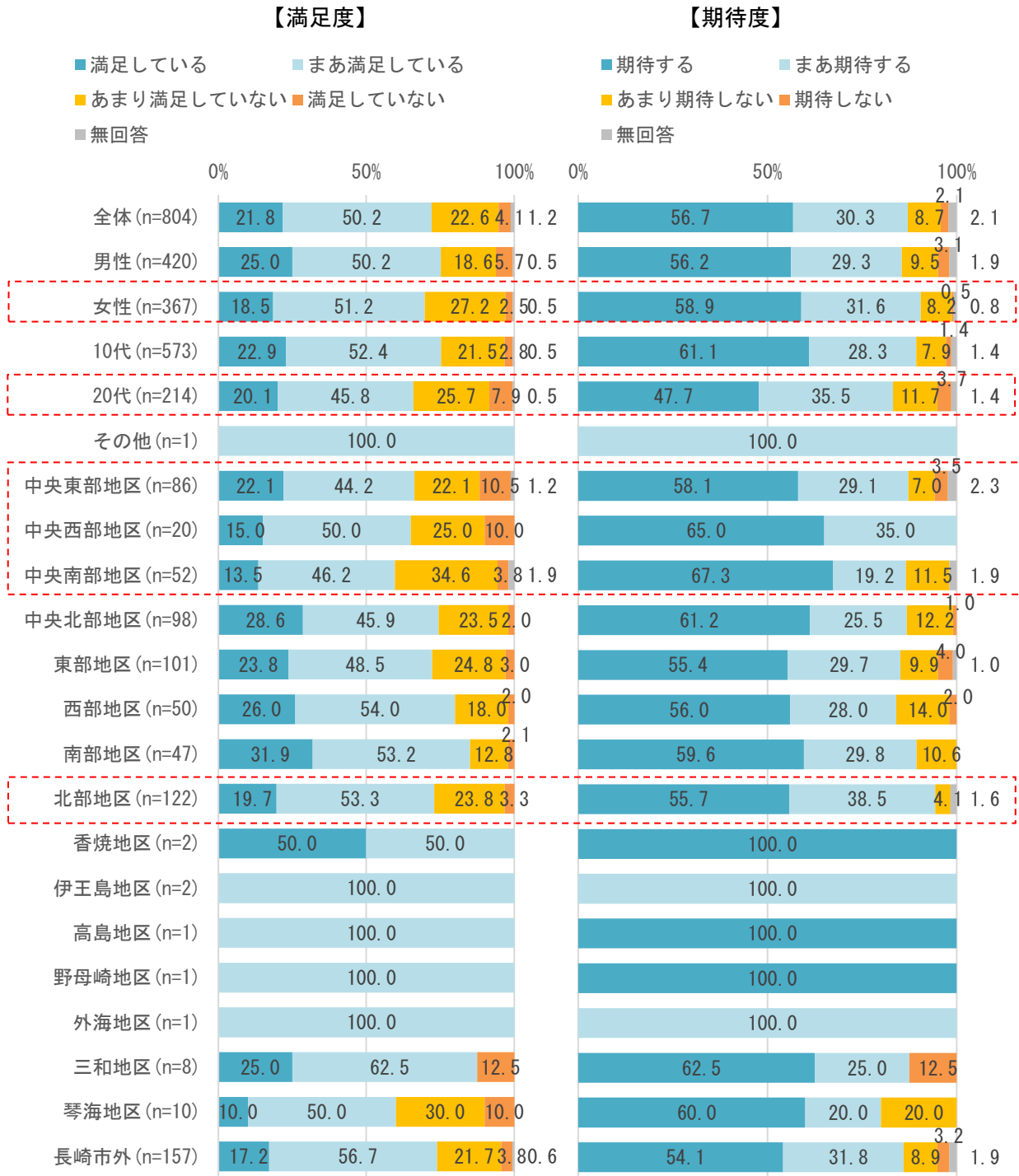
(4) 高齢者が暮らしやすい地域づくり

強化施策の「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」の満足度と期待度の乖離はやや大きく、全体で15.0ポイント満足度が低くなっている。

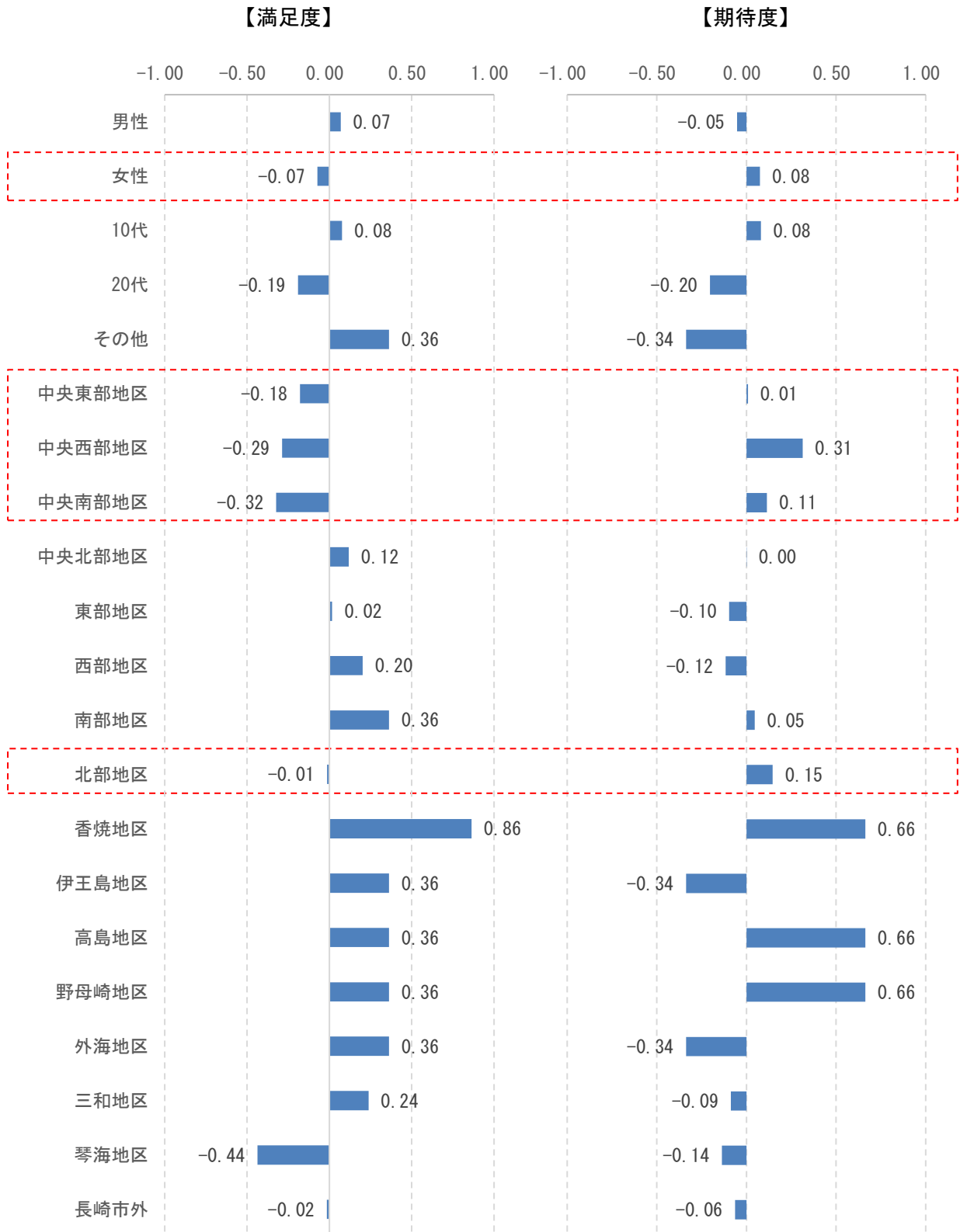
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離はやや大きく、全体で0.70ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-7：満足度と期待度



図表IV-3-8：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



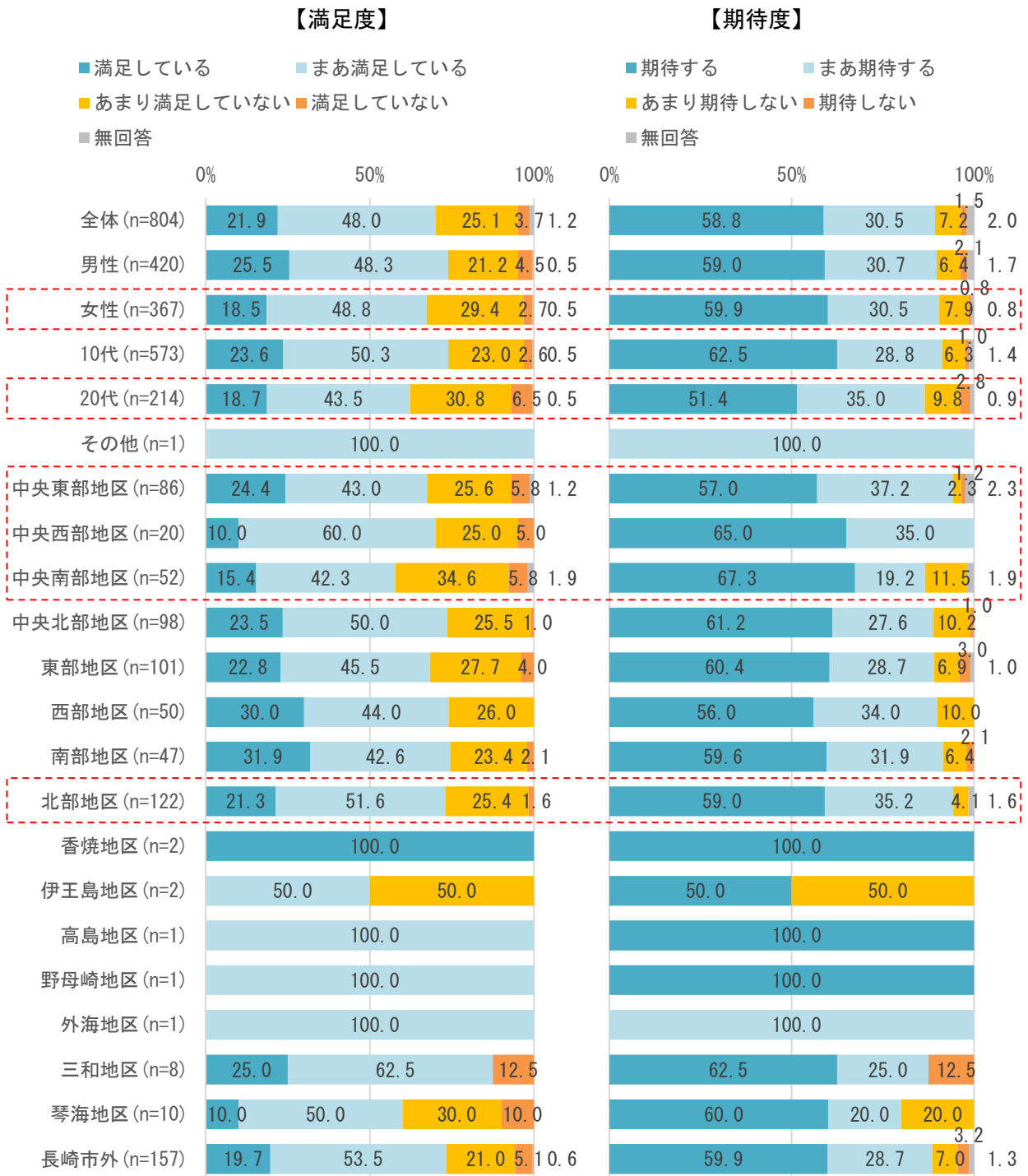
(5) 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます

強化施策の「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で19.4ポイント満足度が低くなっている。

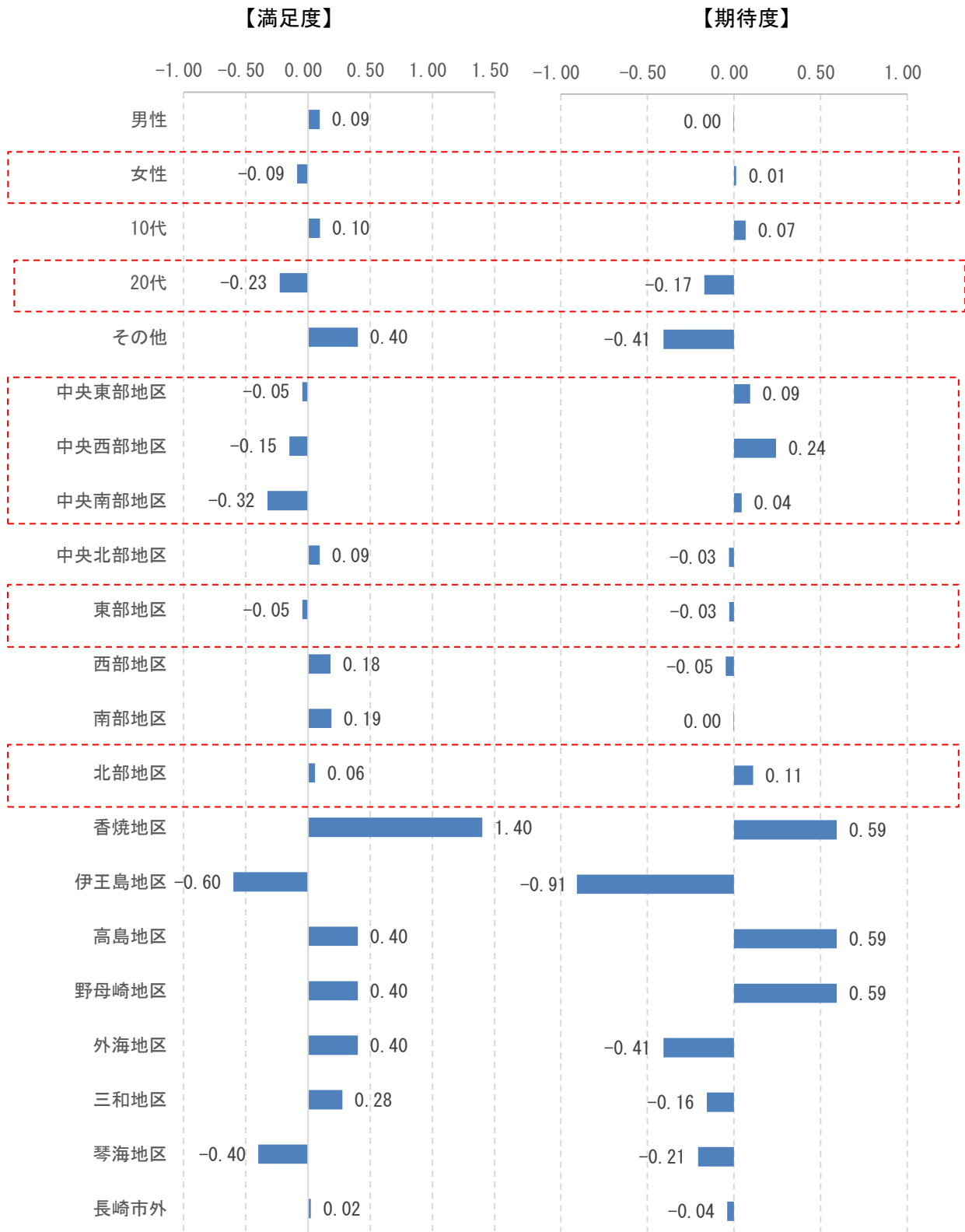
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.81ポイント満足度がやや低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-9：満足度と期待度



図表IV-3-10：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



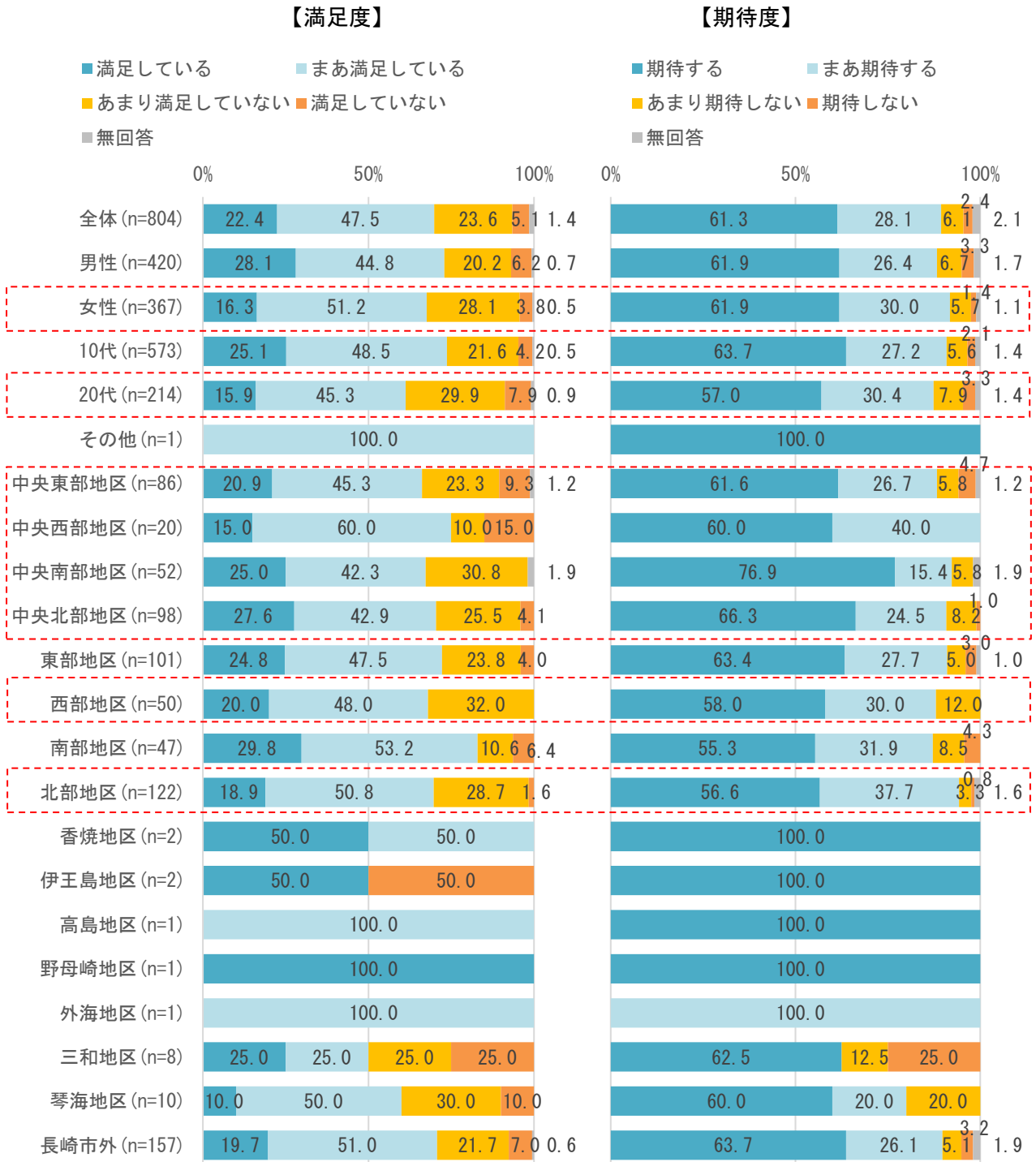
(6) 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち

強化施策の「F-4:安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で19.5ポイント満足度が低くなっている。

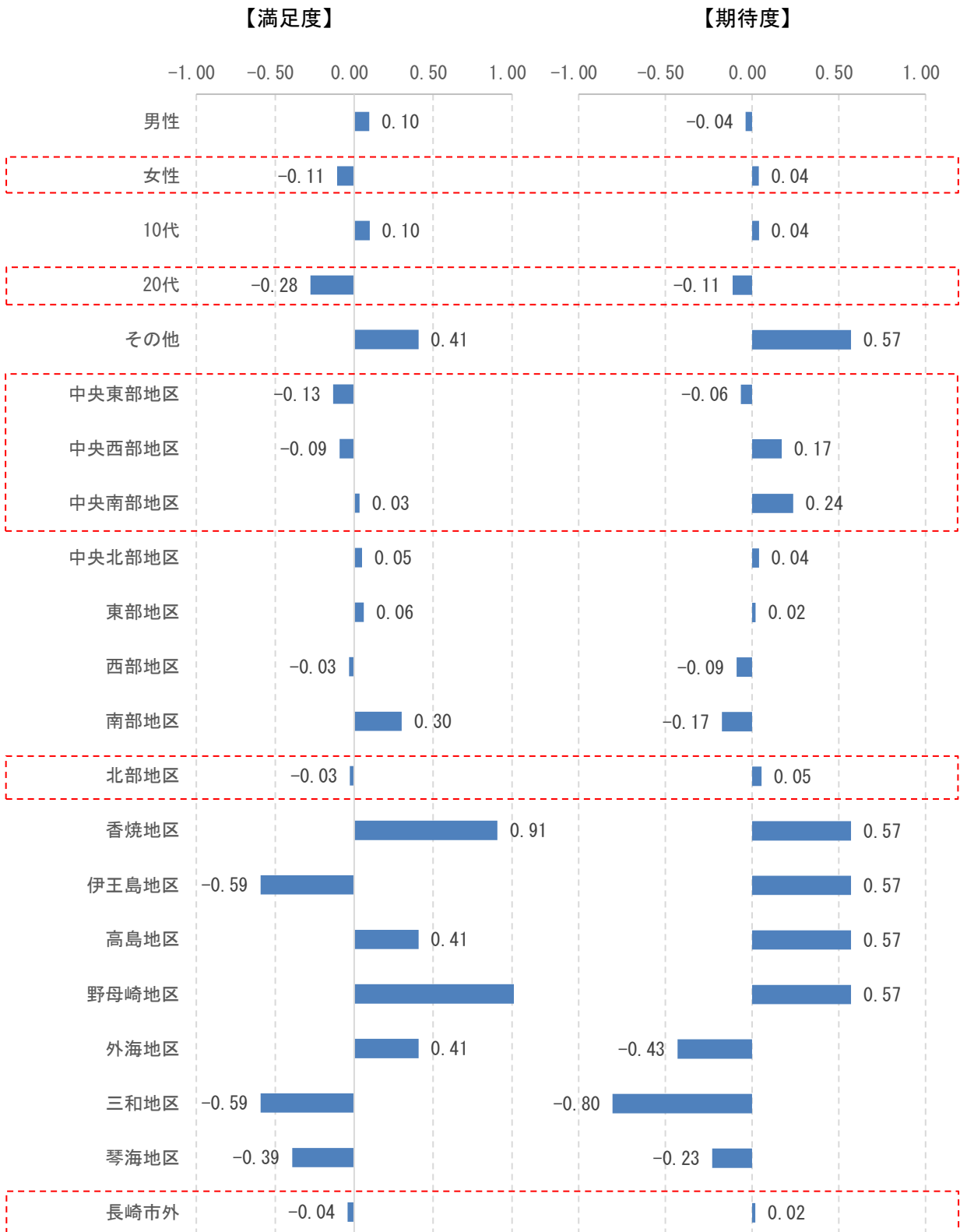
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.84ポイント満足度がやや低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「中央東部地区」「中央西部地区」「中央南部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-11：満足度と期待度



図表IV-3-12：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



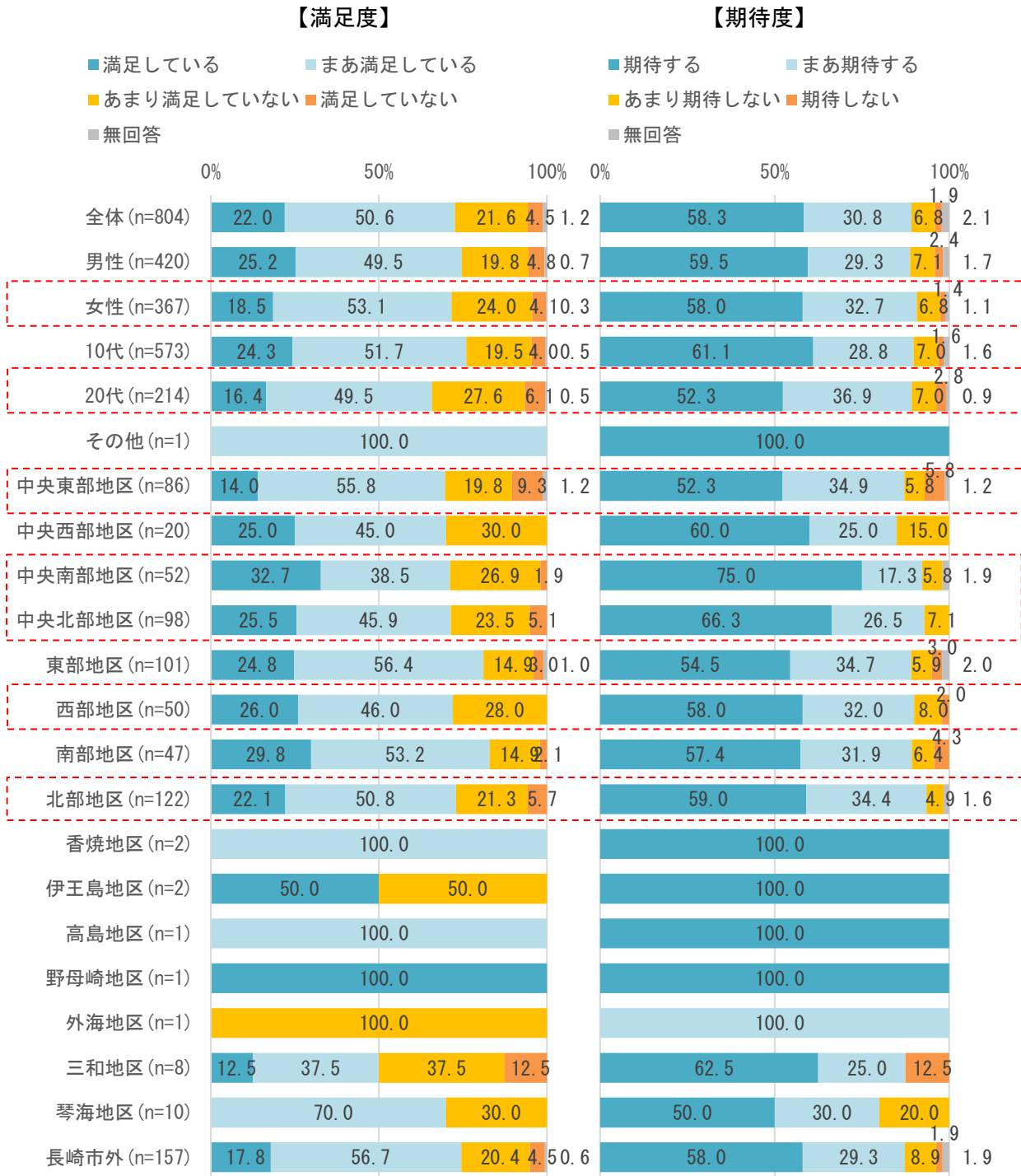
(7) 次代を生きぬく子どもの育み

強化施策の「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で16.5ポイント満足度が低くなっている。

一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.75ポイント満足度がやや低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「中央東部地区」「中央南部地区」「中央北部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

図表IV-3-13：満足度と期待度



図表IV-3-14：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



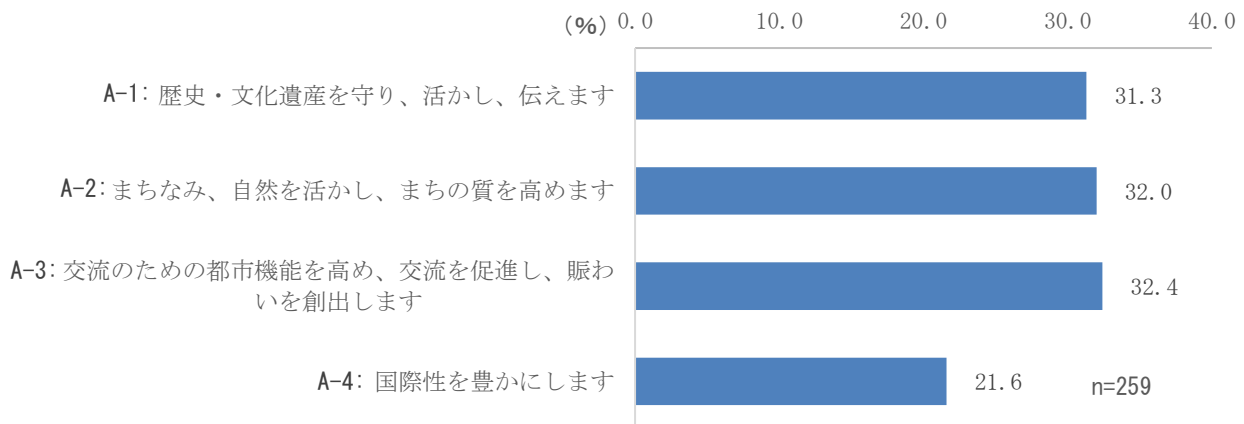
4. 優先施策

(1) 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち

「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は「A-3:交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します」が最も多い。

※比率は無回答を除き算出している。

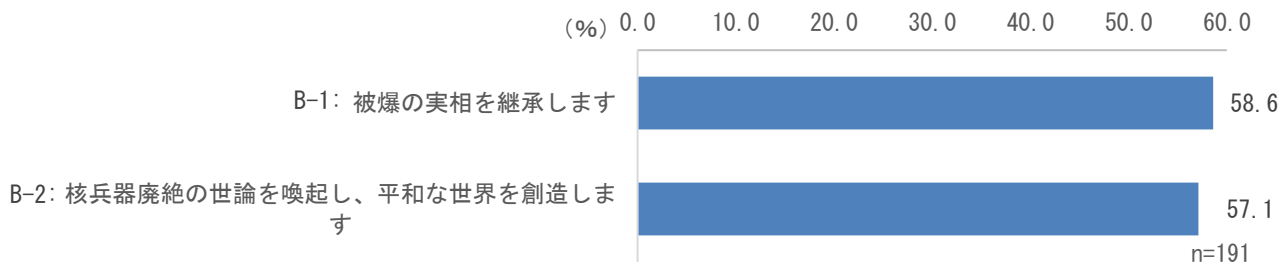
図表IV-4-1：住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの優先施策



(2) 平和を願い、求め、つくるまち

「B:平和を願い、求め、つくるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「B-1:被爆の実相を継承します」が最も多くなっている。

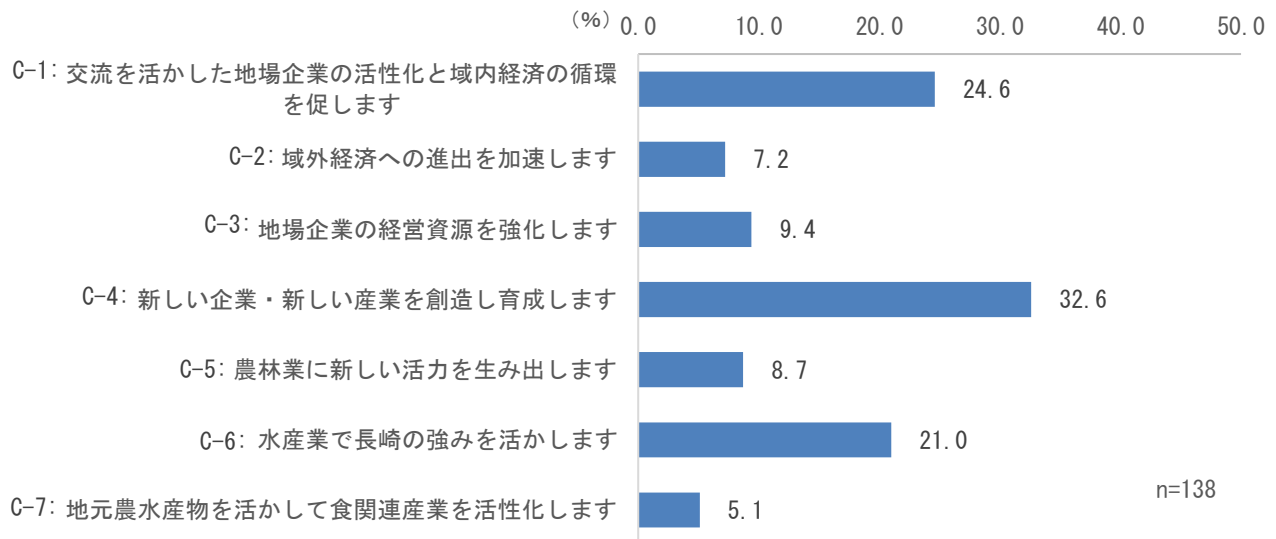
図表IV-4-2：平和を願い、求め、つくるまちの優先施策



(3) 活力に満ち、発展し続けるまち

「C:活力に満ち、発展し続けるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」が最も多くなっている。

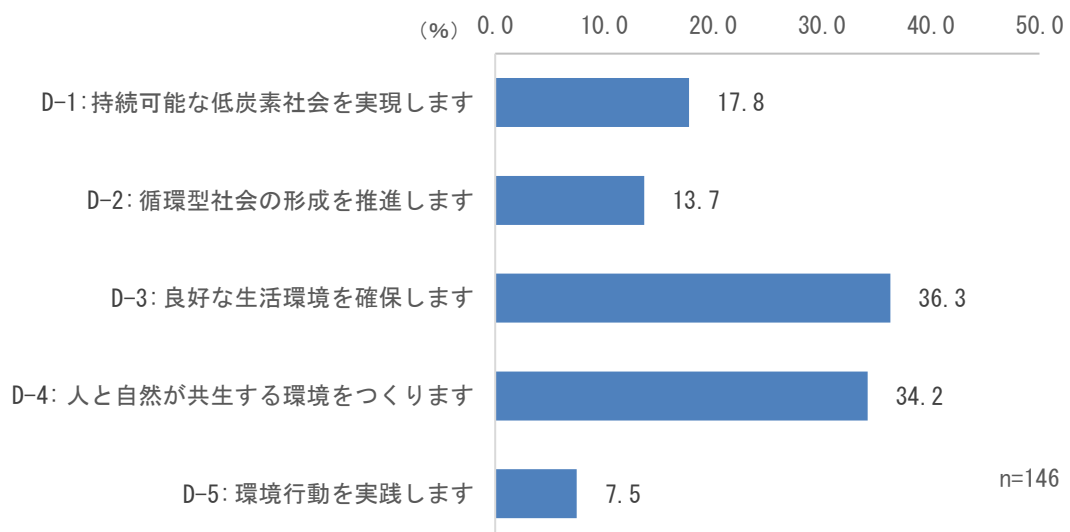
図表IV-4-3：活力に満ち、発展し続けるまちの優先施策



(4) 環境と調和する潤いのあるまち

「D:環境と調和する潤いのあるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「D-3:良好な生活環境を確保します」が最も多くなっている。

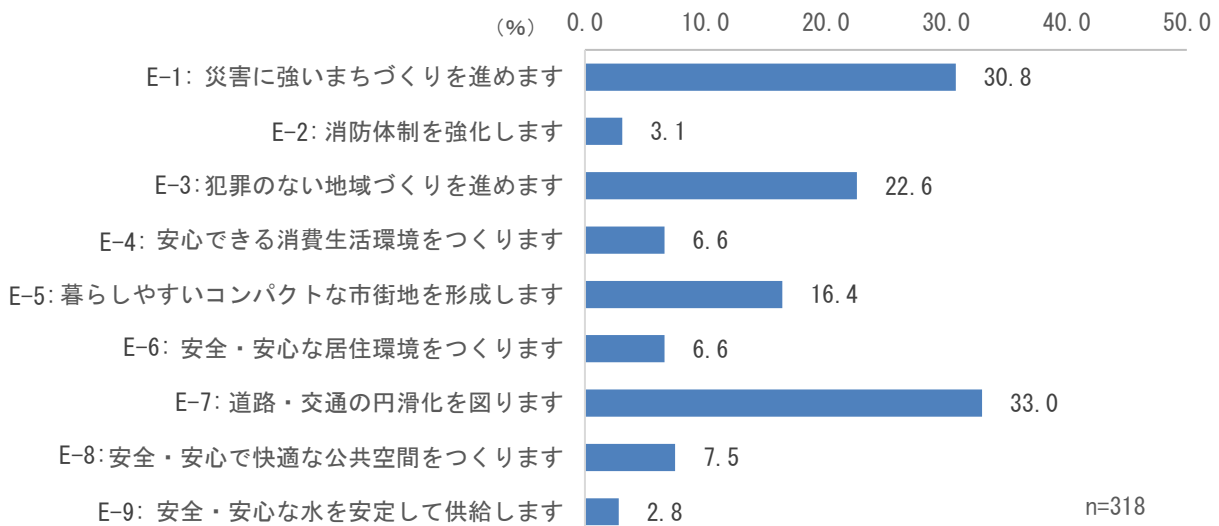
図表IV-4-4：環境と調和する潤いのあるまちの優先施策



(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち

「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」が最も多くなっている。

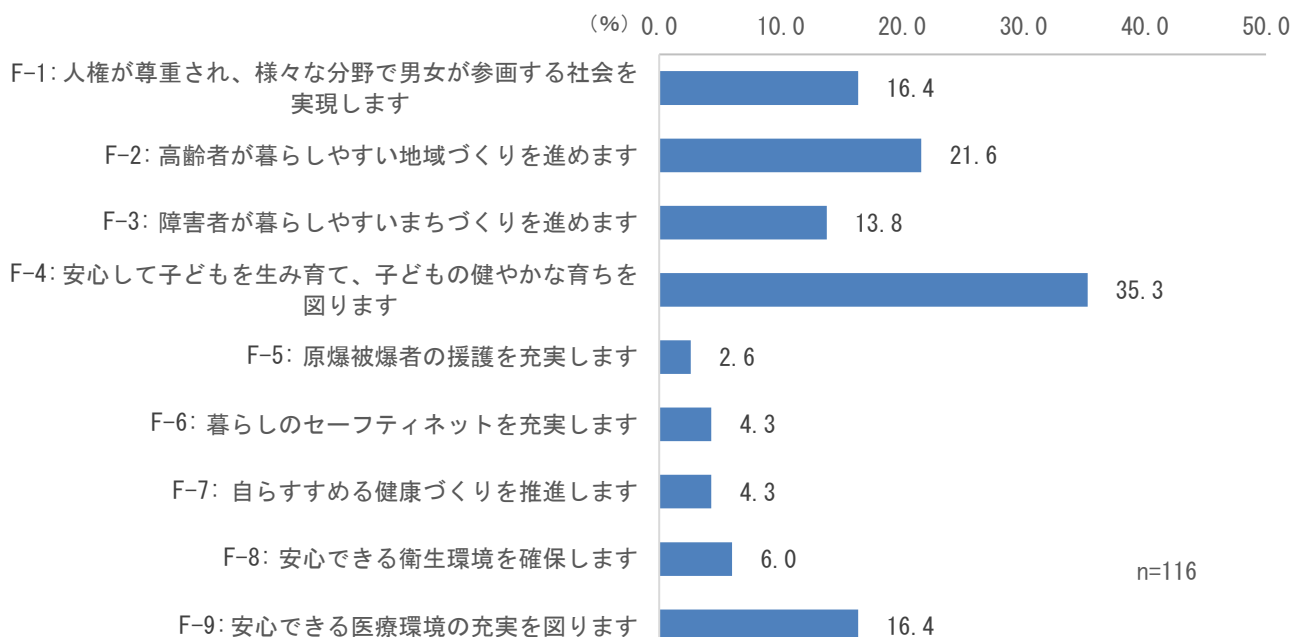
図表IV-4-5: 安全・安心で快適に暮らせるまちの優先施策



(6) 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち

「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」が最も多くなっている。

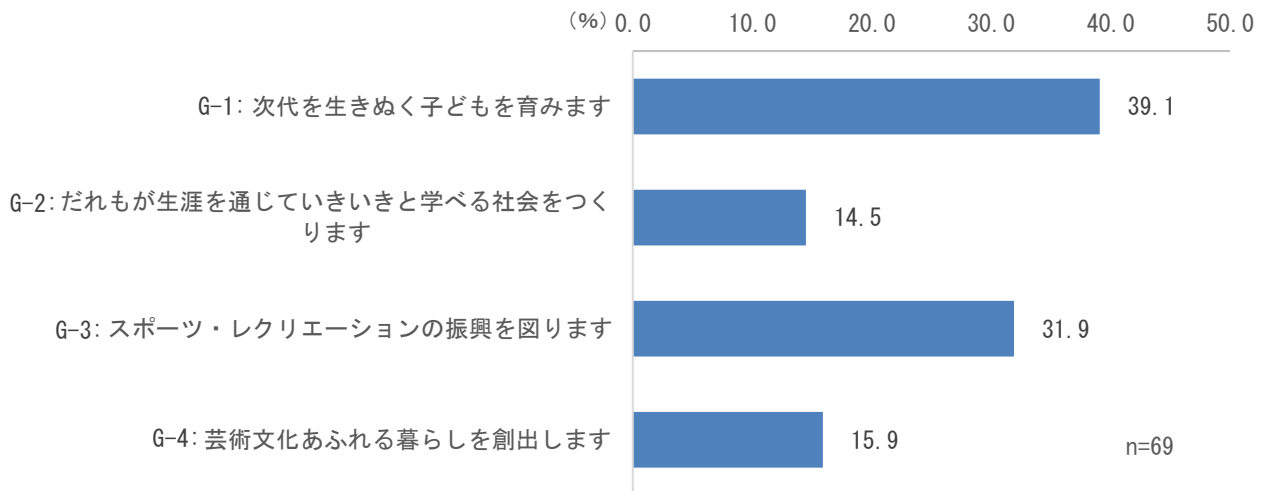
図表IV-4-6: 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの優先施策



(7) 豊かな心を育むまち

「G:豊かな心を育むまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」が最も多くなっている。

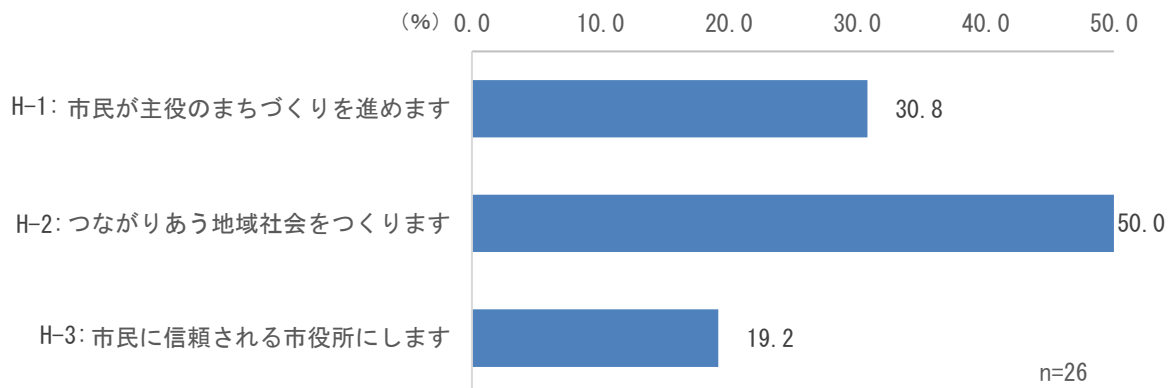
図表IV-4-7: 豊かな心を育むまちの優先施策



(8) 基本構想の推進 (つながる + 創造する)

「H:基本構想の推進 (つながる + 創造する)」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「H-2:つながりあう地域社会をつくれます」が最も多くなっている。

図表IV-4-8: 基本構想の推進 (つながる + 創造する) の優先施策

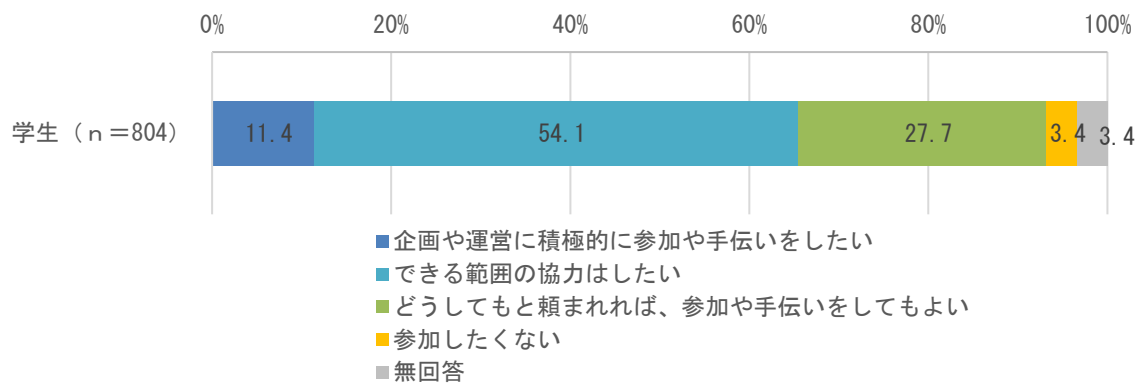


5. 地域活動への参加

(1) 地域活動、市民活動に対する考え方

地域活動、市民活動に対する考え方として「できる範囲の協力はしたい」が54.1%で最も多く、次いで「どうしてもと頼まれれば、参加や手伝いをしてもよい」が27.7%、「企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい」が11.4%、「参加したくない」が3.4%と続いており、積極的な参加の意向はうかがえない。

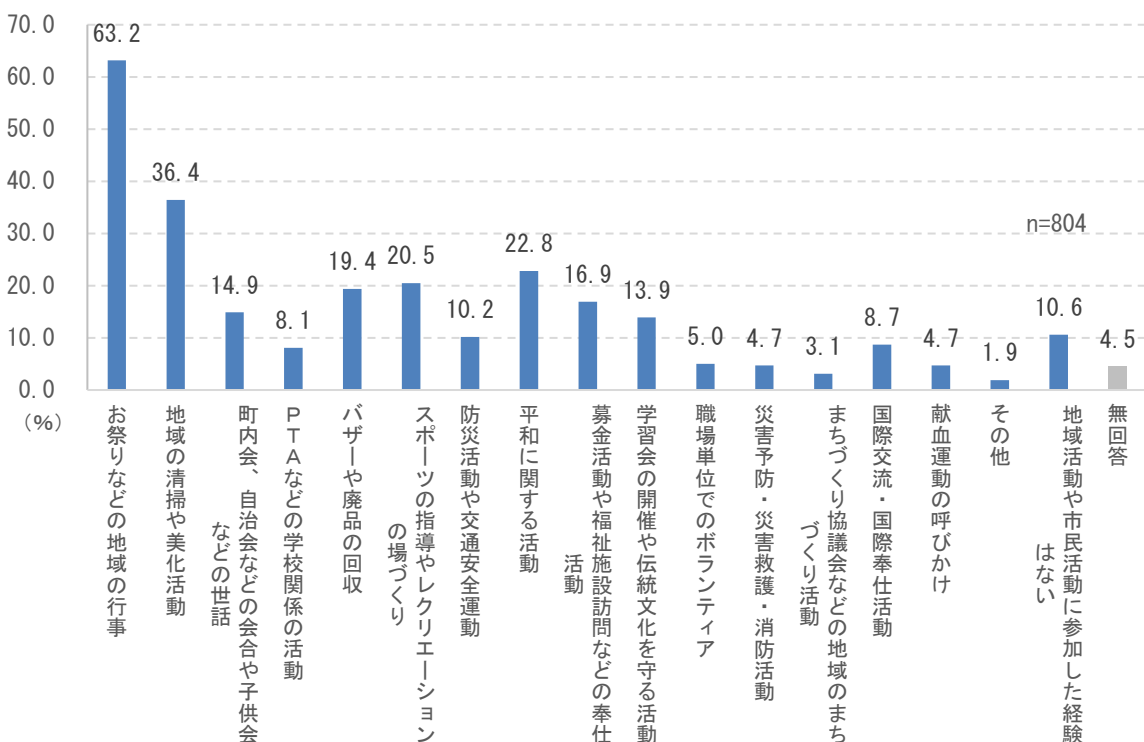
図表IV-5-1：地域活動、市民活動に対する考え方



(2) 地域活動、市民活動の経験

地域活動、市民活動の経験は「お祭りなどの地域の行事」が63.2%で最も多く、次いで「地域の清掃や美化活動」が36.4%、「平和に関する活動」が22.8%、と続いている一方、「地域活動や市民活動に参加した経験はない」が10.6%あった。

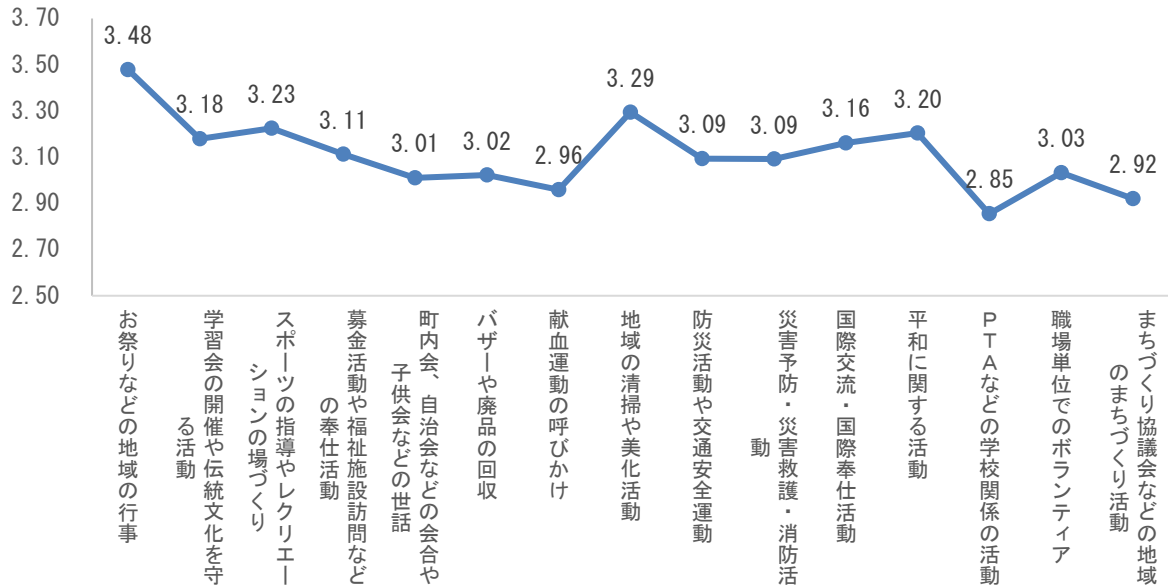
図表IV-5-2：地域活動、市民活動の経験



(3) 地域活動、市民活動への参加意向

地域活動、市民活動への参加意向を平均スコア化してみると、「お祭りなどの地域の行事」が3.48で最も多く、次いで「地域の清掃や美化活動」が3.29、「スポーツの指導やレクリエーションの場づくり」が3.23と続いている。

図表IV-5-3：地域活動、市民活動への参加意向



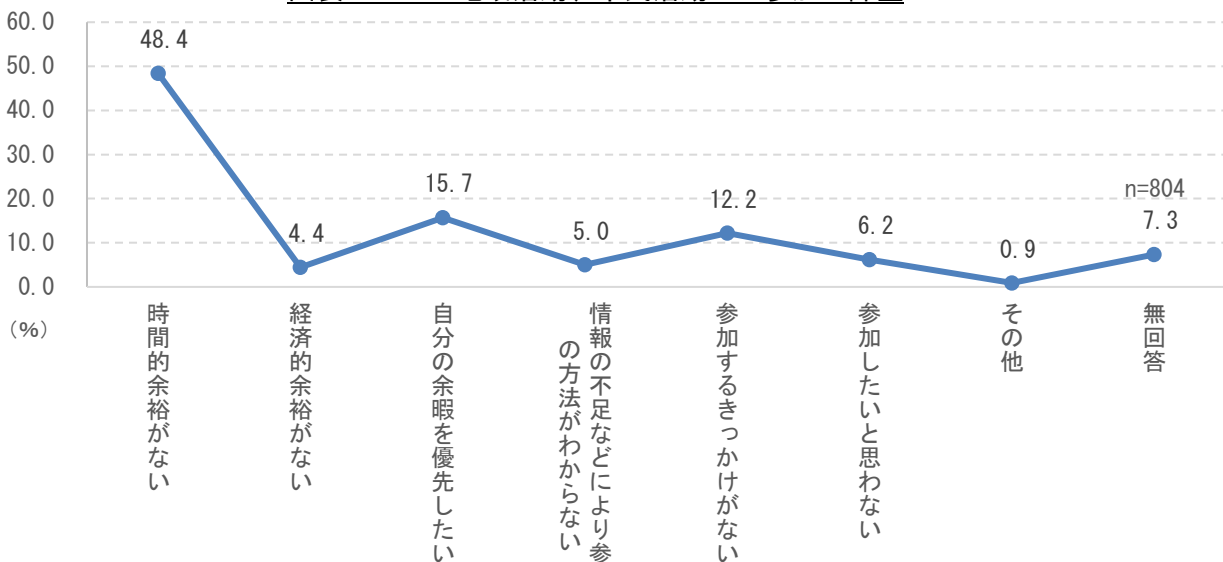
※平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「積極的に参加したい」} \times 5 + \text{「できれば参加したい」} \times 4 + \text{「参加してもよい」} \times 3 + \text{「できれば参加したくない」} \times 2 + \text{「参加したくない」} \times 1}{\text{全回答者数}}$$

(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁

地域活動、市民活動への参加の障壁は、「時間的余裕がない」がトップとなっている。

図表IV-5-4：地域活動、市民活動への参加の障壁

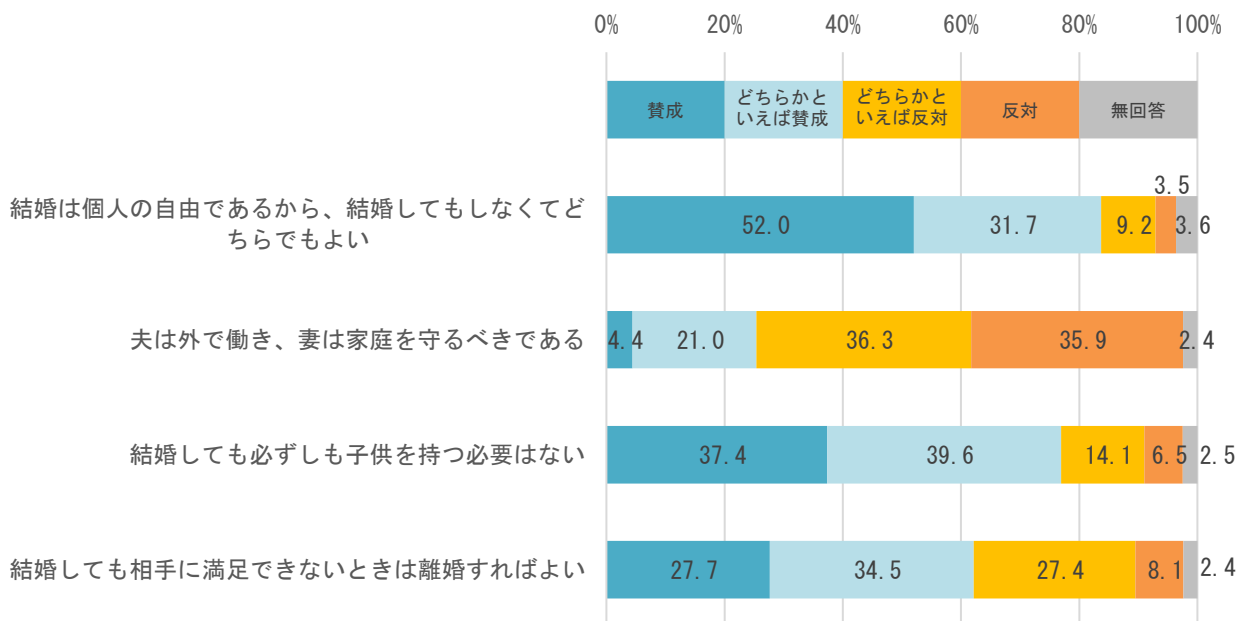


6. 結婚観・家庭観

(1) 結婚観

結婚観に関する回答で、「賛成する（「賛成」＋「どちらかといえば賛成）」が「反対する（「どちらかといえば反対」＋「反対）」を上回ったのは「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてどちらでもよい」（賛成する 83.7%）「結婚しても必ずしも子供を持つ必要はない」（賛成する 77.0%）「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」（賛成する 62.2%）の3項目であり、「反対する」が「賛成する」を上回ったのは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」（賛成する 25.4%）となっている。

図表IV-6-1：結婚観

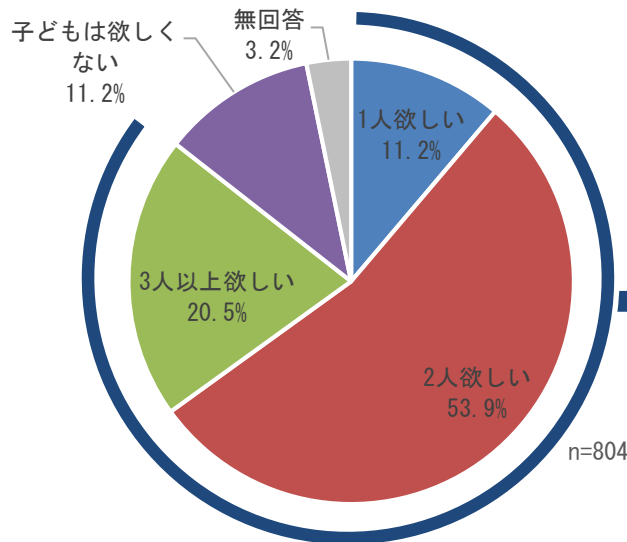


(2) 子どもの希望

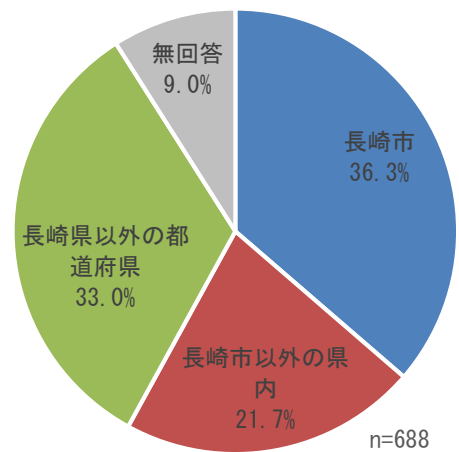
子どもの希望は「2人欲しい」が53.9%で最も多く、次いで「3人以上欲しい」が20.5%、「1人欲しい」が11.2%となっている。一方、「子どもは欲しくない」は11.2%であった。

子どもを希望する回答者のうち、長崎市を子育ての場所として選んだのは36.3%であり、その理由は「両親など、近くに自分の家族がいるから」が64.4%で最も多く、次いで「自分の出身地である」が61.6%、「住みやすいから」が28.8%で続いている。

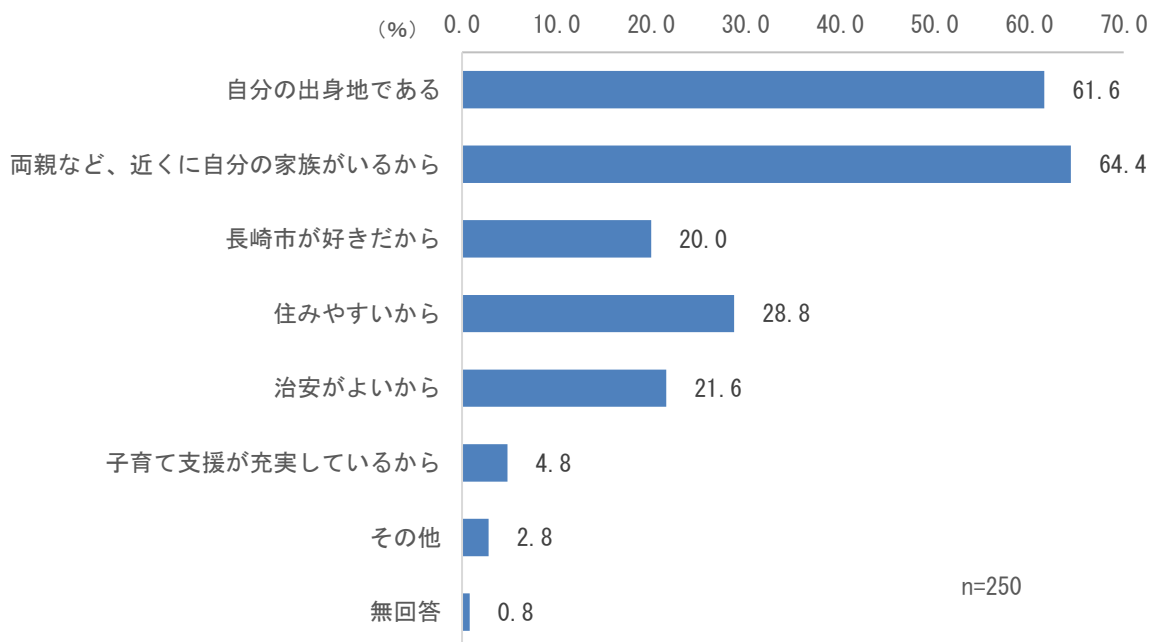
図表IV-6-2：子どもの希望



図表IV-6-3：子育てしたい場所



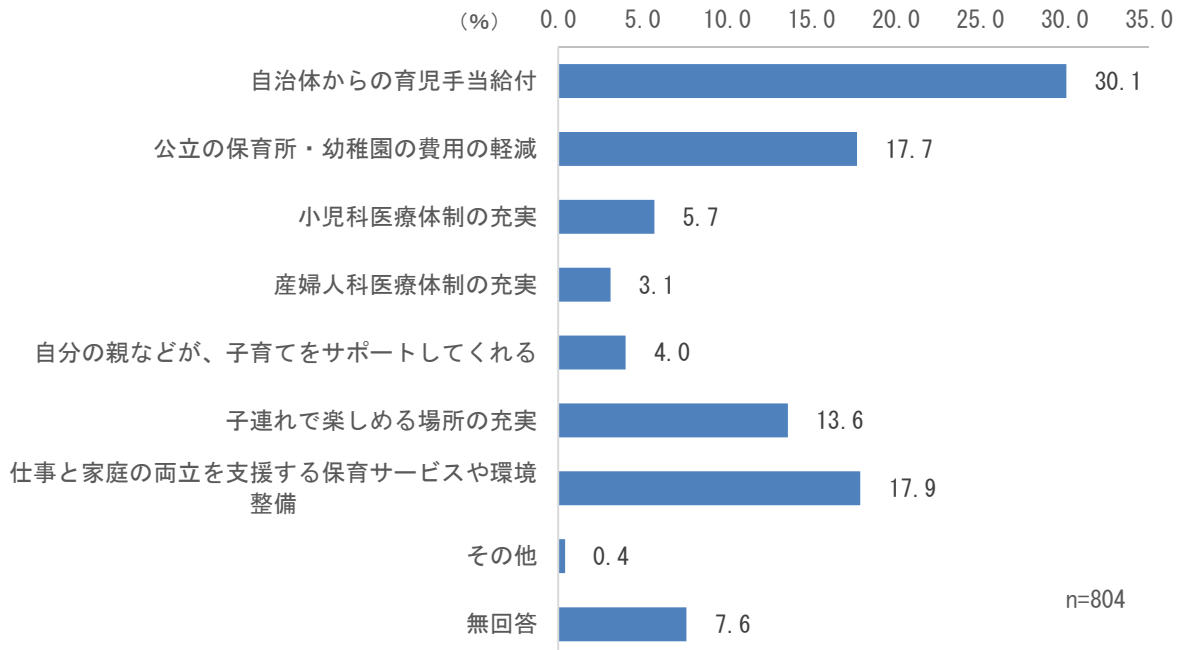
図表IV-6-4：長崎市で子育てしたい理由



(3) 子育て支援

将来あればよいと思う子育て支援は「自治体からの育児手当給付」が30.1%で最も多く、次いで「仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境整備」が17.9%、「公立の保育所・幼稚園の費用の軽減」が17.7%で続いている。

図表IV-6-5：子育て支援



7. 学校について

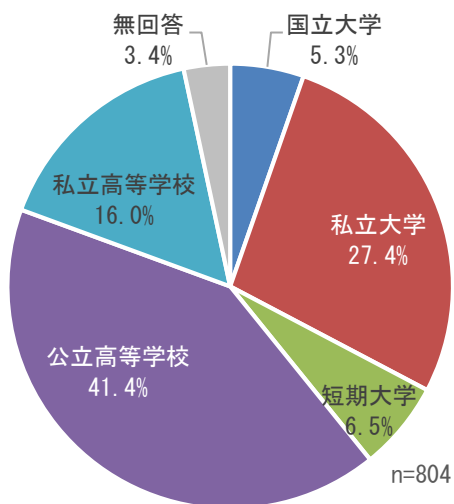
(1) 通学中の学校

回答者の通学中の学校は「公立高等学校」が41.4%で最も多く、次いで「私立大学」27.4%、「私立高等学校」が16.0%で続いている。

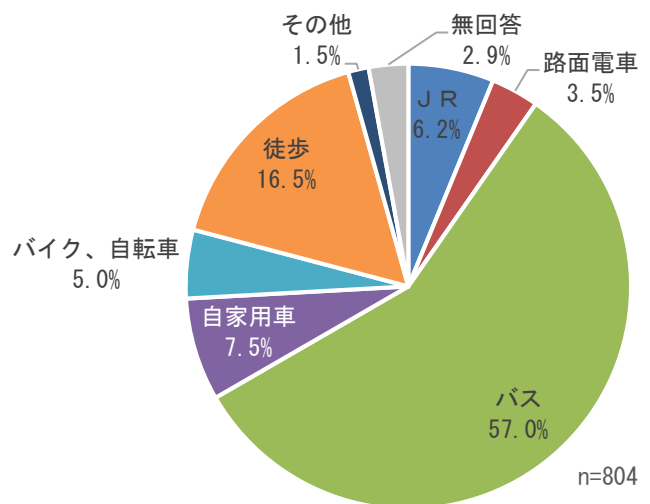
また、通学手段は「バス」が57.0%で最も多く、次いで「徒歩」が16.5%、「自家用車」が7.5%続いております、通学の利便性は「やや便利である」が31.6%で最も多く、次いで「やや不便」26.0%、「便利である」が22.0%、「不便である」が18.2%となっている。

通学を不便に感じる理由は「JR、路面電車、バスなど公共交通機関の本数が少ない」が69.3%で最も多く、次いで「道路が渋滞して通学に時間がかかる」が38.6%、「道路が迂回しており、通学に時間がかかる」が21.4%で続いている。

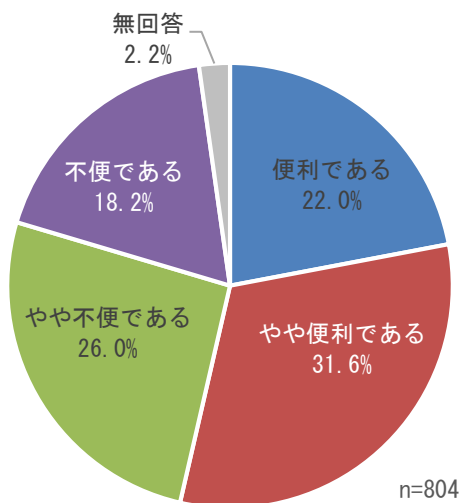
図表IV-7-1：通学中の学校



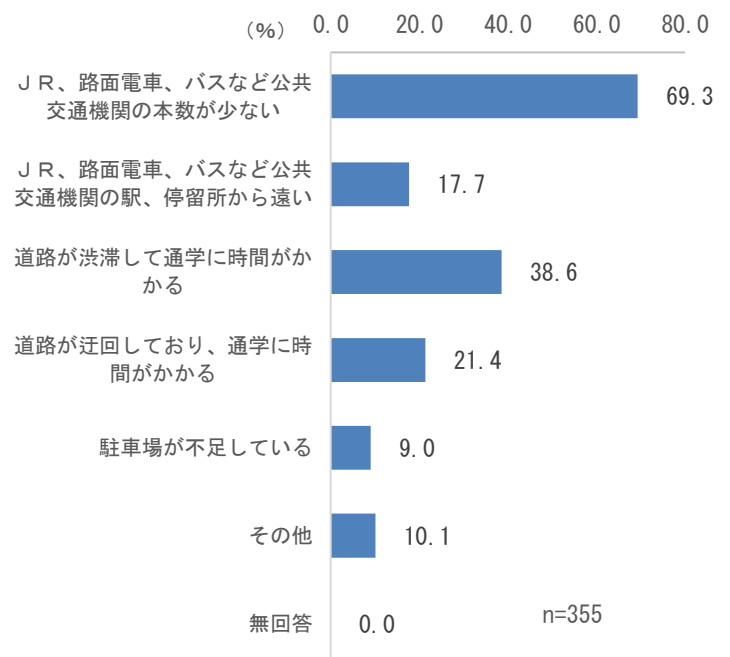
図表IV-7-2：通学手段



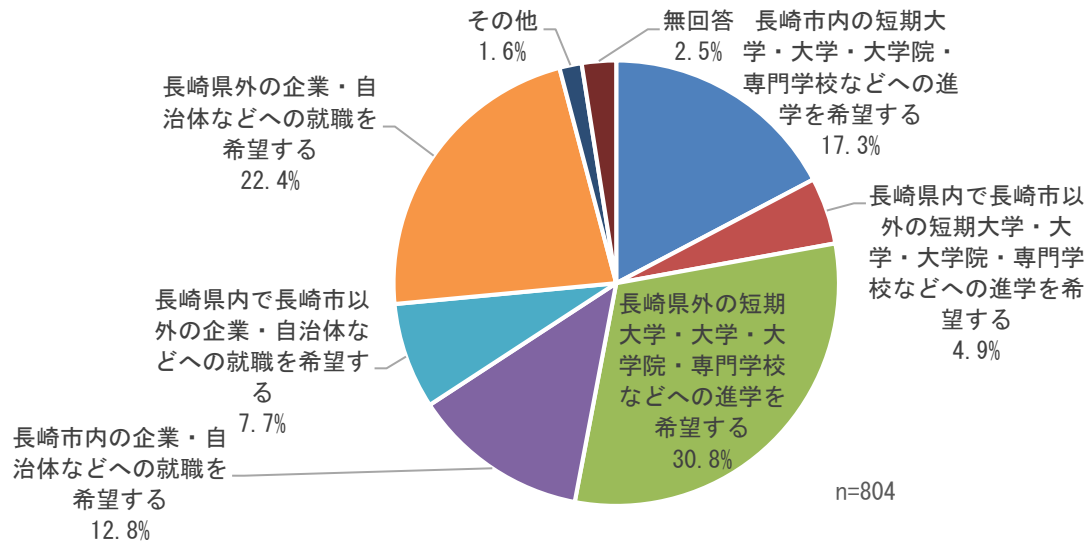
図表IV-7-3：通学中の利便性



図表IV-7-4：通学が不便な理由



図表IV-7-5：卒業後の進路



8. 大学生・短大生

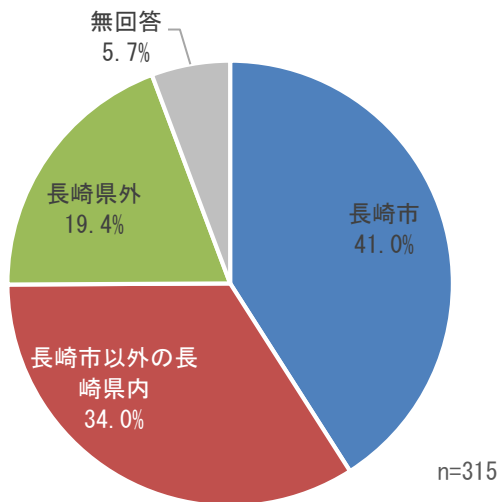
(1) 出身地・長崎市のイメージ

大学生・短大生の出身地は「長崎市内」が41.0%で最も多く、次いで「長崎市以外の長崎県内」が34.0%、「長崎県外」が19.4%となっており、長崎市以外の出身者の73.8%は長崎市への通学が初めてとなっている。

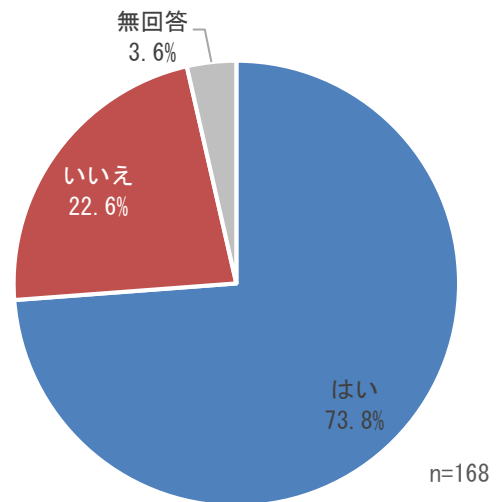
長崎市への通学が初めての回答者がもつ長崎のイメージは「平和・原爆」が58.9%で最も多く、次いで「お祭り（おくんち、ランタンフェスティバルなど）」が39.5%、「ちゃんぽん・カステラなど独自の食文化」が34.7%と続いている。

また、イメージの相違については「イメージしていたとおりだった」が48.4%、「イメージと違った」が30.6%、「よくわからない」が20.2%となっており、相違した理由は「美しい街並み」が44.7%で最も多く、次いで「お祭り（おくんち、ランタンフェスティバルなど）」が39.5%、「豊かな異国情緒」が31.6%と続いている。

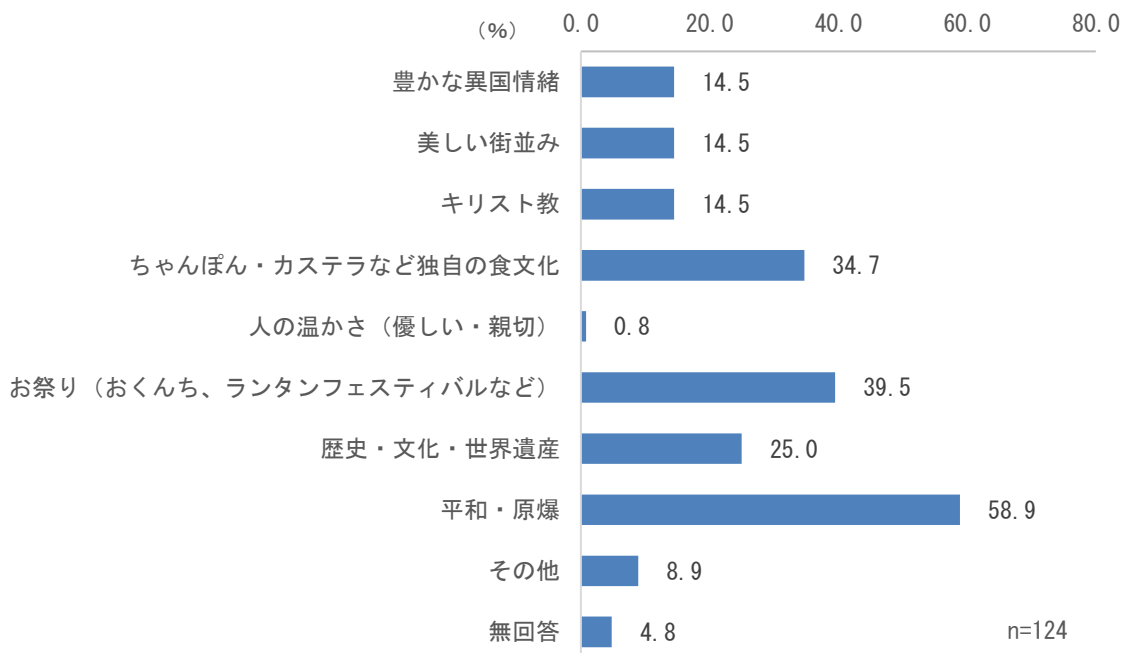
図表IV-8-1：出身地



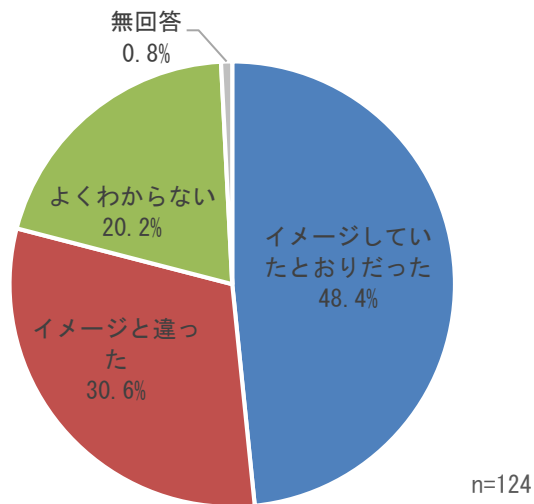
図表IV-8-2：長崎への通学経験



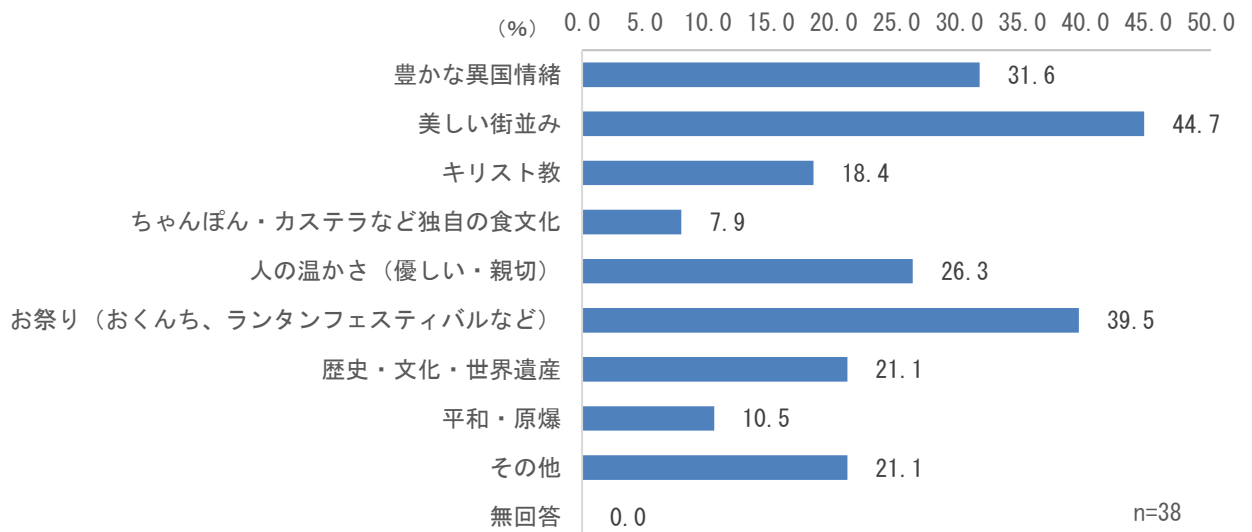
図表IV-8-3：長崎のイメージ



図表IV-8-4：長崎市のイメージとの相違



図表IV-8-5：長崎のイメージとの相違点

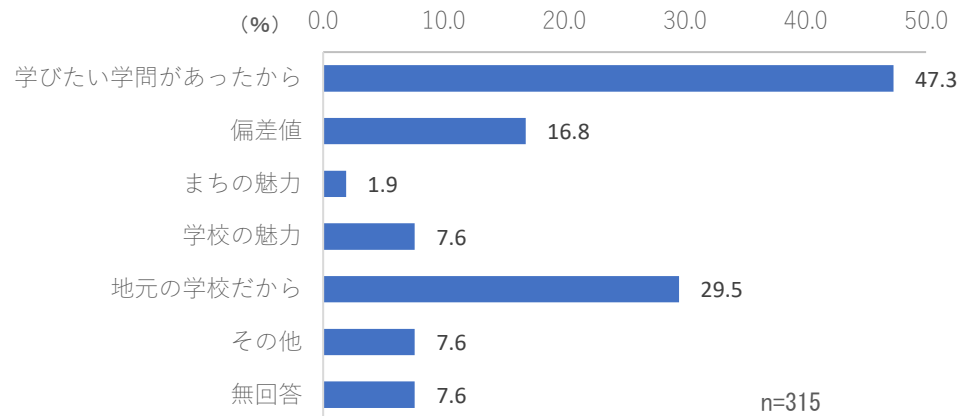


(2) 学校を選んだ理由

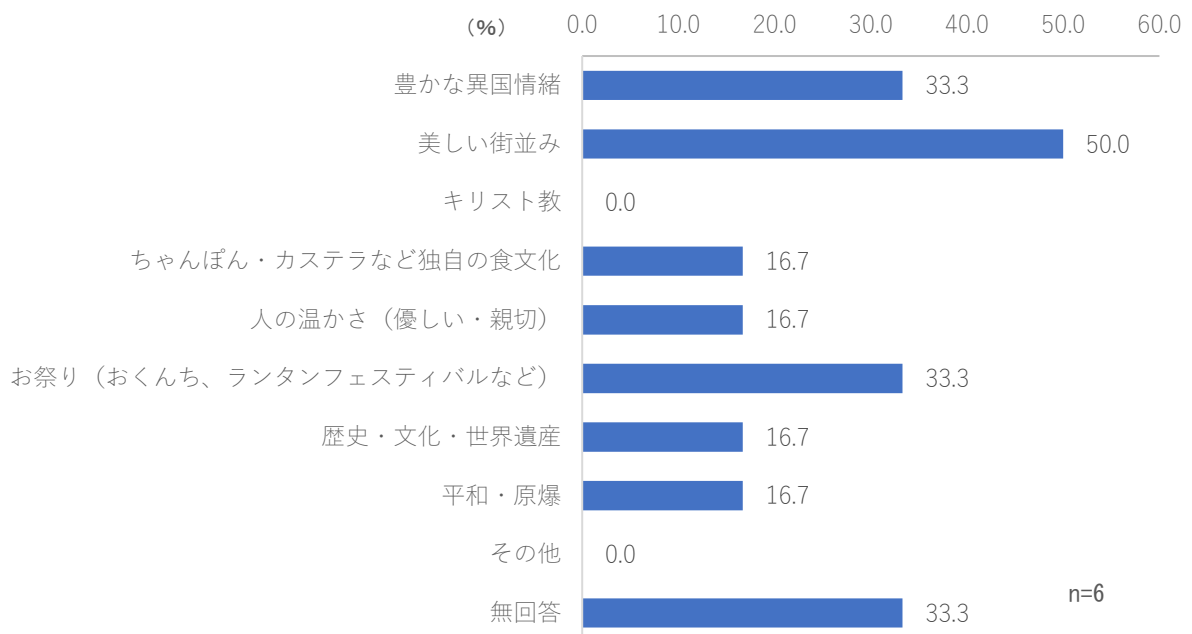
学校を選んだ理由は、「学びたい学問があったから」が47.3%で最も多く、次いで「地元の学校だから」が29.5%。「偏差値」が16.8%が続いている。

選んだ理由のうち「まちの魅力」と回答した者が、魅力として選んだ項目は「美しい街並み」が50.0%で最も多く、次いで「豊かな異国情緒」・「お祭り（おくんち、ランタンフェスティバルなど）」が33.3%が続いている。

図表IV-8-6：学校を選んだ理由



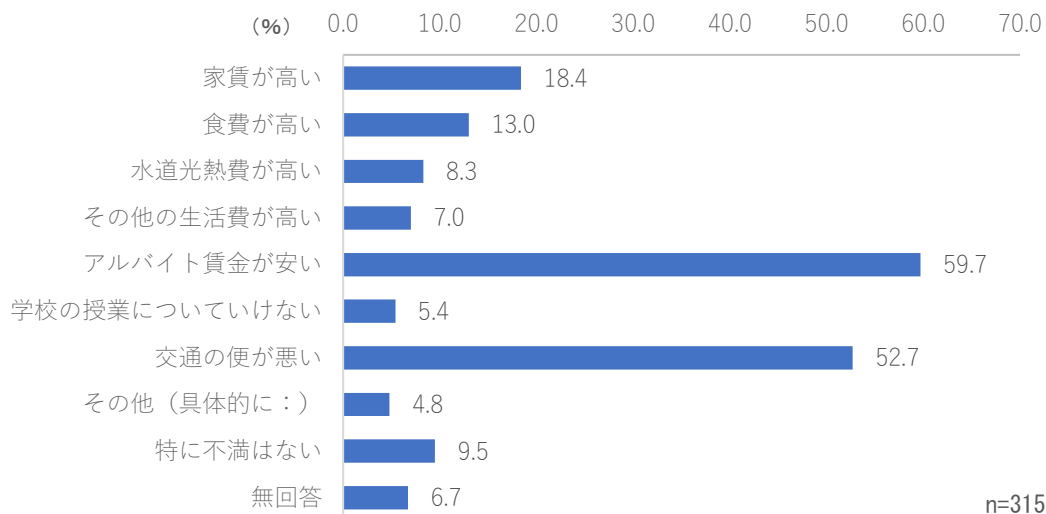
図表IV-8-7：まちの魅力



(3) 長崎での生活の不満点

長崎での生活の不満点は、「アルバイト賃金が安い」が59.7%で最も多く、次いで「交通の便が悪い」が52.7%。「家賃が高い」が18.4%が続いている。

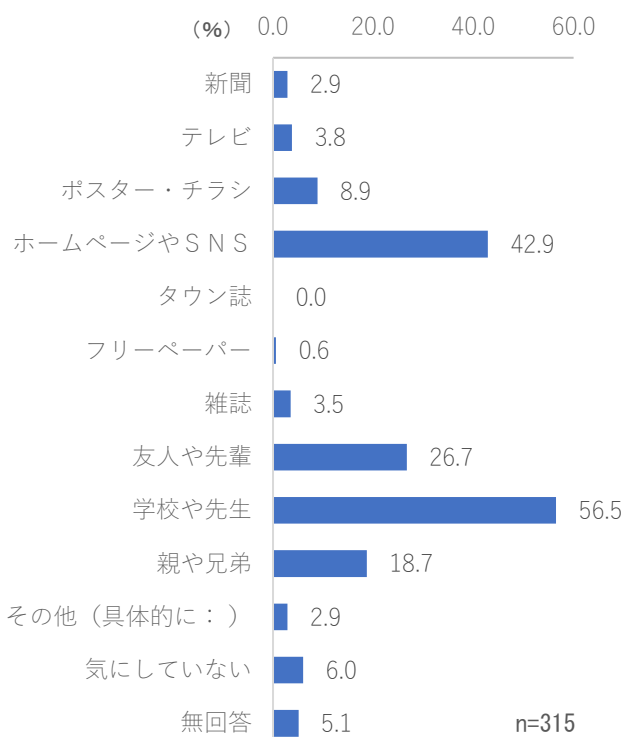
図表IV-8-8：長崎での生活の不満点



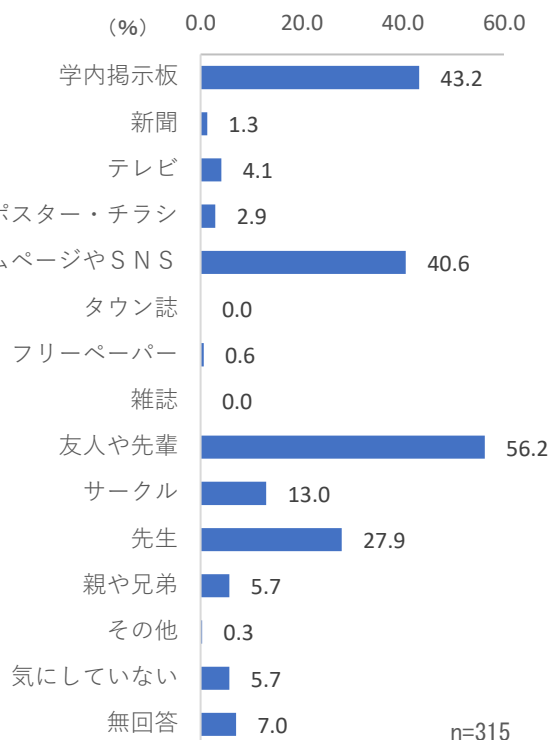
(4) 情報の取得

入学前の学校・学生生活等に関する情報収集は「学校や先生」が56.5%で最も多く、次いで「ホームページやSNS」が42.9%、「友人や先輩」が26.7%と続いており、入学後は「友人や先輩」が56.2%で最も多く、次いで「学内掲示板」が43.2%、「ホームページやSNS」が40.6%が続いている。

図表IV-8-9：入学前の学校等の情報



図表IV-8-10：入学後の学校等の情報

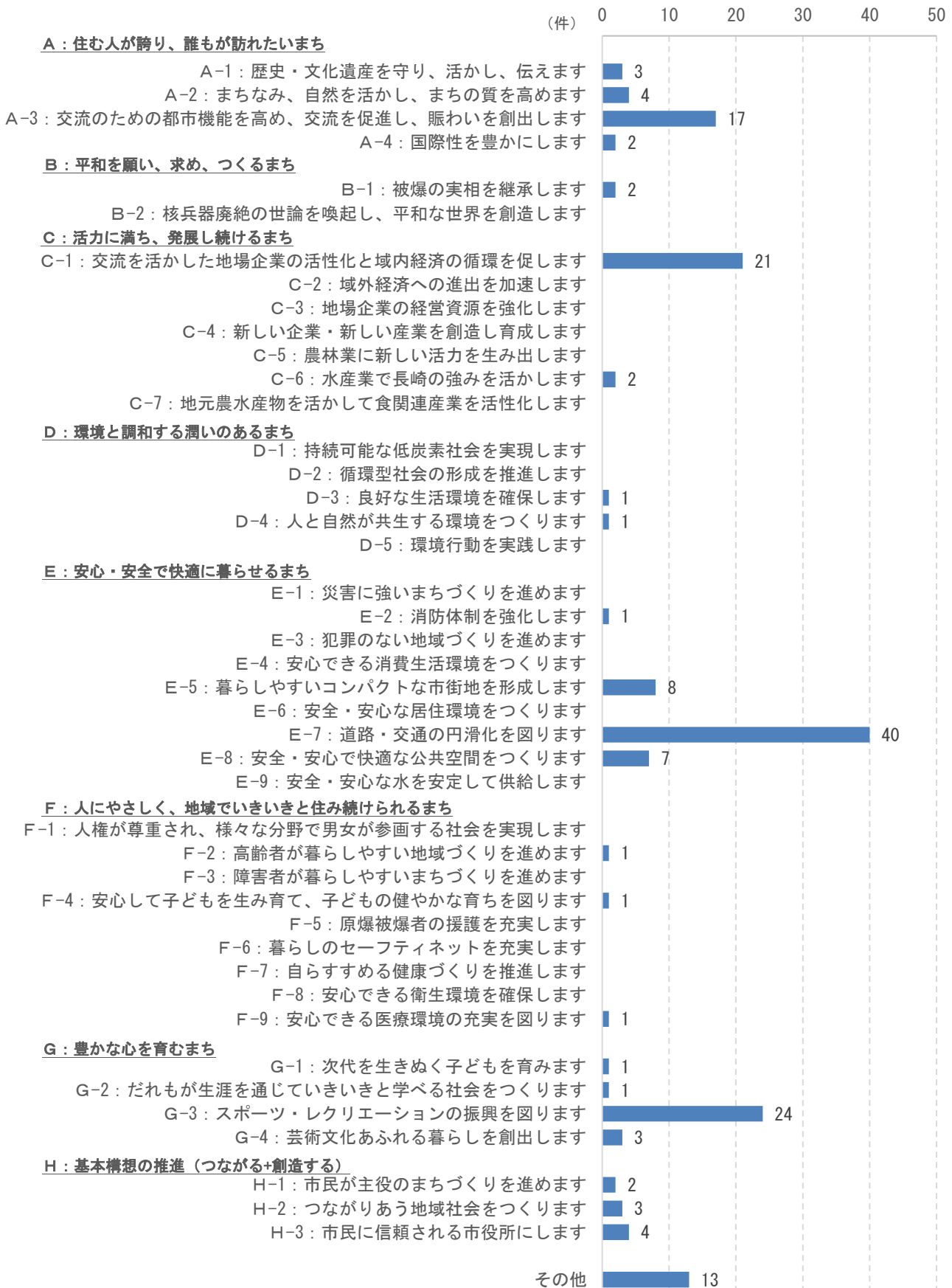


9. 自由回答（市政に対する自由意見）

長崎市のまちづくりに関する意見（自由意見）について、回答内容をまちづくりの方針及び基本施策で分類をおこなった。施策別回答内容の件数をまとめ以下に掲載する。

※個別詳細内容は、別冊参考資料の自由回答集を参照のこと。

図表IV-9-1：市政に対する自由意見



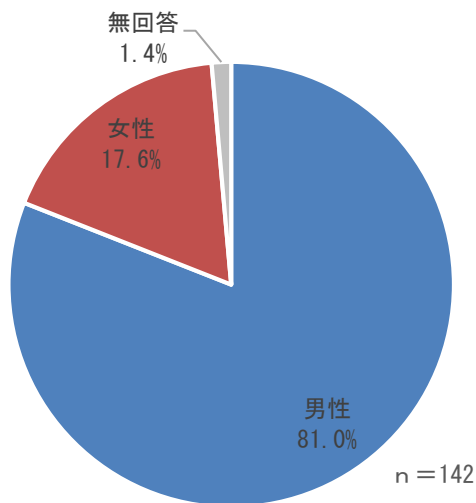
V. 調查結果（有識者編）

V. 調査結果（有識者編）

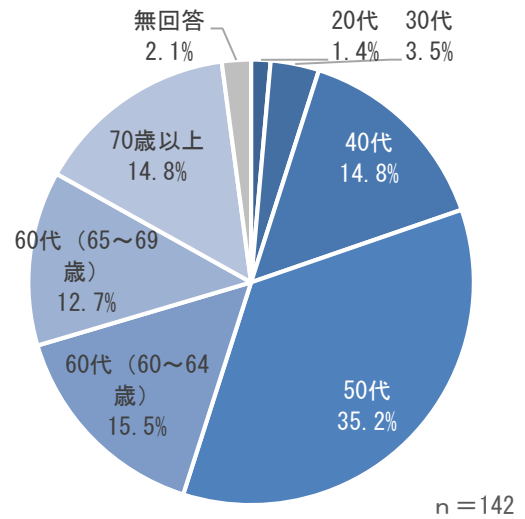
1. 属性

回答者の基本的属性を「性別」「年代別」「居住地」「居住年数」の別で示すと、その内訳は以下の通り。

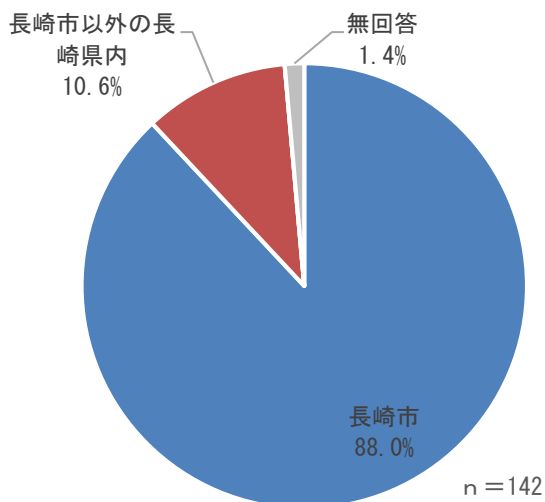
図表 V-1-1：性別



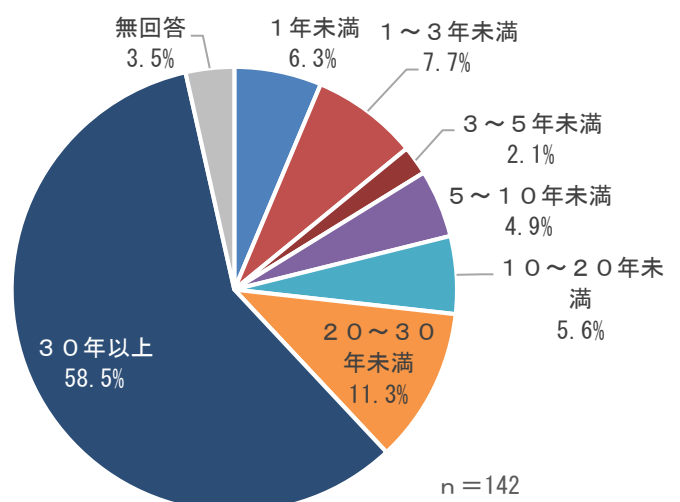
図表 V-1-2：年代別



図表 V-1-3：居住地



図表 V-1-4：居住年数



2. 設問回答

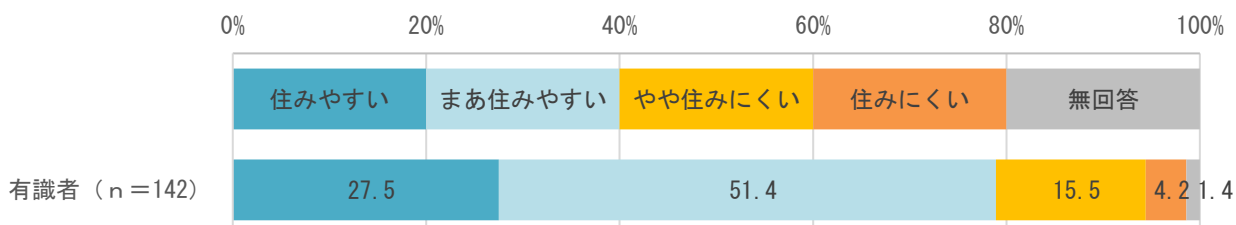
(1) 長崎市の住みやすさ

長崎市の住みやすさは「暮らしやすい」78.9%となっており、「暮らしにくい」の19.7%を59.2ポイント上回っている。

※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様。

※暮らしにくい＝「やや住みにくい」＋「住みにくい」以降同様。

図表V-2-1：長崎市の住みやすさ

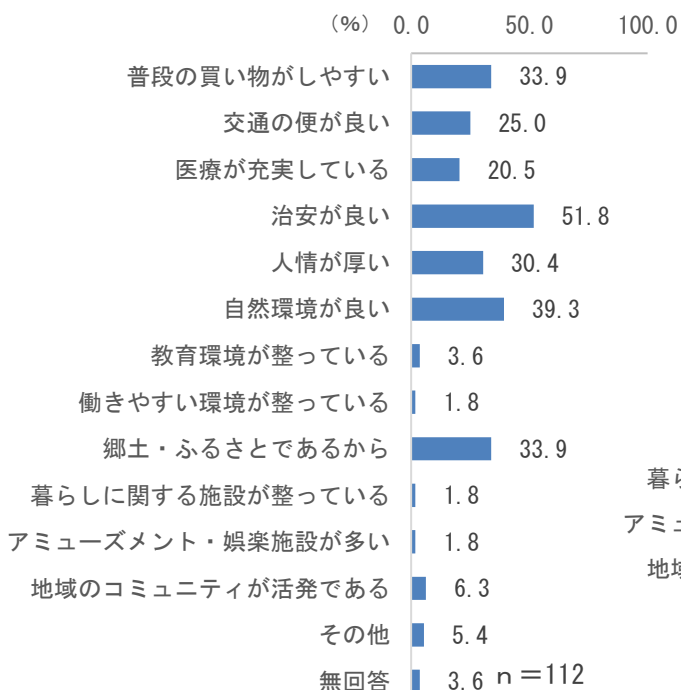


(2) 暮らしやすい理由

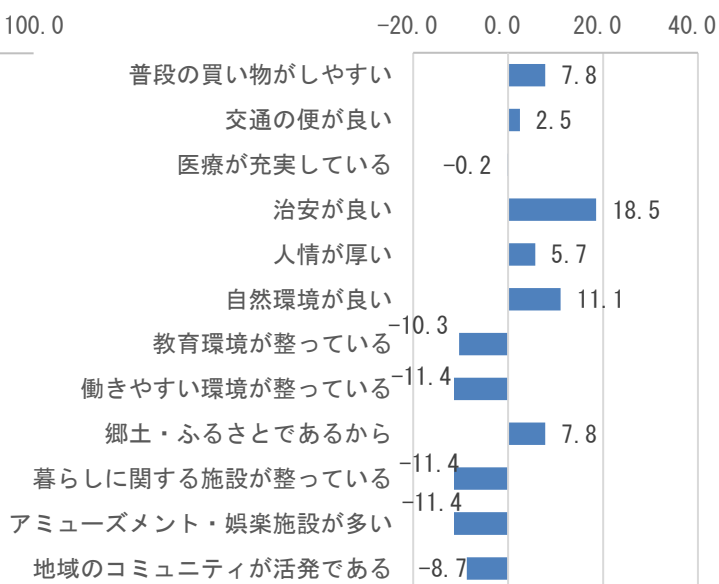
「暮らしやすい」と回答した理由は、「治安が良い」が51.8%で最も多く、次いで「自然環境が良い」が39.3%、「普段の買い物がしやすい」・「郷土・ふるさとであるから」が33.9%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」「治安が良い」「人情が厚い」「自然環境が良い」「郷土・ふるさとであるから」の6項目で平均以上の評価がされている。

図表V-2-2：長崎市の暮らしやすい理由



図表V-2-3：暮らしやすい理由偏差値比較

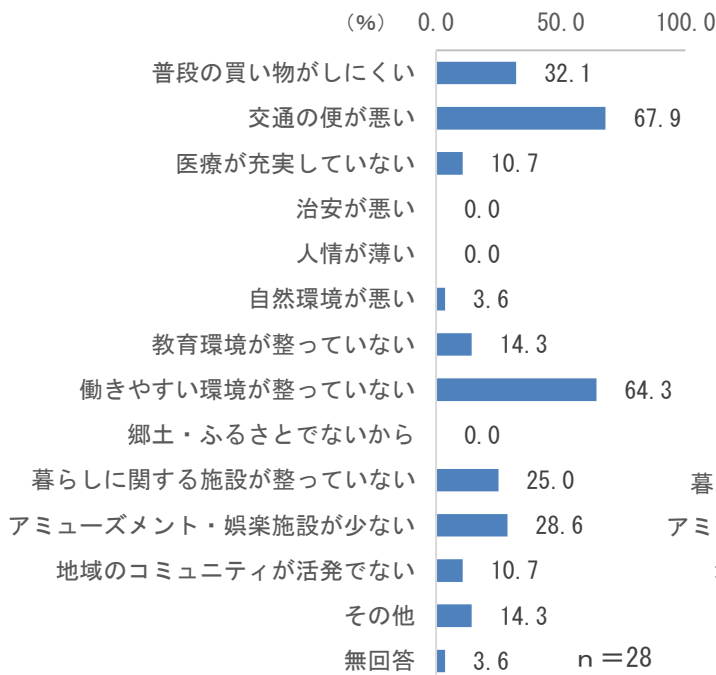


(3) 暮らしにくい理由

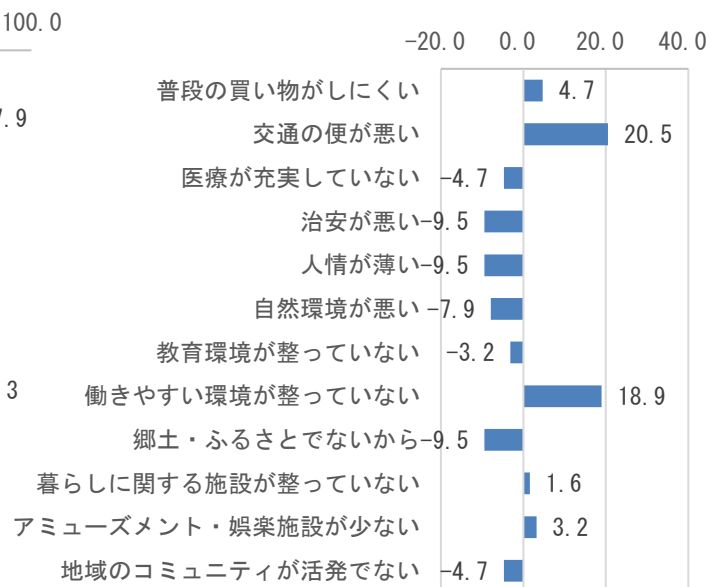
「暮らしにくい」と回答した理由は、「交通の便が悪い」が67.9%で最も多く、次いで「働きやすい環境が整っていない」が64.3%、「普段の買い物がしにくい」が32.1%が続いている。

また、偏差値での比較を行うと「普段の買い物がしにくい」「交通の便が悪い」「働きやすい環境が整っていない」「暮らしに関する施設が整っていない」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」の5項目が「暮らしにくい」理由と評価がされている。

図表V-2-4：長崎市の暮らしにくい理由



図表V-2-5：暮らしにくい理由偏差値比較



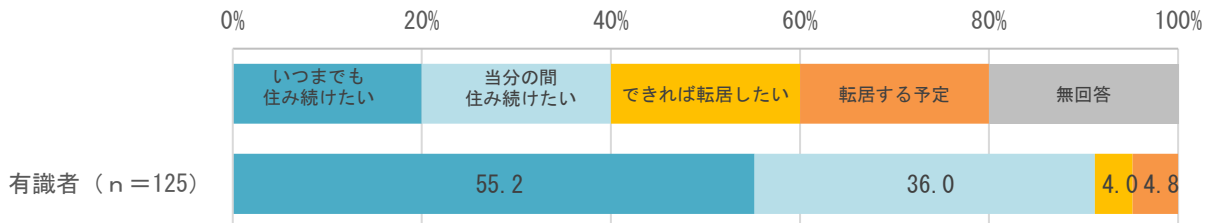
(4) 長崎市への継続居住意向

長崎市への継続居住意向は、「住み続けたい」は91.2%、「転居する」が8.8%となっている。

※「住み続けたい」=「いつまでも住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」以降同様。

「転居する」=「できれば、他の市町村に転居したい」+「他の市町村に転居する予定である」以降同様。

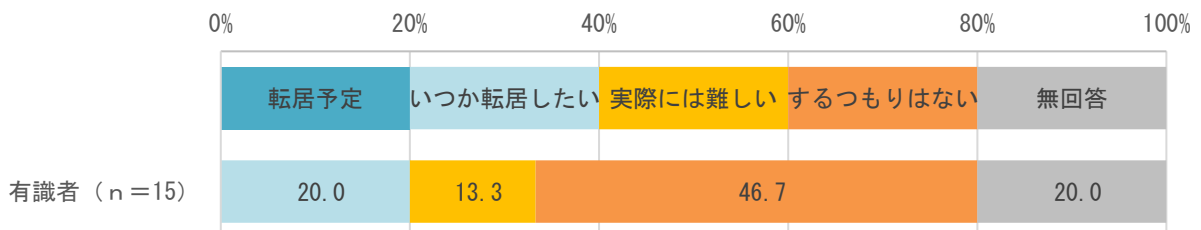
図表 V-2-6 : 長崎市への継続居住意向



(5) 長崎市への転居意向

長崎市への転居意向は、「長崎市に転居するつもりはない」が46.7%で最も多く、次いで「いつか、長崎市に転居したい」が20.0%、「長崎市に転居したいが、実際には難しい」が13.3%となっている。

図表 V-2-7 : 長崎市への転居意向

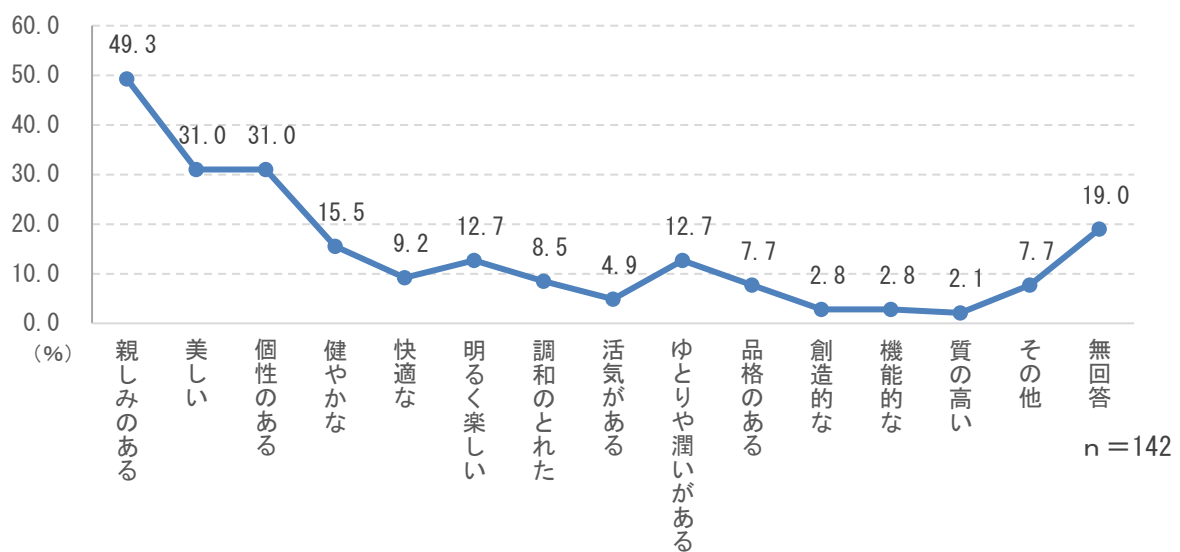


(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード

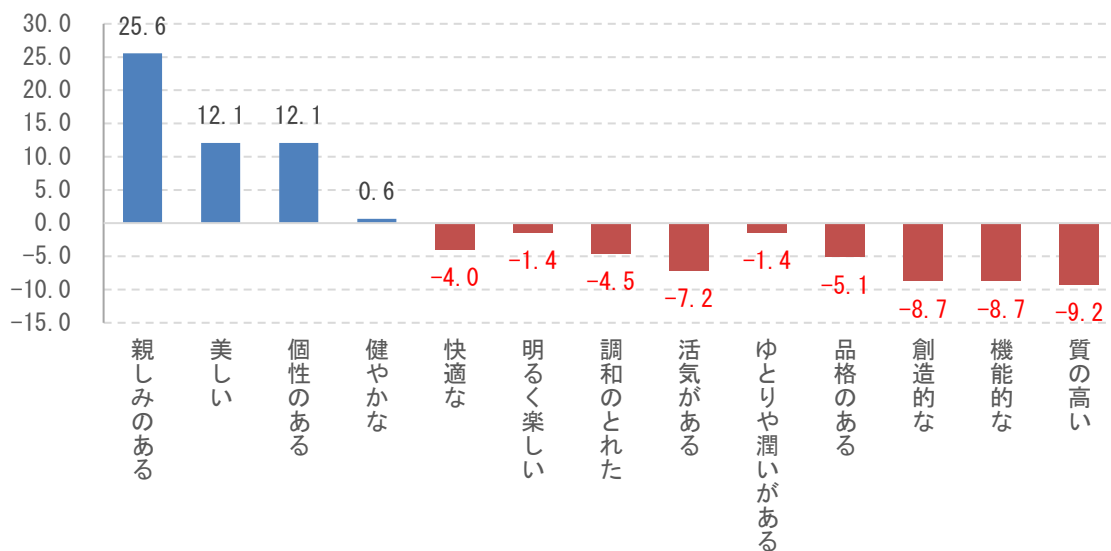
現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワードは「親しみのある」が49.3%で最も多く、次いで「美しい」・「個性のある」が31.0%、「健やかな」が15.5%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「親しみのある」「美しい」「個性のある」「健やかな」の4項目は平均以上となっており、現在の長崎市にふさわしいイメージと認識されている。

図表V-2-8：現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード



図表V-2-9：現在の長崎市のイメージ偏差値比較

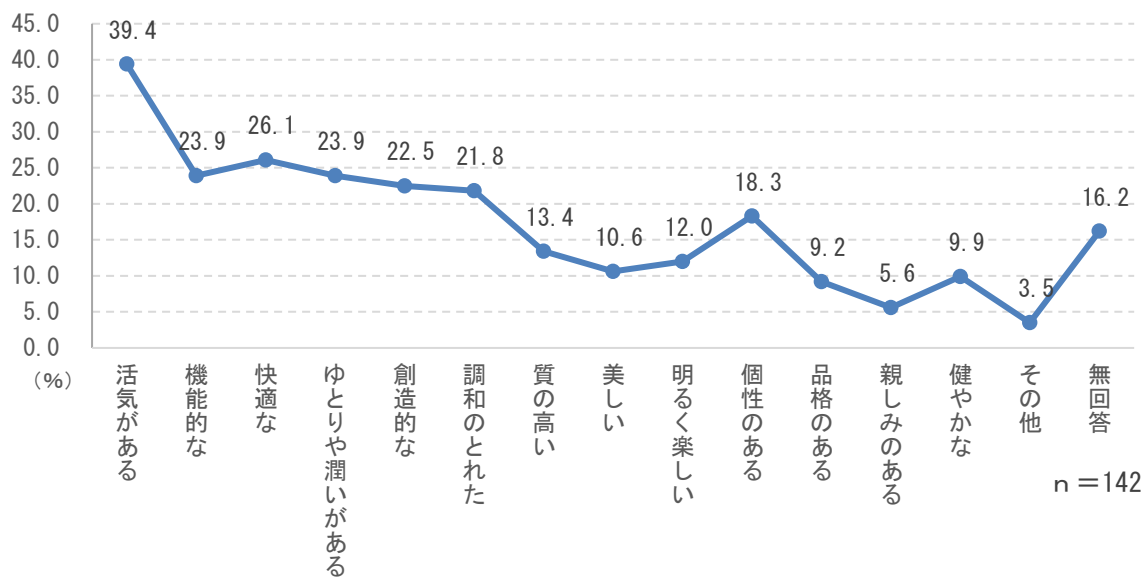


(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード

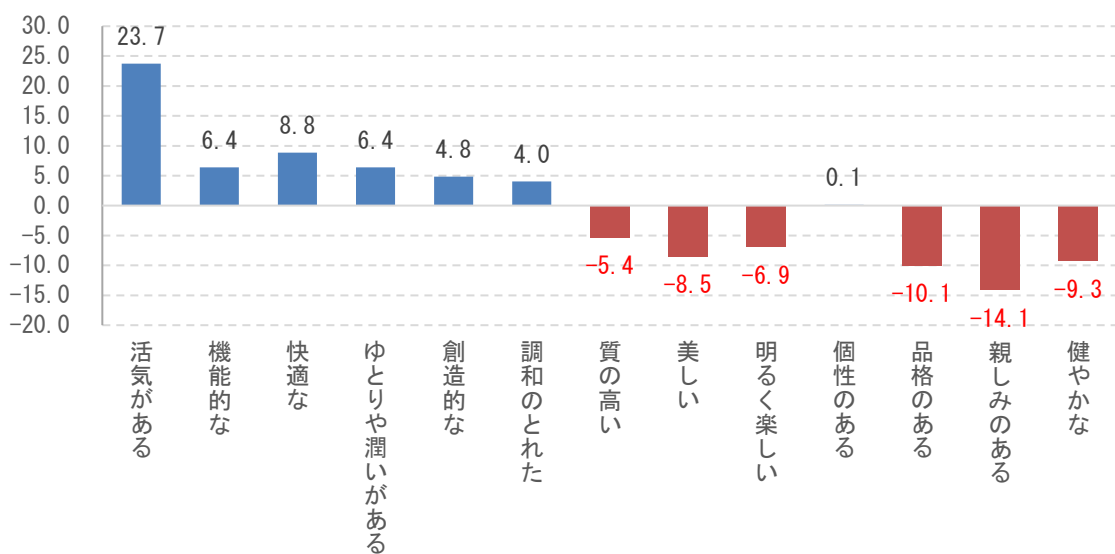
将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワードは「活気がある」が39.4%で最も多く、次いで「快適な」が26.1%、「機能的な」・「ゆとりや潤いのある」が23.9%が続いている。

また、偏差値での比較を行うと「活気がある」「機能的な」「快適な」「ゆとりや潤いがある」「創造的な」「調和のとれた」「個性のある」の7項目は平均以上となっており、将来の都市づくりにふさわしいイメージと認識されている。

図表V-2-10：将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード



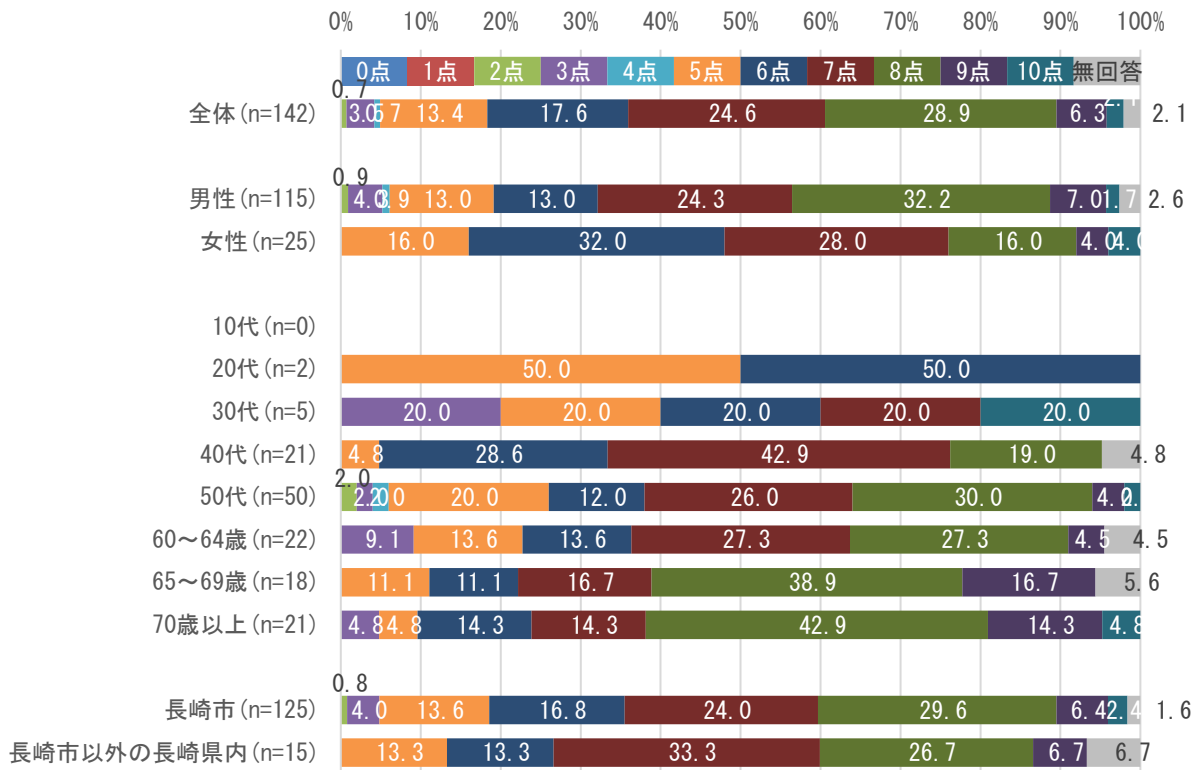
図表V-2-11：将来の都市づくりのイメージ偏差値比較



(8) 現在の幸福感

現在の幸福感を10点満点で表したところ、全体で「6点」以上の割合は79.5%となっており、これを下回ったのは性別で「男性」、年代別では「20代」「30代」「50～64歳」、居住地別では「長崎市」となっている。

図表V-2-12：現在の幸福感

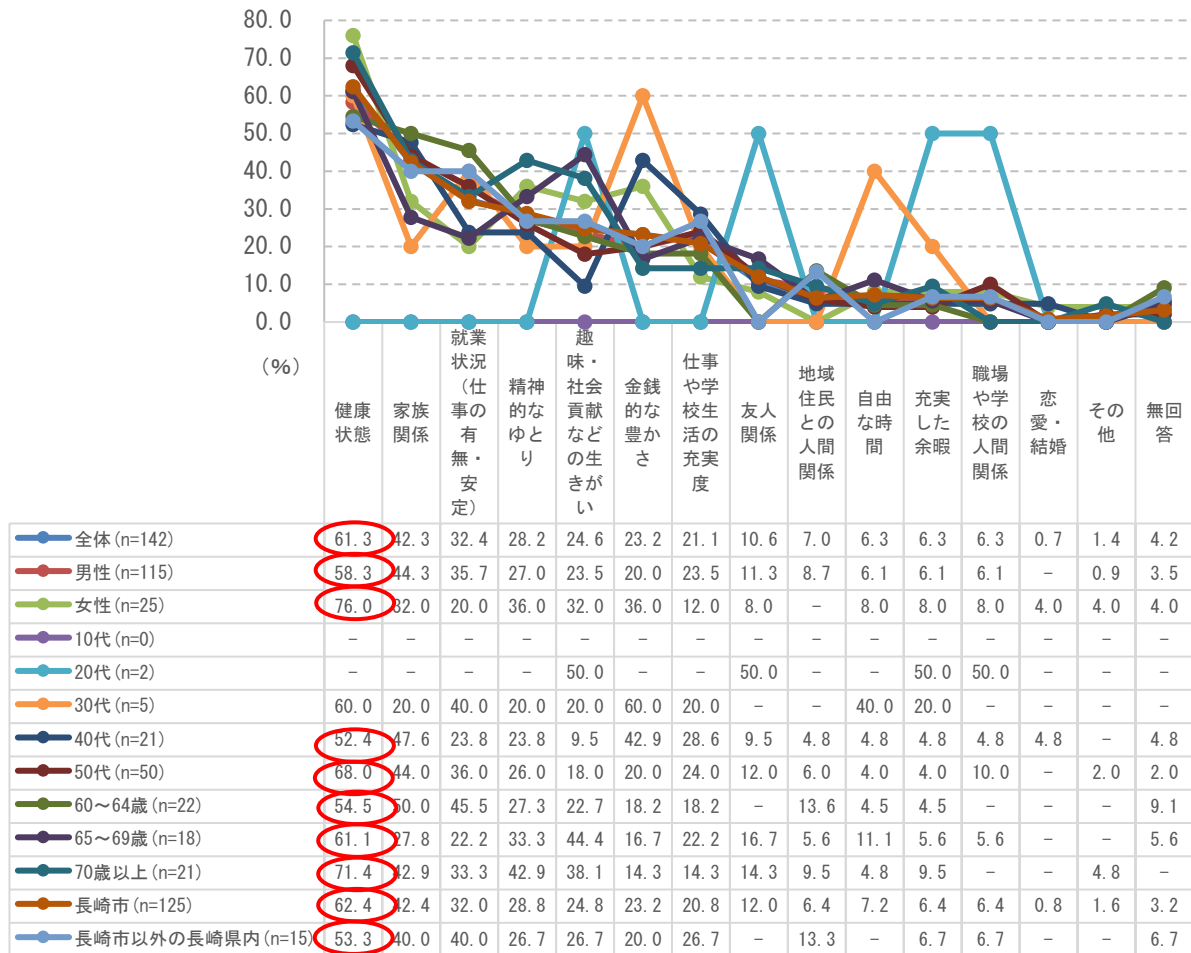


	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体(n=142)			0.7	3.5	0.7	13.4	17.6	24.6	28.9	6.3	2.1	2.1
男性(n=115)			0.9	4.3	0.9	13.0	13.0	24.3	32.2	7.0	1.7	2.6
女性(n=25)						16.0	32.0	28.0	16.0	4.0	4.0	
10代(n=0)												
20代(n=2)						50.0	50.0					
30代(n=5)				20.0		20.0	20.0	20.0			20.0	
40代(n=21)						4.8	28.6	42.9	19.0			4.8
50代(n=50)			2.0	2.0	2.0	20.0	12.0	26.0	30.0	4.0	2.0	
60～64歳(n=22)				9.1		13.6	13.6	27.3	27.3	4.5		4.5
65～69歳(n=18)						11.1	11.1	16.7	38.9	16.7		5.6
70歳以上(n=21)				4.8		4.8	14.3	14.3	42.9	14.3	4.8	
長崎市(n=125)			0.8	4.0		13.6	16.8	24.0	29.6	6.4	2.4	1.6
長崎市以外の長崎県内(n=15)						13.3	13.3	33.3	26.7	6.7		6.7

幸福感を判断する際に重要視することは、ほとんどの区分で「健康状態」が最も多くなっている。

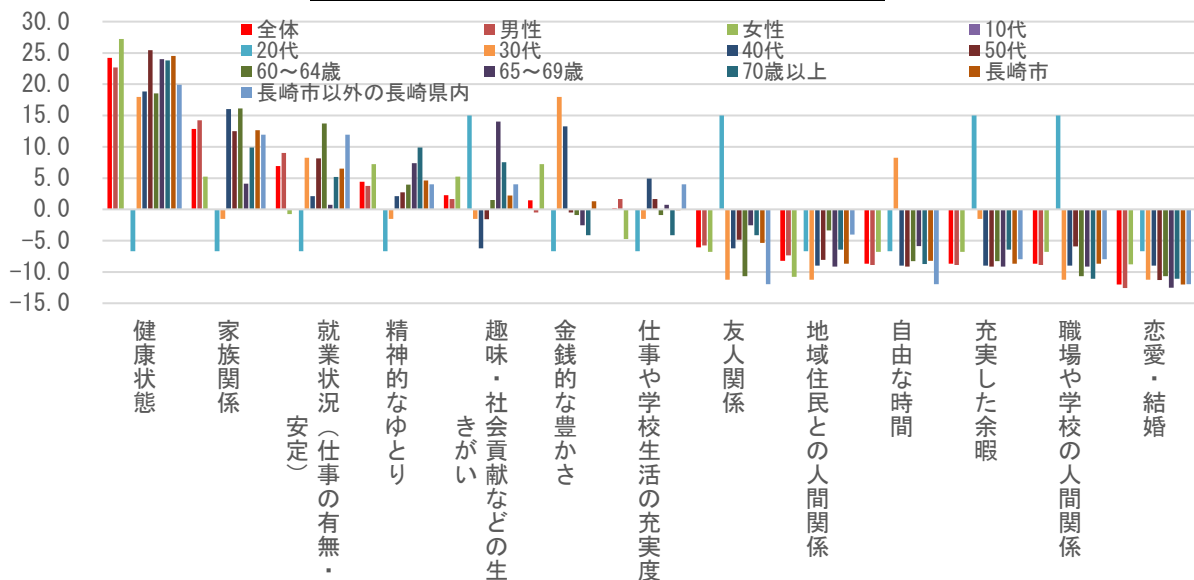
また、偏差値での比較を行うと、ややバラツキが見られるもののほとんどの属性において「健康状態」「家族関係」「就業状況（仕事の有無・安定）」「精神的なゆとり」が重要視されていることがわかる。

図表 V-2-13 : 幸福感の判断に重要視すること



○ 最大値

図表 V-2-14 : 幸福感の判断に重要視すること



3. 施策評価分析

(1) 災害に強いまちづくり

強化施策の「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で38.0ポイント満足度が低くなっている。

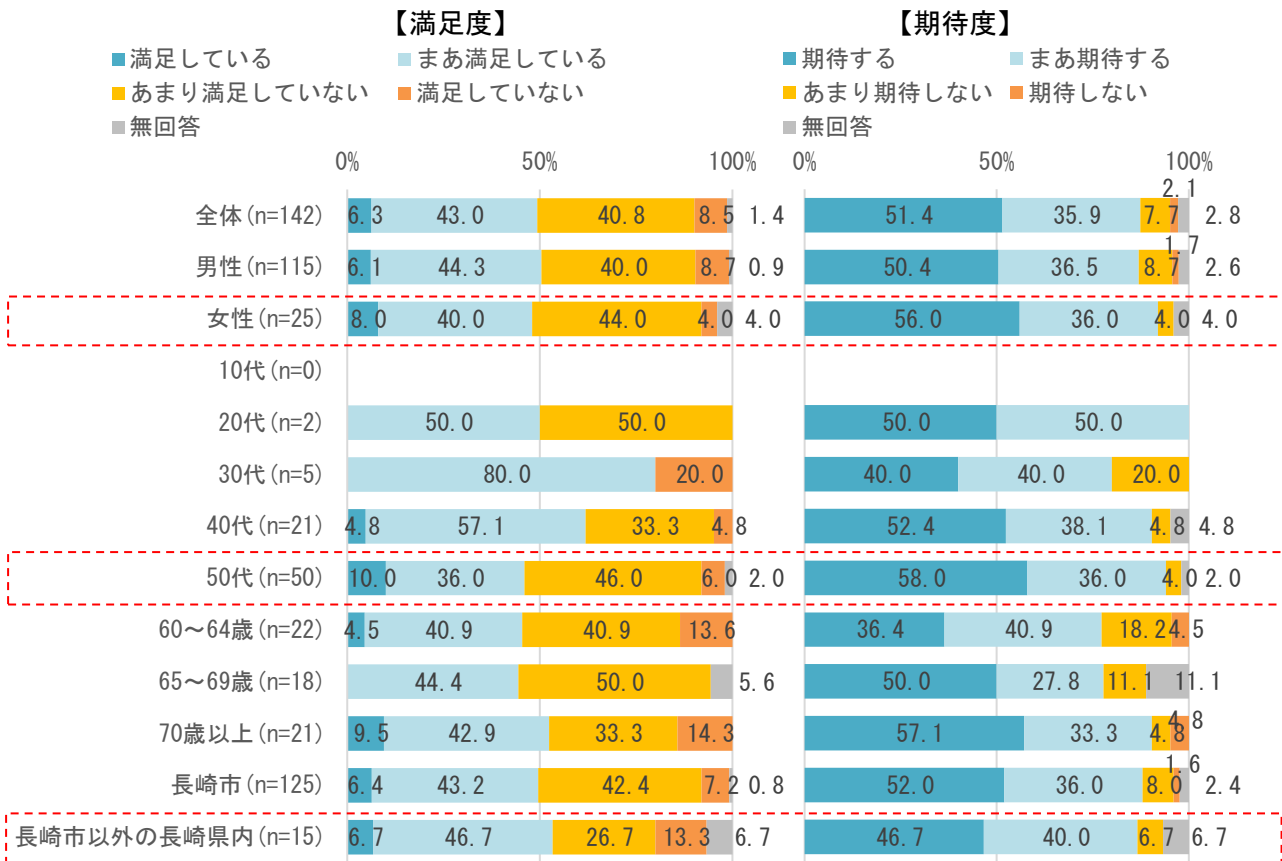
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離も大きく、全体で1.33ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「50代」での評価改善が必要となる。

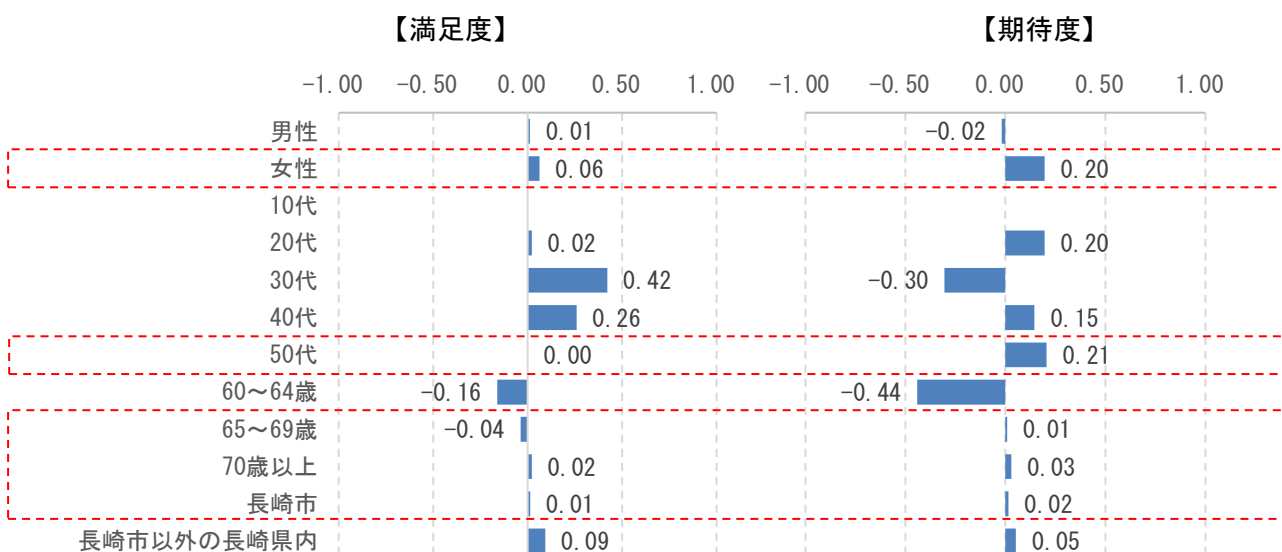
※満足度＝「満足している」＋「まあ満足している」 期待度＝「期待する」＋「まあ期待する」以降同様

※平均スコアはP12 一覧参照 以降同様

図表V-3-1：満足度と期待度



図表V-3-2：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



は満足度と期待度の図表では期待度と満足度の差（期待度－満足度）全体を基準としてプラス（差の拡大）となる項目、平均スコアの図表では満足度平均スコアと期待度平均スコアの差がプラス（差の拡大）となる項目を表している。母数が少ない項目は評価していない。以降同様。

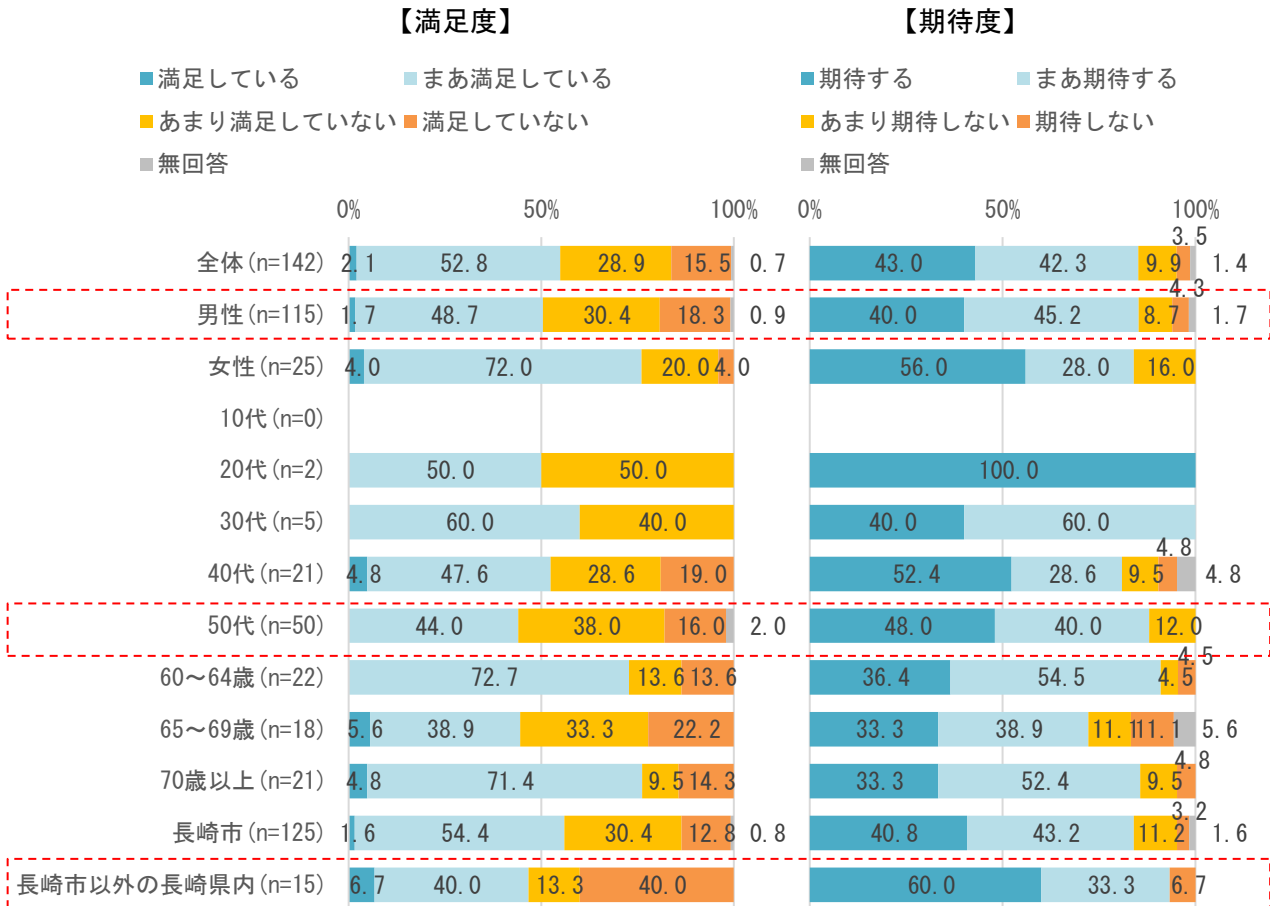
(2) 道路・交通の円滑化

強化施策の「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で30.4ポイント満足度が低くなっている。

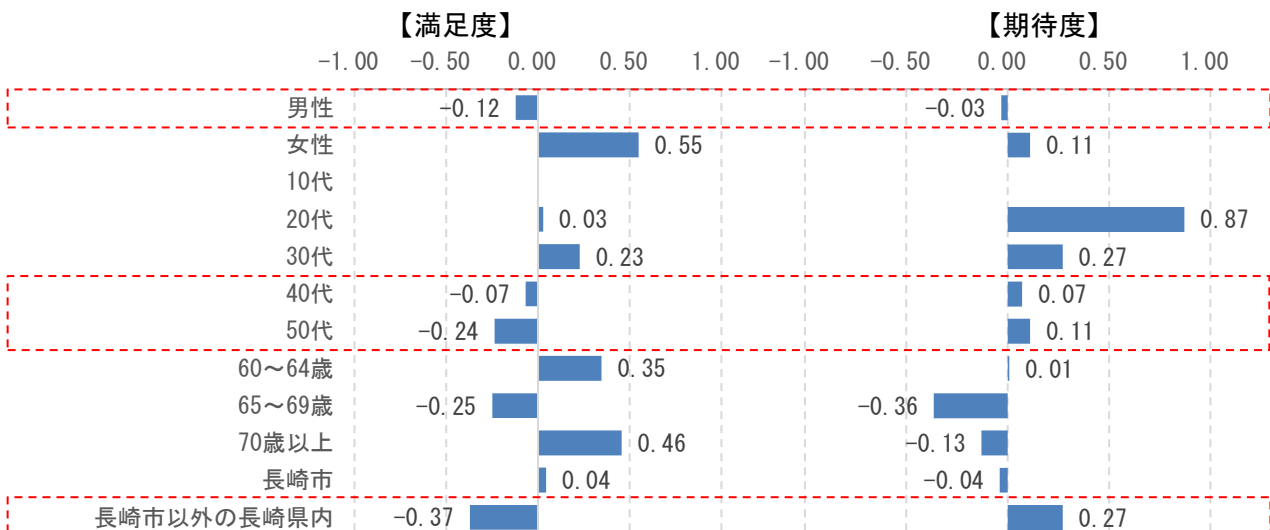
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.16ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性「男性」「50代」「長崎市以外の長崎県内」での評価改善が必要となる。

図表V-3-3：満足度と期待度



図表V-3-4：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



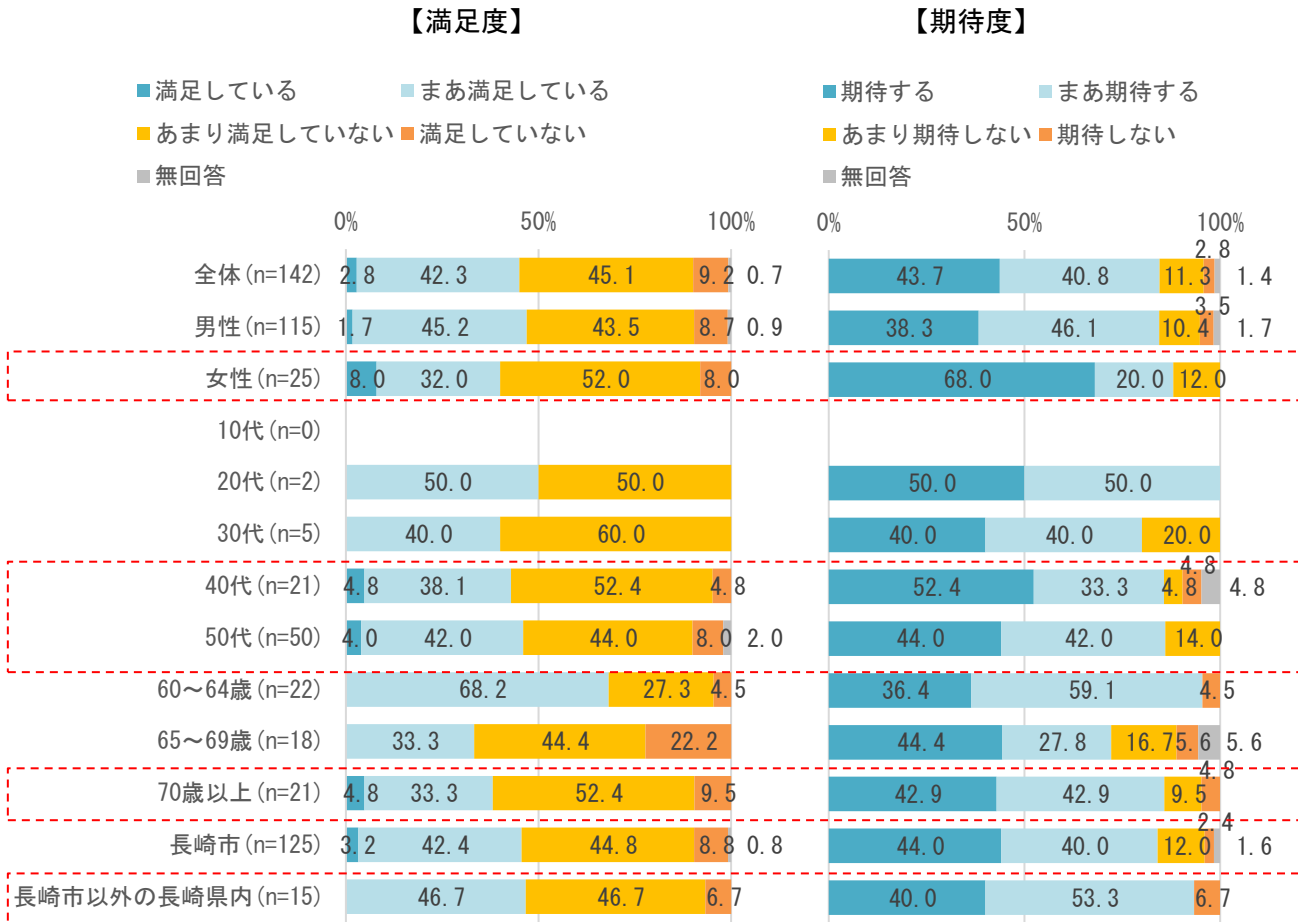
(3) 安全・安心で快適な公共空間

強化施策の「E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で39.4ポイント満足度が低くなっている。

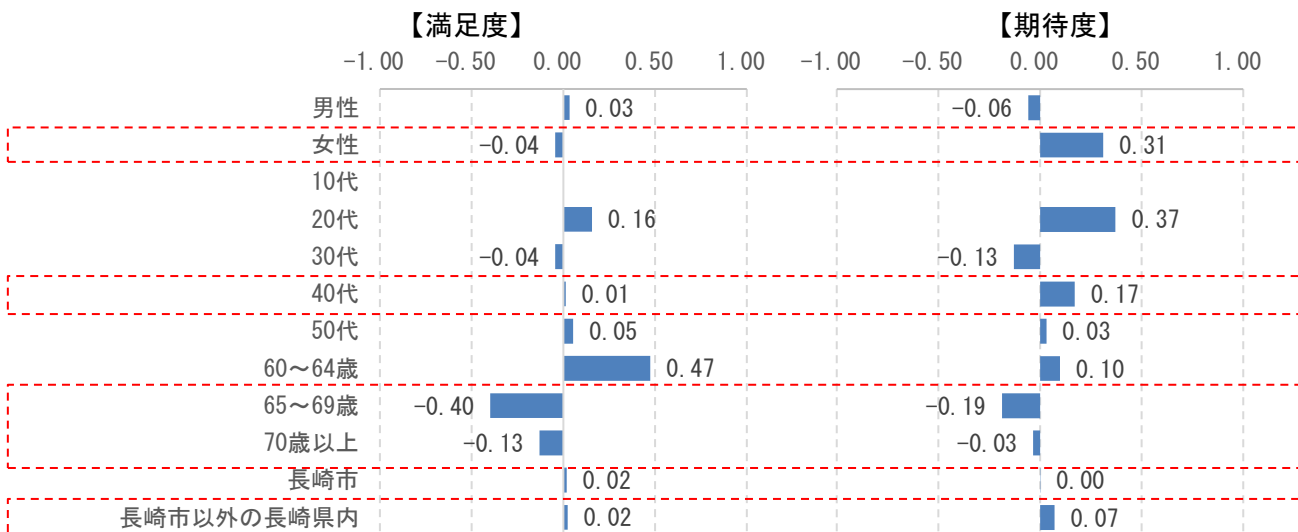
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.28ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「40代」「70歳以上」「長崎市以外の長崎県内」での評価改善が必要となる。

図表V-3-5：満足度と期待度



図表V-3-6：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



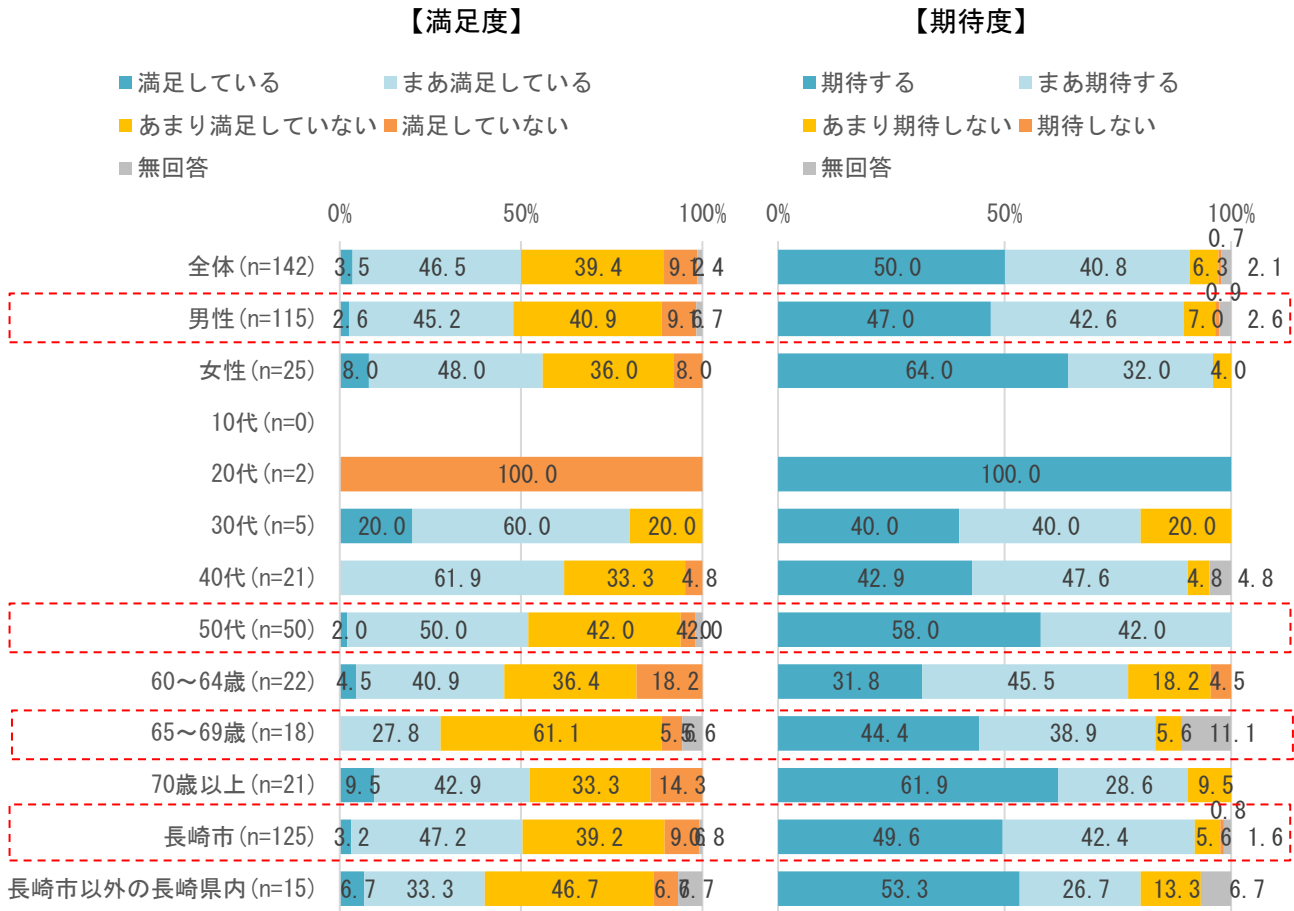
(4) 高齢者が暮らしやすい地域づくり

強化施策の「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」の満足度と期待度の乖離はやや大きく、全体で40.8ポイント満足度が低くなっている。

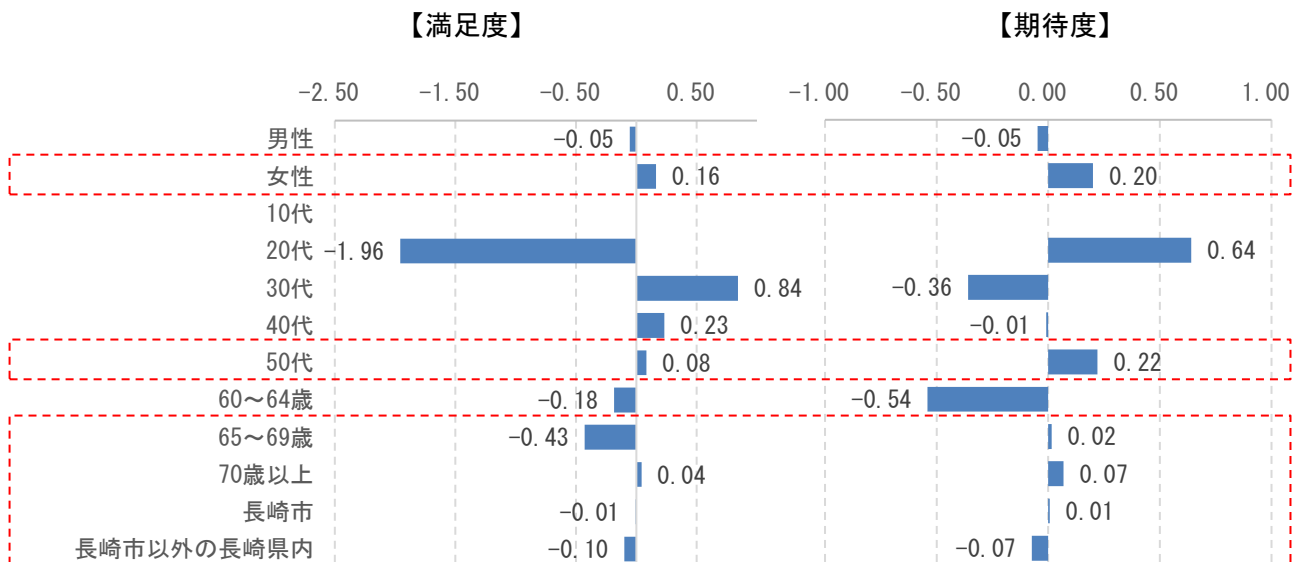
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離もやや大きく、全体で1.40ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「50歳代」「65～69歳」「長崎市」での評価改善が必要となる。

図表V-3-7：満足度と期待度



図表V-3-8：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



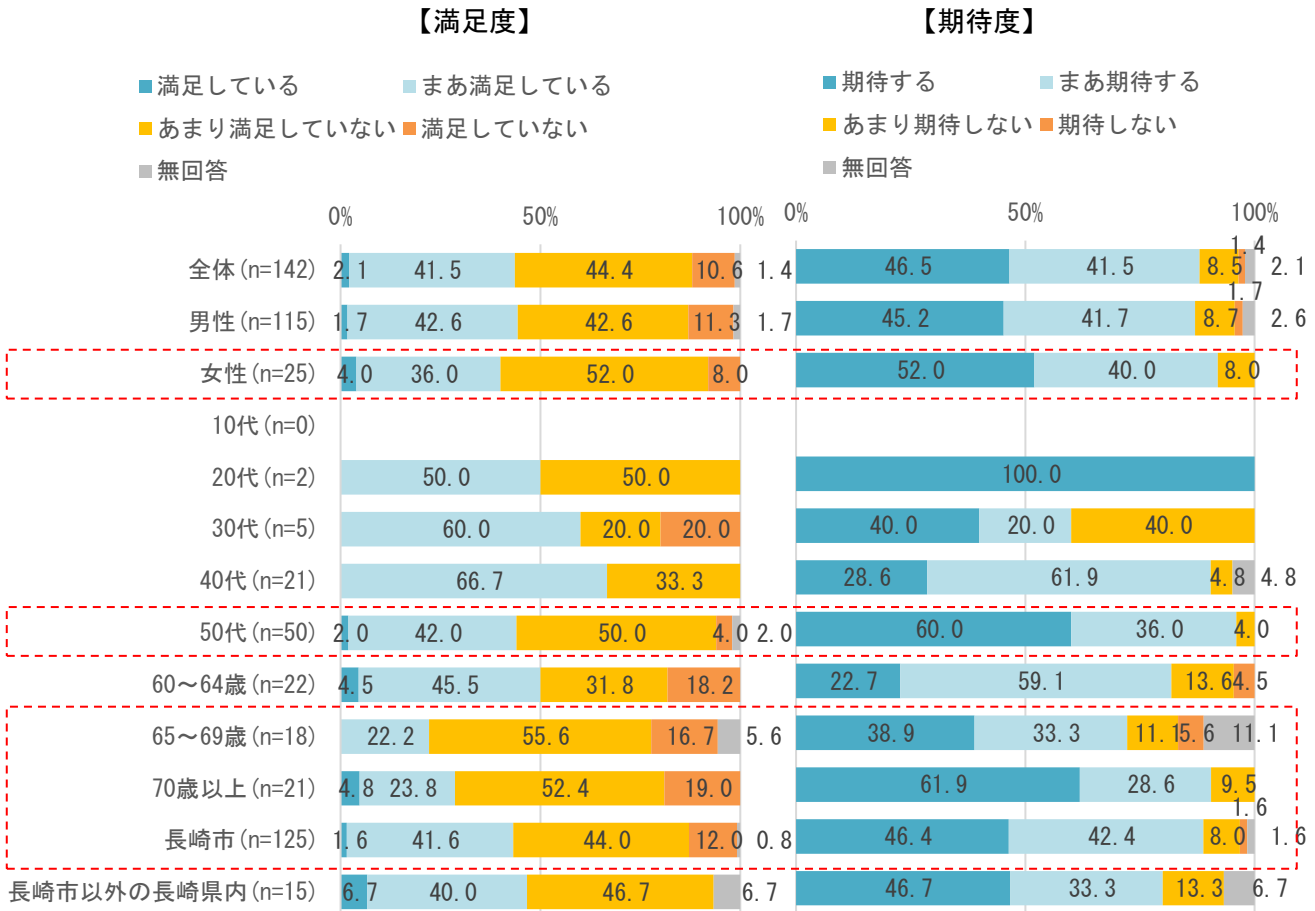
(5) 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます

強化施策の「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で44.4ポイント満足度が低くなっている。

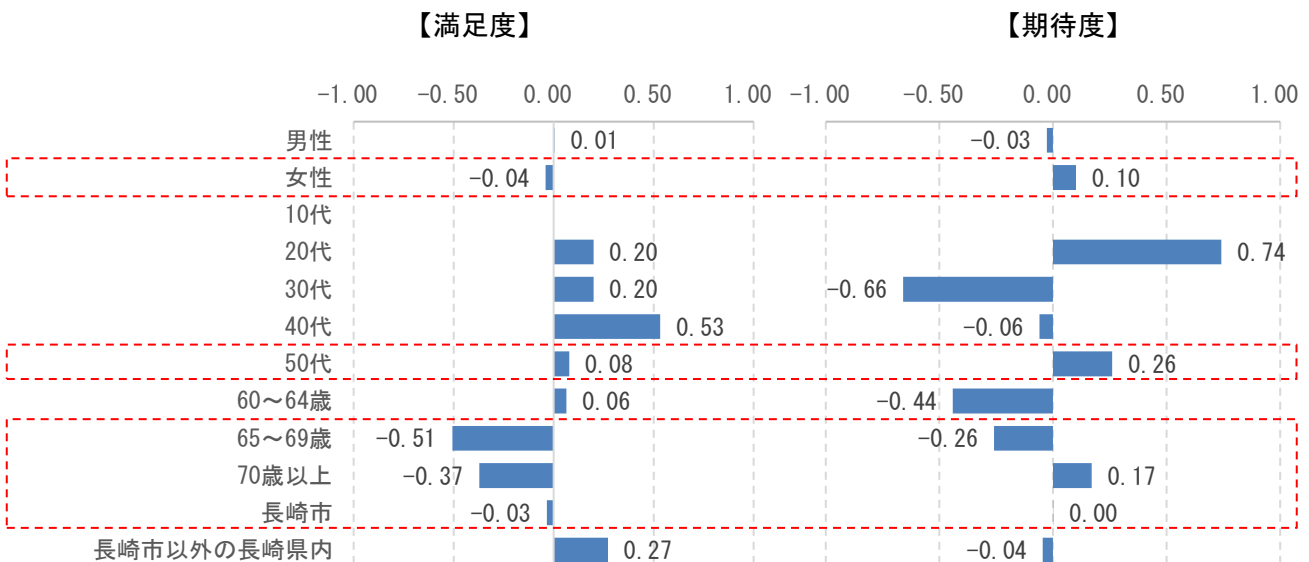
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.46ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「50代」「65歳以上」「長崎市」での評価改善が必要となる。

図表V-3-9：満足度と期待度



図表V-3-10：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



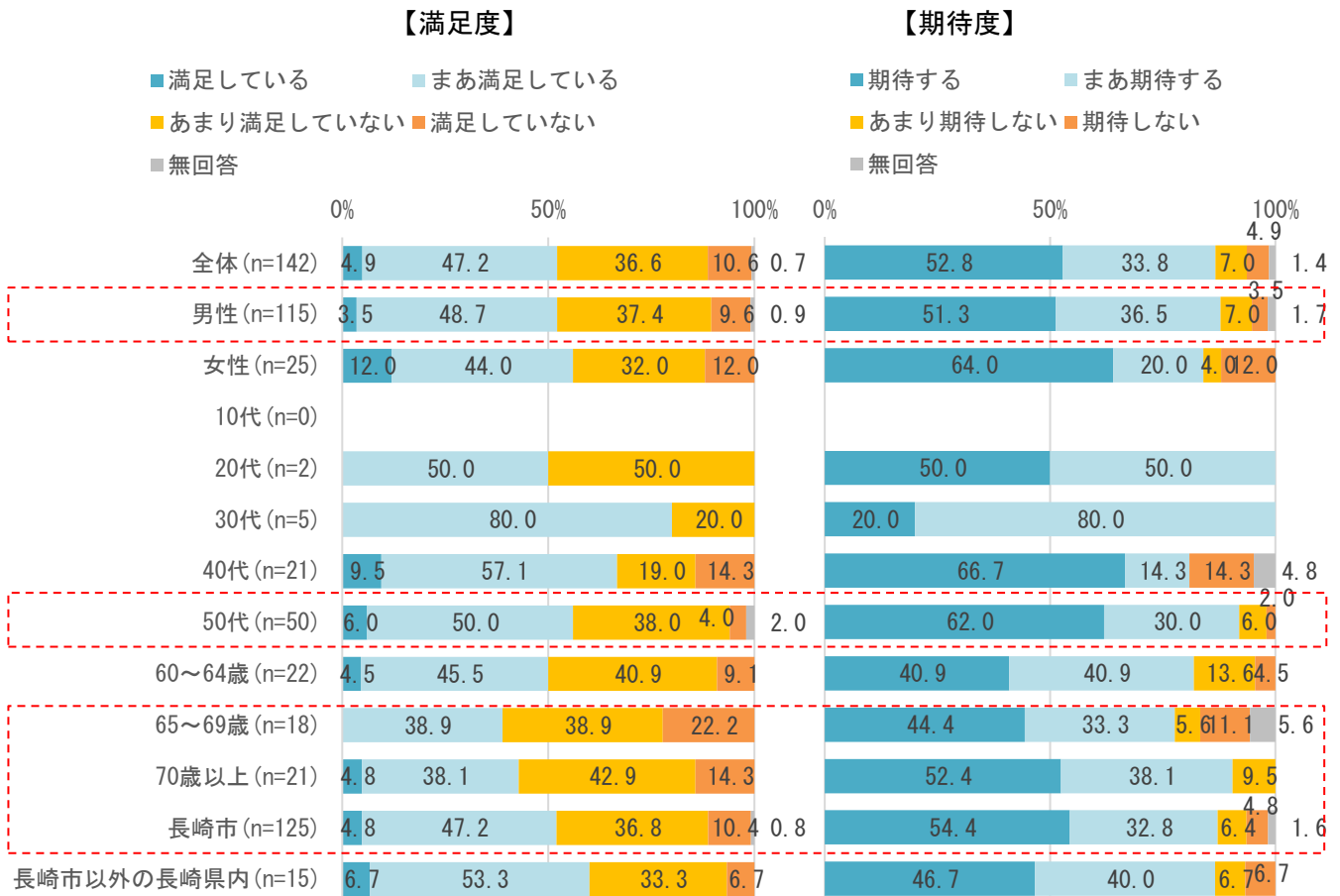
(6) 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち

強化施策の「F-4:安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で34.5ポイント満足度が低くなっている。

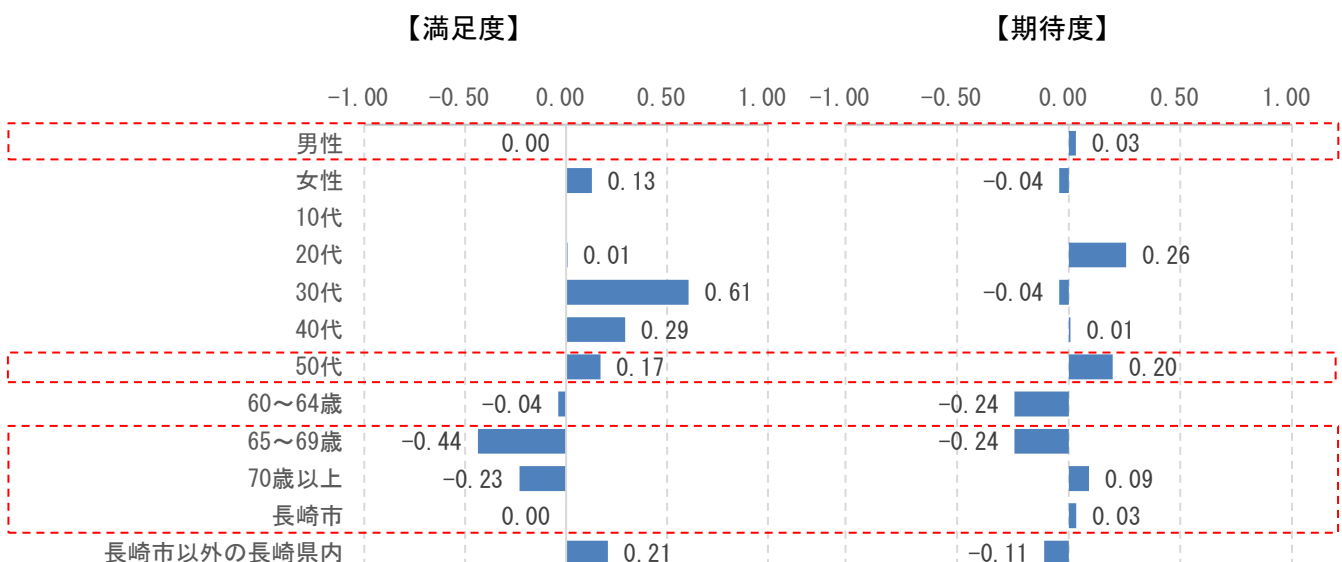
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.25ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「男性」「50代」「65歳以上」「長崎市」での評価改善が必要となる。

図表V-3-11：満足度と期待度



図表V-3-12：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



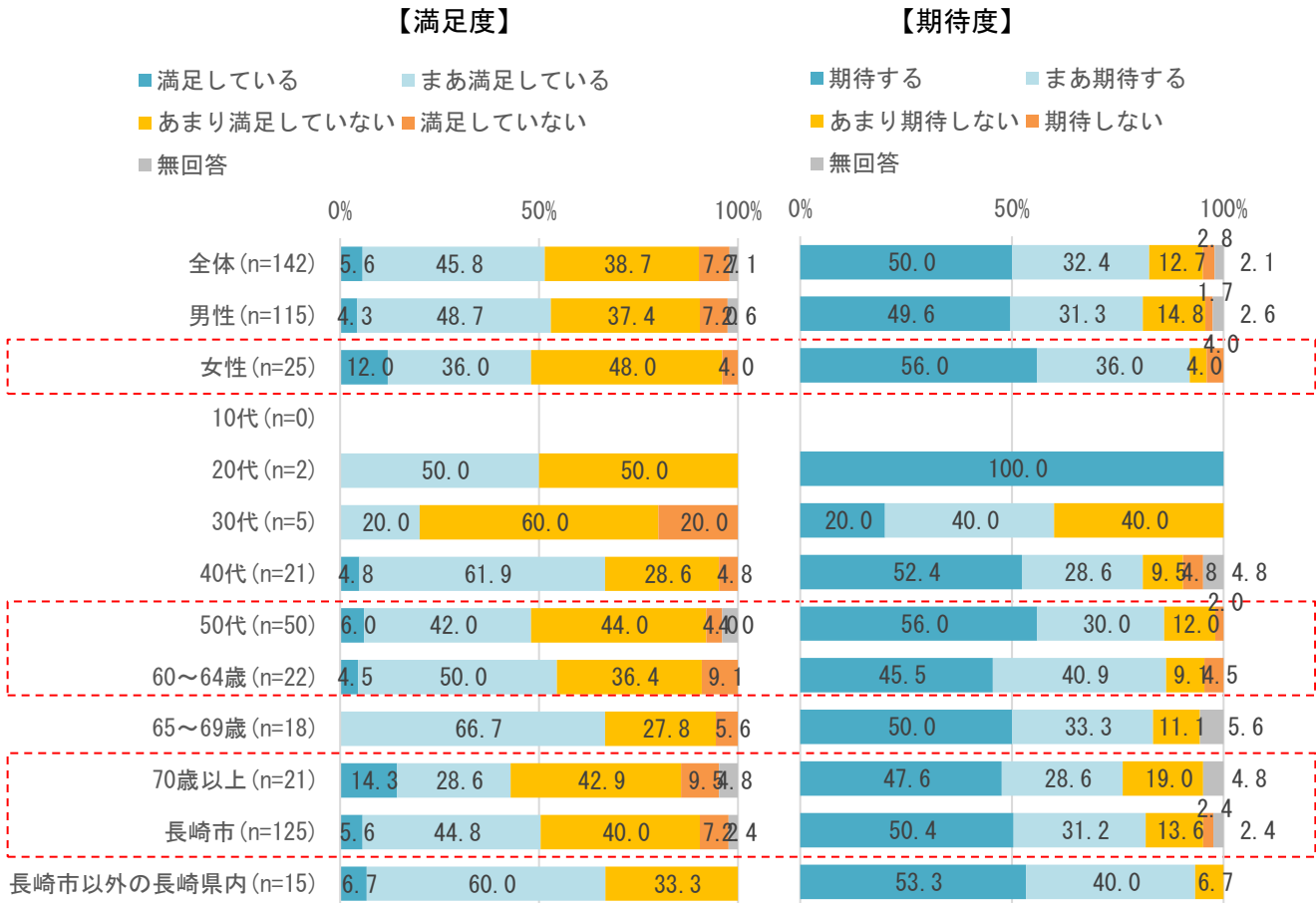
(7) 次代を生きぬく子どもの育み

強化施策の「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で31.0ポイント満足度が低くなっている。

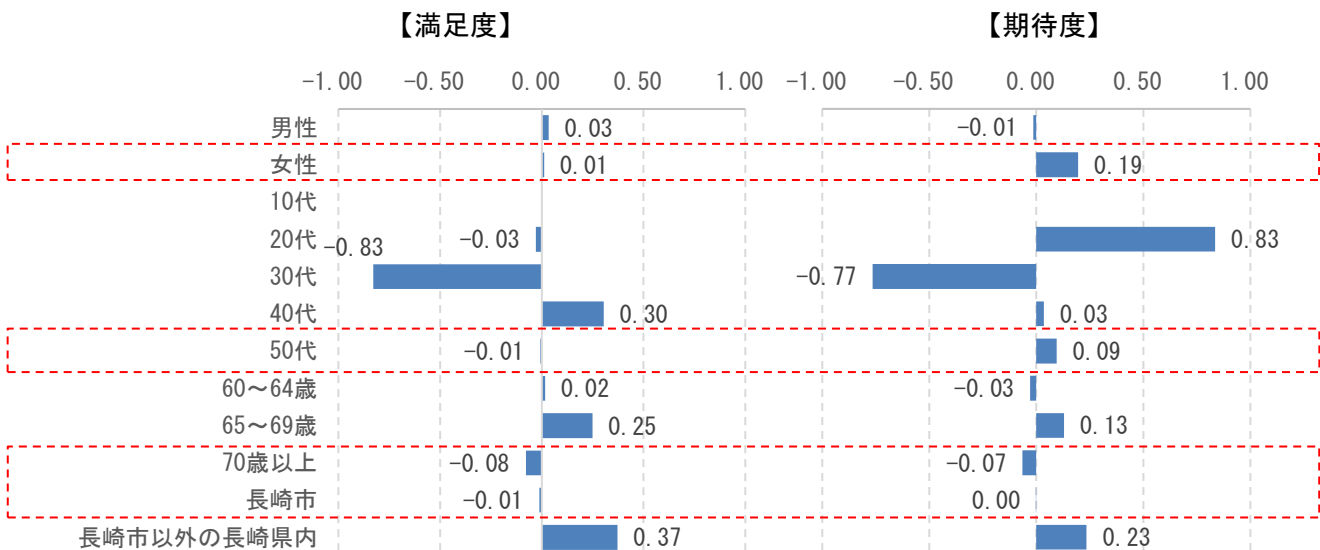
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.14ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「50代」「70歳以上」「長崎市」での評価改善が必要となる。

図表V-3-13：満足度と期待度



図表V-3-14：満足度と期待度平均スコアの全体との比較

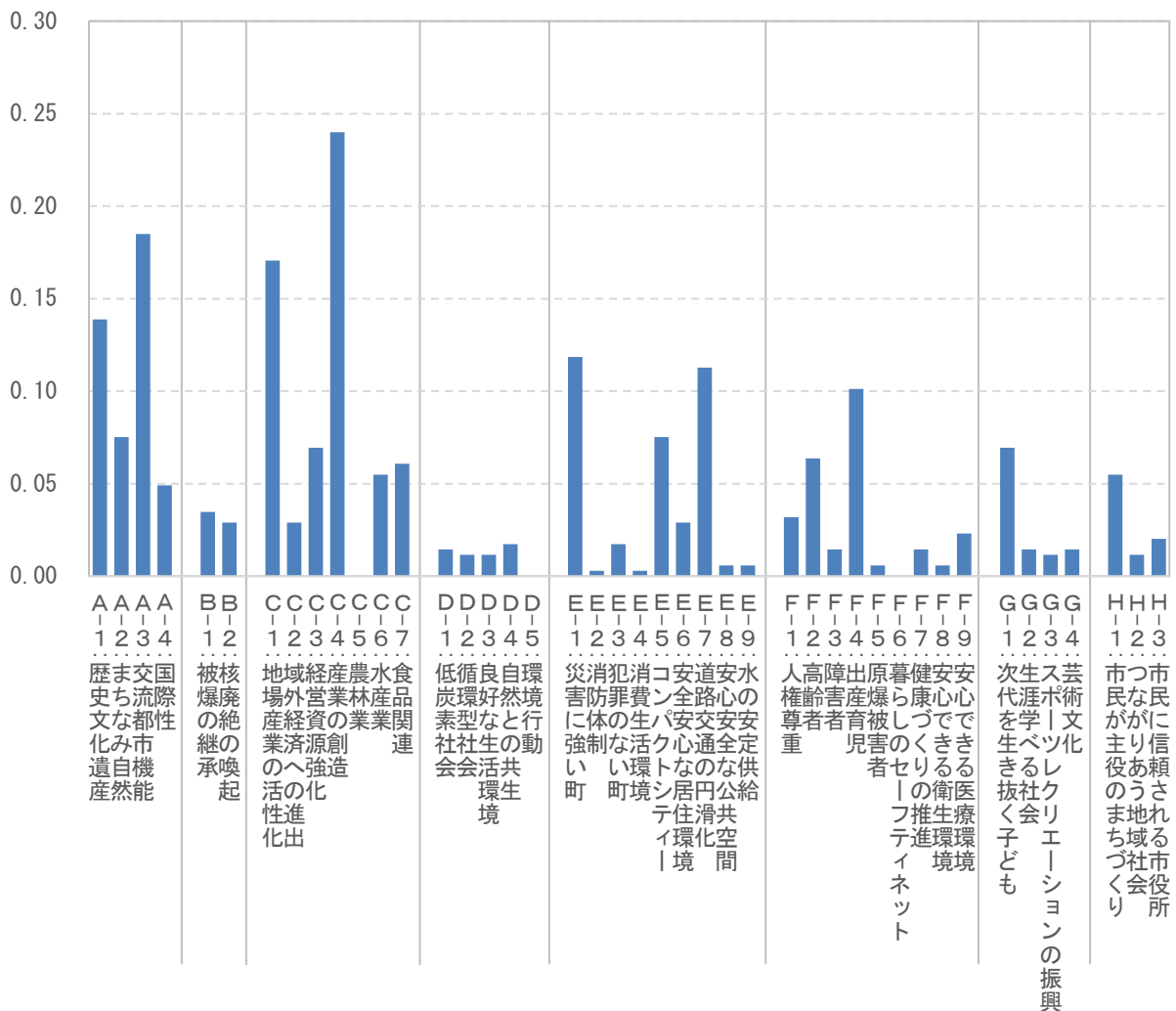


4. 優先施策

有識者が考える施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」の回答を指数化すると、「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」では「A-3:交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します」、「B:平和を願い、求め、つくるまち」では「B-1:被爆の実相を継承します」、「C:活力に満ち、発展し続けるまち」では「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」、「D:環境と調和する潤いのあるまち」では「D-4:人と自然が共生する環境をつくります」、「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」では「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」、「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」では「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」、「G:豊かな心を育むまち」では「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」、「H:基本構想の推進（つながる＋創造する）」では「H-1:市民が主役のまちづくりを進めます」が優先すべき施策となっており、全体を通しては、「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」が最優先されるべき施策となっている。

※指数化＝（「1番目の回答」×3＋「2番目の回答」×2＋「3番目の回答」×1）÷回答者数の合計で算出

図表V-4-1：有識者の考える優先施策優先施策



〈優先施策とした理由〉1番目の選択理由

基本施策	理由
A-1: 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な観光資源をもっと有効に活用し魅力的な観光都市になって欲しい ・長崎の特徴・魅力である歴史文化遺産を出島も含めて内外に発信 PR し続けてほしい。 ・歴史的に深い町であると思いますので心を伝えていただきたいと思います ・個性を活したまちづくり ・歴史的建造物を守る意識づくりとしくみづくり、ある物を壊さず生かすべきでしょう ・歴史を活し、調和のとれたコンパクトシティの形成 ・人口増を期待薄のなか、活性化のためにはやはり長崎の歴史これを活かした観光業に今後も注力すべきと考える
A-2: まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に特化したまちにするには住む人々が誇れるまちにしなければならない ・佐世保に較べ町が雑然として汚ない。洗練された町（街）にしよう
A-3: 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある長崎として大いに交流人口を増やし長崎を活性化してほしい ・交流人口を増す。駅前再開発を中心としたランドデザインを明確にする。交通網の整備。 ・観光業に持てる資源を集中すべき。 交流人口の拡大による経済の活性化 ・九州新幹線西九州ルート of 早期開通 ・長崎駅周辺の再開発（スポーツ施設含む） ・長崎に住みつづけて下さる外国の方々を増えたらと思います。子育て、仕事、など他都市にはないサービスがあれば良いです。 ・九州新幹線フル規格化早期実現に依る観光・ビジネス人員交流増大。 ・一部の中心地以外でも、公園や緑地などを整備するなど、いこいの場をもっと設けるべき ・長崎の特性のポテンシャルは高い。MICE、新幹線、世界遺産、平和教育医療等を活かした交流推進し、都市のレベルアップを図る。 ・人口の問題が優先的に取り組む事項だと考えます。新しい人を呼び込む努力もだが ・これ迄市の経済の中核であった基幹製造等の将来に不安がある中より一層新幹線開業による地域発展の変革をスピード感をもって進めて欲しい。 ・現在は観光バス等により渋滞しているため、長崎駅前の開発に合わせて、観光客を回避させる交通網の整備が必要 ・観光・MICEによる来訪客の増加と消費の促進。特に長崎市内に宿泊し、長期滞在をしてもらえる仕組みづくり。
A-4: 国際性を豊かにします	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国をはじめとした交流人口の増加外国人労働者の受入充実・強化と環境整備
B-1: 被爆の実相を継承します	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆都市にしかできない取り組み。 ・平和祈念式典を個人の意見を発言する場にしないでほしい。 ・事実をありのまま伝えてほしい。 ・被爆者の証言など、次世代への被爆の実相の継承。 ・平和教育の一層の推進。
B-2: 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	<ul style="list-style-type: none"> ・核廃絶の取組みは、地公体では取組みに難しいものであり、ナガサキがトップランナーとして取組むべきものとする。
C-1: 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の活性化 ・地場企業の収益力向上と労働力の確保 ・経済・生活水準の向上 ・商店街振興、地場企業が元気になる支援、やる気のある企業のサポート ・人口減少に対応して、域内消費を縮小させないためにも優先すべきと考えます。 ・海外特にアジア圏をターゲットにした産業を活性化すると交流人口も増加する。EPA、TPP、FTAにうまく乗ること。 ・観光の産業化の推進、観光の”核”となる施設の新設”

C-2:域外経済への進出を加速します	<ul style="list-style-type: none"> ・港を活かし、海外への活路を見出すべき。アマゾンやアリババのような企業をみると、今後の技術発展で物流の在り方も変化すると思う。
C-3:地場企業の経営資源を強化します	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の定着による県外流出の防止、就職口のある街（税金収入が確保できる街） ・企業招致も大事だが、まずは地場企業の支援で雇用を確保、所得増が最優先 ・地場企業の経営の安定を図り、非正規雇用を正規雇用にして労働者の暮らしの安定を図る
C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します	<ul style="list-style-type: none"> ・造船、重機に比肩する基幹的産業を創出しなければ長崎は生き残れない ・新しい時代を切り拓く産業の育成 ・人口流失をいかに食い止め”長崎にしかない産業”を産みださないと他都市からの人が流れない。人がいないと経済も発展しないC-1にもあるように地場企業の活性化は人口増加にもつながる ・十八銀行と親和銀行が合併するなど自力で生きのびる企業が少なくない。デパートも浜屋だけ。中小企業も息切れ気味である。 ・新しく企業をたち上げやすい環境づくりと広報 ・新幹線（Full規格） ・観光業以外で働ける場の増が急務 ・若年層の県外流出を防ぐ意味からも雇用創出につながる企業誘致をお願いしたい ・長崎市の雇用状況が変わって来ている。基幹産業の弱体化、それをカバーする仕事の広がりが少ない。観光のみでは人の流出は防げない産業振興を ・若者の市外流出を少なくするため、長崎に合った企業の育成を進め、働く場を確保する事で人口流出だけでなく、流入を促進させる事が大事 ・交流人口の拡大ではなく市内の新産業創業に力点を置くこと ・九州内でも一番の人口減少率となっている長崎市に取っての優先課題は働ける場所（企業誘致）ではないか。（特にIT企業誘致、廃坑の活用、光ケーブル、非常電源、水などを確保して、無料低家賃で賃貸） ・社会的起業家の育成 ソーシャルサービス ・世界最先端の技術を持った企業の育成 ・経済力を上げないと人も増えない。グローバル化に適応した新たな取り組みと発信力を求めます。
C-6:水産業で長崎の強みを活かします	<ul style="list-style-type: none"> ・おさかなセンターがあると良い。（市民にも、観光客にも） ・豊かな水産資源を全国的に広める。東京のスーパーで「長崎県産」とラベルが有っても、それほど味の差を感じない。だが、長崎で食すると、はるかに、おいしい。天然資源は、やはり輸送コストで味に差がでるのだろうか。
C-7:地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県の特産品（農畜産物・水産品）を全国、隣国へ販売促進 ・まずは、経済活性化（長崎）が優先と思います。今ある長崎の資源を最大に生かして活性化することが早道ではないかと思います。
E-1:災害に強いまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・水害・地震対策 ・見るからに危険箇所が多いので少しずつでも減らしてほしい ・最近長崎では大きな災害は、幸い起きていないが、今後、いつ、大災害が起こるかかわからない。少しでも被害を少なくする町づくり、防災体制づくりは最優先することだと思う。
E-7:道路・交通の円滑化を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ・早く道路網を整備し、交通渋滞を解消してほしい ・交通アクセスの良い街（空港、港、高速道路） ・道路の拡幅 ・市内う回道路（西側、東側中腹）の整備、岩屋橋～昭和町の4車線化 ・暮らしやすい環境の視点では、最重要と考える。予算配分も無駄な道路工事（舗装工事含む）をせずに本当に必要なところに配分を求める。 ・新幹線は最優先課題ですが、公共交通網の充実は市内の活力を生むと思います。コンパクトシティの範囲を明確化して移動しやすい街づくり ・離島と比較してあまりに道路状況が悪いので要改善。

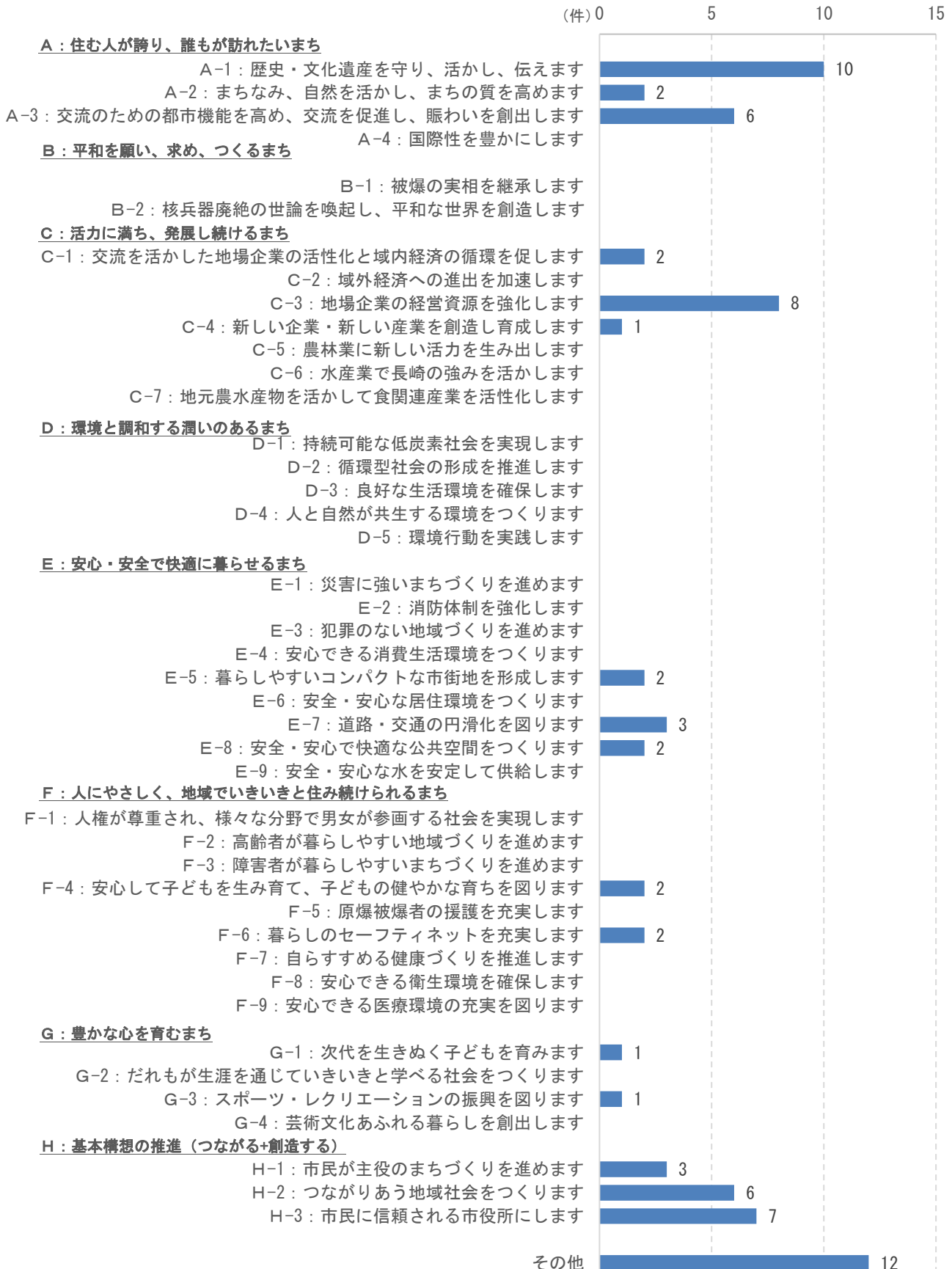
F-1: 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ、パワハラがない社会の実現
F-2: 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、爆発的に増える高齢者の生活や行き所はもっとも考えるべきテーマだと思います。(F-3 も同じ趣旨) ・ 高齢者、子供に優しい、くつろぎの場所、地域コミュニティの促進 ・ 人口の流入増(流出減)のためには、安心して最後をむかえられるようにすべきだが、包括ケアシステムのさらなる充実に加えて、それを対外的に分かりやすくPRすべき。 ・ 長崎の特性に合った地域包括システムのしくみづくりを進める
F-4: 安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料の軽減や住宅家賃への助成など ・ 人口減対策、企業誘致・労働人口流出の歯止めと合わせ、結婚できる環境、子どもを生み育てる環境づくりが第一。” ・ 妊娠してから大人になるまでの過程できめ細やかなフォロー体制をお願いしたい。特に、保育士、相談員ソーシャルワーカーなどの処遇改善や研修等を充実し、支える体制を確立して下さい。 ・ 九州内でも県庁所在地として人口減少の激しい長崎市に、歯止めをかけるために子どもを安心して産み育てる環境、経済支援が必要だと思います。 ・ 保育料、医療費の無償化や条件の更なる拡大
F-7: 自らすすめる健康づくりを推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科口腔保健の推進
G-1: 次代を生きぬく子どもを育みます	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに、地域でみんなで育てられてこそ、たくましくなります。 ・ 子どもがいないコミュニティは暗くなります。 ・ 行政の都合だけで、学校(特に小学校)の統廃合をすすめると、子どもがいなくなります。地域が暗くなります。 ・ 将来世代を育むマインドがなければ未来の長崎市はない。
G-2: だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健常者、障害者ともに社会に開放されて生き生きと暮らせる土台をつくることで、次の世代が暮らしやすい社会もできる。教育機関の開設(一般への)
G-3: スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャパネットホールディングスが作るスタジアムへ積極的に協力すること
G-4: 芸術文化あふれる暮らしを創出します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎市にいちばん欠けている所です。
H-1: 市民が主役のまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政や営利企業だけでは、地域課題の解決が難しいため、市民が市政への参加、まちづくり活動に参加することを促す。地域課題やそれに対する取組の見える化など。地域のつながりを強化することが、まちづくりの根本ではないかと思う。例えば、日常生活の挨拶や会話から顔なじみになり、しばらく会わなければ気にかかるなど日常生活上の支援を災害時の支援につなげていく仕組みづくりが必要 ・ 日頃から地域に関心を持つための町歩きや地域の情報交換会などが必要

5. 自由回答（市政に対する自由意見）

長崎市のまちづくりに関する意見（自由意見）について、回答内容をまちづくりの方針及び基本施策で分類をおこなった。施策別回答内容の件数をまとめ以下に掲載する。

※個別詳細内容は、別冊参考資料の自由回答集を参照のこと。

図表 V-5-1：市政に対する自由意見



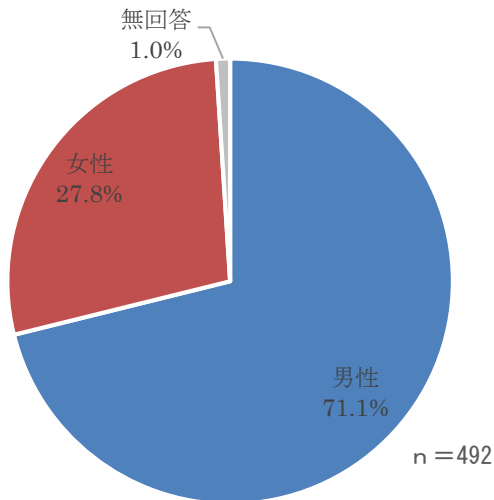
VI. 調查結果（職員編）

VI. 調査結果（職員編）

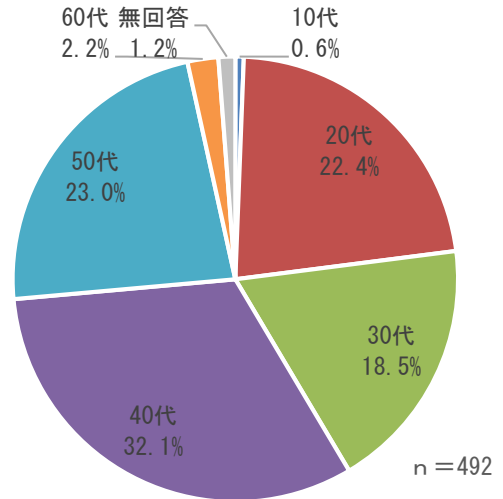
1. 属性

回答者の基本的属性を「性別」「年代別」「家族構成」「同居家族」「職種」「役職」「勤続年数」「住居種類」「居住年数」「居住地」の別で示すと、その内訳は以下の通り。

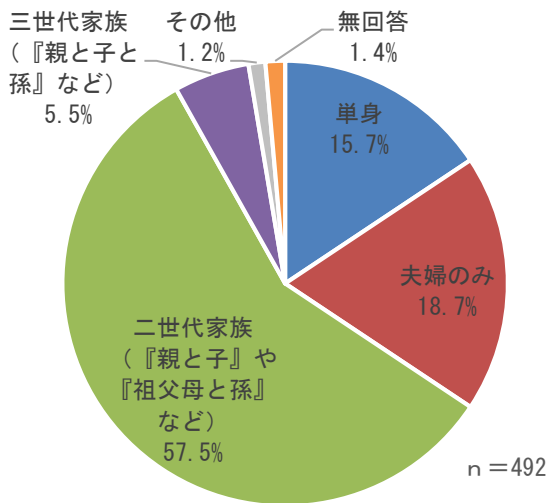
図表VI-1-1：性別



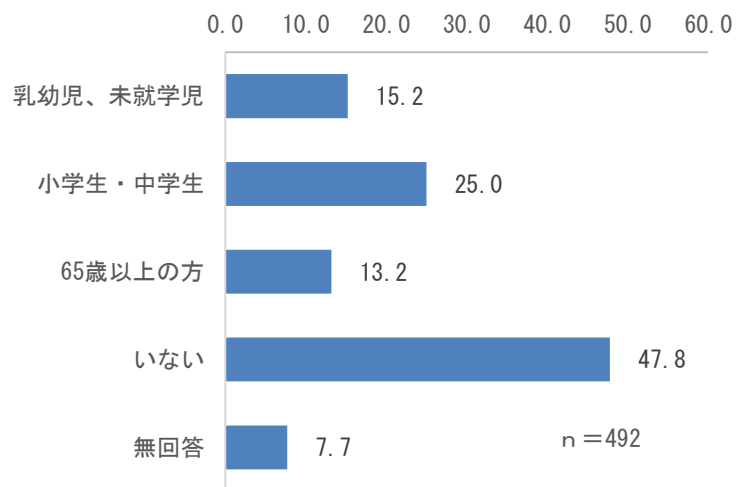
図表VI-1-2：年代別



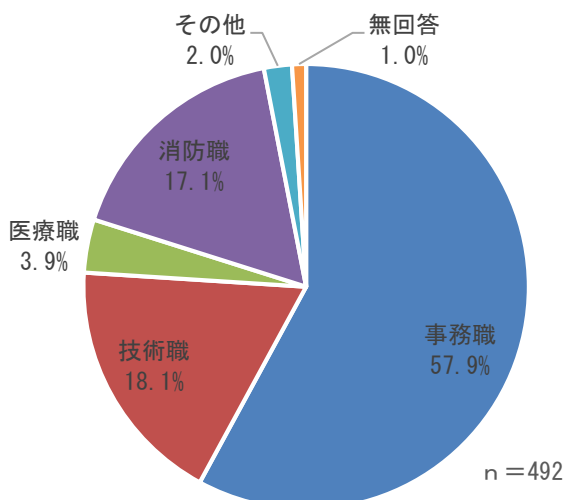
図表VI-1-3：家族構成



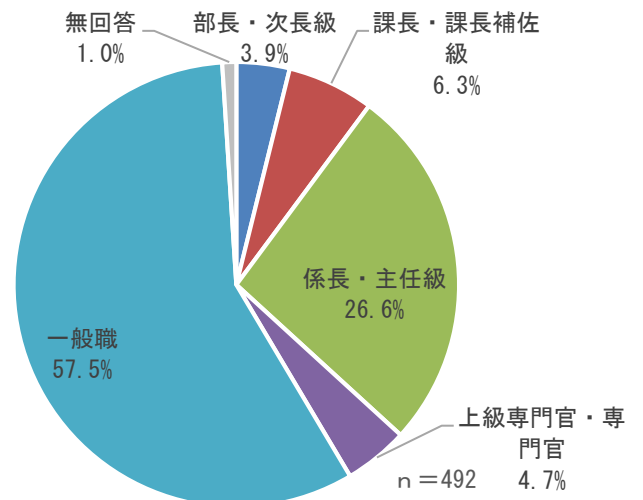
図表VI-1-4：同居家族



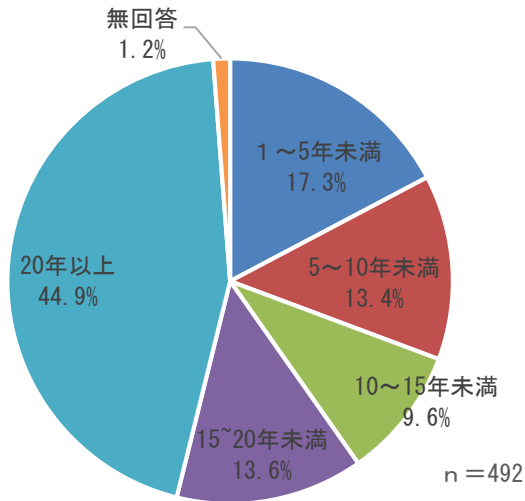
図表VI-1-5：職種



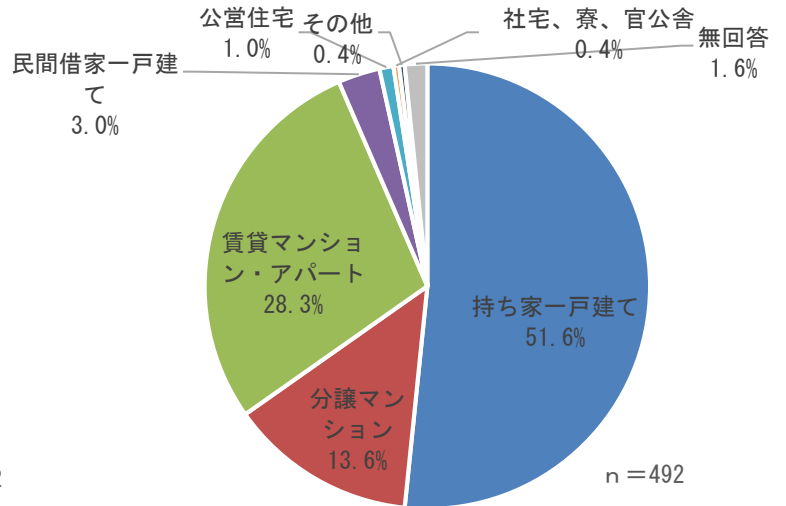
図表VI-1-6：役職



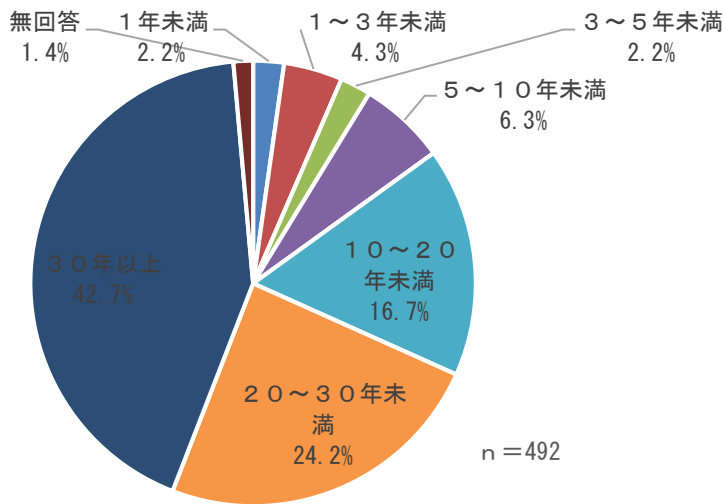
図表VI-1-7：勤続年数



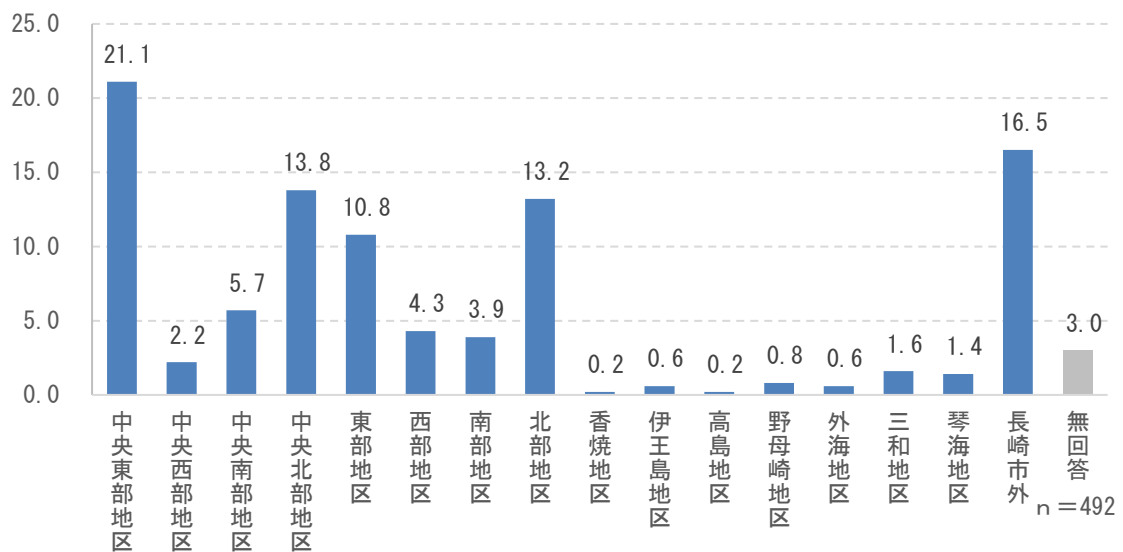
図表VI-1-8：住居種類



図表VI-1-9：居住年数



図表VI-1-10：居住地



2. 設問回答

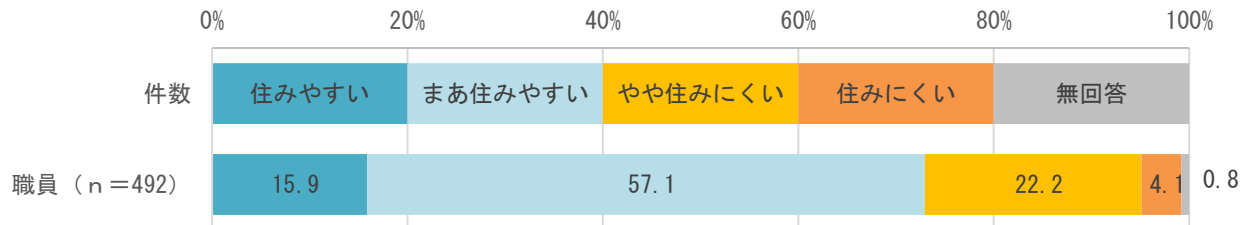
(1) 長崎市の住みやすさ

長崎市の住みやすさは「暮らしやすい」が73.0%となっており、「暮らしにくい」の26.2%を46.8ポイント上回っている。

※暮らしやすい=「住みやすい」+「まあ住みやすい」以降同様。

※暮らしにくい=「やや住みにくい」+「住みにくい」以降同様。

図表VI-2-1：長崎市の住みやすさ



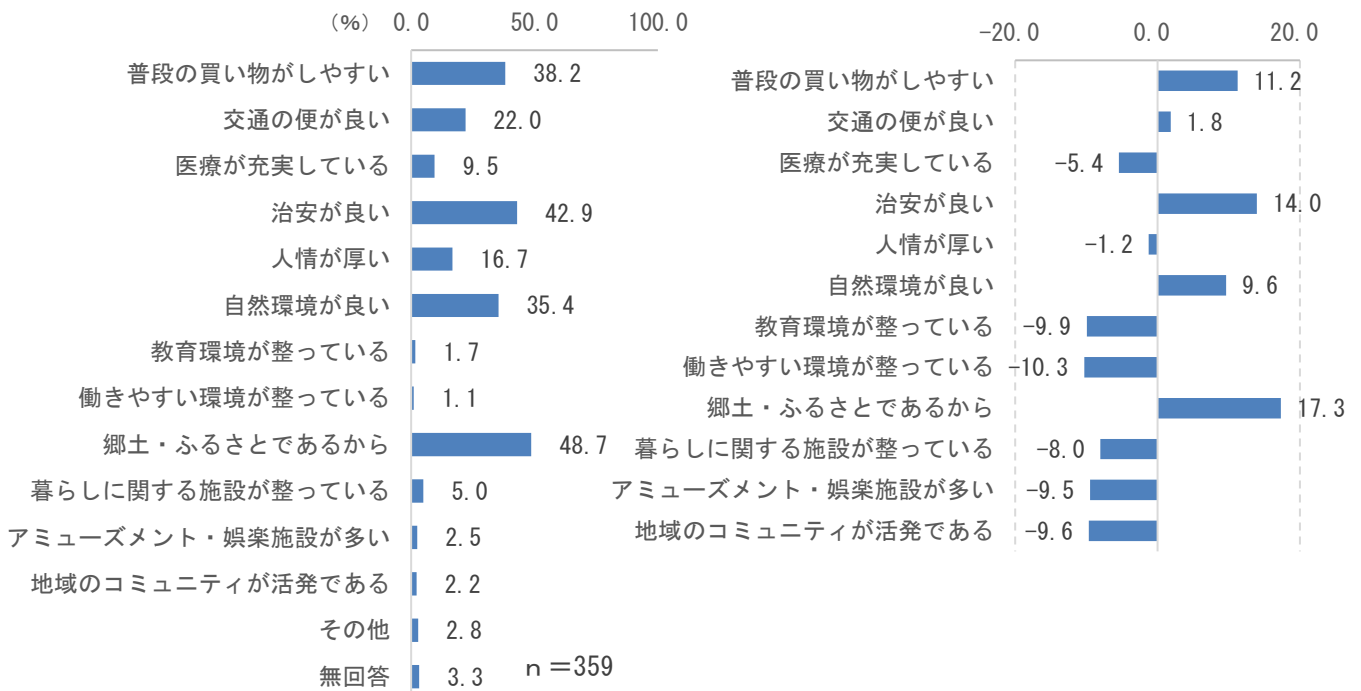
(2) 暮らしやすい理由

「暮らしやすい」と回答した理由は、「郷土・ふるさとであるから」が48.7%で最も多く、次いで「治安が良い」が42.9%、「普段の買い物がしやすい」が38.2%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」「治安が良い」「自然環境が良い」「郷土・ふるさとであるから」の5項目で平均以上の評価がされている。

図表VI-2-2：長崎市の暮らしやすい理由

図表VI-2-3：暮らしやすい理由偏差値比較



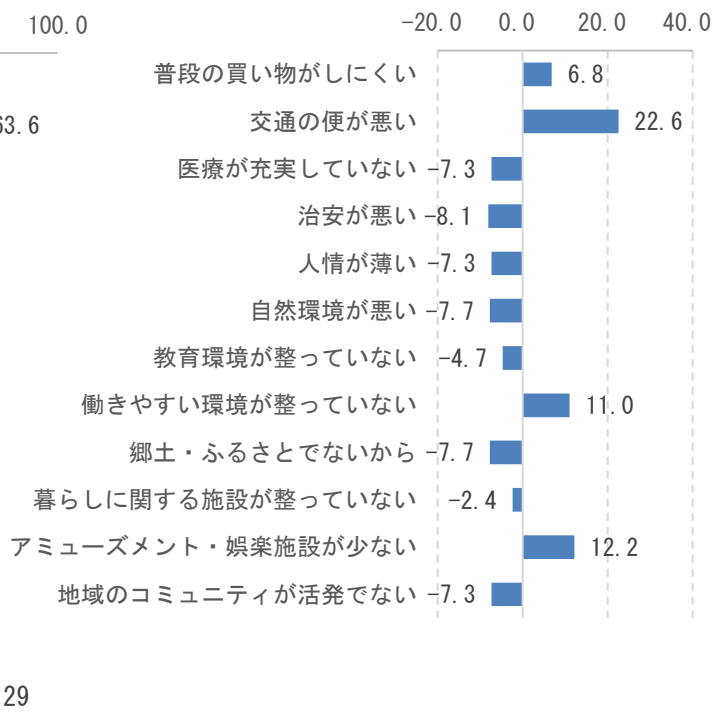
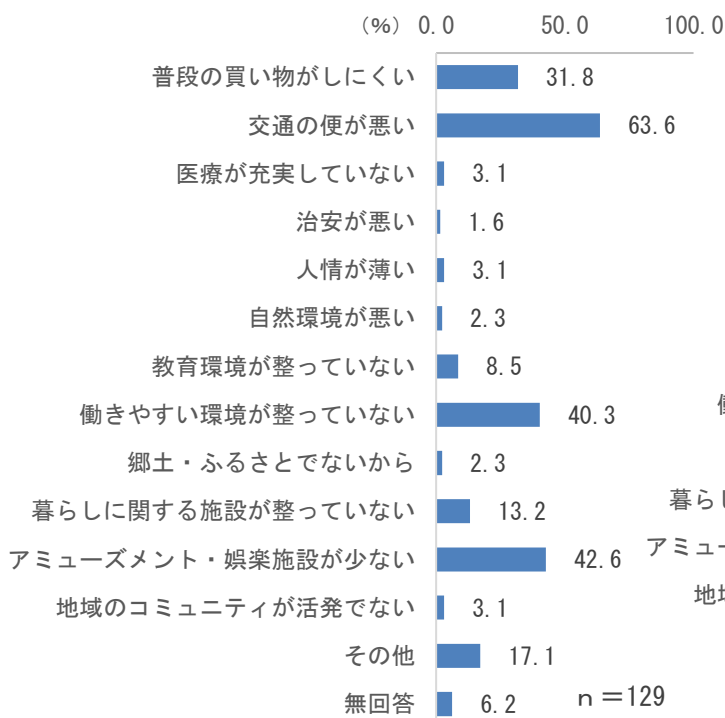
(3) 暮らしにくい理由

「暮らしにくい」と回答した理由は、「交通の便が悪い」が63.6%で最も多く、次いで、「アミューズメント・娯楽施設が少ない」が42.6%「働きやすい環境が整っていない」が40.3%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「普段の買い物がしにくい」「交通の便が悪い」「働きやすい環境が整っていない」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」の4項目が「暮らしにくい」理由と評価がされている。

図表VI-2-4：長崎市の暮らしにくい理由

図表VI-2-5：暮らしにくい理由偏差値比較

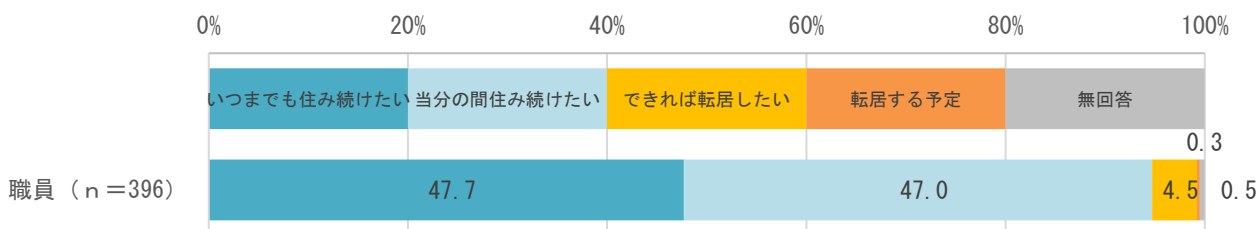


(4) 長崎市への継続居住意向

長崎市への継続居住意向は、「住み続けたい」が94.7%、「転居する」が4.8%となっている。

※「住み続けたい」＝「いつまでも住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」以降同様。
 「転居する」＝「できれば、他の市町村に転居したい」＋「他の市町村に転居する予定である」以降同様。

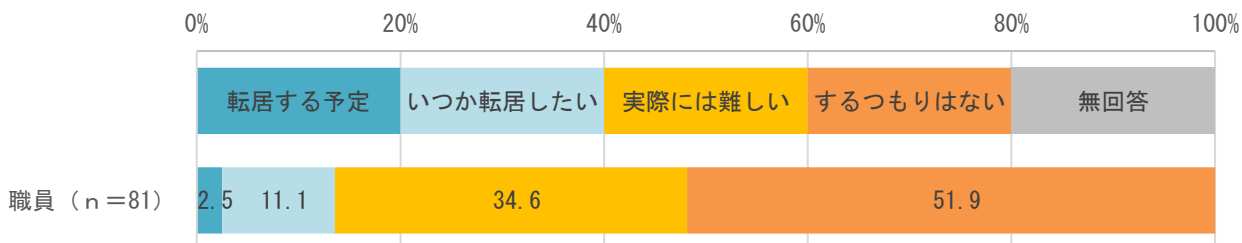
図表VI-2-6：長崎市への継続居住意向



(5) 長崎市への転居意向

長崎市への転居意向は、「長崎市に転居するつもりはない」が51.9%で最も多く、次いで「長崎市に転居したいが、実際には難しい」が34.6%、「いつか、長崎市に転居したい」が11.1%となっている。

図表VI-2-7：長崎市への転居意向

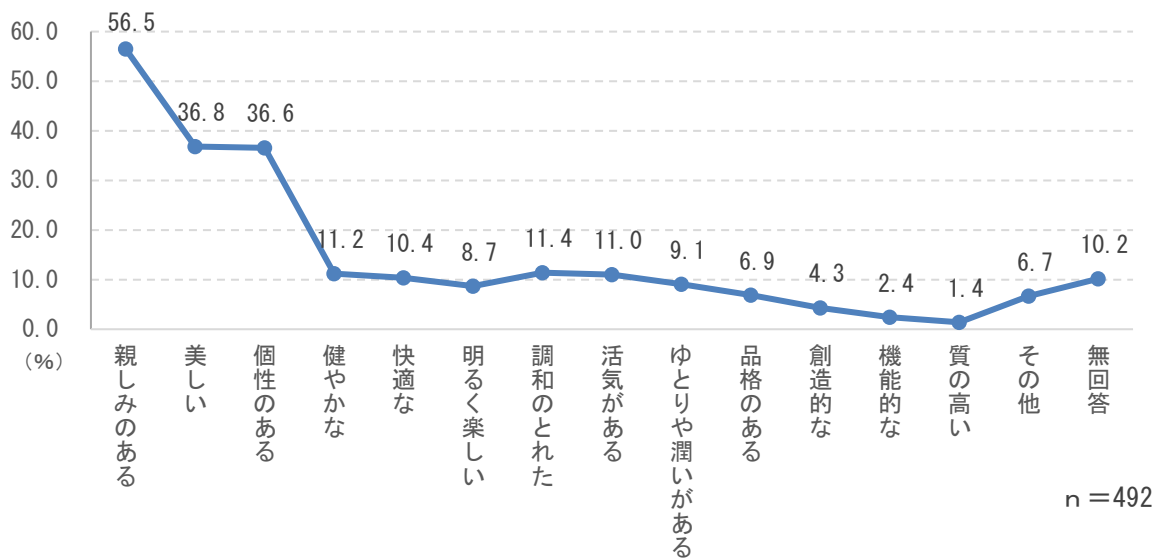


(6) 現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード

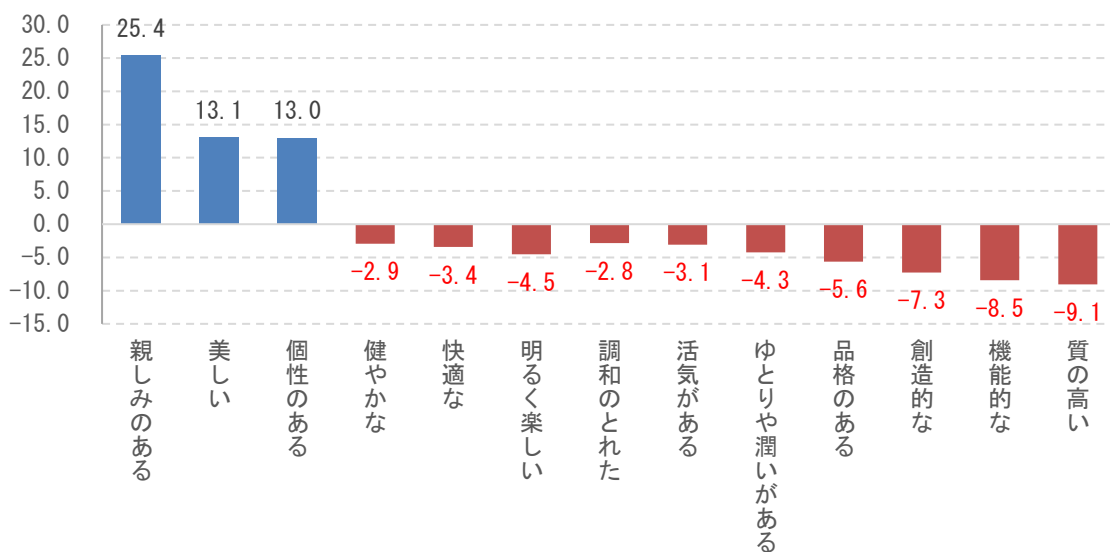
現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワードは「親しみのある」が56.5%で最も多く、次いで「美しい」が36.8%、「個性のある」が36.6%で続いている。

また、偏差値での比較を行うと「親しみのある」「美しい」「個性のある」の3項目は平均以上となっており、現在の長崎市にふさわしいイメージと認識されている。

図表VI-2-8：現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード



図表VI-2-9：現在の長崎市のイメージ偏差値比較

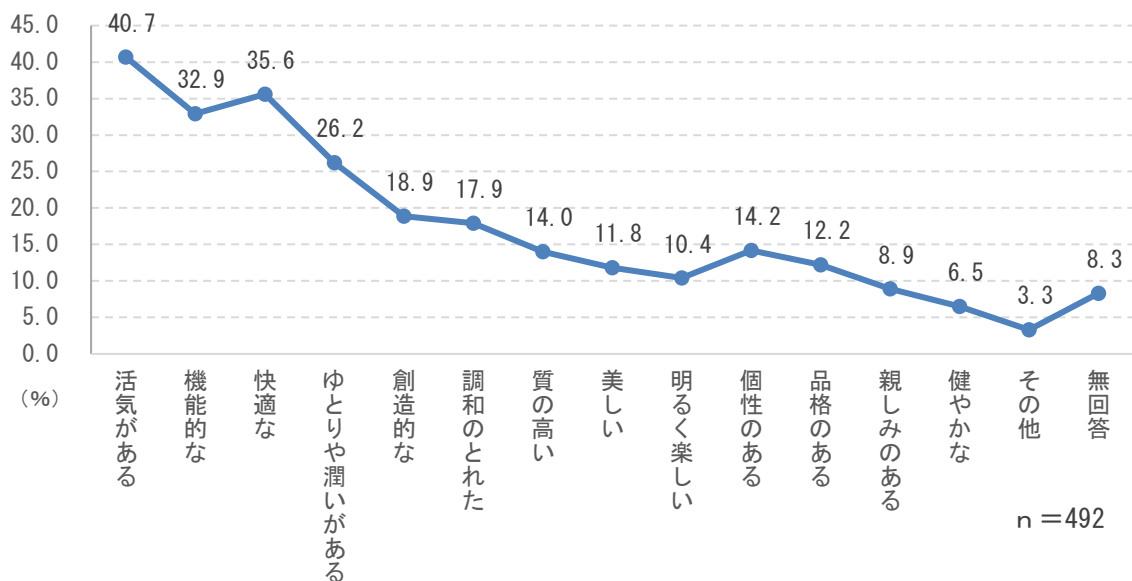


(7) 将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード

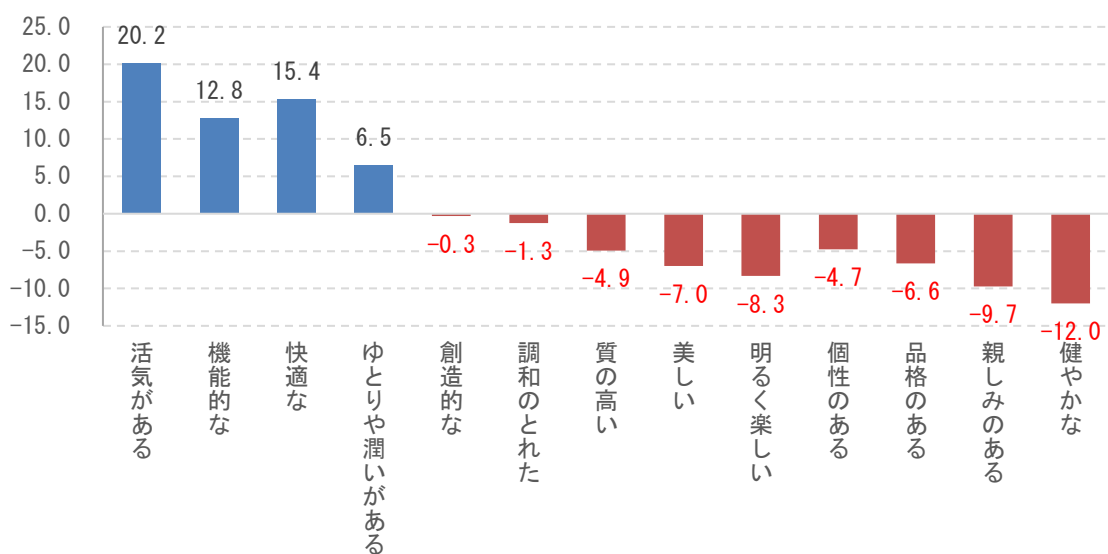
将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワードは「活気がある」が40.7%で最も多く、次いで「快適な」が35.6%、「機能的な」が32.9%が続いている。

また、偏差値での比較を行うと「活気がある」「機能的な」「快適な」「ゆとりや潤いがある」の4項目は平均以上となっており、将来の都市づくりにふさわしいイメージと認識されている。

図表VI-2-10：将来の都市づくりのイメージにふさわしいキーワード



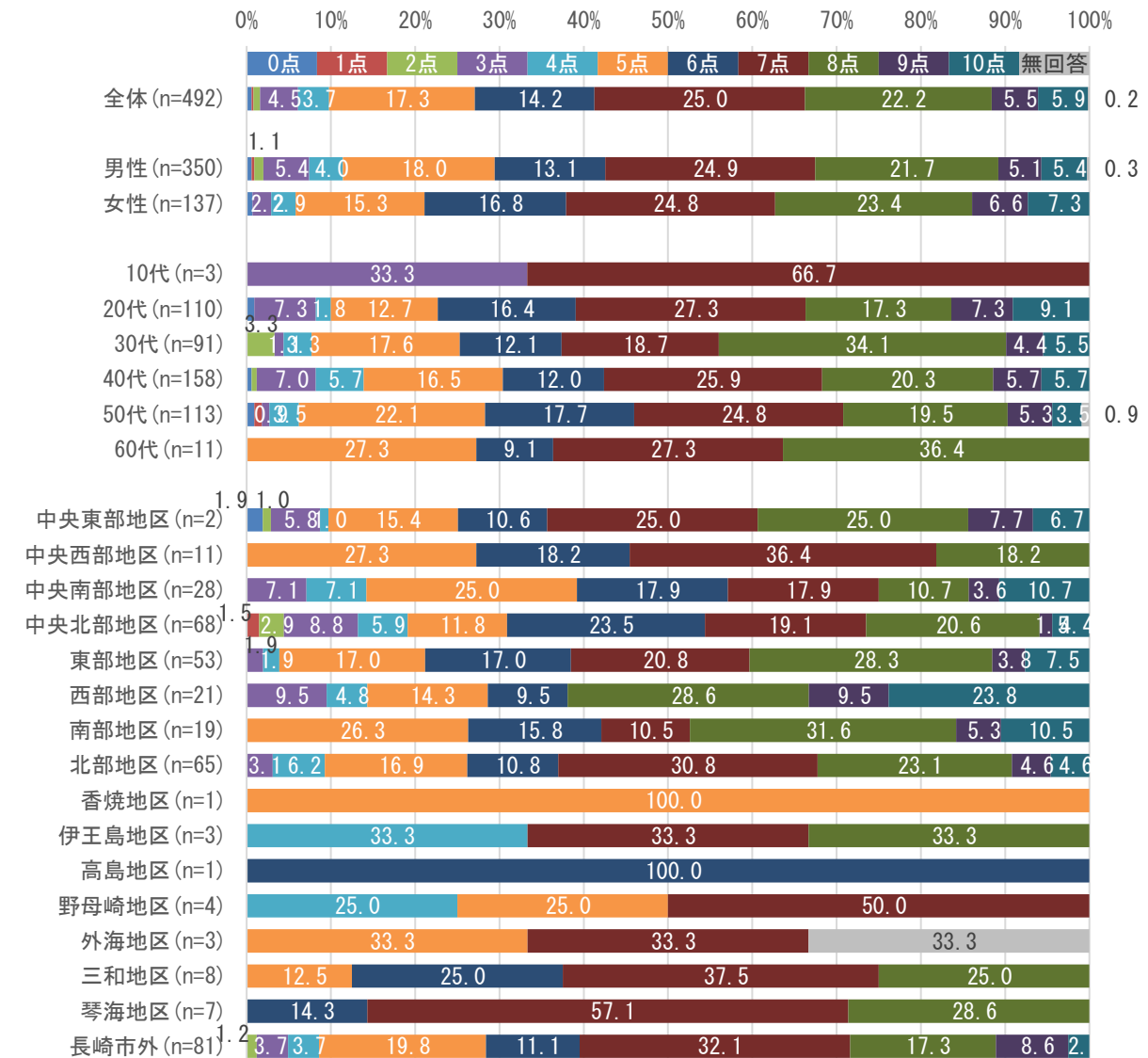
図表VI-2-11：将来の都市づくりのイメージ偏差値比較



(8) 現在の幸福感

現在の幸福感を10点満点で表したところ、全体で「6点」以上の割合は72.8%となっており、これを下回ったのは性別で「男性」、年代別では「40代」「50代」、居住地別では「中央南部地区」「中央北部地区」「西部地区」「長崎市外」となっている。

図表VI-2-12：現在の幸福感

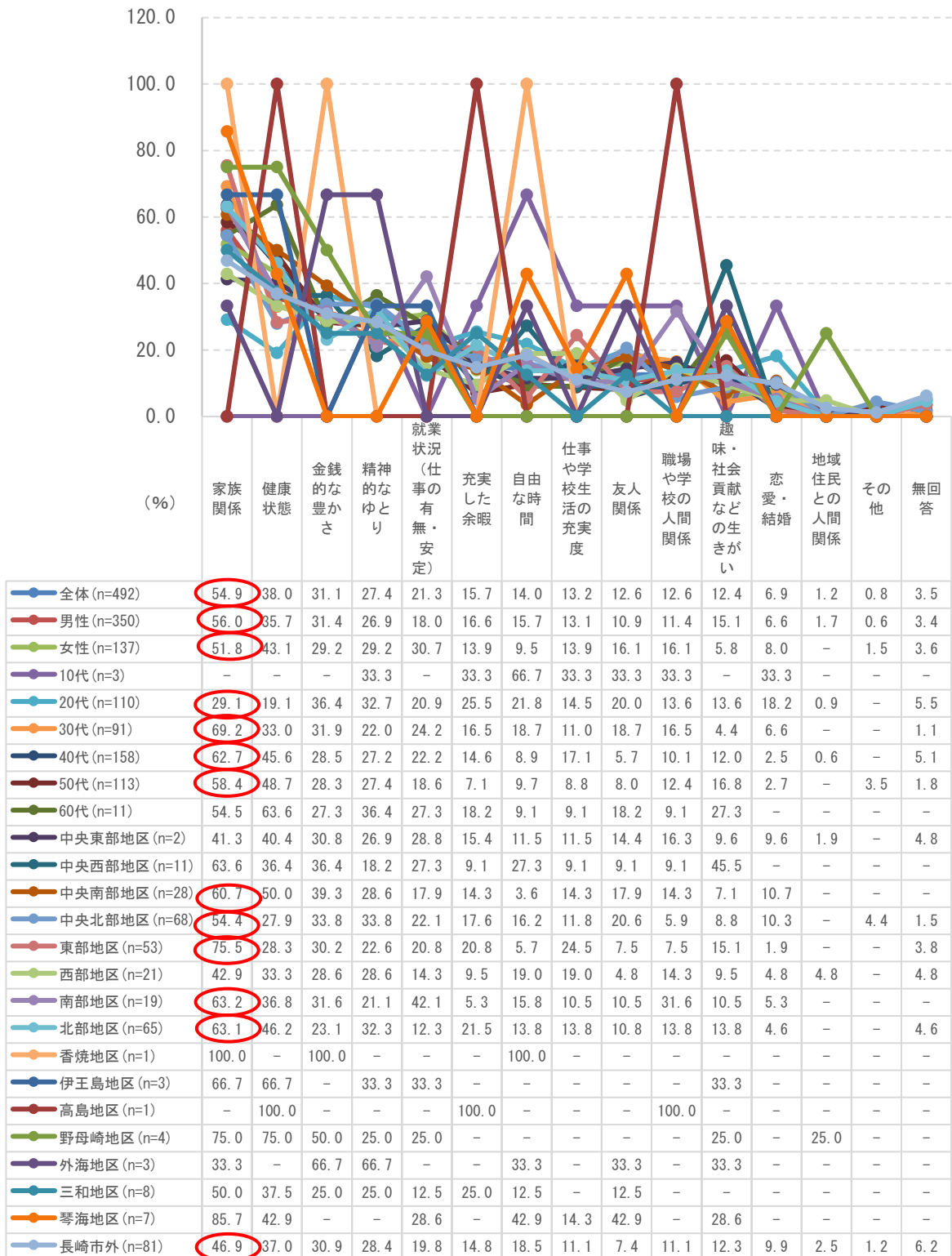


	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (n=492)	0.6	0.2	0.8	4.5	3.7	17.3	14.2	25.0	22.2	5.5	5.9	0.2
男性 (n=350)	0.6	0.3	1.1	5.4	4.0	18.0	13.1	24.9	21.7	5.1	5.4	0.3
女性 (n=137)	0.7	-	-	2.2	2.9	15.3	16.8	24.8	23.4	6.6	7.3	-
10代 (n=3)	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-
20代 (n=110)	0.9	-	-	7.3	1.8	12.7	16.4	27.3	17.3	7.3	9.1	-
30代 (n=91)	-	-	3.3	1.1	3.3	17.6	12.1	18.7	34.1	4.4	5.5	-
40代 (n=158)	0.6	-	0.6	7.0	5.7	16.5	12.0	25.9	20.3	5.7	5.7	-
50代 (n=113)	0.9	0.9	-	0.9	3.5	22.1	17.7	24.8	19.5	5.3	3.5	0.9
60代 (n=11)	-	-	-	-	-	27.3	9.1	27.3	36.4	-	-	-
中央東部地区 (n=2)	1.9	-	1.0	5.8	1.0	15.4	10.6	25.0	25.0	7.7	6.7	-
中央西部地区 (n=11)	-	-	-	-	-	27.3	18.2	36.4	18.2	-	-	-
中央南部地区 (n=28)	-	-	-	7.1	7.1	25.0	17.9	17.9	10.7	3.6	10.7	-
中央北部地区 (n=68)	-	1.5	2.9	8.8	5.9	11.8	23.5	19.1	20.6	1.5	4.4	-
東部地区 (n=53)	1.9	-	-	1.9	1.9	17.0	17.0	20.8	28.3	3.8	7.5	-
西部地区 (n=21)	-	-	-	9.5	4.8	14.3	9.5	-	28.6	9.5	23.8	-
南部地区 (n=19)	-	-	-	-	-	26.3	15.8	10.5	31.6	5.3	10.5	-
北部地区 (n=65)	-	-	-	3.1	6.2	16.9	10.8	30.8	23.1	4.6	4.6	-
香焼地区 (n=1)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
伊王島地区 (n=3)	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-
高島地区 (n=1)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
野母崎地区 (n=4)	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-
外海地区 (n=3)	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
三和地区 (n=8)	-	-	-	-	-	12.5	25.0	37.5	25.0	-	-	-
琴海地区 (n=7)	-	-	-	-	-	14.3	57.1	28.6	-	-	-	-
長崎市外 (n=81)	-	-	1.2	3.7	3.7	19.8	11.1	32.1	17.3	8.6	2.5	-

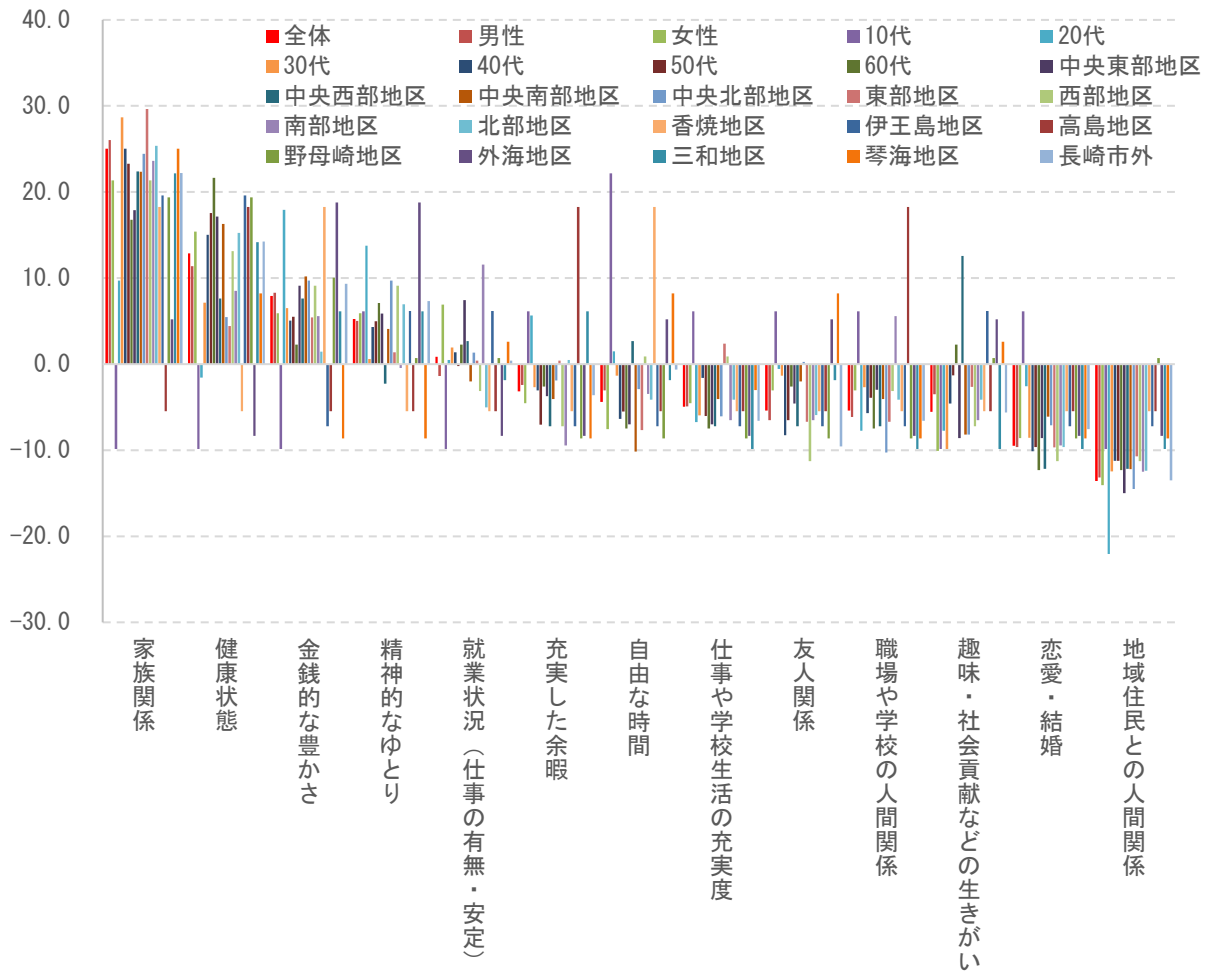
幸福感を判断する際に重要視することは、ほとんどの区分で「家族関係」が最も多くなっている。

また、偏差値での比較を行うと、ややバラツキが見られるもののほとんどの属性において「家族関係」「健康状態」「金銭的な豊かさ」「精神的なゆとり」が重要視されていることがわかる。

図表VI-2-13：幸福感の判断に重要視すること



図表VI-2-14：幸福感の判断に重要視すること



3. 施策評価分析

(1) 災害に強いまちづくり

強化施策の「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で22.3ポイント満足度が低くなっている。

一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.90ポイント満足度が低くなっている。

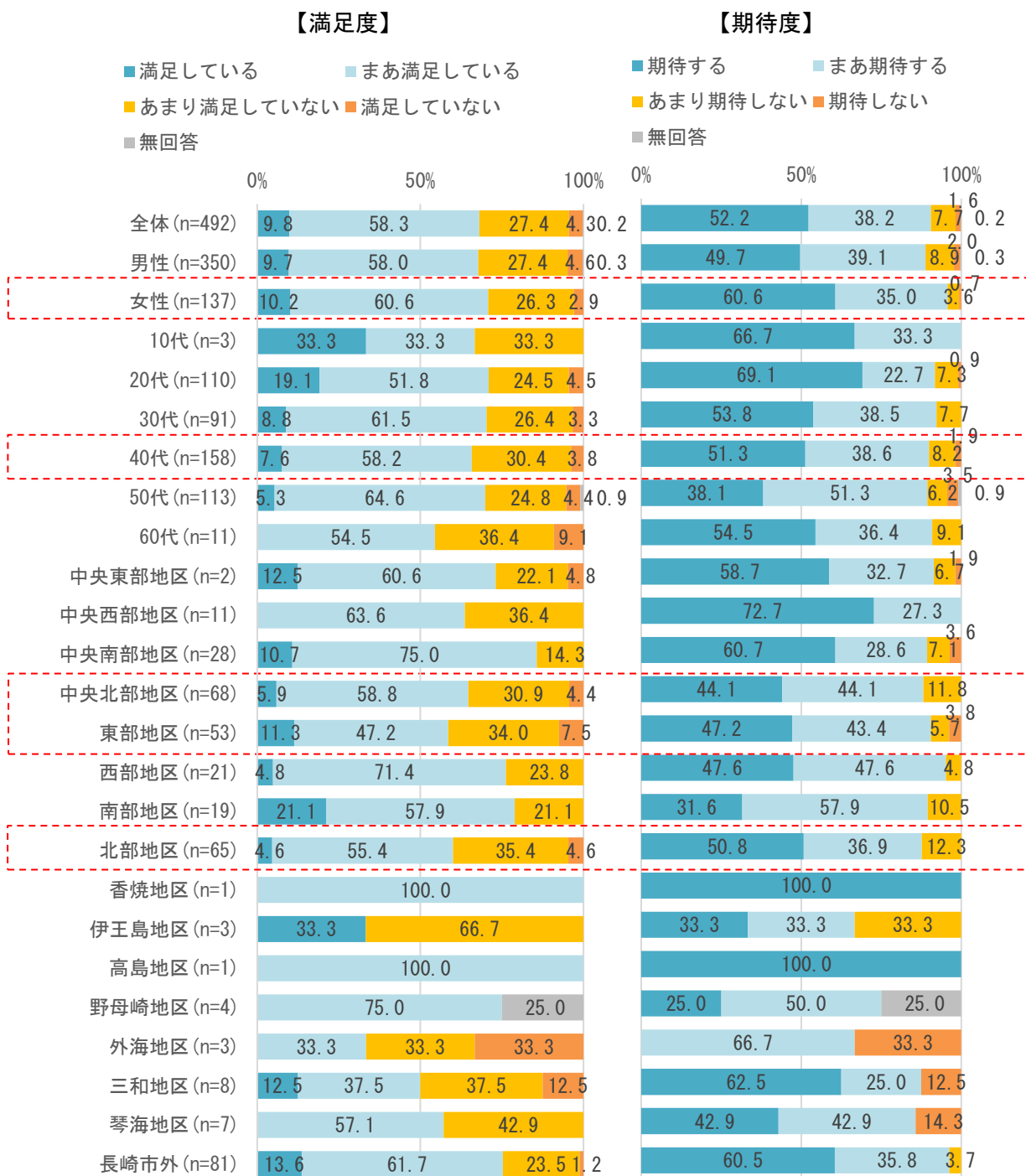
各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「40代」「東部地区」「北部地区」での評価改善が必要となる。

※満足度＝「満足している」＋「まあ満足している」 期待度＝「期待する」＋「まあ期待する」以降同様

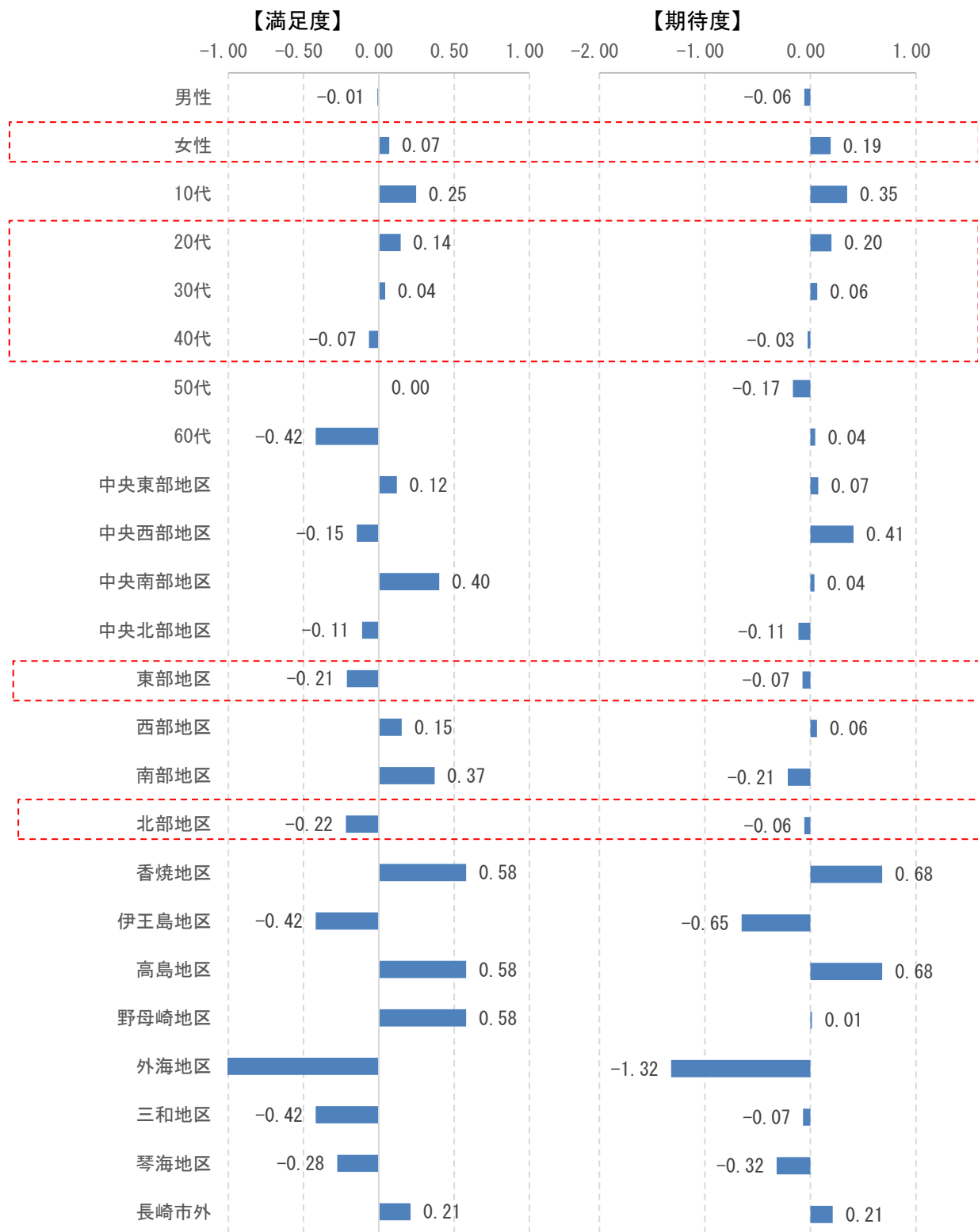
※平均スコアはP12一覧参照 以降同様

10代・60代・中央東部地区・中央西部地区・香焼地区～琴海地区は分母が少ないため評価していない。

図表VI-3-1：満足度と期待度



図表VI-3-2：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



は満足度と期待度の図表では期待度と満足度の差（期待度－満足度）全体を基準としてプラス（差の拡大）となる項目、平均スコアの図表では満足度平均スコアと期待度平均スコアの差がプラス（差の拡大）となる項目を表している。以降同様。

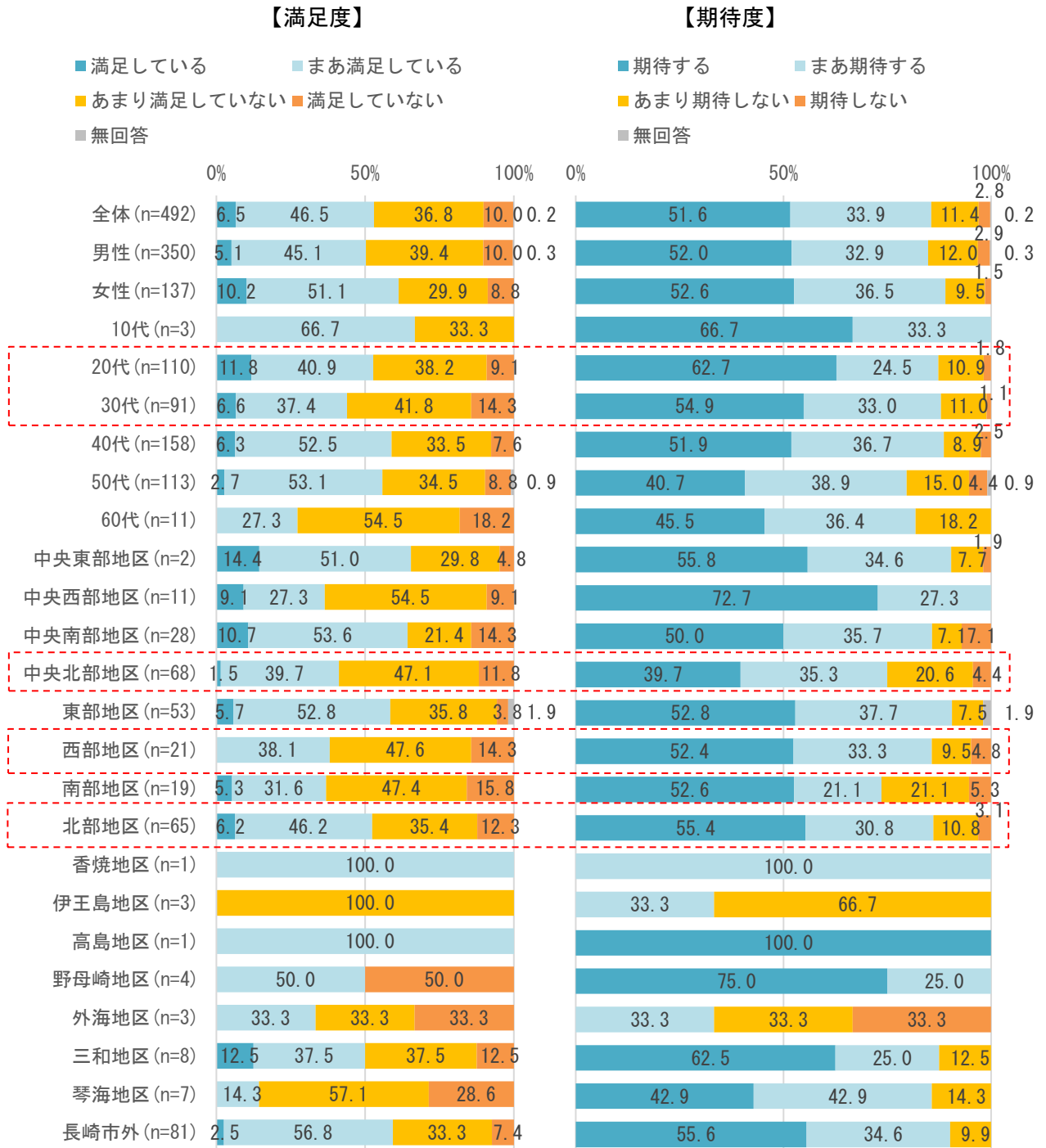
(2) 道路・交通の円滑化

強化施策の「E-7:道路・交通の円滑化を図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で32.5ポイント満足度が低くなっている。

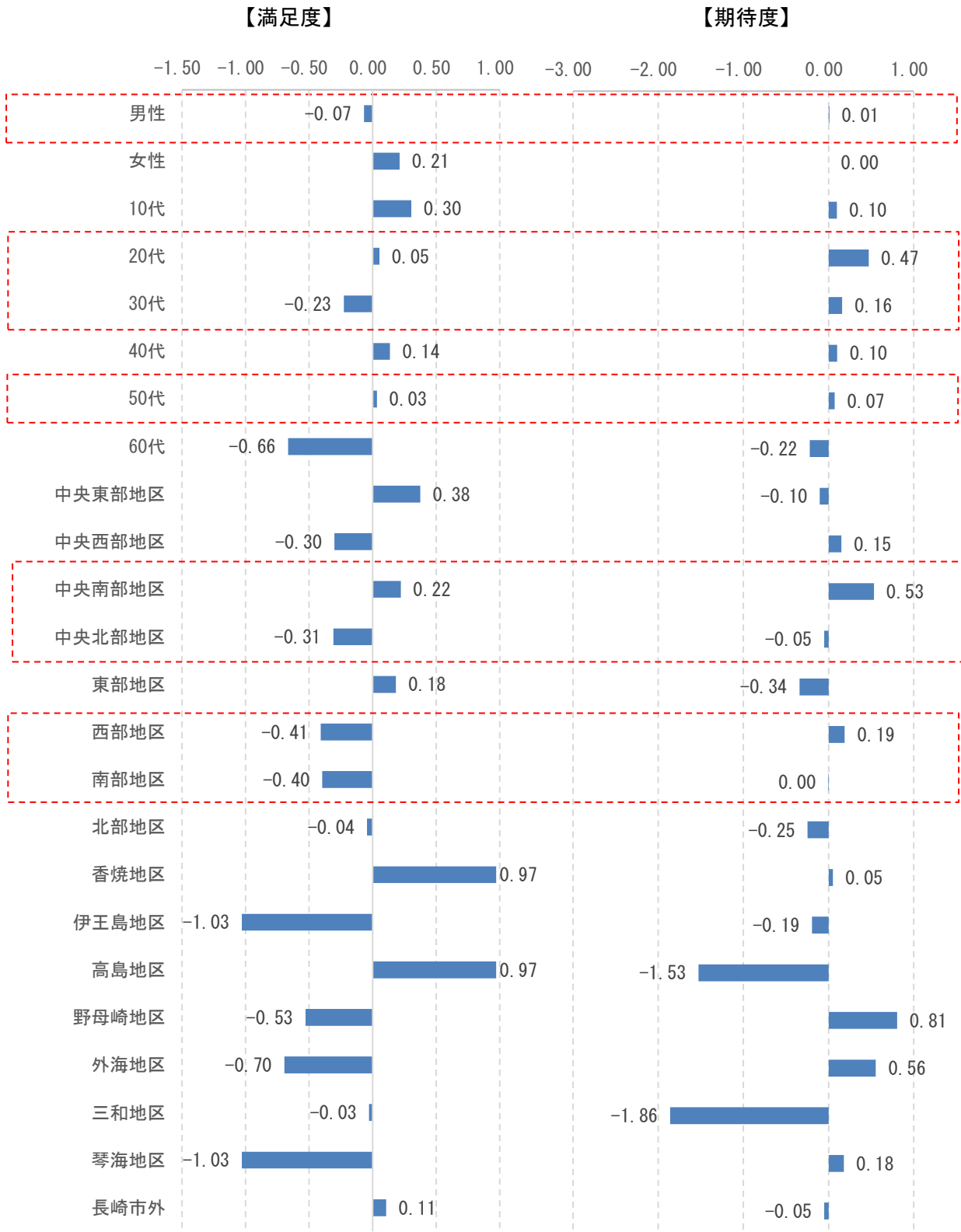
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.18ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性「20代」「30代」「中央北部地区」「西部地区」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-3：満足度と期待度



図表VI-3-4：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



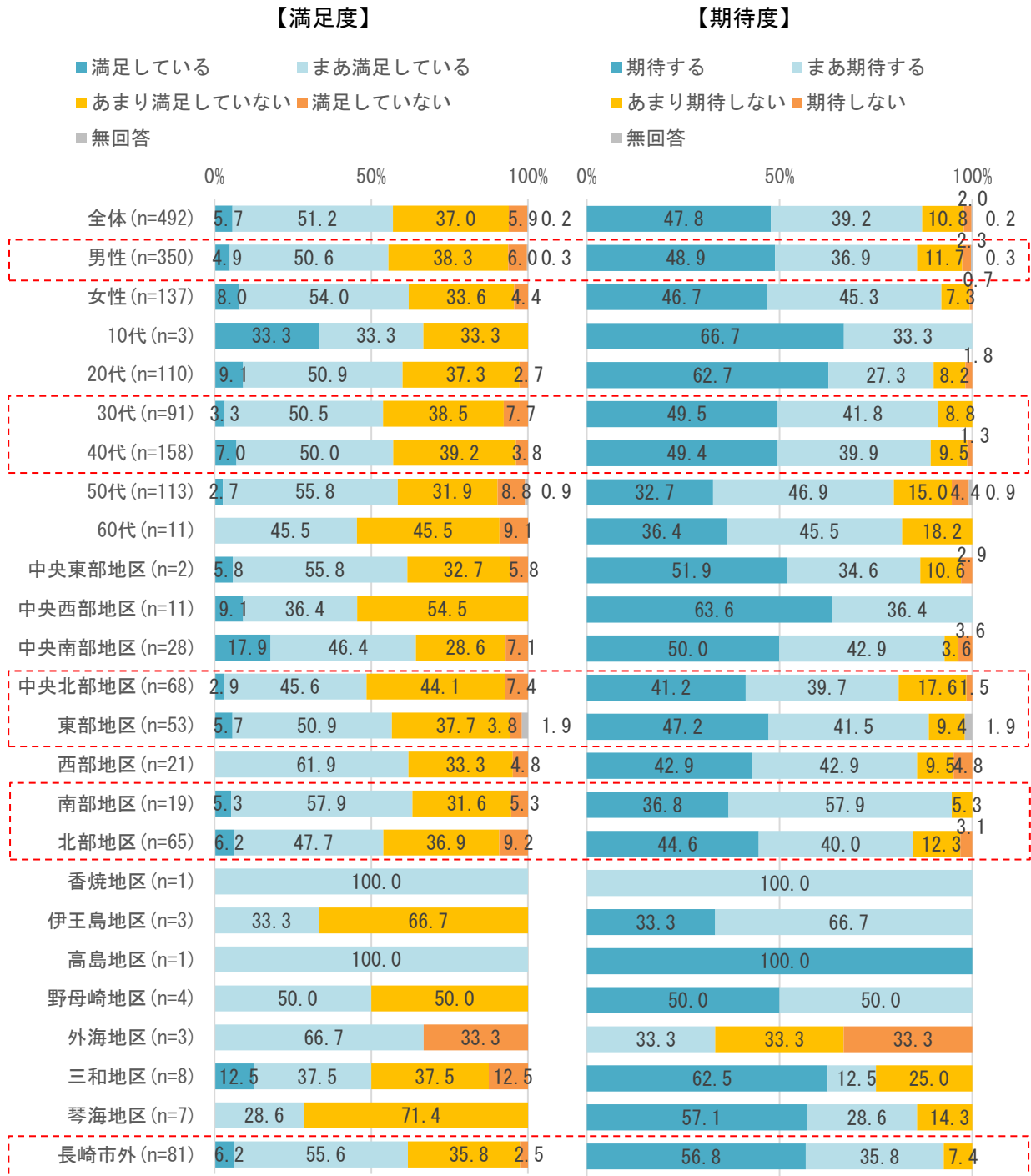
(3) 安全・安心で快適な公共空間

強化施策の「E-8:安全・安心で快適な公共空間をつくります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で30.1ポイント満足度が低くなっている。

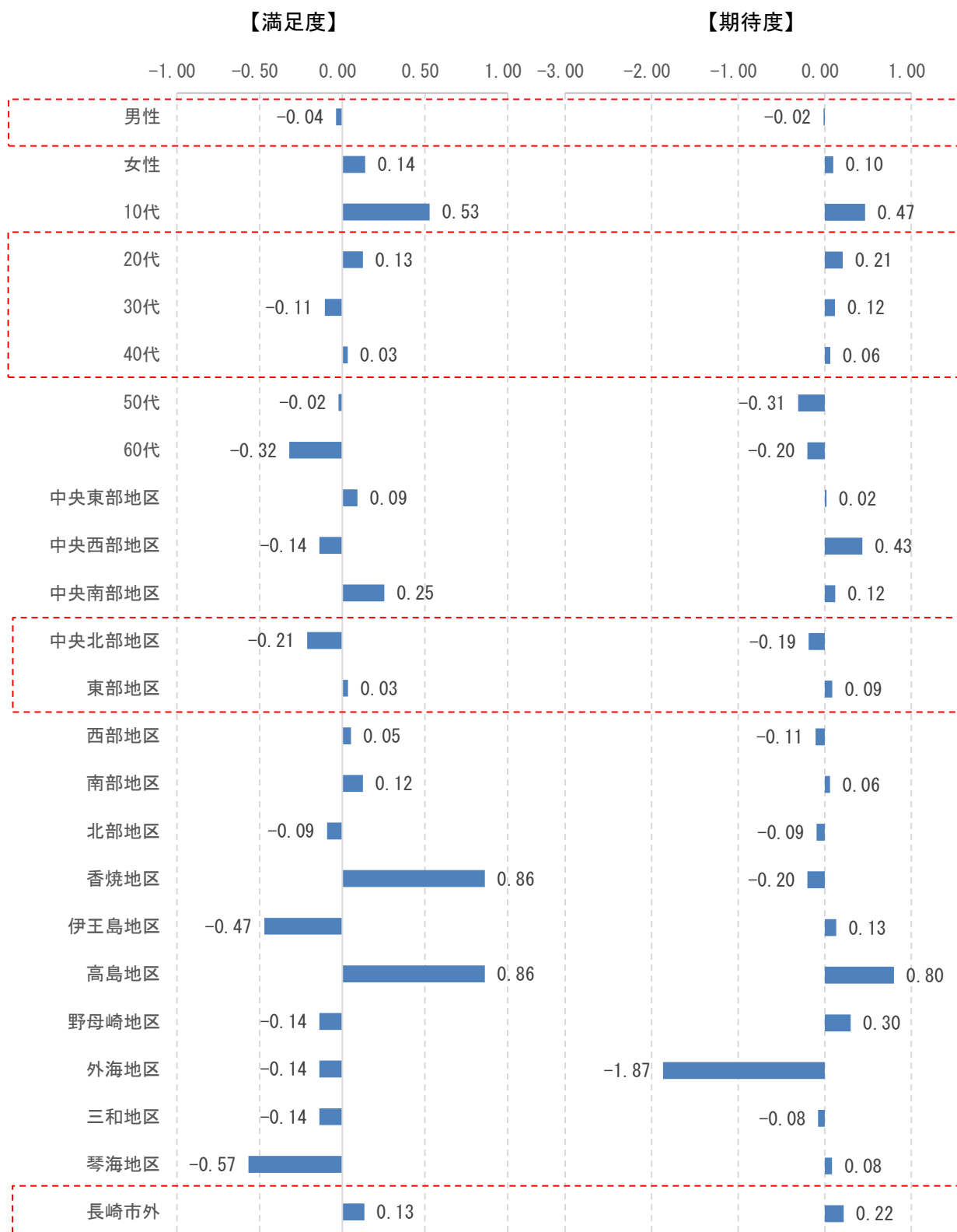
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.06ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「男性」「30代」「40代」「中央北部地区」「東部地区」「長崎市外」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-5：満足度と期待度



図表VI-3-6：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



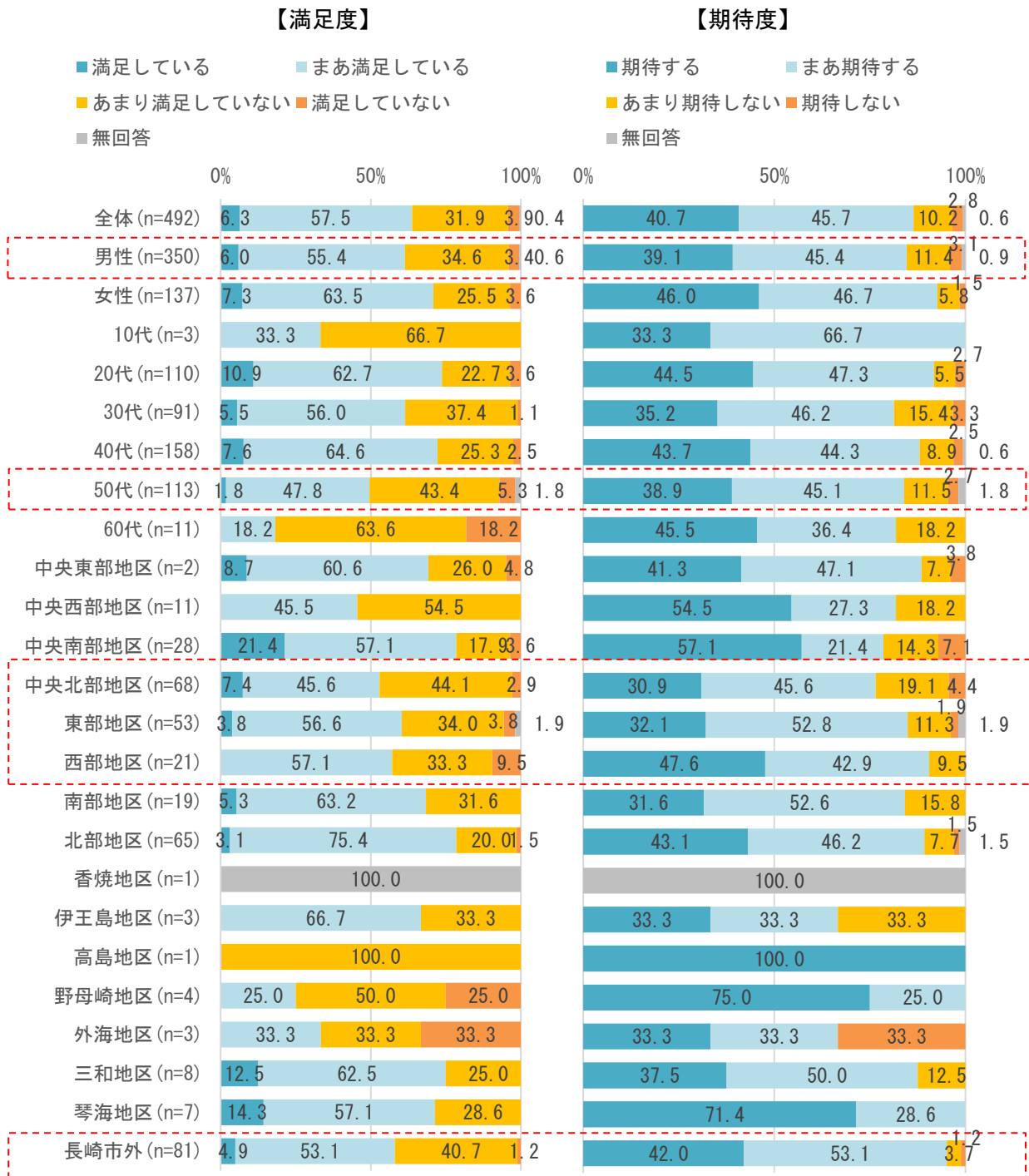
(4) 高齢者が暮らしやすい地域づくり

強化施策の「F-2:高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます」の満足度と期待度の乖離はやや大きく、全体で22.6ポイント満足度が低くなっている。

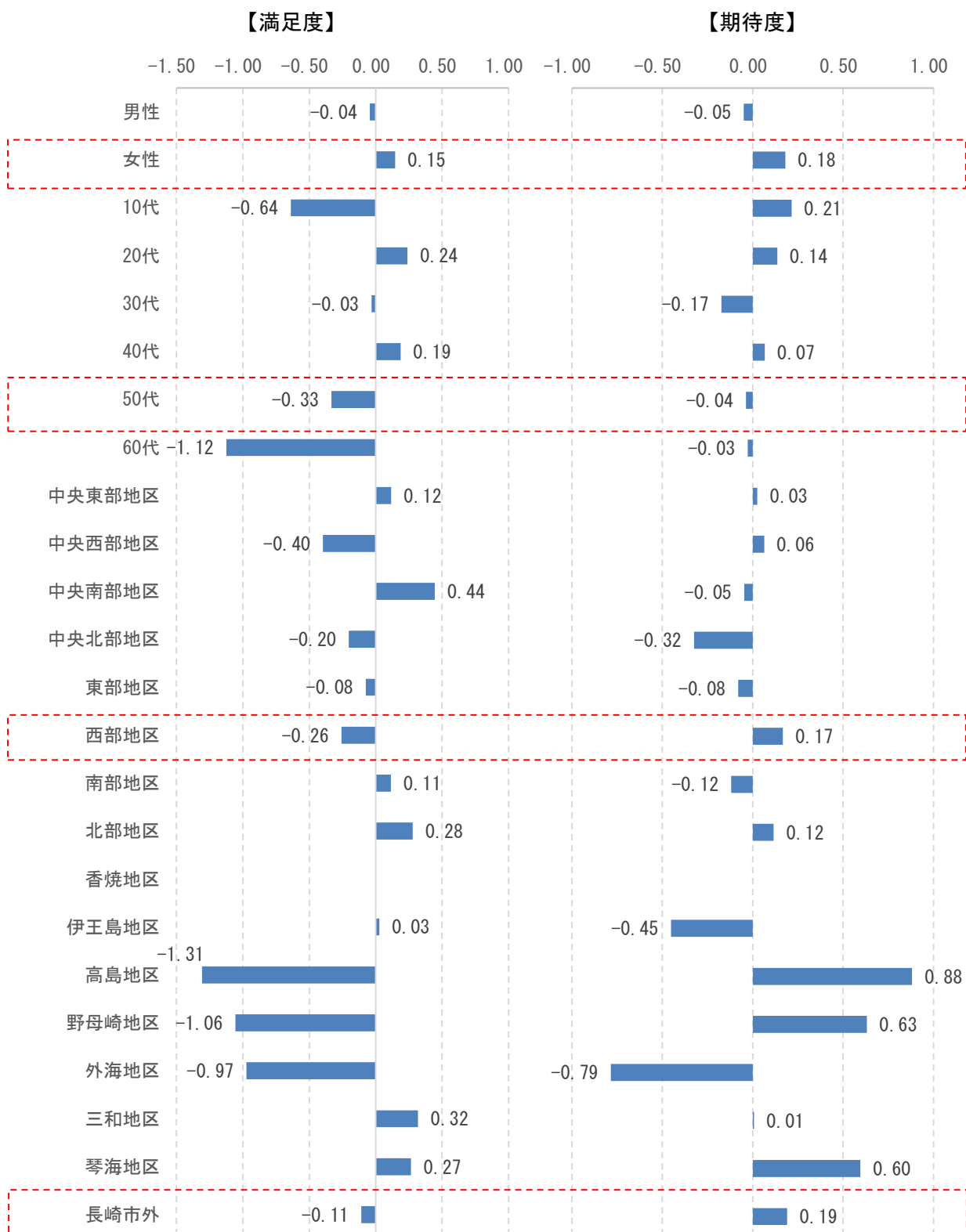
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離もやや大きく、全体で0.81ポイント満足度がやや低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「50代」「西部地区」「長崎市外」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-7：満足度と期待度



図表VI-3-8：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



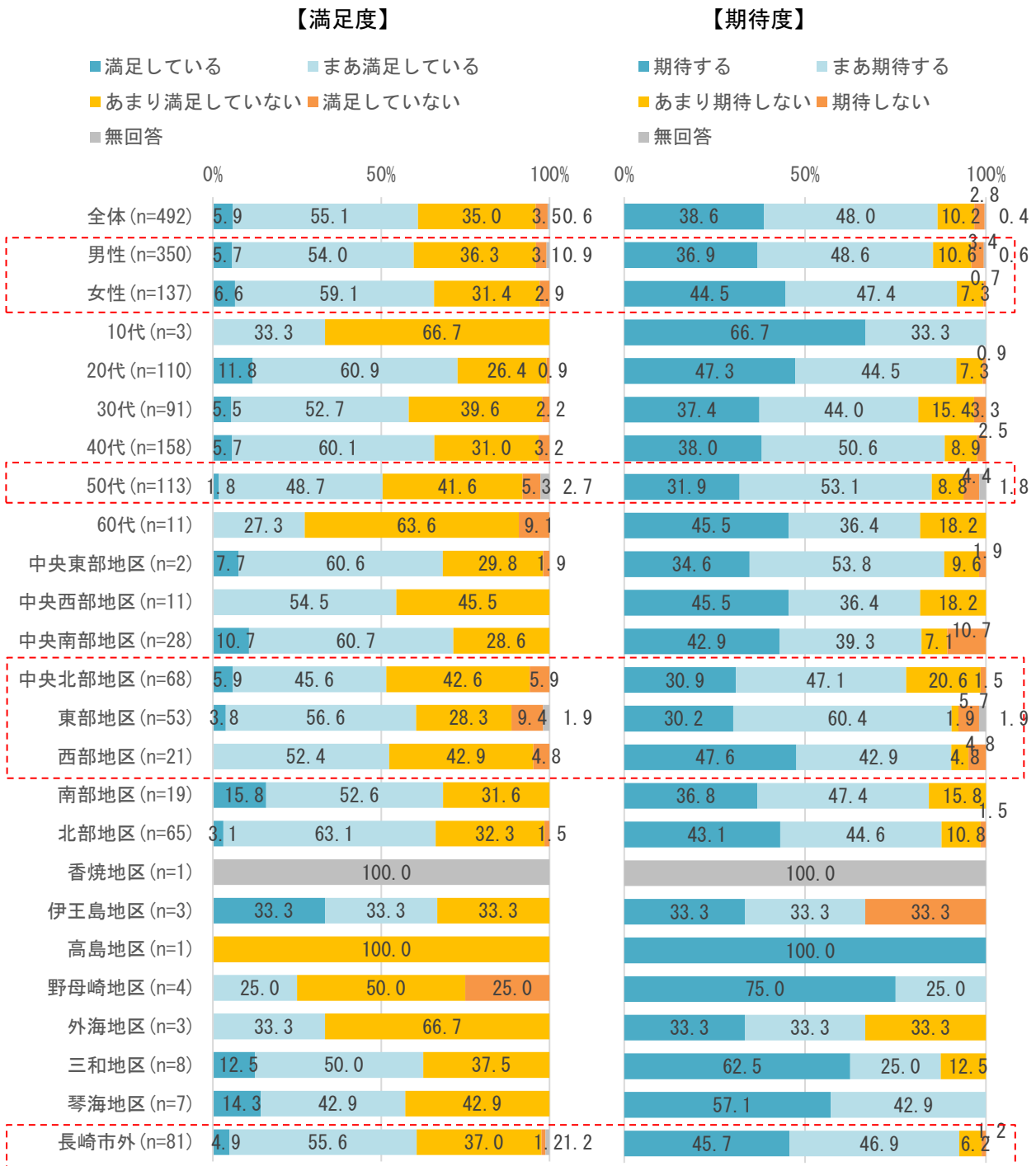
(5) 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます

強化施策の「F-3:障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で25.6ポイント満足度が低くなっている。

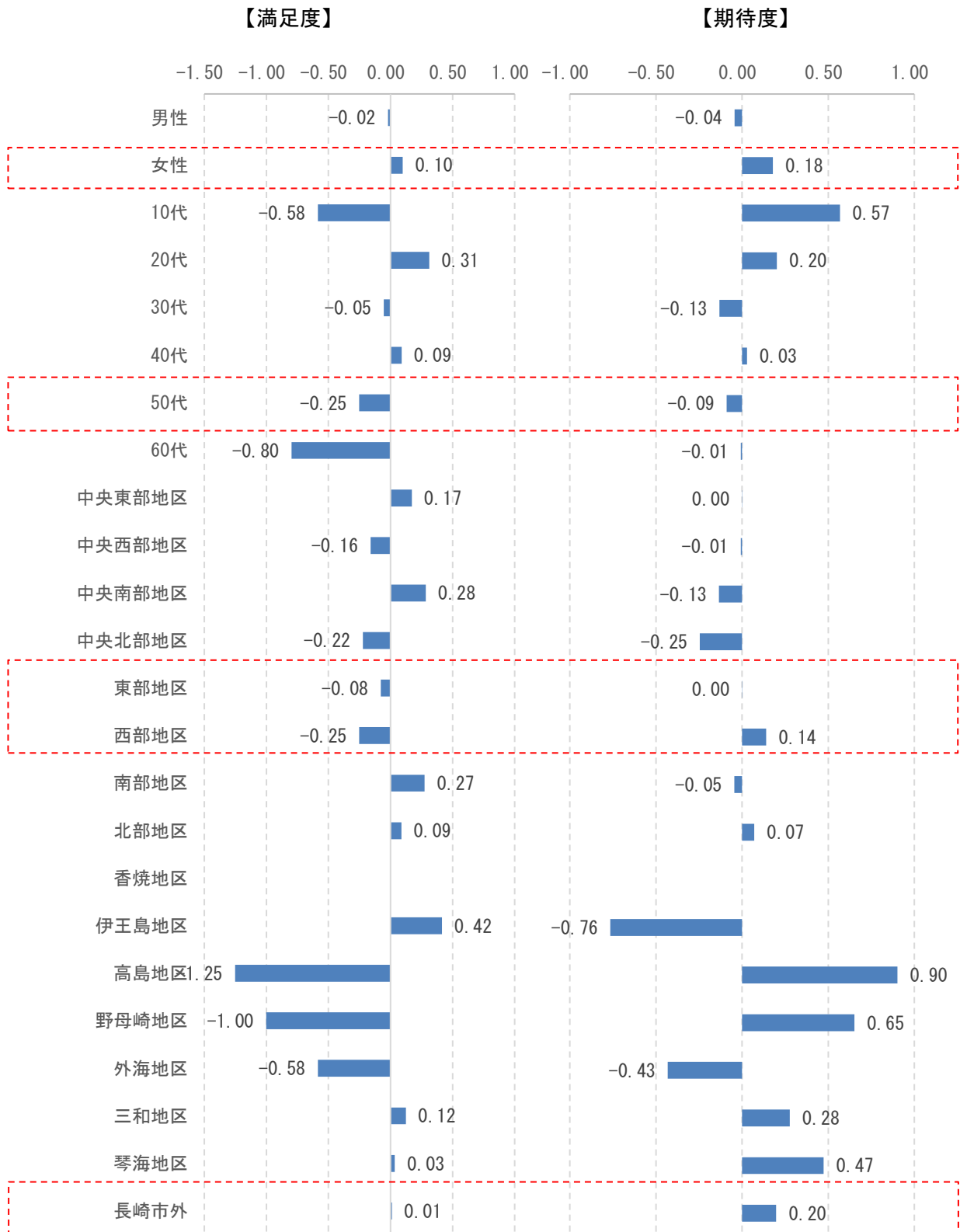
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で0.85ポイント満足度がやや低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「50代」「東部地区」「西部地区」「長崎市外」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-9：満足度と期待度



図表VI-3-10：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



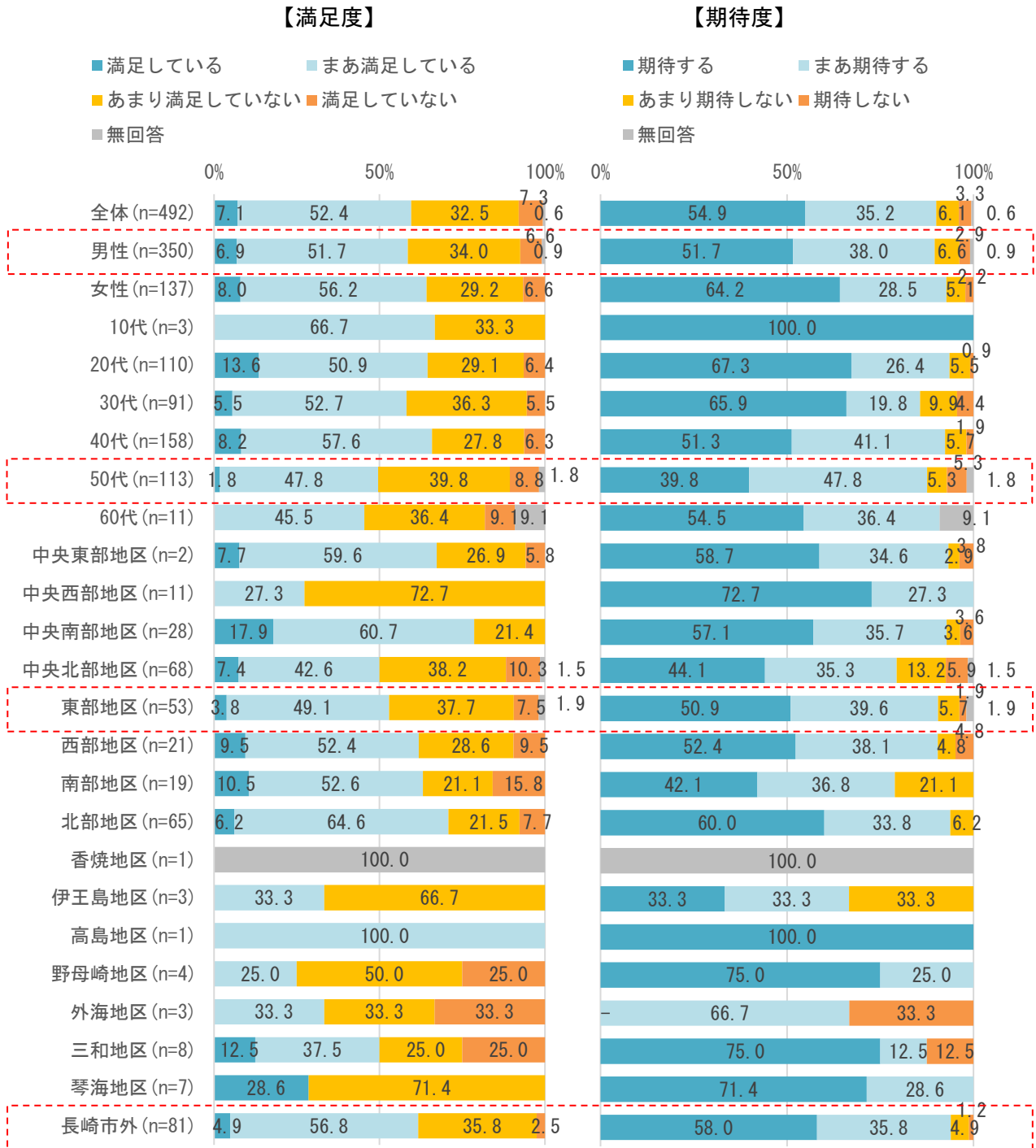
(6) 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ち

強化施策の「F-4:安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で30.6ポイント満足度が低くなっている。

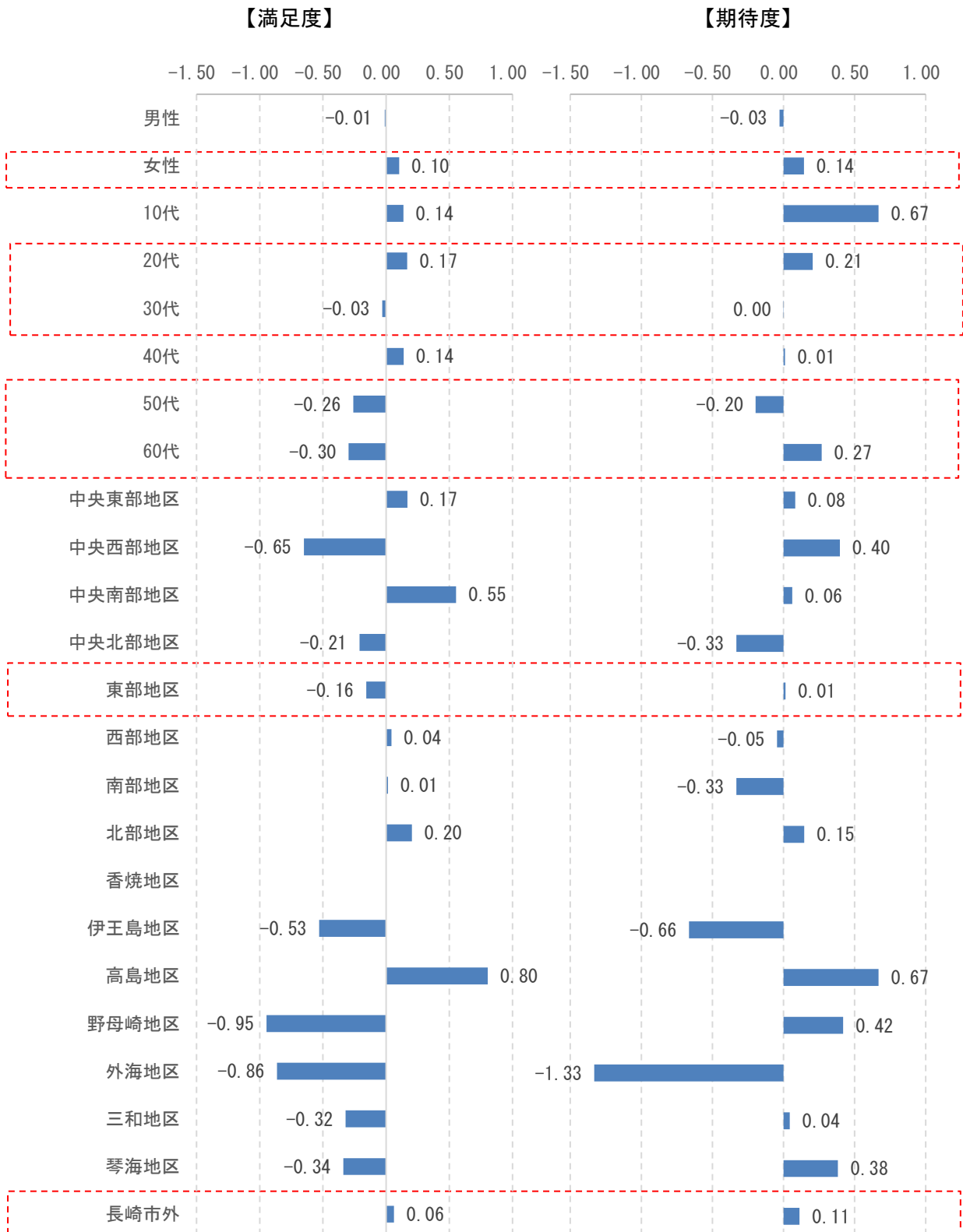
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.13ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「50代」「東部地区」「長崎市外」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-11：満足度と期待度



図表VI-3-12：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



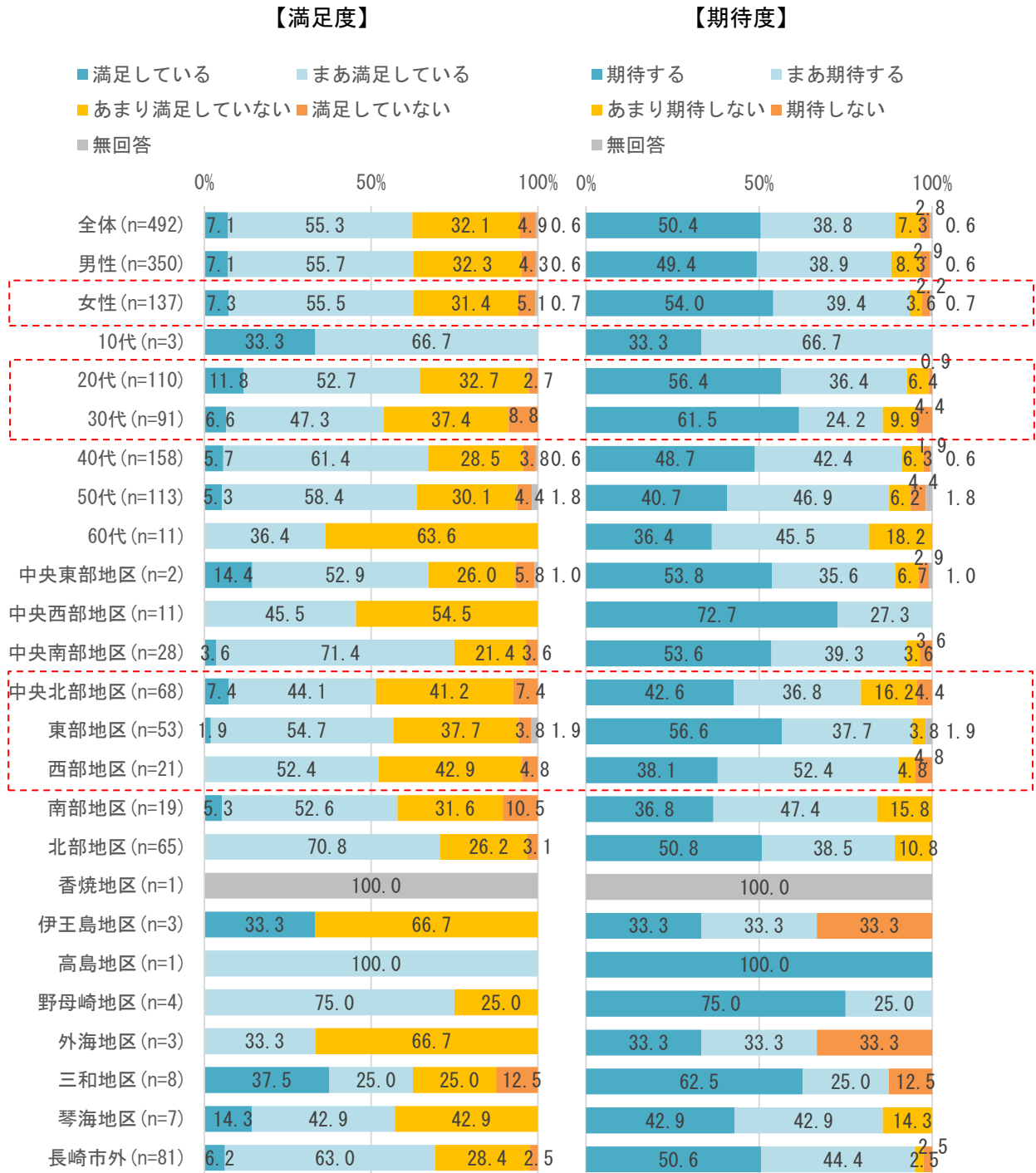
(7) 次代を生きぬく子どもの育み

強化施策の「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」の満足度と期待度の乖離は大きく、全体で26.8ポイント満足度が低くなっている。

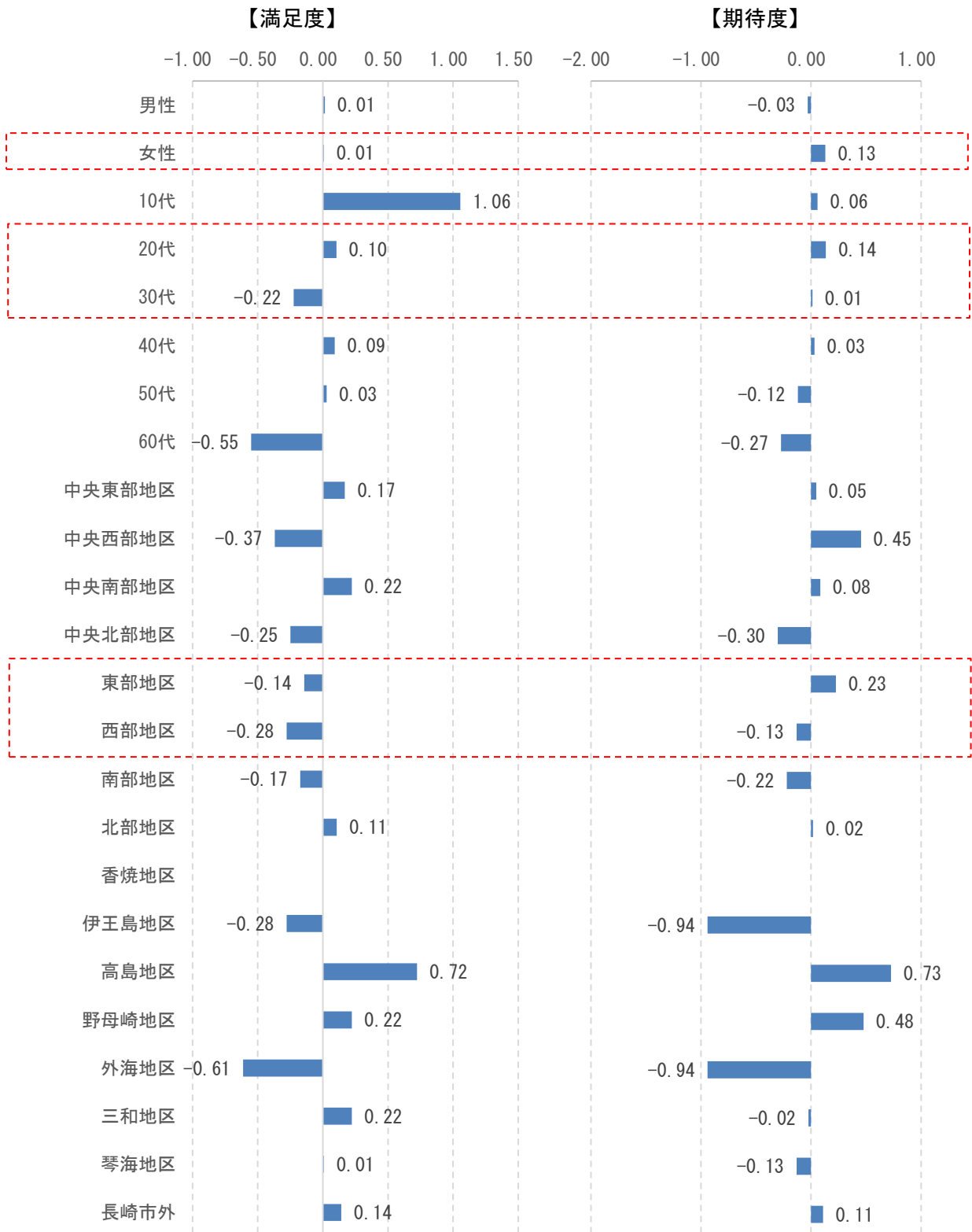
一方、平均スコアでも満足度と期待度の乖離は大きく、全体で1.00ポイント満足度が低くなっている。

各属性で満足度と期待度がパーセンテージ及び平均スコア双方の全体平均との乖離が増加傾向にある属性、「女性」「20代」「30代」「東部地区」「西部地区」での評価改善が必要となる。

図表VI-3-13：満足度と期待度



図表VI-3-14：満足度と期待度平均スコアの全体との比較



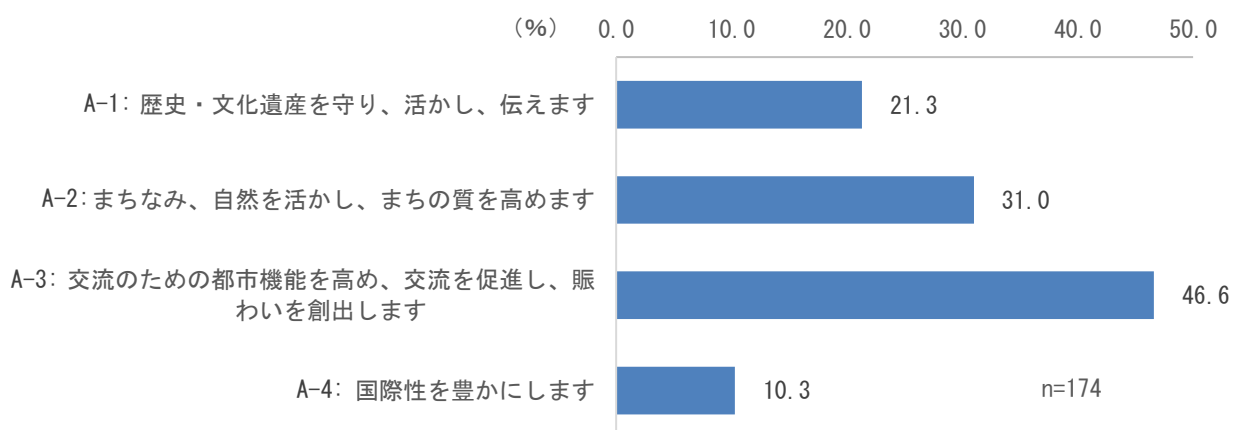
4. 優先施策

(1) 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち

「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「A-3:交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します」が最も多い。

※比率は無回答を除き算出している。

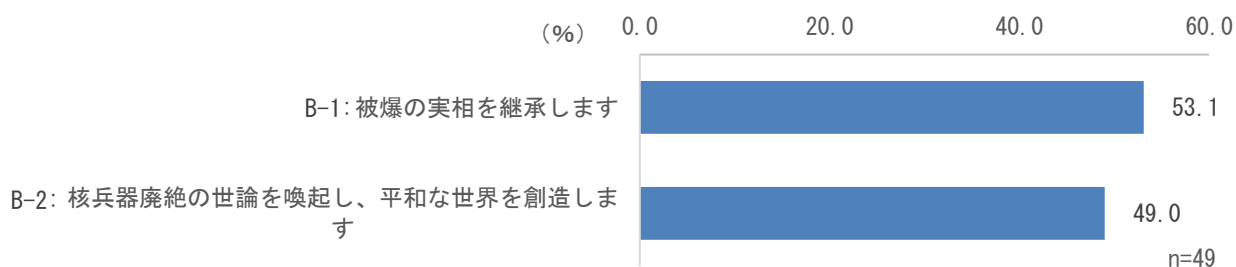
図表VI-4-1：住む人が誇り、誰もが訪れたいまちの優先施策



(2) 平和を願い、求め、つくるまち

「B:平和を願い、求め、つくるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「B-1:被爆の実相を継承します」が最も多くなっている。

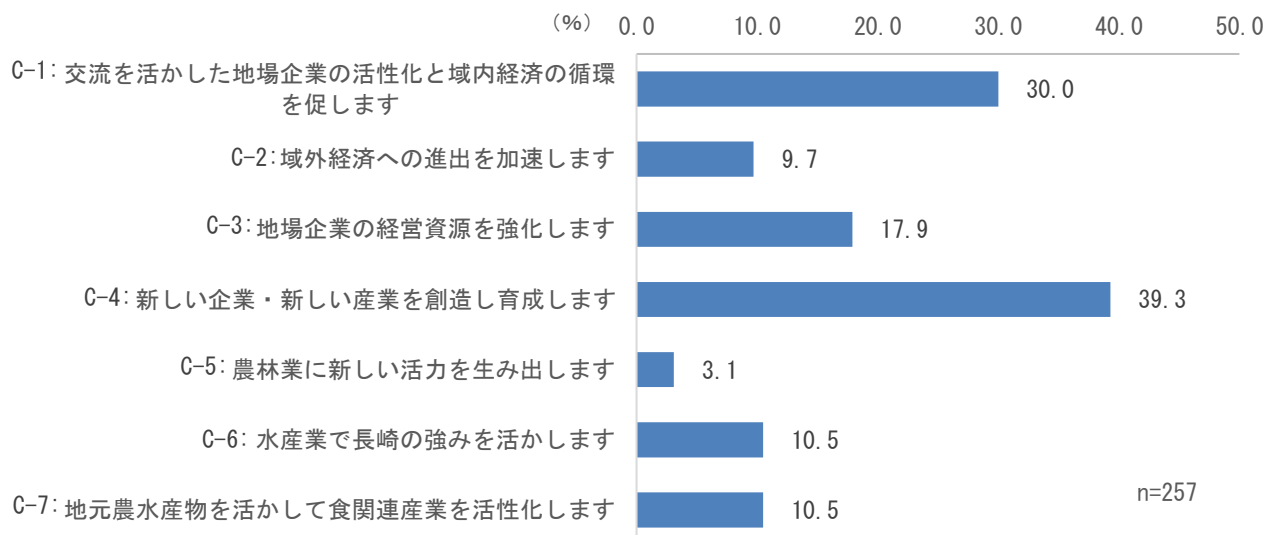
図表VI-4-2：平和を願い、求め、つくるまちの優先施策



(3) 活力に満ち、発展し続けるまち

「C:活力に満ち、発展し続けるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「C-4:新しい企業・新しい産業を創造し育成します」が最も多くなっている。

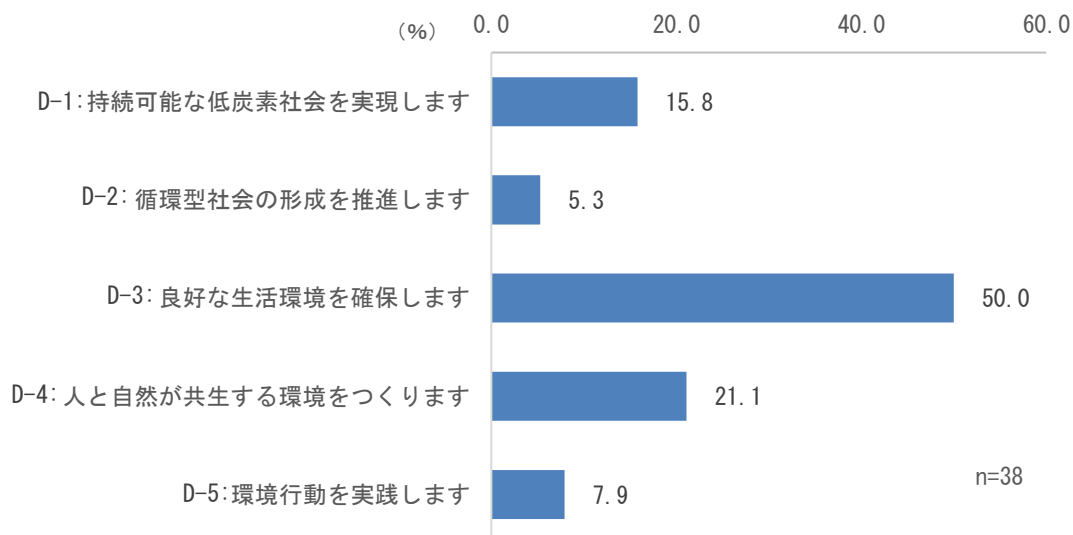
図表VI-4-3：活力に満ち、発展し続けるまちの優先施策



(4) 環境と調和する潤いのあるまち

「D:環境と調和する潤いのあるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「D-3:良好な生活環境を確保します」が最も多くなっている。

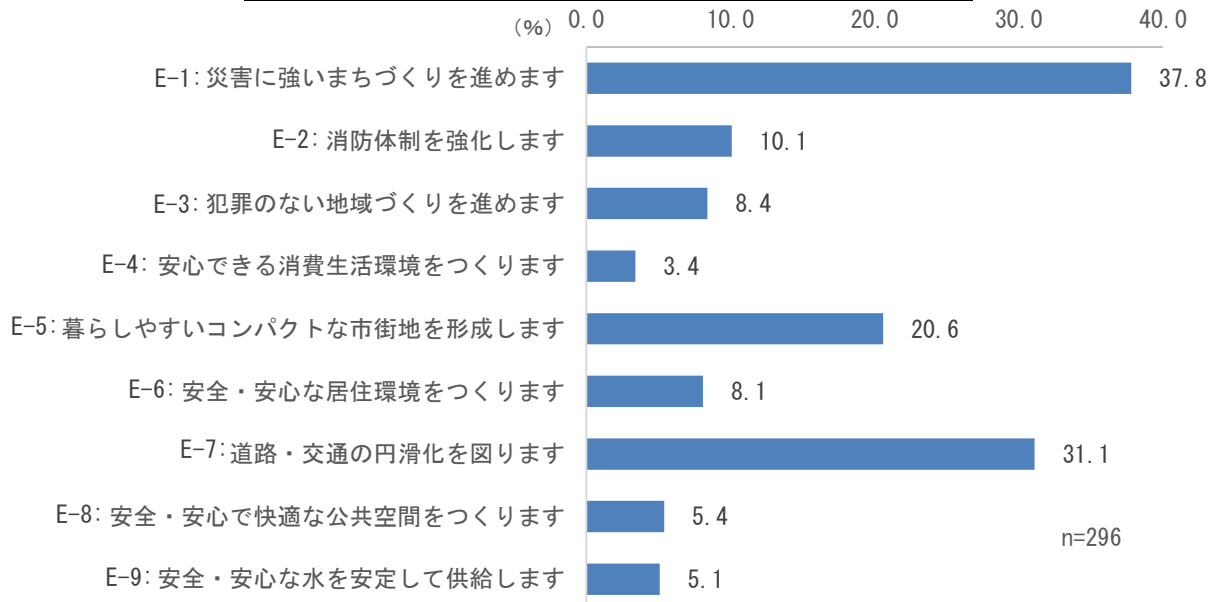
図表VI-4-4：環境と調和する潤いのあるまちの優先施策



(5) 安全・安心で快適に暮らせるまち

「E:安全・安心で快適に暮らせるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「E-1:災害に強いまちづくりを進めます」が最も多くなっている。

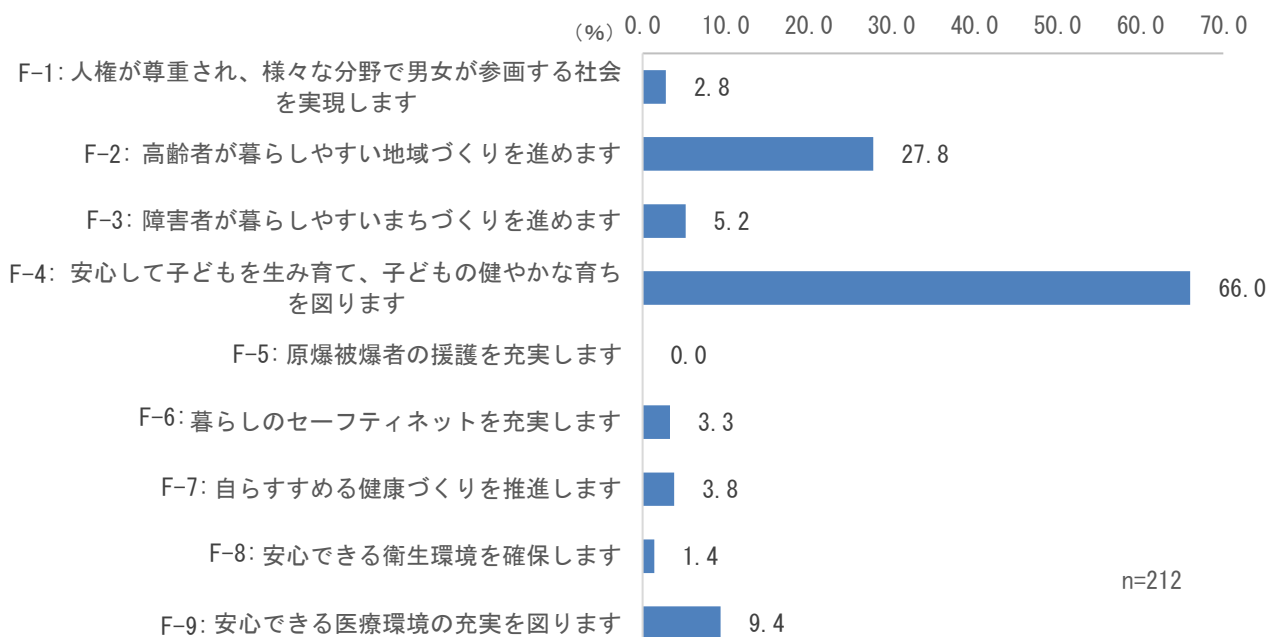
図表VI-4-5: 安全・安心で快適に暮らせるまちの優先施策



(6) 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち

「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「F-4:安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります」が最も多くなっている。

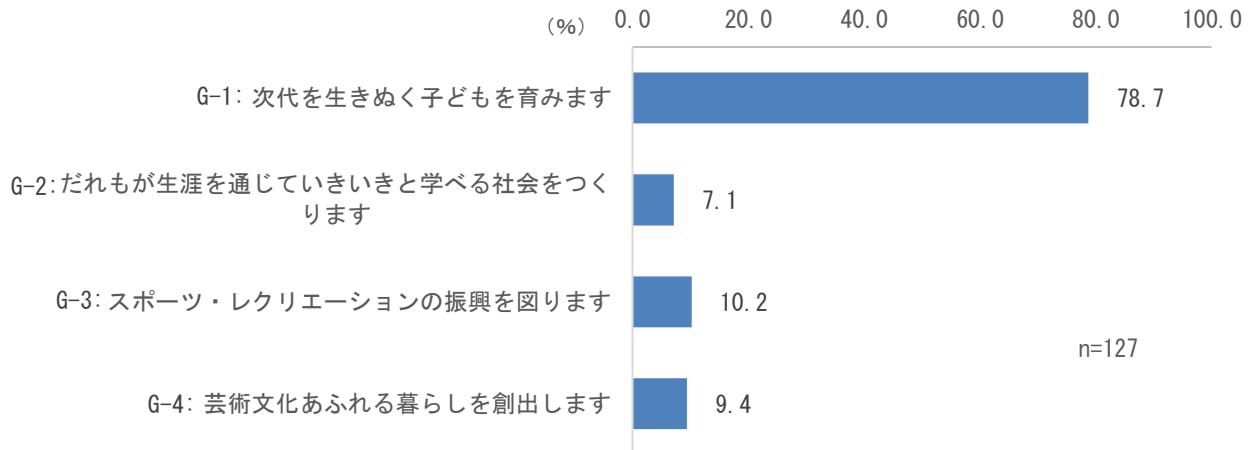
図表VI-4-6: 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまちの優先施策



(7) 豊かな心を育むまち

「G:豊かな心を育むまち」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「G-1:次代を生きぬく子どもを育みます」が最も多くなっている。

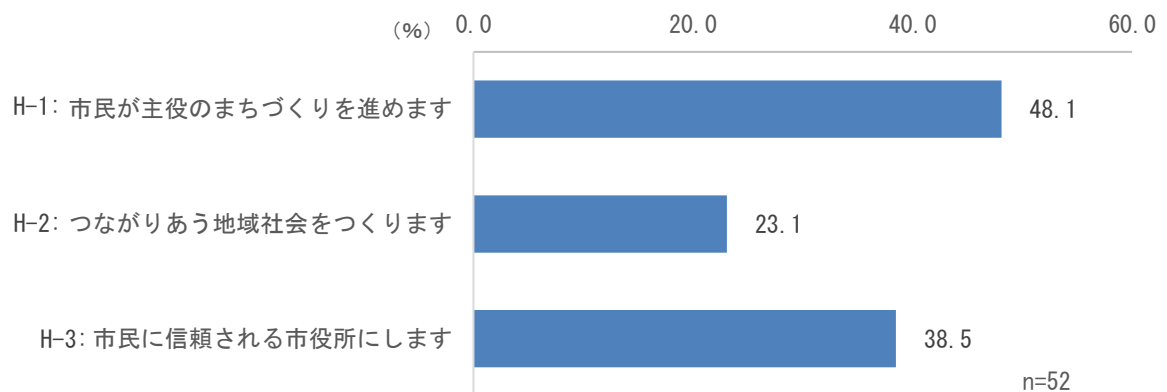
図表VI-4-7: 豊かな心を育むまちの優先施策



(8) 基本構想の推進 (つながる + 創造する)

「H:基本構想の推進 (つながる + 創造する)」の施策として今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策」は、「H-1:市民が主役のまちづくりを進めます」が最も多くなっている。

図表VI-4-8: 基本構想の推進 (つながる + 創造する) の優先施策

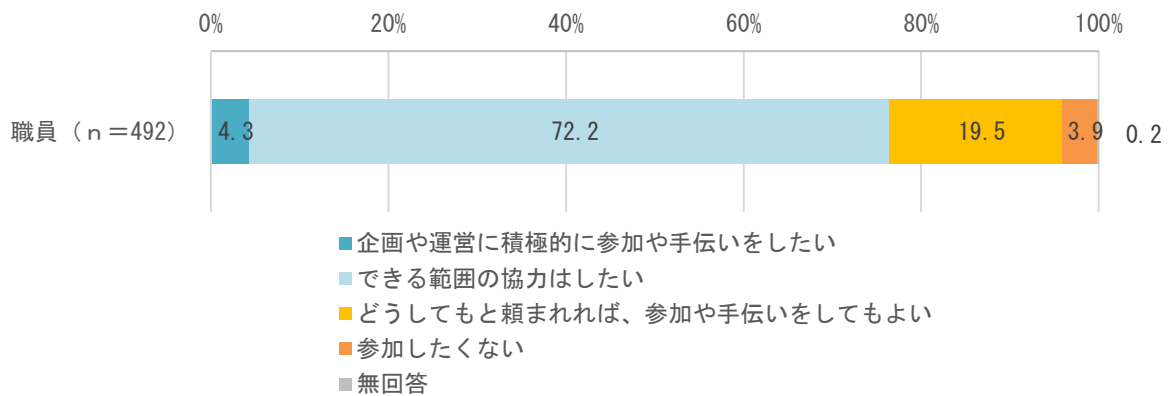


5. 地域活動への参加

(1) 地域活動、市民活動に対する考え方

地域活動、市民活動に対する考え方として「できる範囲の協力はしたい」が72.2%で最も多く、次いで「どうしてもと頼まれれば、参加や手伝いをしてもよい」が19.5%、「企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい」が4.3%、「参加したくない」が3.9%と続いており、積極的な参加の意向はうかがえない。

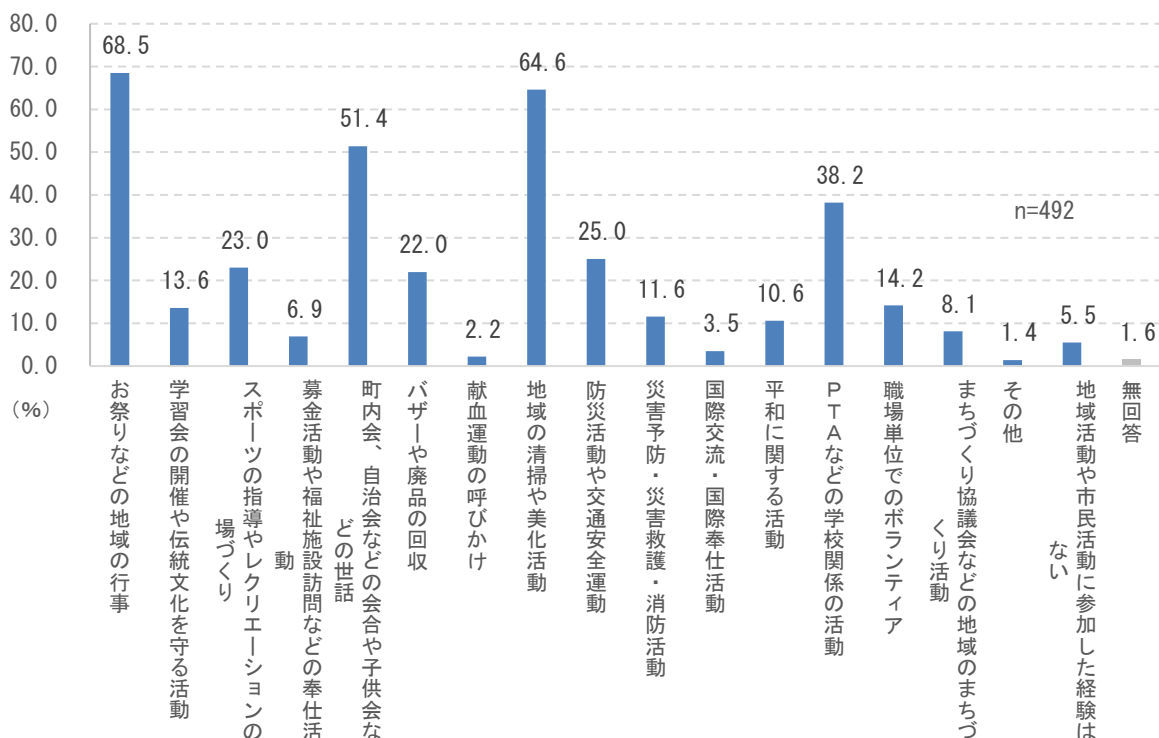
図表VI-5-1：地域活動、市民活動に対する考え方



(2) 地域活動、市民活動の経験

地域活動、市民活動の経験は「お祭りなどの地域の行事」が68.5%で最も多く、次いで「地域の清掃や美化活動」が64.6%、「町内会、自治会などの会合や子供会などの世話」が51.4%と続いている一方、「地域活動や市民活動に参加した経験はない」が5.5%あった。

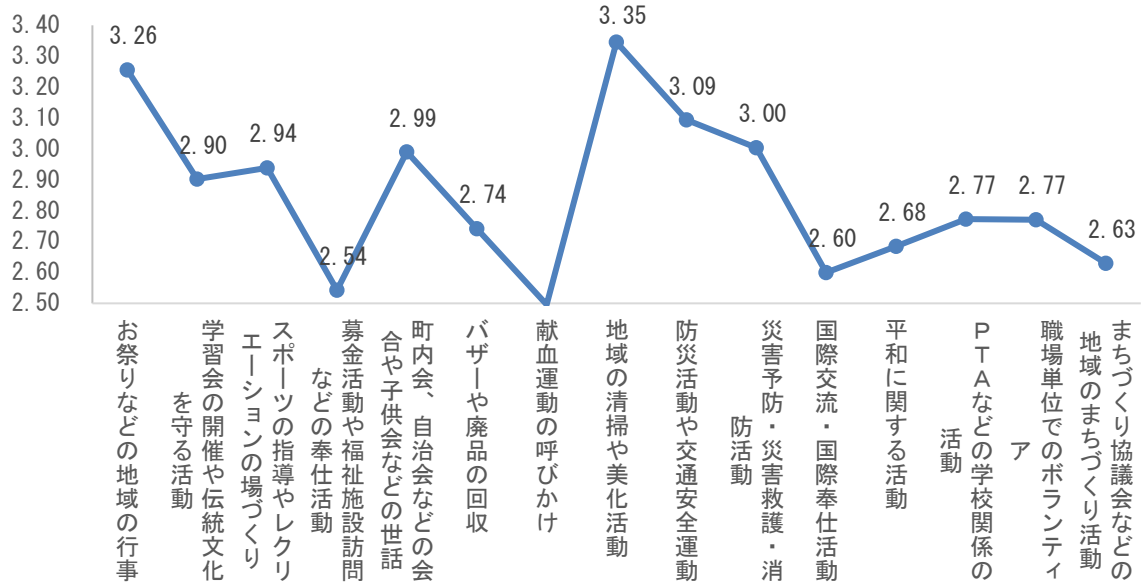
図表VI-5-2：地域活動、市民活動の経験



(3) 地域活動、市民活動への参加意向

地域活動、市民活動への参加意向を平均スコア化してみると、「地域の清掃や美化活動」が 3.35 で最も多く、次いで「お祭りなどの地域の行事」が 3.26、「防災活動や交通安全運動」が 3.09 と続いている。

図表VI-5-3：地域活動、市民活動への参加意向



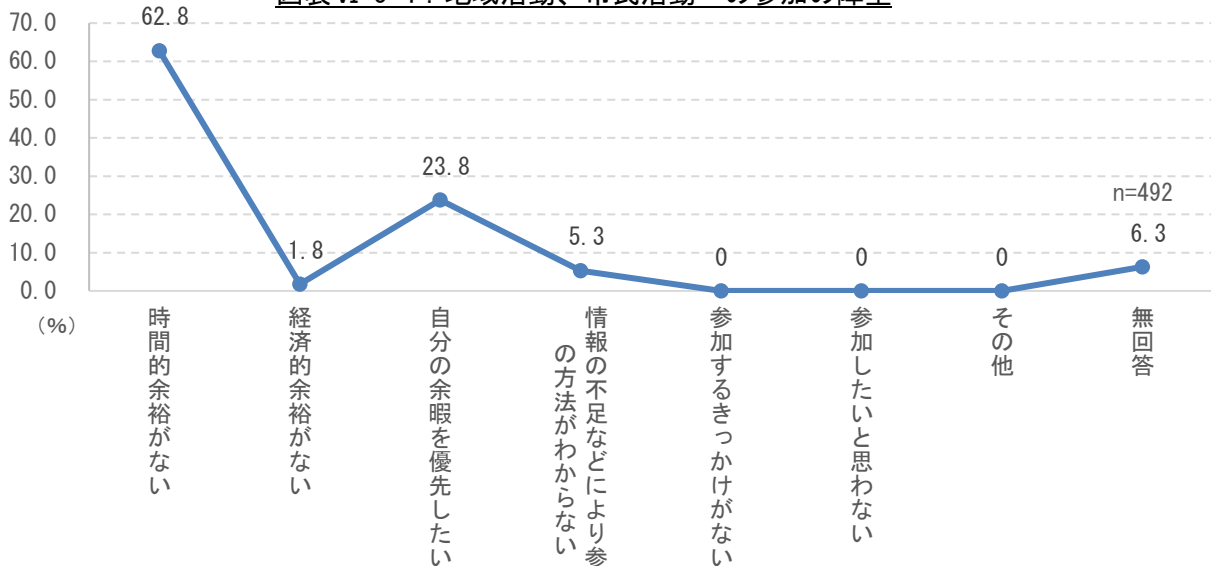
※平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「積極的に参加したい」} \times 5 + \text{「できれば参加したい」} \times 4 + \text{「参加してもよい」} \times 3 + \text{「できれば参加したくない」} \times 2 + \text{「参加したくない」} \times 1}{\text{全回答者数}}$$

(4) 地域活動、市民活動への参加の障壁

地域活動、市民活動への参加の障壁は、「時間的余裕がない」がトップとなっている。

図表VI-5-4：地域活動、市民活動への参加の障壁

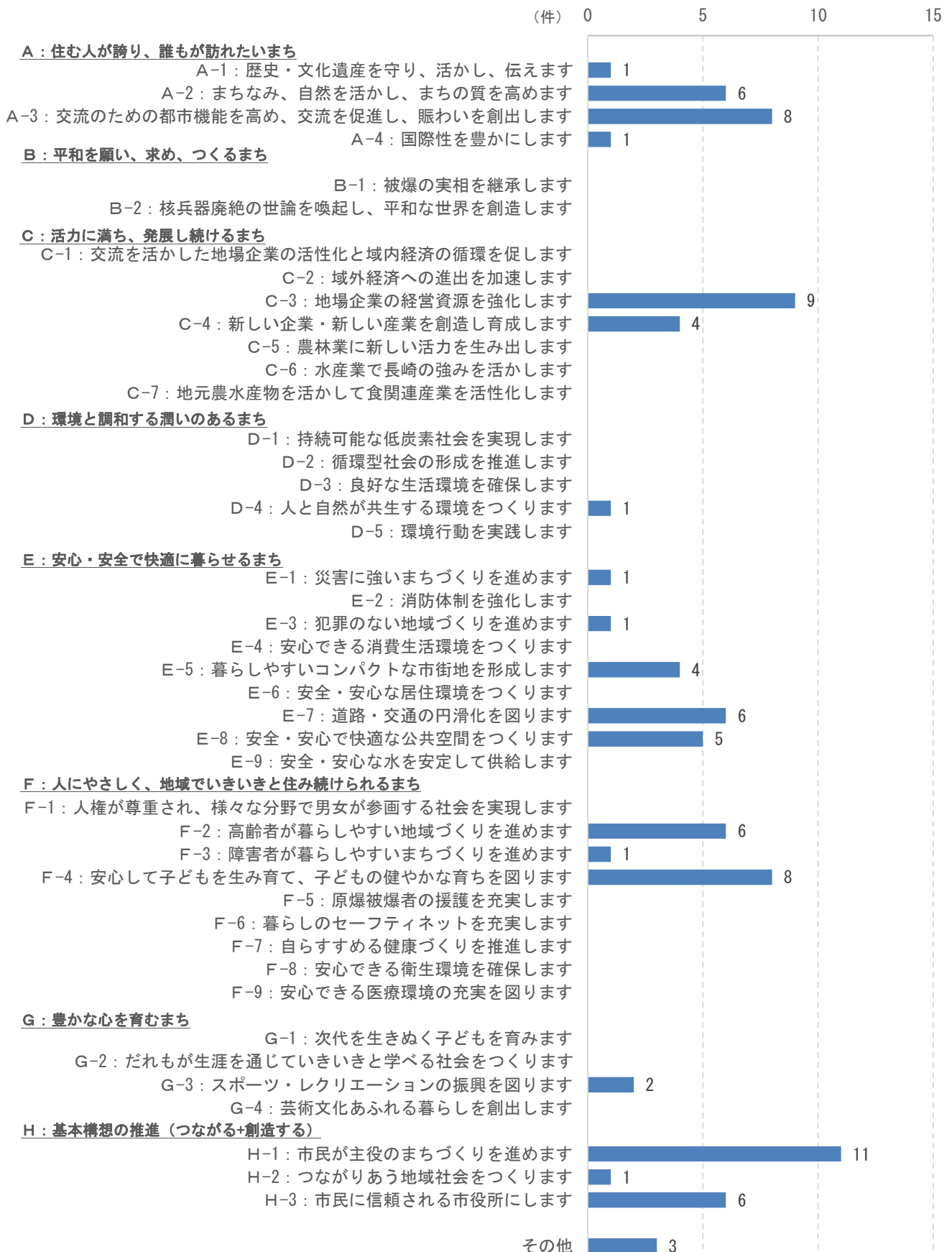


6. 自由回答（市政に対する自由意見）

長崎市のまちづくりに関する意見（自由意見）について、回答内容をまちづくりの方針及び基本施策で分類をおこなった。施策別回答内容の件数をまとめ以下に掲載する。

※個別詳細内容は、別冊参考資料の自由回答集を参照のこと。

図表VI-6-1：市政に対する自由意見



Ⅶ. 調査結果（総括）

VII. 調査結果（総括）

1. 今回調査の概要

（1）調査目的

本調査は、市民、学生、有識者、職員の市政に対する意識を把握・分析し、次期総合計画に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

（2）調査対象・調査方法・回収状況

	市民	大学生、短大生・高校生	有識者	職員
調査対象者	長崎市民 18 歳以上男女個人	市内の大学生、短大生、高校生	市政に識見のある方（市外居住者を含む）	長崎市職員
対象者抽出方法	住民基本台帳より単純無作為抽出	大学、短大、高校に一任	市にて有意抽出	市にて有意抽出
調査方法	郵送法	大学、短大、高校を通じて配布	郵送法	関係所属に依頼して配布、回収
調査票配布件数	3,000 件	1,198 件	232 件	500 件
有効回答件数	N=1,264	N=804	N=142	N=492
有効回収率	42.1%	67.1%	61.2%	98.4%

（3）調査主体

長崎市 企画財政部 都市経営室

（4）報告書の見方

- 1) 比率は百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の計が 100%にならない場合がある。
- 2) 基数となる実数は n として掲載した。その比率は件数を 100%として算出した。
- 3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- 4) 図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向を見る程度になる。
- 5) 図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。

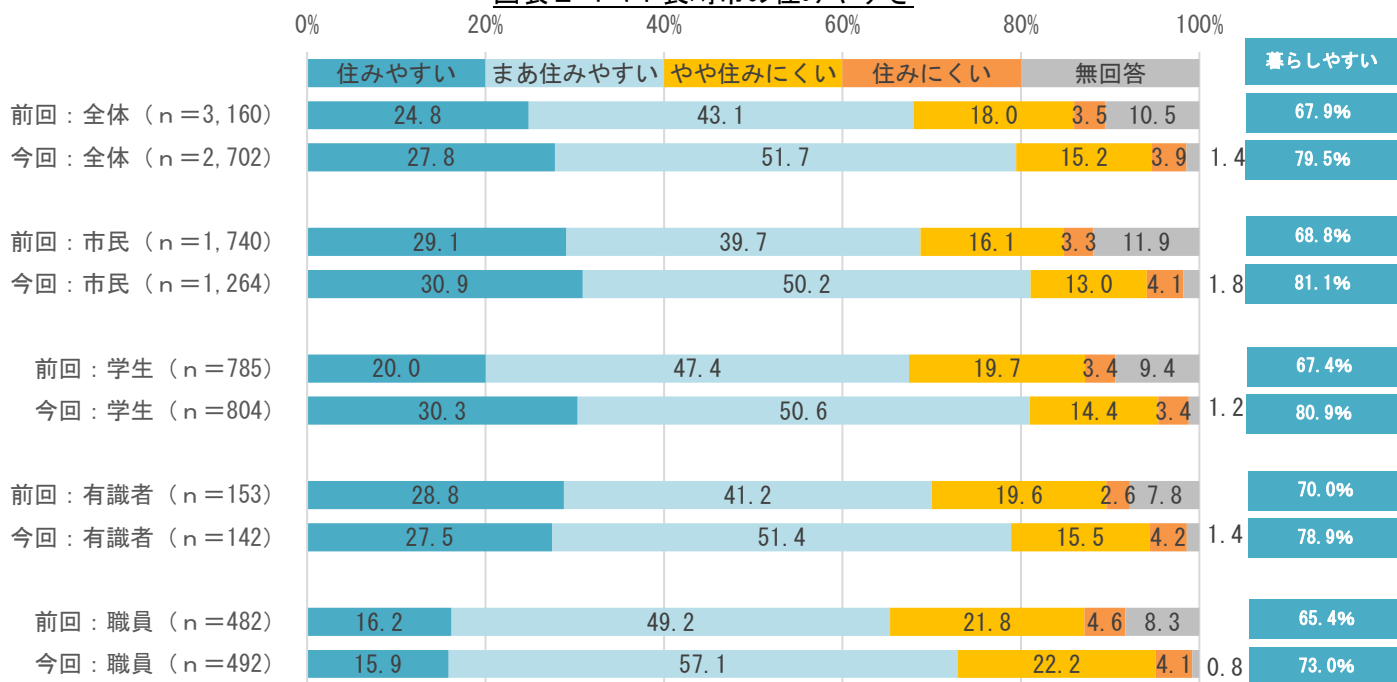
(5) 共通調査項目概要

1) 長崎市の住みやすさ

長崎市の住みやすさは約8割が「暮らしやすい」と回答し、「暮らしにくい」は約2割であった。これは10年前の前回調査と比べ1割以上「暮らしやすい」が増加している。

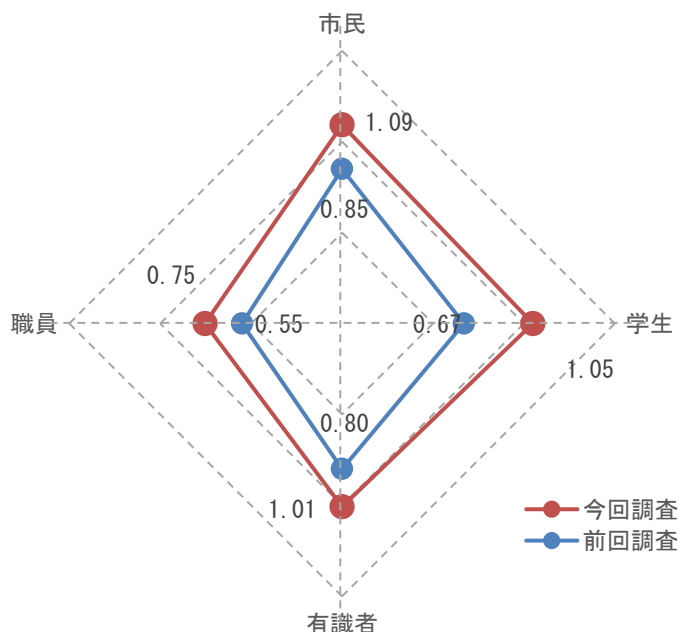
一方、暮らしやすい理由としては「郷土・ふるさとであるから」「治安が良い」「自然環境が良い」「普段の買い物がしやすい」「交通の便が良い」が挙げられており、逆に、暮らしにくい理由としては「交通の便が悪い」「働きやすい環境が整っていない」「普段の買い物がしにくい」「アミューズメント・娯楽施設が少ない」が挙げられている。

図表Ⅱ-1-1：長崎市の住みやすさ



※暮らしやすい＝「住みやすい」＋「まあ住みやすい」以降同様
 ※暮らしにくい＝「やや住みにくい」＋「住みにくい」以降同様

図表Ⅱ-1-2：長崎市の住みやすさ（平均スコア）



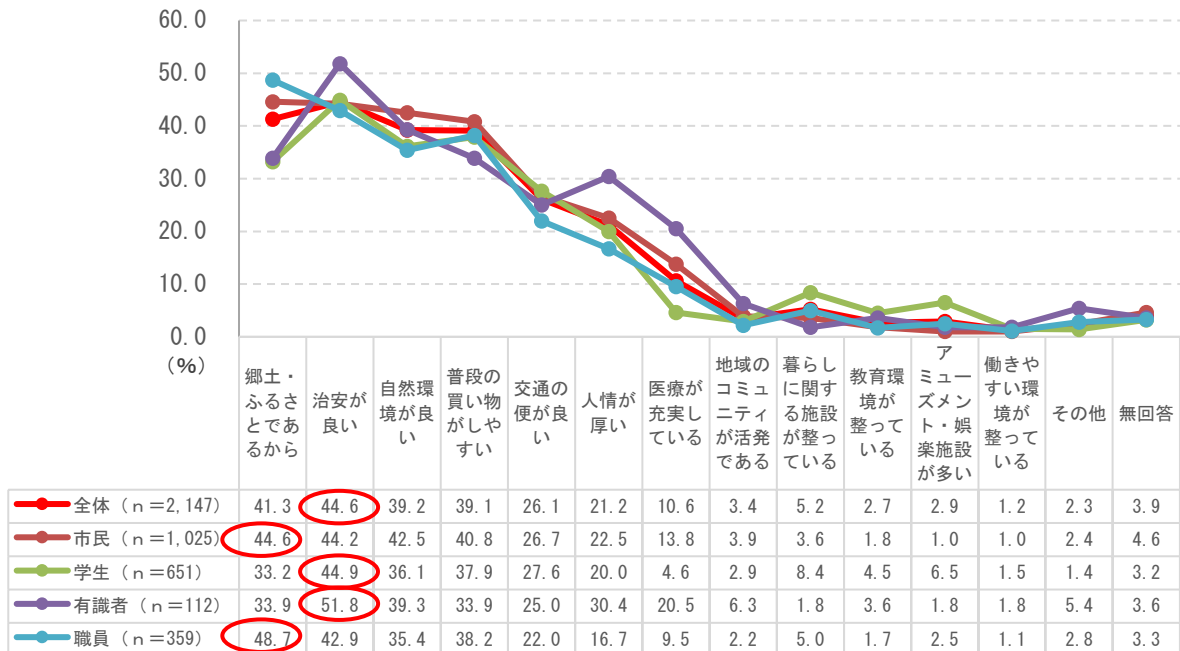
以降、平均スコアの求め方は以下の通り

$$\text{平均スコア} = \frac{\text{「住みやすい」} \times 2 + \text{「まあ住みやすい」} \times 1 + \text{「やや住みにくい」} \times -1 + \text{「住みにくい」} \times -2}{\text{全回答者数} - \text{無回答者数}}$$

暮らしやすい理由は全体で、「治安が良い」が44.6%で最も多く、次いで「郷土・ふるさとであるから」が41.3%、「自然環境が良い」が39.2%で続いている。

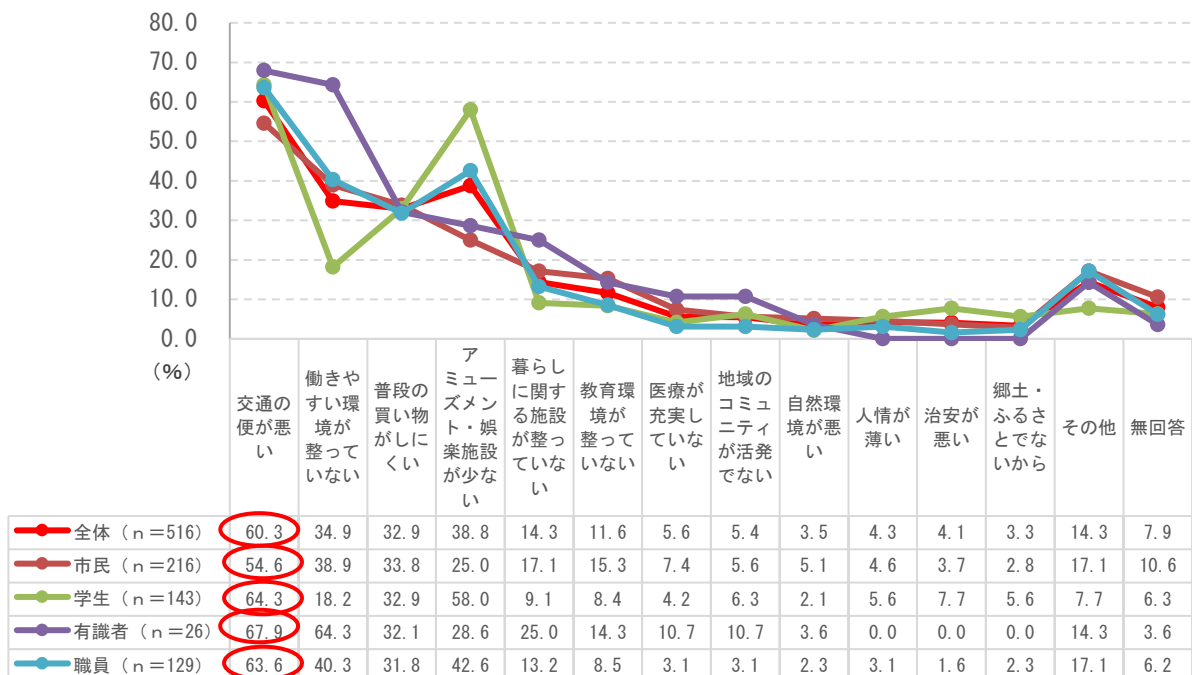
暮らしにくい理由は全体で、「交通の便が悪い」が60.3%で最も多く、次いで「アミューズメント・娯楽施設が少ない」が38.8%、「働きやすい環境が整っていない」が34.9%で続いている。

図表VII-1-1：暮らしやすい理由



○ 最大値

図表VII-1-2：暮らしにくい理由



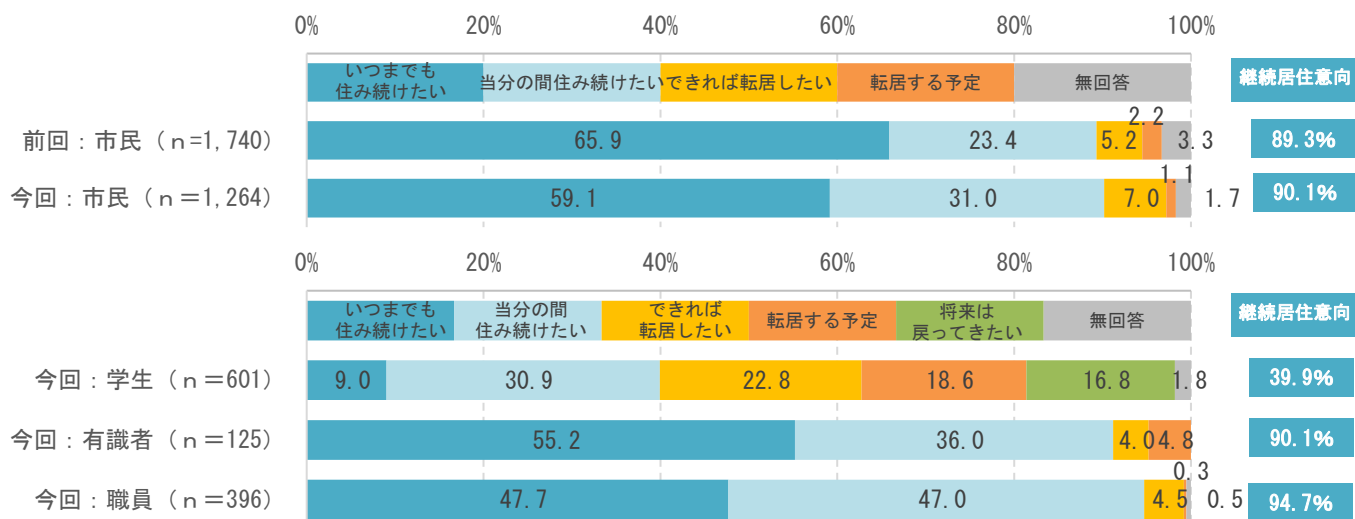
○ 最大値

2) 長崎市への居住意向

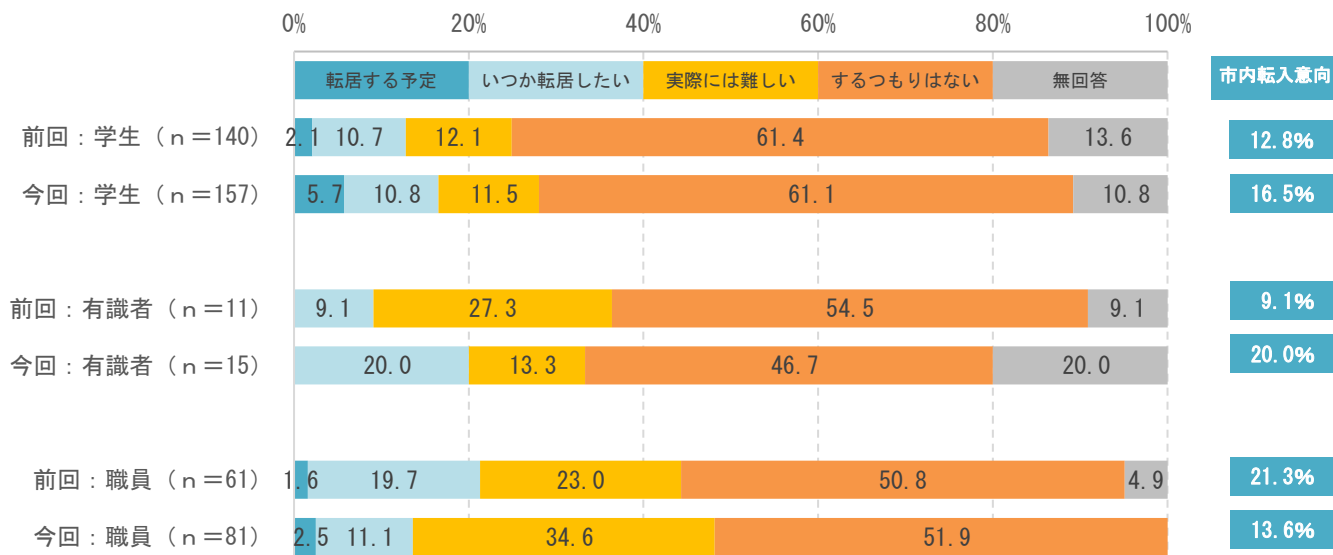
長崎市への継続居住意向は、市民では9割程度あり、前回調査をやや上回ったものの、学生は転居意向が約4割ある。

一方、長崎市外在住者の市内転入意向は、市職員以外は前回調査より増えているものの2割未満であり、転入意向は低いままとなっている。

図表Ⅱ-1-7：長崎市への継続居住意向



図表Ⅱ-1-8：長崎市への転居意向

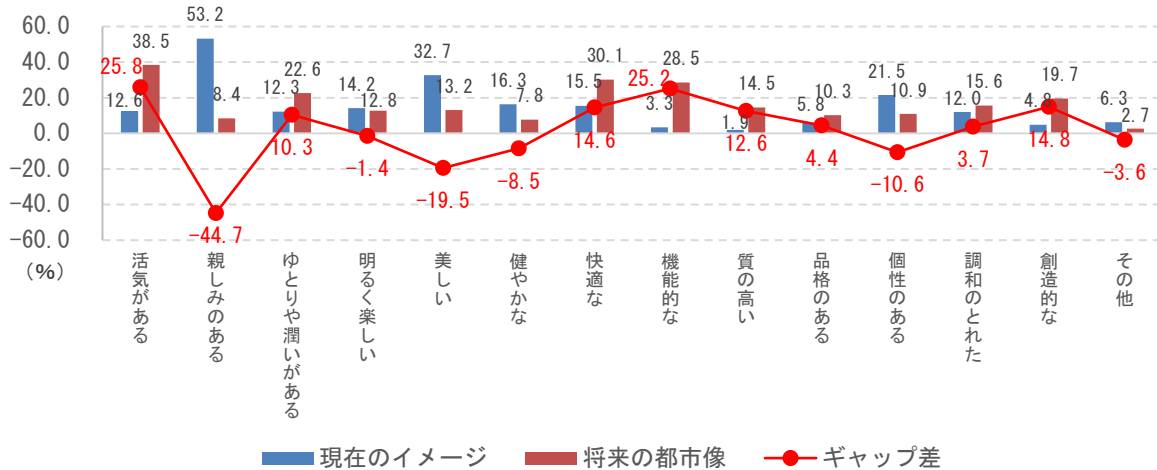


3) 長崎市のイメージにふさわしいキーワード

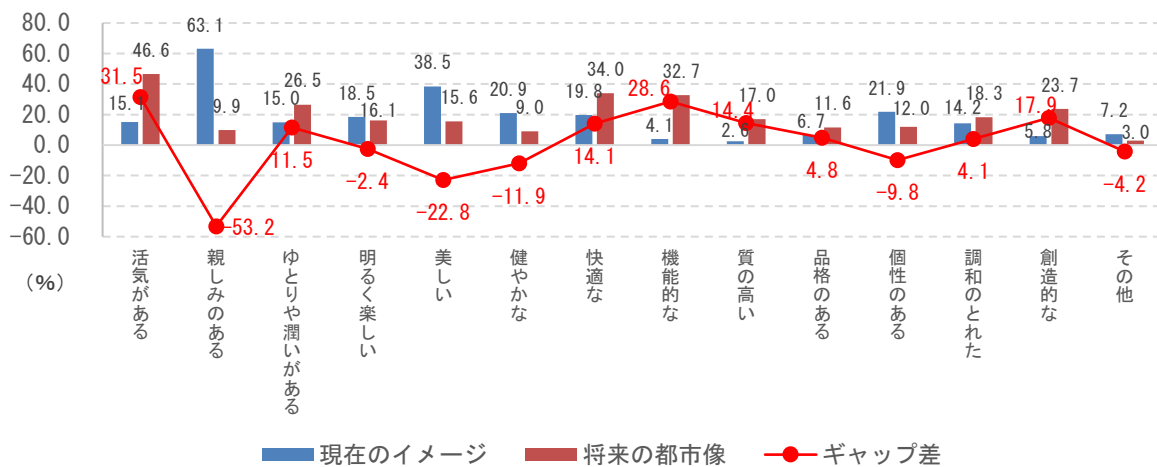
長崎市の現在をイメージするキーワードは「親しみのある」「美しい」「個性のある」「健やかな」が挙げられ、将来の都市像としてのキーワードは「活気がある」「機能的な」「快適な」「ゆとりや潤いがある」「創造的な」が挙げられている。

また、現在のイメージと将来の都市像のイメージを前回調査と比べるとほぼ同様の傾向であるが、個々の項目のギャップを見ると「快適な」「個性のある」を除きギャップの差は前回調査よりも縮まっている。

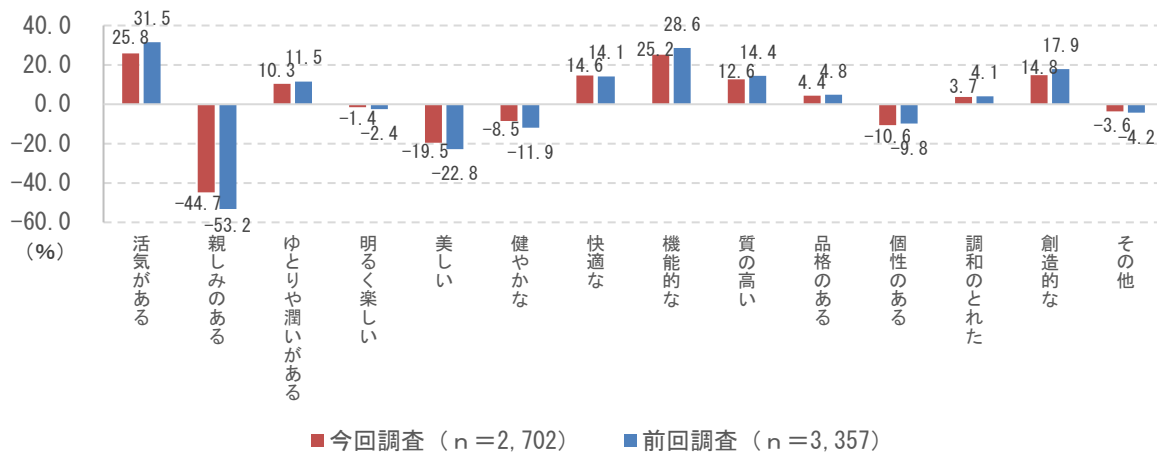
図表VII-1-3：現在と将来像のキーワード比較（今回調査：全体）



図表VII-1-4：現在と将来像のキーワード比較（前回調査：全体）



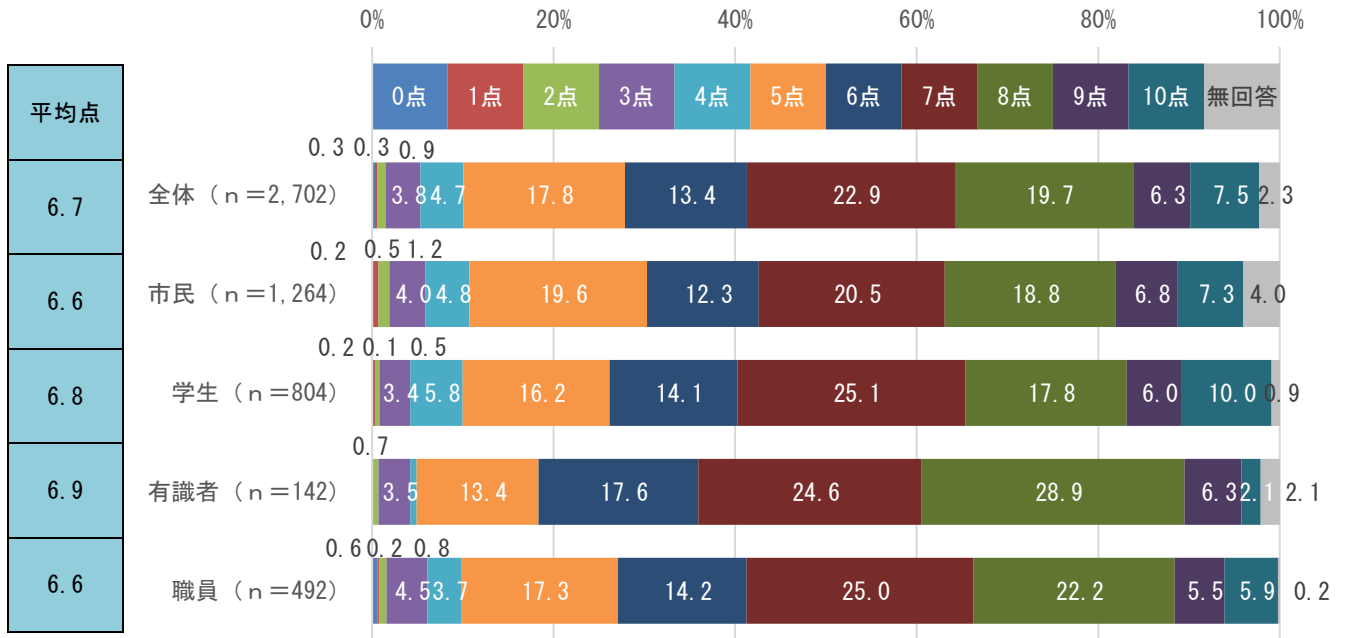
図表VII-1-5：現在と将来像のギャップの差比較（全体）



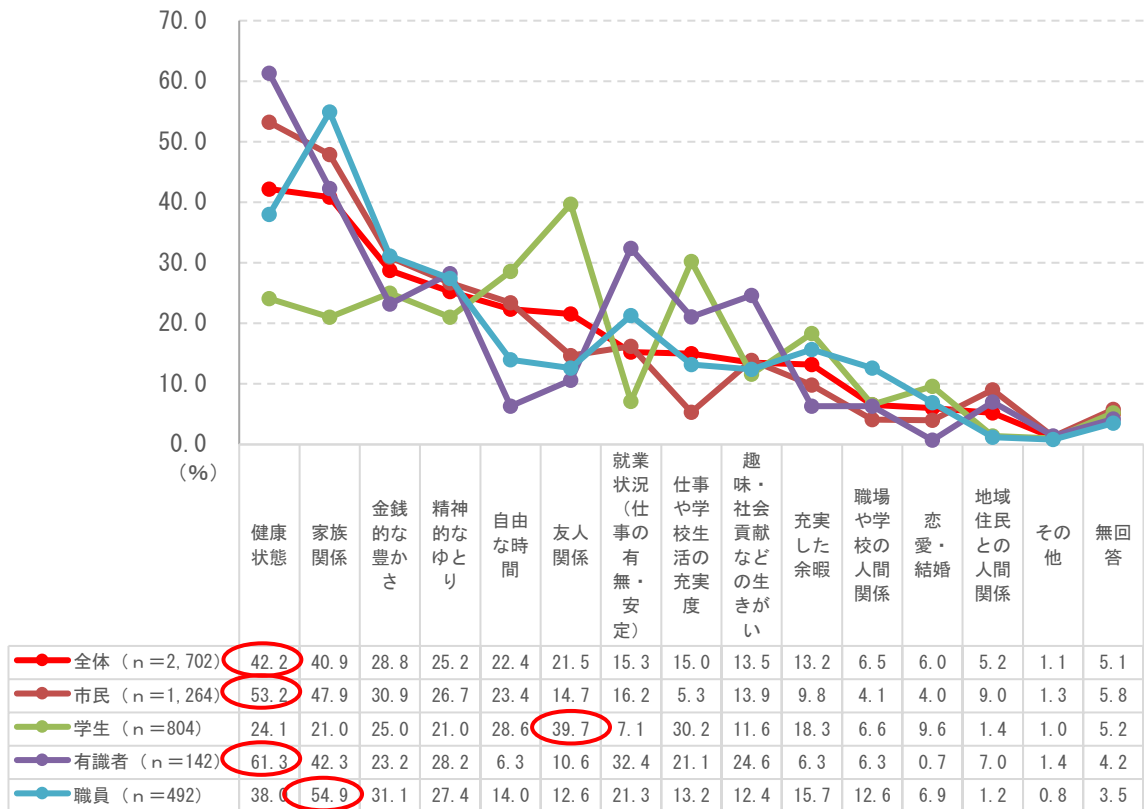
4) 幸福感

現在の幸福感を点数で表すと10点満点の6点以上が約7~8割を占めており、幸福感の判断には「健康状態」「家族関係」「金銭的な豊かさ」「精神的なゆとり」が重要視されている。

図表VII-1-6：現在の幸福感



図表VII-1-7：幸福感の判断に重要視すること



○ 最大値

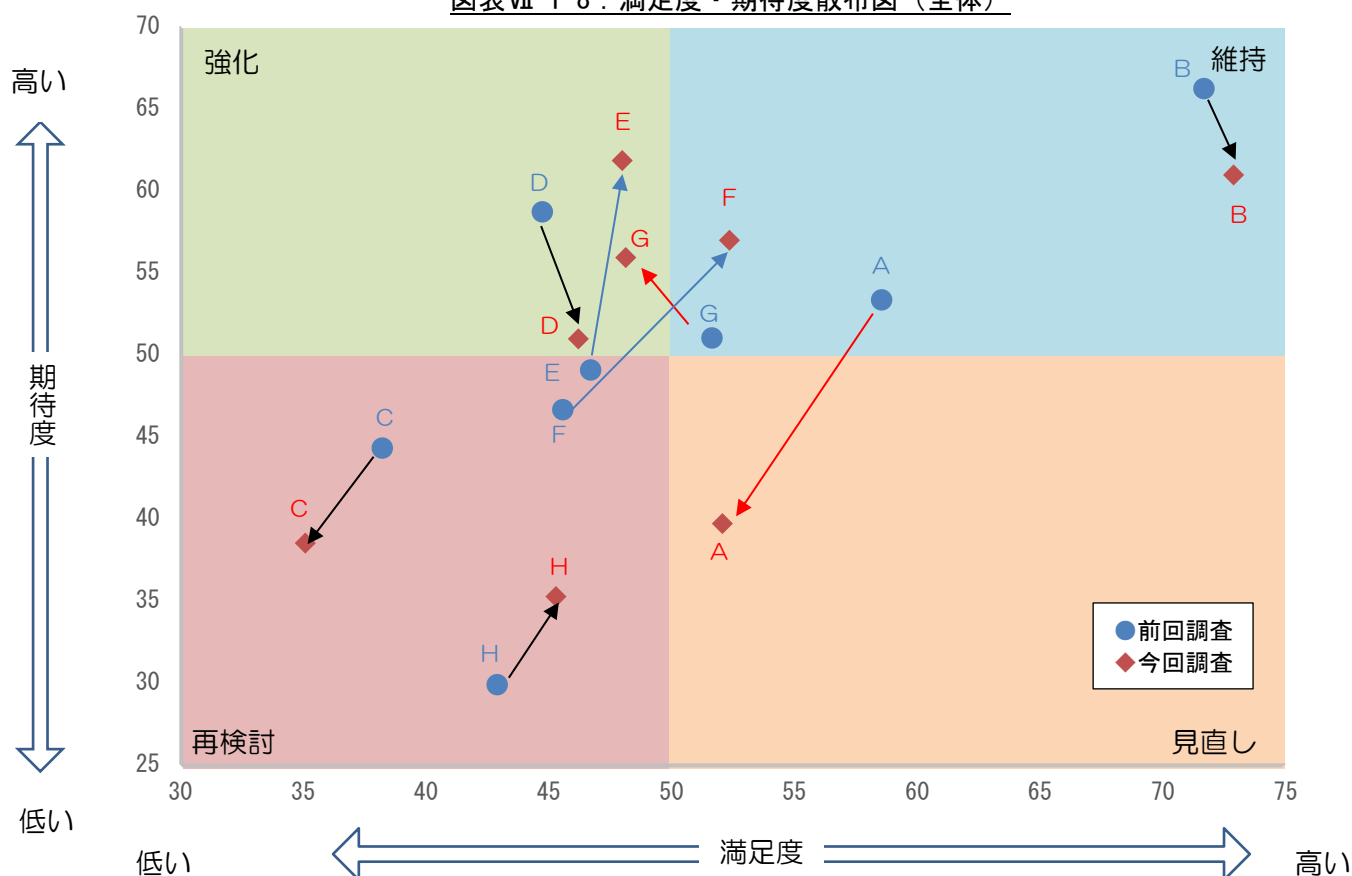
(6) 施策評価

1) まちづくりの方針ごとの評価比較

今回と前回の調査を第四次総合計画のまちづくりの方針ごとに、回答者全体での期待度・満足度により分類すると、「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」が「再検討」から「維持」へ、「E: 安心・安全で快適に暮らせるまち」が「再検討」から「強化」へ評価を上げており、「G: 豊かな心を育むまち」は「維持」から「強化」へ、「A: 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」は「維持」から「見直し」へ評価を下けている。

※各まちづくりの方針の評価の出し方は基本施策の平均の偏差値をもって表している。

図表Ⅶ-1-8：満足度・期待度散布図（全体）



※評価区分は以下の通り

- 「維持」：期待度、満足度ともに高いため、現在のサービス水準の維持が求められると考えられる。
- 「強化」：期待度が高く、満足度が低いため、重要かつ緊急的に対処すべき課題と考えられる。
- 「見直し」：期待度が低く、満足度が高いため、行政コストの見直しが考えられる。
- 「再検討」：期待度、満足度ともに低いため、サービス提供自体の再検討が考えられる。

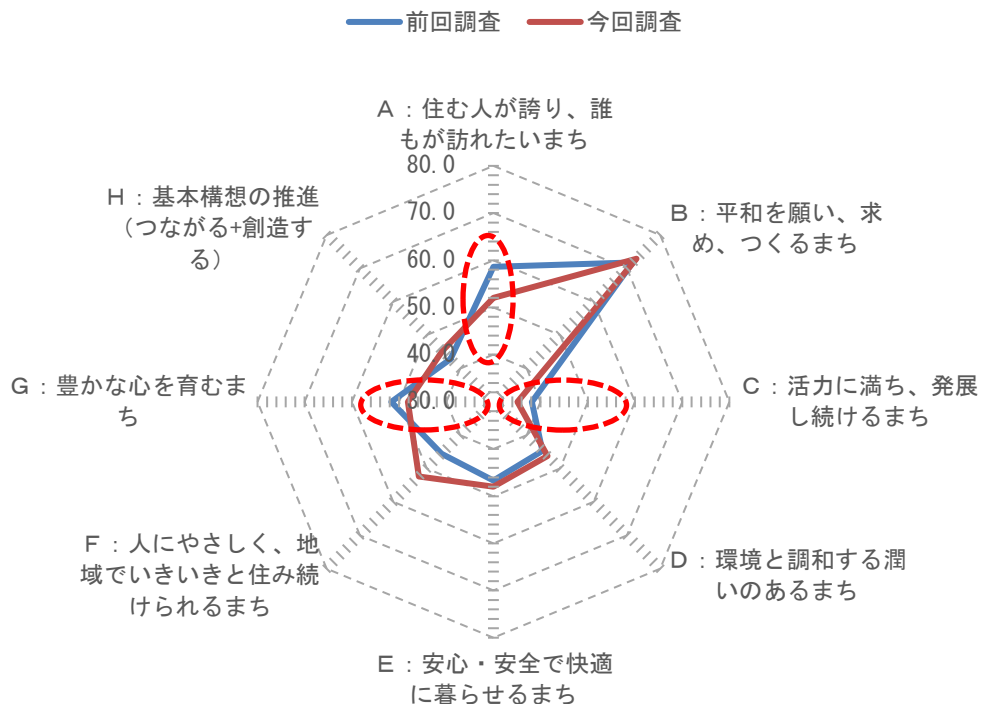
記号	まちづくりの方針
A	住む人が誇り、誰もが訪れたいまち
B	平和を願い、求め、つくるまち
C	活気に満ち、発展し続けるまち
D	環境と調和する潤いのあるまち
E	安心・安全で快適に暮らせるまち
F	人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち
G	豊かな心を育むまち
H	基本構想の推進（つながる+創造する）

今回と前回の調査のまちづくりの方針ごとの評価を期待度・満足度の偏差値により比較すると、満足度・期待度ともに前回調査を上回ったのは、「E：安心・安全で快適に暮らせるまち」・「F：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」であり、満足度・期待度ともに前回調査を下回ったのは「A：住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」・「C：活気に満ち、発展し続けるまち」となっている。

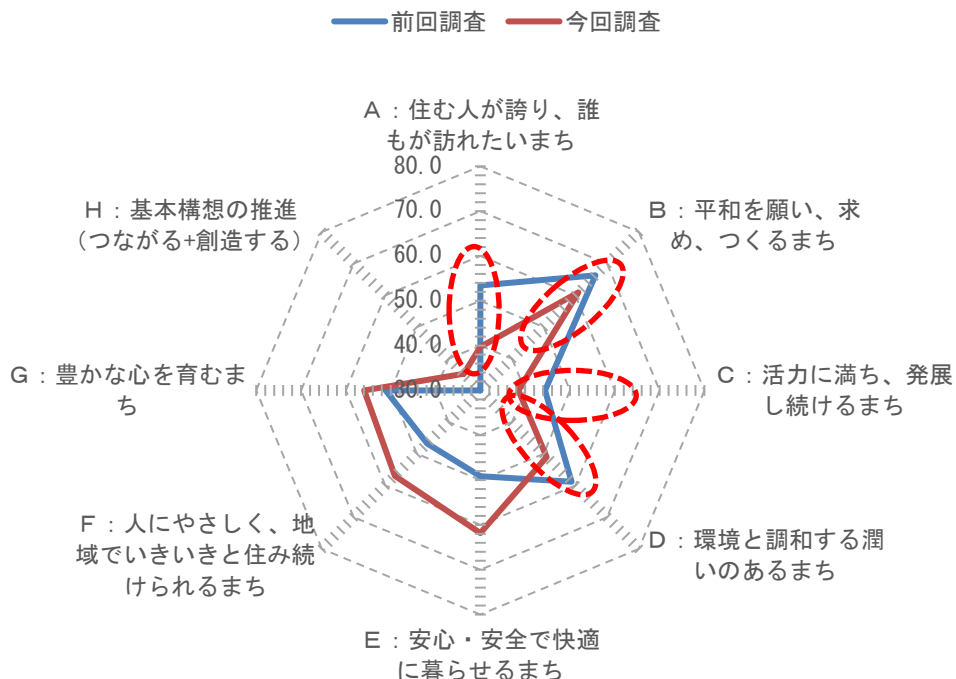
満足度が前回調査を上回り、期待度が下回ったのは、「B：平和を願い、求め、つくるまち」・「D：環境と調和する潤いのあるまち」であり、満足度が前回調査を下回り、期待度が上回ったのは「G：豊かな心を育むまち」・「H：基本構想の推進（つながる+創造する）」となっている。

※まちづくりの方針の数値の求め方は各方針の基本施策の満足度（「満足している」+「まあ満足している」）と期待度（「期待する」+「まあ期待する」）の平均値を各まちづくりの方針の満足度・期待度とし、満足度・期待度の調査年度ごとの偏差値をもって表している。

図表Ⅶ-1-9：満足度偏差値（全体）



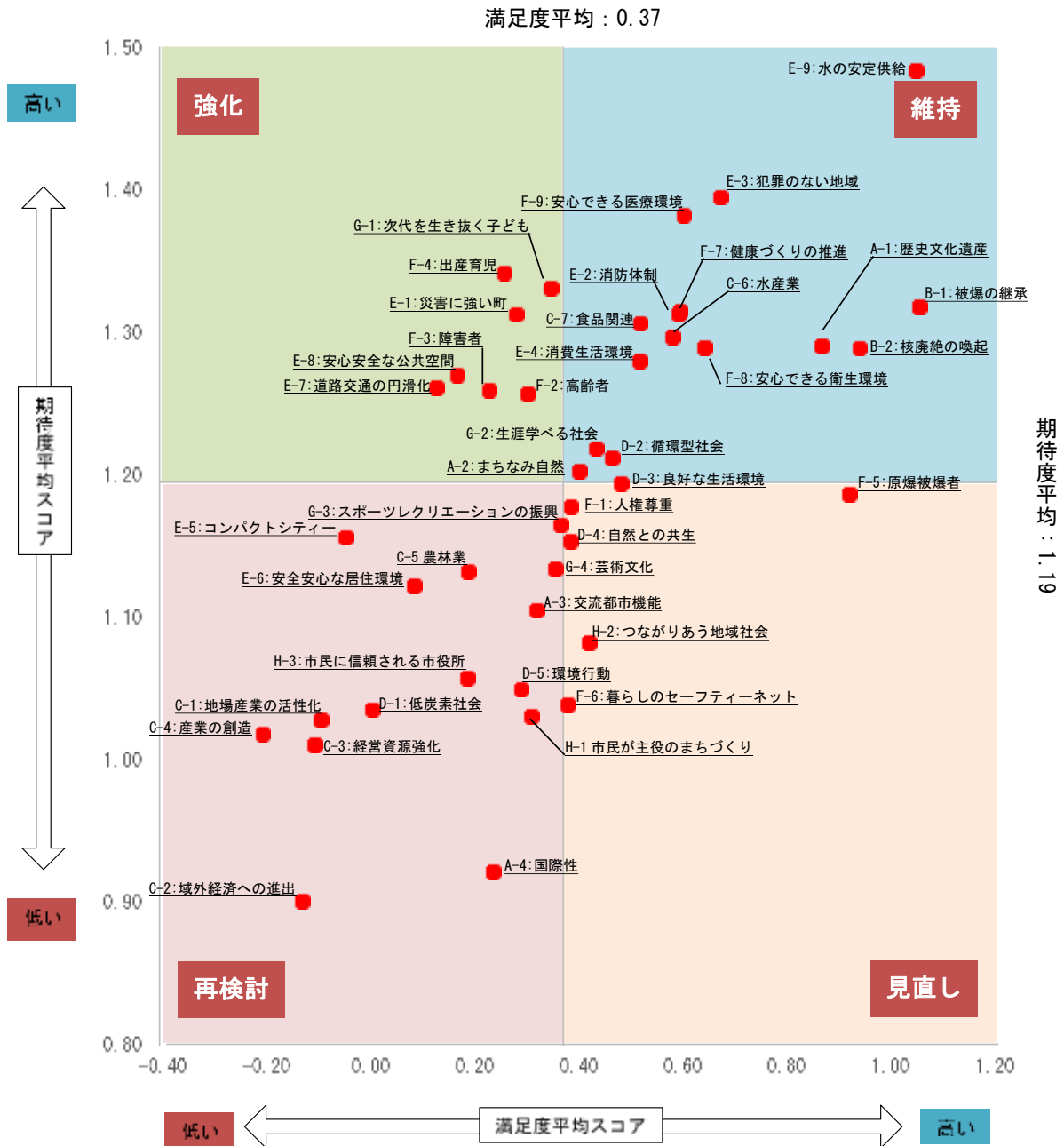
図表Ⅶ-1-10：期待度偏差値（全体）



2) 基本施策の領域分類

今回の調査による基本施策ごとの評価を「現状の維持（満足度が高く期待度も高い）」、「強化（満足度が低く期待度が高い）」、「見直し（満足度が低く期待度が低い）」、「再検討（満足度が低く期待度も低い）」の領域に分けると以下の通り。

図表Ⅱ-2-1：満足度と期待度の平均スコア散布図（全体）



①図表Ⅶ-1-11：現状の維持

基本施策	満足度	期待度
A-1 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	0.86	1.29
A-2 まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	0.39	1.20
B-1 被爆の実相を継承します	1.05	1.32
B-2 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	0.93	1.29
C-6 水産業で長崎の強みを活かします	0.57	1.30
C-5 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	0.51	1.31
D-2 循環型社会の形成を推進します	0.46	1.21
D-3 良好な生活環境を確保します	0.47	1.19
E-2 消防体制を強化します	0.59	1.32
E-3 犯罪のない地域づくりを進めます	0.66	1.40
E-4 安心できる消費生活環境をつくります	0.51	1.28
E-9 安全・安心な水を安定して供給します	1.04	1.48
F-7 自らすすめる健康づくりを推進します	0.59	1.31
F-8 安心できる衛生環境を確保します	0.63	1.29
F-9 安心できる医療環境の充実を図ります	0.59	1.38
G-2 だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	0.43	1.22

②図表Ⅶ-1-12：強化

基本施策	満足度	期待度
E-1 災害に強いまちづくりを進めます	0.27	1.31
E-7 道路・交通の円滑化を図ります	0.12	1.26
E-8 安全・安心で快適な公共空間をつくります	0.16	1.27
F-2 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	0.29	1.26
F-3 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	0.22	1.26
F-4 安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	0.25	1.34
G-1 次代を生きぬく子どもを育みます	0.34	1.33

③図表Ⅶ-1-13：見直し

基本施策	満足度	期待度
D-4 人と自然が共生する環境をつくります	0.38	1.15
F-1 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	0.38	1.18
F-5 原爆被爆者の援護を充実します	0.91	1.19
F-6 暮らしのセーフティネットを充実します	0.37	1.04
H-2 つながりあう地域社会をつくります	0.41	1.08

④図表Ⅶ-1-14：再検討

基本施策	満足度	期待度
A-3 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	0.31	1.11
A-4 国際性を豊かにします	0.23	0.92
C-1 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	-0.10	1.03
C-2 域外経済への進出を加速します	-0.14	0.90
C-3 地場企業の経営資源を強化します	-0.12	1.01
C-4 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	-0.22	1.02
C-5 農林業に新しい活力を生み出します	0.18	1.13
D-1 持続可能な低炭素社会を実現します	0.00	1.04
D-5 環境行動を実践します	0.28	1.05
E-5 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	-0.06	1.16
E-6 安全・安心な居住環境をつくります	0.08	1.12
G-3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	0.36	1.17
G-4 芸術文化あふれる暮らしを創出します	0.35	1.13
H-1 市民が主役のまちづくりを進めます	0.30	1.03
H-3 市民に信頼される市役所にします	0.18	1.06

3) 評価整理

今回の調査と10年前の調査結果のまちづくりの方針ごとの4領域比較では「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」「E:安心・安全で快適に暮らせるまち」が評価を上げており、その要因は「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」は満足度・期待度ともに評価を上げており、基本施策まで下げると、「F-7:自らすすめる健康づくりを推進します」「F-8:安心できる衛生環境を確保します」「F-9:安心できる医療環境の充実を図ります」が維持領域（満足度・期待度ともに高い）で評価されており、「E:安心・安全で快適に暮らせるまち」は「E-2:消防体制を強化します」「E-3:犯罪のない地域づくりを進めます」「E-4:安心できる消費生活環境をつくります」「E-9:安全・安心な水を安定して供給します」が維持領域で評価されている。

一方、「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」「G:豊かな心を育むまち」が評価を下げているがその要因は、「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」は期待度・満足度ともに下がり、「G:豊かな心を育むまち」は満足度を下げている。基本施策まで下げると、「A:住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」は「A-3:交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します」「A-4:国際性を豊かにします」が再検討領域（満足度・期待度ともに低い）で評価され、「G:豊かな心を育むまち」は「G-3:スポーツ・レクリエーションの振興を図ります」「G-4:芸術文化あふれる暮らしを創出します」が再検討領域で評価されている。

4) 今後 10 年間の優先施策

今後 10 年間で「特に優先的に進めていくべきと考える施策 (3 つ以内で選択)」については、以下の通りとなっている。

図表Ⅶ-1-15：まちづくりの方針ごとの優先施策（全体）

まちづくりの方針	優先する基本施策
A：住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます
B：平和を願い、求め、つくるまち	B-2：核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します
C：活力に満ち、発展し続けるまち	C-4：新しい企業・新しい産業を創造し育成します
D：環境と調和する潤いのあるまち	D-3：良好な生活環境を確保します
E：安心・安全で快適に暮らせるまち	E-1：災害に強いまちづくりを進めます
F：人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	F-4：安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります
G：豊かな心を育むまち	G-1：次代を生きぬく子どもを育みます
H：基本構想の推進 (つながる+創造する)	H-3：市民に信頼される市役所にします

図表Ⅶ-1-16：優先基本施策 TOP 10（全体）

順位	基本施策	(%)
1位	E-1：災害に強いまちづくりを進めます	14.6%
2位	E-7：道路・交通の円滑化を図ります	12.8%
3位	F-4：安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	12.3%
4位	C-4：新しい企業・新しい産業を創造し育成します	10.0%
5位	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	9.3%
6位	A-3：交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	9.1%
7位	A-1：歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	9.1%
8位	B-2：核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	8.1%
9位	B-1：被爆の実相を継承します	7.9%
10位	G-1：次代を生きぬく子どもを育みます	7.7%

図表Ⅶ-1-17：優先基本施策 TOP 10（市民）

順位	基本施策	(%)
1位	E-1：災害に強いまちづくりを進めます	13.0%
2位	F-4：安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	10.6%
3位	E-7：道路・交通の円滑化を図ります	10.4%
4位	A-1：歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	8.5%
5位	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	8.1%
6位	F-2：高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	7.8%
7位	C-4：新しい企業・新しい産業を創造し育成します	7.2%
8位	B-2：核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	6.5%
9位	E-3：犯罪のない地域づくりを進めます	6.1%
10位	B-1：被爆の実相を継承します	5.6%

図表Ⅶ-1-18：優先基本施策 TOP 10（学生）

順位	基本施策	(%)
1位	B-1：被爆の実相を継承します	13.9%
2位	B-2：核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	13.6%
3位	E-7：道路・交通の円滑化を図ります	13.1%
4位	E-1：災害に強いまちづくりを進めます	12.2%
5位	A-3：交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	10.4%
6位	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	10.3%
7位	A-1：歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	10.1%
8位	E-3：犯罪のない地域づくりを進めます	9.0%
9位	A-4：国際性を豊かにします	7.0%
10位	D-3：良好な生活環境を確保します	6.6%

図表Ⅶ-1-19：優先基本施策 TOP 10（有識者）

順位	基本施策	(%)
1位	C-4：新しい企業・新しい産業を創造し育成します	23.9%
2位	C-1：交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	19.7%
3位	A-3：交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	18.3%
4位	A-1：歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	14.8%
5位	E-1：災害に強いまちづくりを進めます	14.1%
6位	E-7：道路・交通の円滑化を図ります	13.4%
7位	E-5：暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	12.7%
8位	F-4：安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	12.0%
9位	G-1：次代を生きぬく子どもを育みます	9.9%
10位	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	9.2%

図表Ⅶ-1-20：優先基本施策 TOP 10（職員）

順位	基本施策	(%)
1位	F-4：安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	28.5%
2位	E-1：災害に強いまちづくりを進めます	22.8%
3位	C-4：新しい企業・新しい産業を創造し育成します	20.5%
4位	G-1：次代を生きぬく子どもを育みます	20.3%
5位	E-7：道路・交通の円滑化を図ります	18.7%
6位	A-3：交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	16.5%
7位	C-1：交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	15.7%
8位	E-5：暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	12.4%
9位	F-2：高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	12.0%
10位	A-2：まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	11.0%

（7）調査総括

今回の調査を考察すると、本市の住みやすさや居留意向の評価アップ、施策評価における再検討施策数の減少、現在の長崎市をイメージするキーワードが「親しみのある」「美しい」「個性のある」「健やかな」などぬくもりを感じる言葉が選ばれている。

一方、将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワードに「活気がある」「機能的な」など躍動的な言葉が選ばれたり、期待度と満足度の乖離の大きさ、強化領域施策がまちづくりの方針の「E:安心・安全で快適に暮らせるまち」「F:人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」が多いことなどから、「長崎市で暮らすこと」を次のステップへ推し進めるための政策・施策推進に期待が大きいことがうかがえる。

参考資料（アンケート調査票）

市政に関する市民アンケート

市民アンケート

◆長崎市の住みごころやイメージなどについて、お伺いします。

市民の皆様には、日頃から市政に対するご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

長崎市では、平成23年度から10年間のまちづくりの指針となる「長崎市第四次総合計画」に基づいて、計画的な行政を推進しております。

この計画が平成33年3月末で終了することから、平成33年度以降の新たなまちづくりの指針となる第五次総合計画の策定を進めているところです。

このたび、この計画の策定にあたり、市民の皆様のご意見をお伺いし、新しい総合計画に反映させるため、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選ばせていただき、アンケートをお願いすることにしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。



あなたのご意見を
お聞かせください！

平成30年11月
長崎市長 田上 富久

ご記入にあたって

- 1 ご回答は、できるだけ封筒のあて名となっているご本人をお願いします。
(ご本人が回答できない場合は、代理の方がお答えいただいても結構です。)
- 2 各項目について、思ったこと・感じたことなどをお気軽にお答えください。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を折り曲げて入れ、**切手を貼らずに11月16日(金)までに**ポストに投函くださるようお願いいたします。
- 4 このアンケートは無記名で、調査結果は統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

Q1. あなたは、長崎市が住みやすいと思いますか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

Q2. あなたが、長崎市のまちで住みやすいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 普段の買い物物がしやすい
2. 交通の便が良い
3. 医療が充実している
4. 治安が良い
5. 人情が厚い
6. 自然環境が良い
7. 教育環境が整っている
8. 働きやすい環境が整っている
9. 郷土・ふるさとであるから
10. 暮らしに関する施設が整っている
11. アミューズメント・娯楽施設が多い
12. 地域のコミュニティが活発である
13. その他
(具体的に:)

Q3. あなたが、長崎市のまちで住みにくいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 普段の買い物物がしにくい
2. 交通の便が悪い
3. 医療が充実していない
4. 治安が悪い
5. 人情が薄い
6. 自然環境が悪い
7. 教育環境が整っていない
8. 働きやすい環境が整っていない
9. 郷土・ふるさとでないから
10. 暮らしに関する施設が整っていない
11. アミューズメント・娯楽施設が少ない
12. 地域のコミュニティが活発でない
13. その他
(具体的に:)

Q4. あなたは、これからも長崎市に住み続けたいとお考えですか。次の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい
2. 当分の間は住み続けたい
3. できれば、他の市町村に転居したい

Q5. あなたは、現在の長崎市の都市のイメージをどのように感じていますか。また、将来目指すべき都市のイメージについてどう思いますか。次の中から、「(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード」と「(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード」として、あてはまると思うものをそれぞれ3つ以内で選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|--------------|------------|-------------------------------------|
| 1. 活気がある | 7. 快適な | 13. 創造的な |
| 2. 親しみのある | 8. 機能的な | 14. その他 |
| 3. ゆとりや潤いがある | 9. 質の高い | (1～13に該当なものがない場合は、回答欄に具体的に記入してください) |
| 4. 明るく楽しい | 10. 品格のある | |
| 5. 美しい | 11. 個性のある | |
| 6. 健やかな | 12. 調和のとれた | |

それぞれ、3つ以内で選んで、記入してください。	1	2	3
(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード			
(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード			

◆ここからは、あなたのまわりで感じる長崎市の変化についてお伺いします。

Q6. これまでの10年間で、長崎市のまちが変わったと感じることはどのようなことがありますか。身近なこと結構ですので、ご自由にご記入ください。

Q7. これからの10年間で、長崎市のまちがどのように変わってほしいと思いますか。身近なこと結構ですので、ご自由にご記入ください。

また、そのまちの変化について、あなたが関わる事ができる場合はどのような関わり方がありますか。

◆ここからは、あなたの幸福感についてお伺いします。

Q8. 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選んで○印をつけてください。
※わからない場合は直感的に選択してください。

とても不幸											とても幸せ
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	

Q9. 幸福感を判断する際に、重視したことはなんですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 金銭的な豊かさ | 8. 趣味・社会貢献などの生きがい |
| 2. 就業状況(仕事の有無・安定) | 9. 家族関係 |
| 3. 健康状態 | 10. 友人関係 |
| 4. 自由な時間 | 11. 職場や学校の人間関係 |
| 5. 充実した余暇 | 12. 地域住民との人間関係 |
| 6. 仕事や学校生活の充実度 | 13. 恋愛・結婚 |
| 7. 精神的なゆとり | 14. その他() |

◆ここからは、長崎市の様々な施策について、お伺いします。

Q10. 長崎市は現在、長崎市第四次総合計画（計画期間 平成28年度から平成32年度）に基づいて様々な施策、事業、取組みを行っています。次の各基本施策項目について、主な取組み事例を参考に、長崎市に対する「(1)現在の満足度」と「(2)今後の期待度」について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度				
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4	
まちづくりの方針A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち							1	2	3
1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます									
● 文化財の保存・継承・活用に関する取組みを行っています									
● 歴史文化遺産の研究や「歴史の学校」など市民の学びの機会や学びの場の創出を行っています	1	2	3	4			1	2	3
● 出島の復元整備を行っています									
● 世界遺産の登録や保存、情報発信を行っています									
2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます									
● 地域の景観や自然等を活かしたまちづくりの推進を行っています									
● 歩いて楽しいまちをつくる取組みを行っています	1	2	3	4			1	2	3
3. 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します									
● 長崎独自の観光資源（世界遺産、夜景等）の魅力向上の取組みを行っています									
● 国内外からの観光客やMICの誘致を行っています									
● 交流のための都市基盤施設の整備（九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺地区の再整備など）を行っています	1	2	3	4			1	2	3
● バリアフリー観光の推進や、案内板等の多言語化などを行っています									
● 遊学のまち長崎の魅力向上に取り組みしています									

記入例

	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度				
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4	
4. 国際性を豊かにします									
● 国際交流の機会の充実と国際的に活躍できる人材を育成しています									
● 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを行っています	1	2	3	4			1	2	3
● 留学先としての魅力向上と、留学生の支援を行っています									
まちづくりの方針B 平和を願い、求め、つくるまち									
1. 被爆の実相を継承します									
● 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用に取り組んでいます									
● 若い世代や子どもたちへの平和教育を進めています	1	2	3	4			1	2	3
● 家族証言等の被爆継承の推進に取り組んでいます									
2. 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた国の世論を喚起し、平和な世界を創造します									
● 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた国内外への発信を行っています									
● 平和な世界の構築に向けて、ネットワークを創造します	1	2	3	4			1	2	3
● 平和をアピールできる人材を育成しています									
まちづくりの方針C 活力に満ち、発展し続けるまち									
1. 交流を活かした地域企業の活性化と域内経済の循環を促します									
● 地域企業の魅力ある製品・サービス開発促進を支援しています									
● 商店街や商店の利用促進に取り組んでいます	1	2	3	4			1	2	3
● 卸売市場機能の充実と強化に取り組んでいます									
2. 域外経済への進出を加速します									
● 域外からの外貨獲得をめざす地場企業の支援をしています									
● 地場企業の海外展開を支援しています	1	2	3	4			1	2	3

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
3. 地場企業の経営資源を強化します	<ul style="list-style-type: none"> 地場企業の人材育成を支援しています 地場企業の人材確保を支援しています 地場企業の経営の効率化や生産性強化の取り組みへの支援を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	<ul style="list-style-type: none"> 地場企業の新たな分野への参入や創業を促しています 域外からの新たな企業誘致へ取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 農林業に新しい活力を生み出します	<ul style="list-style-type: none"> 農作物の地域ブランドの育成に取り組んでいます 意欲ある農林業者の育成確保に取り組んでいます イノシン等による農作物被害の防止に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 水産業で長崎の強みを活かします	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者が安定的に漁獲物を供給するための稚魚の放流や、漁場の保全に取り組んでいます 収益性の高い養殖業や水産加工業の振興を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	<ul style="list-style-type: none"> 新たな販路拡大や消費拡大に取り組んでいます 長崎ならではの食材や食文化の情報発信を行っています 食育体験を推進し、食に対する意識向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針D	環境と調和する潤いのあるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 持続可能な低炭素社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者が温室効果ガスの排出を削減する取り組みを推進しています 再生可能エネルギーの活用と省エネルギーを促進しています 緑あふれるまちづくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 循環型社会の形成を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ごみ排出量の削減とリサイクルの推進に取り組んでいます 廃棄物の適正処理とごみ処理施設の整備を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 良好な生活環境を確保します	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染や騒音等の身近な環境を良好に保つ取り組みを行っています 下水道整備や浄化槽の普及促進を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人と自然が共生する環境をつくれます	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境を守る取り組みを行っています 自然とふれあうイベントや場の創出を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 環境行動を実践します	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年代の環境学習の推進と環境活動を担う人材の育成に取り組んでいます 協働による環境保全活動の拡大に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針E 安全・安心で快適に暮らせるまち									
1. 災害に強いまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害、浸水被害等を防ぐための、防災対策工事を行っています 防災行政無線や様々な方法を使った防災情報伝達の整備を行っています 防災訓練等による自主防災組織の結成の推進や地域防災マップの作成など防災意識を高める活動に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 消防体制を強化します	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防火意識の向上に取り組んでいます 消防団を中心とした地域防災力の強化に取り組んでいます 消火のための資材の整備や消防車の更新を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 犯罪のない地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 防犯啓発活動を推進しています 子どもの安全を地域で見守るためのパトロール活動や青少年の非行防止活動を推進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 安心でできる消費生活環境をつくりまします	<ul style="list-style-type: none"> 市民を消費者トラブルから守る取り組みを行っています 消費者が安心して買い物ができるよう、事業者等への適正な計量の指導を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境を守り、コンパクトな市街地づくりに取り組んでいます まちなかの住環境を整える取り組みを行っています 老朽危険空き家の除去や斜面地の安全、居住環境改善のための生活道路の整備を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 安全・安心な居住環境をつくりまします	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の供給に取り組んでいます 空き家の有効活用へ取り組んでいます 安全・安心な民間住宅・建築物の普及の促進に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 道路・交通の円滑化を図ります	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路等の道路ネットワークの整備を行っています 路面電車や路線バスなどの公共交通の利便性や安全性の向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 安全・安心で快適な公共空間をつくりまします	<ul style="list-style-type: none"> 斜面地における車みちの整備や道路のバリアフリー化など道路環境の整備を行っています 安全・安心な市有建築物への改善を進めています だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めています 良好な生活環境や観光地等を守るため、地域環境美化を推進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 安全・安心な水を安定して供給します	<ul style="list-style-type: none"> どんなどきにも安定給水できる体制を整えています だれもが安心して飲める、安全でおいしい水を供給しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針F	人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち								
1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権啓発を推進しています ● 児童虐待やDV、高齢者や障害者虐待等の人権侵害に関する相談体制の充実を図っています ● 男女共同参画に関する意識啓発を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています ● 高齢者の社会参加を推進しています ● 地域で支えあいながら安心して暮らし、また緊急時の安全確保ができるよう、地域の見守り支援体制づくりを推進しています ● 介護サービスの充実を図っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害の早期発見・早期療育を行い、個々の障害や個性に合った地域支援体制を整えています ● 障害者の就労や生活の安定を支援します ● 障害者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
4. 安心して子どもを産み育て、子どもの健康や子育てを安心して行います	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して出産できるよう、妊娠から出産後まで切れ目のない母子の健康増進に取り組んでいます ● 子育て支援の充実を図っています ● 幼稚園や保育所等の量の確保、質の向上を行うとともに、放課後子ども教室を推進し、児童の安全・安心な地域における居場所を確保する取り組みを行っています ● ひとり親家庭の自立を支援しています ● 結婚を希望する独身男女の婚活を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 原爆被爆者の援護を充実します	<ul style="list-style-type: none"> ● 被爆者が保健・医療・福祉サービスを受けやすい環境を整えています ● 被爆体験者への支援の充実を図っています ● 被爆実態に関する調査研究を促進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 暮らしのセーフティネットを充実します	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者の生活の安定に取り組んでいます ● 就労可能な生活保護受給者の就労を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
主な取り組み事例	記入例							
7. 自らすすめる健康づくりを推進します	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 安心できる衛生環境を確保します	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 安心できる医療環境の充実を図ります	1	2	3	4	1	2	3	4

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針G	記入例							
1. 次代を生きぬく子どもを育みます	1	2	3	4	1	2	3	4
2. だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります	1	2	3	4	1	2	3	4
3. スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 芸術文化あふれる暮らしを創出します	1	2	3	4	1	2	3	4

Q10-1. 今後10年間で「特に優先的に進めていくべき」と考える施策を、3つ以内で選んで○印をつけてください。(なお、基本施策の主な取組みの内容はQ10(P4~P14)を参照ください。)

まちづくりの方針	基本施策	3つ選んで、○印をつけてください
A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	
	2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	
	3. 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	
B 平和を願い、求め、つくるまち	4. 国際性を豊かにします	
	1. 被爆の実相を継承します	
C 活力に満ち、発展し続けるまち	2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	
	1. 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	
	2. 域外経済への進出を加速します	
	3. 地場企業の経営資源を強化します	
	4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	
	5. 農林業に新しい活力を生み出します	
D 環境と調和する潤いのあるまち	6. 水産業で長崎の強みを活かします	
	7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	
	1. 持続可能な低炭素社会を実現します	
	2. 循環型社会の形成を推進します	
	3. 良好な生活環境を確保します	
	4. 人と自然が共生する環境をつくります	
	5. 環境行動を実践します	
E 安全・安心で快適に暮らせるまち	1. 災害に強いまちづくりを進めます	
	2. 消防体制を強化します	
	3. 犯罪のない地域づくりを進めます	
	4. 安心できる消費生活環境をつくります	
	5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	
	6. 安全・安心な居住環境をつくります	
	7. 道路・交通の円滑化を図ります	
	8. 安全・安心で快適な公共空間をつくります	
	9. 安全・安心な水を安定して供給します	

基本施策	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針H 1. 市民が主役のまちづくりを進めます 2. つながりある地域社会をつくります 3. 市民に信頼される市役所にします	1	2	3	4	1	2	3	4
基本施策 主な取り組み事例 基本構想の推進(つながる + 創造する) ● 地域コミュニティの活性化を支援します ● 市民活動団体への活動拠点、経済的支援を行っています ● 多様な主体同士が「協働」の意識を高めるための環境を整えています ● 広報ながさきの発行や市ホームページの運営など、市民との良好なコミュニケーションの形成に取り組んでいます ● 市政への関心を高め、市民の声の市政への反映に取り組んでいます ● 自ら考え、自ら発信し、自ら行動する職員、職場を育成しています ● 効果的で効率的な行財政運営に取り組んでいます	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

まちづくりの方針	基本施策	3つ選んで、○印をつけてください
F 人いやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します 2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます 3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます 4. 安心して子どもを子育て、子どもの健やかな育ちを図ります 5. 原爆被害者の認識を充実します 6. 暮らしのセーフティネットを充実します 7. 自らすすめる健康づくりを推進します 8. 安心できる衛生環境を確保します 9. 安心できる医療環境の充実を図ります	
G 豊かな心を育むまち	1. 次代を生きぬく子どもを育みます 2. だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります 3. スポーツ・レクリエーションの振興を図ります 4. 芸術文化あふれる暮らしを創出します	
H 基本構想の推進 ながらる + 創造する	1. 市民が主役のまちづくりを進めます 2. つながりあり地域社会をつくります 3. 市民に信頼される市役所にします	

◆ここからは、地域活動や市民活動に関して、お伺いします。

Q11. あなたの地域活動や市民活動（※）に対する考え方のうち、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

※地域や社会をよくするために市民の皆さんが自主的に取り組まれている自治会活動、ボランティア活動などの活動をいいます。

1. 企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい
2. できる範囲の協力はしたい
3. どうしても頼まれれば、参加や手伝いをしてもよい
4. 参加したくない（理由：_____）

Q12. あなたは、地域活動や市民活動に参加したことがありますか。以下のうち、あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

1. お祭りなどの地域の行事
2. 学習会の開催や伝統文化を守る活動
3. スポーツの指導やレクリエーションの場づくり
4. 募金活動や福祉施設訪問などの奉仕活動
5. 町内会、自治会などの会合や子供会などの世話
6. バザーや廃品の回収
7. 献血運動の呼びかけ
8. 地域の清掃や美化活動
9. 防災活動や交通安全運動
10. 災害予防・災害救護・消防活動
11. 国際交流・国際奉仕活動
12. 平和に関する活動
13. PTAなどの学校関係の活動
14. 職場単位でのボランティア
15. まちづくり協議会などの地域のまちづくり活動
16. その他（具体的に_____）
17. 地域活動や市民活動に参加した経験はない

Q13. あなたは、今後どのような地域活動や市民活動に参加してみたいと思いますか。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

No.	活動内容	積極的に参加したい	できれば参加したい	参加してもよい	できれば参加したくない	参加したくない
1	お祭りなどの地域の行事	1	2	3	4	5
2	学習会の開催や伝統文化を守る活動	1	2	3	4	5
3	スポーツの指導やレクリエーションの場づくり	1	2	3	4	5
4	募金活動や福祉施設訪問などの奉仕活動	1	2	3	4	5
5	町内会、自治会などの会合や子供会などの世話	1	2	3	4	5
6	バザーや商品の回収	1	2	3	4	5
7	献血運動の呼びかけ	1	2	3	4	5
8	地域の清掃や美化活動	1	2	3	4	5
9	防災活動や交通安全運動	1	2	3	4	5
10	災害予防・災害救護・消防活動	1	2	3	4	5
11	国際交流・国際奉仕活動	1	2	3	4	5
12	平和に関する活動	1	2	3	4	5
13	PTAなどの学校関係の活動	1	2	3	4	5
14	職場単位でのボランティア	1	2	3	4	5
15	まちづくり協議会などの地域のまちづくり活動	1	2	3	4	5
16	その他(具体的に)	1	2	3	4	5

記入例

Q14. あなたが、地域活動や市民活動への参加の支障となるものについて、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 時間的余裕がない
2. 経済的余裕がない
3. 自分の余暇を優先したい
4. 情報の不足などにより参加の方法がわからない
5. 参加するきっかけがない
6. 参加したいと思わない
7. その他 (具体的に:)

◆あなた自身のことについて、お伺いします。

F1. あなたの性別に、○印をつけてください。(※自認する性別で構いません。)

1. 男性
2. 女性

F2. あなたの年齢に、○印をつけてください。

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代(60～64歳)
7. 60代(65～69歳)
8. 70歳以上

F3. 現在の家族構成について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 二世帯家族(『親と子』や『祖父母と孫』など)
4. 三世帯家族(『親と子と孫』など)
5. その他(具体的に:)

F4. あなたや同居している家族に、次に該当する方はいますか。あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

1. 乳幼児、未就学児
2. 小学生・中学生
3. 65歳以上の方
4. いない

F5. あなたの職業(業業の方は主として)について、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 農林漁業
2. 自営業
3. 会社員(経営者、派遣社員を含む)
4. 公務員
5. 専門職(医師・弁護士など)
6. パート・アルバイト
7. 専業主婦(夫)
8. 学生
9. 無職
10. その他(具体的に:)

F 6. あなたの通勤通学地について、あてはまるものを○印をつけてください。

1. 長崎市
2. 長崎市以外（具体的に：)
3. 通勤・通学はしていない

F 7. あなたがお住まいの住宅について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 持ち家一戸建て
2. 分譲マンション
3. 賃貸マンション・アパート
4. 民間借家一戸建て
5. 公営住宅
6. 社宅、寮、官公舎
7. その他（具体的に：)

F 8. あなたの長崎市（合併町からを含む）での居住年数について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20～30年未満
7. 30年以上

F 9. あなたがお住まいの地区について、次の表からあてはまるものに○印をつけてください。

※ご自分のお住まいの地区がわからない方は、P22～P23の「地区別構成表」をご参照ください。

あなたがお住まいの地区を選んで○印をつけてください。	
中央東部地区	1. 西坂 2. 勝山 3. 中央 4. 伊良林 5. 小島 6. 愛宕 7. 西山台
中央西部地区	8. 上長崎 9. 片淵 10. 鳴滝 11. 本河内 12. 田上
中央南部地区	13. 稲佐 14. 朝日 15. 鮑の浦 16. 立神
中央北部地区	17. 佐古 18. 北大浦 19. 南山手 20. 仁田 21. 戸町 22. 新戸町
東部地区	23. 小江原 24. 西城山 25. 城山 26. 山里 27. 高尾 28. 三原 29. 坂本
西部地区	30. 綾座
南部地区	31. 日見 32. 橘 33. 矢上 34. 古賀 35. 戸石
北部地区	36. 三重 37. 軟刈 38. 鳴見 39. 式見 40. 手熊 41. 福田 42. 小樽
香焼地区	43. 小ヶ倉 44. 深堀 45. 土井首 46. 南陽 47. 南 48. 茂木 49. 日吉
伊王島地区	50. 川平 51. 三川 52. 女の都 53. 西浦上 54. 千歳 55. 住吉 56. 緑が丘
高島地区	57. 西町 58. 西北 59. 虹が丘 60. 清石 61. 大園 62. 北陽 63. 横尾
野母崎地区	64. 香焼
外海地区	65. 伊王島
三和地区	66. 高島
琴海地区	67. 高浜 68. 野母 69. 藤岬 70. 権島
	71. 神浦 72. 出津 73. 黒崎東 74. 池島
	75. 蚊焼 76. 為石 77. 川原
	78. 形上 79. 尾戸 80. 長浦 81. 村松

最後に、長崎市のまちづくりに関するご意見、ご要望がありましたらお書きください。

[]

*** *ご協力いただき、ありがとうございます***

ご記入いただきましたこの調査票は、お手数ですが返信用封筒に入れて、11月16日（金）までに、切手をはらずにポストに投函くださるようお願いいたします。無記名のアンケート調査ですので、返信用封筒にご住所、お名前をお書きいただく必要はありません。

市政に関する大学生・短大生・高校生アンケート

大学生・短大生・高校生アンケート

◆長崎市の住みごこちやイメージなどについて、お伺いします。

Q1. あなたは、長崎市が住みやすいと思いますか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。長崎市以外にお住まいの方は、現在お住まいの市町村と比べて長崎市が住みやすいと思いますかどうかお答えください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

Q2. あなたが、長崎市のまちで住みやすいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 普段の買い物しやすい
2. 交通の便が良い
3. 医療が充実している
4. 治安が良い
5. 人情が厚い
6. 自然環境が良い
7. 教育環境が整っている

8. 働きやすい環境が整っている
9. 郷土・ふるさとであるから
10. 暮らしに関する施設が整っている
11. アミューズメント・娯楽施設が多い
12. 地域のコミュニティが活発である
13. その他
(具体的に:)

Q3. あなたが、長崎市のまちで住みにくいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 普段の買い物しにくい
2. 交通の便が悪い
3. 医療が充実していない
4. 治安が悪い
5. 人情が薄い
6. 自然環境が悪い
7. 教育環境が整っていない

8. 働きやすい環境が整っていない
9. 郷土・ふるさとでないから
10. 暮らしに関する施設が整っていない
11. アミューズメント・娯楽施設が少ない
12. 地域のコミュニティが活発でない
13. その他
(具体的に:)

皆様には、日頃から市政に対するご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

長崎市では、平成23年度から10年間のまちづくりの指針となる「長崎市第四次総合計画」に基づいて、計画的な行政を推進しております。

この計画が平成33年3月末で終了することから、平成33年度以降の新たなまちづくりの指針となる第五次総合計画の策定を進めているところです。

このたび、この計画の策定にあたり、次代を担う大学生、短大生、高校生の皆様の考え方やご意見をお伺いし、新しい総合計画に反映させるため、長崎の大学、短大、高校へ通う方の中から選ばせていただき、アンケートをお願いすることにしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。



平成30年11月
長崎市長 田上 富久

ご記入にあたって

- 1 各項目について、思ったこと・感じたことなどをお気軽にお答えください。
- 2 ご記入が終わりしたら、同封の返信用封筒にこの調査票を折り曲げて入れ、**切手を貼らずに11月22日(木)までに**ポストに投函くださるようお願いいたします。
- 3 このアンケートは無記名で、調査結果は統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

【お問合せ先】 長崎市役所 企画財政部 都市経営室
電話 (095) 829-1111

【長崎市にお住まいの方にお伺いします。】

Q4. あなたは、現在通っている学校を卒業後も、長崎市に住み続けたいとお考えですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい
2. 当分の間は住み続けたい
3. できれば、他の市町村に転居したい
4. 他の市町村に転居する予定である
5. 転居するが、将来は戻ってきたい

【長崎市以外の市町村にお住まいの方にお伺いします。】

Q5. あなたは、現在通っている学校を卒業後、長崎市に住住したいと思えますか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 長崎市に転居する予定である
2. いつか、長崎市に転居したい
3. 長崎市に転居したいが、実際には難しい
4. 長崎市に転居するつもりはない

Q6. あなたは、現在の長崎市の都市のイメージをどのように感じていますか。また、将来目指すべき都市のイメージについてどう思いますか。次の中から、「(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード」と「(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード」として、あてはまると思うものをそれぞれ3つ以内で選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|---|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 活気がある 2. 親しみのある 3. ゆとりや潤いがある 4. 明るく楽しい 5. 美しい 6. 健やかな | <ol style="list-style-type: none"> 7. 快適な 8. 機能的な 9. 質の高い 10. 品格のある 11. 個性のある 12. 調和のとれた | <ol style="list-style-type: none"> 13. 創造的な 14. その他
(1～13に該当なものがない場合は、回答欄に具体的に記入してください) |
|---|--|---|

	1	2	3
それぞれ、3つ以内で選び、記入してください。			
(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード			
(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード			

◆あなたのまわりで感じる長崎市の変化についてお伺いします。

Q7. これまでの10年間で、長崎市のまちが変わったと感じることはどのようなことがありますか。身近なこと結構ですので、ご自由にご記入ください。

Q8. これからの10年間で、長崎市のまちがどのように変わってほしいと思いますか。身近なこと結構ですので、ご自由にご記入ください。

また、そのまちの変化について、あなたが関わることができる場合はどのような関わり方がありますか。

◆あなたの幸福感についてお伺いします。

Q9. 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか。いずれかの数字を1つだけ選んで○印をつけてください。

※わからない場合は直感的に選択してください。

とても不幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	とても幸せ

Q10. 幸福感を判断する際に、重視したことはなんですか。次の中からあてはまるものに3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 金銭的な豊かさ | 9. 家族関係 |
| 2. 就業状況(仕事の有無・安定) | 10. 友人関係 |
| 3. 健康状態 | 11. 職場や学校の人間関係 |
| 4. 自由な時間 | 12. 地域住民との人間関係 |
| 5. 充実した余暇 | 13. 恋愛・結婚 |
| 6. 仕事や学校生活の充実度 | 14. その他() |
| 7. 精神的なゆとり | |
| 8. 趣味・社会貢献などの生きがい | |

◆長崎市の様々な施策について、お伺いします。

Q111. 長崎市は現在、長崎市第四次総合計画（計画期間 平成23年度から平成32年度）に基づいて様々な施策、事業、取組みを行っています。次の各基本施策項目について、主な取組み事例を参考に、長崎市に対する「(1)現在の満足度」と「(2)今後の期待度」について、それぞれお答えはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

基本施策	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち 1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます ● 歴史文化遺産の研究や「歴史の学校」など市民の学びの機会や学びの場の創出を行っています ● 出島の復元整備を行っています ● 世界遺産の登録や保存、情報発信を行っています ● 地域の景観や自然等を活かしたまちづくりの推進を行っています ● 歩いて楽しいまちなかをつくる取組みをすすめています 2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます ● 長崎独自の観光資源（世界遺産、夜景等）の都市機能の高め、交流を促進し、賑わいを創出します 3. 交流のため	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針B 平和を願い、求め、つくるまち 1. 被爆の実相を継承します ● 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用に取り組んでいます ● 若い世代や子どもたちへの平和教育を進めています ● 家族証言等の被爆継承の推進に取り組んでいます 2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します ● 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた国内外への発信を行っています ● 平和な世界の創造に向け、ネットワークを構築に取り組んでいます ● 平和をアピールできる人材を育成しています まちづくりの方針C 活力に満ち、発展し続けるまち 1. 交流を活かした地域企業の活性化と域内経済の価値を促します ● 地域企業の魅力ある製品・サービス開発を促進しています ● 商店街や商店の利用促進に取り組んでいます ● 卸売市場機能の充実と強化に取り組んでいます 2. 域外経済への進出を加速します ● 域外からの外貨獲得をめざす地場企業を支援しています ● 地場企業の海外展開を支援しています	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策 4. 国際性を豊かにします ● 国際交流の機会の充実と国際的に活躍できる人材を育成しています ● 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを行っています ● 留学先としての魅力向上と、留学生の支援を行っています	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
主な取り組み事例	記入例							
3. 地場企業の経営資源を強化します	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 新しい企業・新しい産業を創出し育成します	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 農林業に新しい活力を生み出します	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 水産業で長崎の強みを活かします	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	1	2	3	4	1	2	3	4

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針D	記入例							
環境と調和する酒いのあるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 持続可能な低炭素社会を実現します	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 循環型社会の形成を推進します	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 良好な生活環境を確保します	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人と自然が共生する環境をつくります	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 環境行動を実践します	1	2	3	4	1	2	3	4

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針E	安全・安心で快適に暮らせるまち								
1. 災害に強いまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害、浸水被害等を防ぐための、防災対策工事を行っています 防災行政無線や様々な方法を使った防災情報伝達の整備を行っています 防災訓練等による自主防災組織の結成の推進や地域防災マップの作成など防災意識を高める活動に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 消防体制を強化します	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防火意識の向上に取り組んでいます 消防団を中心とした地域防災力の強化に取り組んでいます 消火のための資材の整備や消防車等の更新を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 犯罪のない地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 防犯啓発活動を推進しています 子どもの安全を地域で見守るためのパトロール活動や青少年の非行防止活動を推進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 安心でできる消費生活環境をつくります	<ul style="list-style-type: none"> 市民を消費者トラブルから守る取り組みを行っています 消費者が安心して買い物ができるよう、事業者等への適正な計量の指導を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境を守り、コンパクトな市街地づくりに取り組んでいます まちなかの住環境を整える取り組みを行っています 老朽危険空き家の除去や斜面地の安全、居住環境改善のための生活道路の整備を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 安全・安心な居住環境をつくります	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の供給に取り組んでいます 空き家の有効活用へ取り組んでいます 安全・安心な民間住宅・建築物の普及の促進に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 道路・交通の円滑化を図ります	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路等の道路ネットワークの整備を行っています 路面電車や路線バスなどの公共交通の利便性や安全性の向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 安全・安心で快適な公共空間をつくります	<ul style="list-style-type: none"> 斜面地における車みちの整備や道路のバリアフリー化など道路環境の整備を行っています 安全・安心な市有建築物への改善を進めています だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めています 良好な生活環境や観光地等を守るため、地景環境美化を推進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 安全・安心な水を安定して供給します	<ul style="list-style-type: none"> どんなときにも安定給水できる体制を整えています だれもが安心して飲める、安全でおいしい水を供給しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針F 1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します 2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます 3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち <ul style="list-style-type: none"> ● 人権啓発を推進しています ● 児童虐待やDV、高齢者や障害者虐待等の人権侵害に関する相談体制の充実を図っています ● 男女共同参画に関する意識啓発を行っています ● 地域における医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています ● 高齢者の社会参加を推進しています ● 地域で支えあえないながら安心して暮らし、また緊急時の安全確保ができるよう、地域の見守り支援体制づくりを推進しています ● 介護サービスの充実を図っています ● 障害の早期発見・早期療育を行い、個々の障害や個性に合った地域支援体制を整えています ● 障害者の就労や生活の安定を支援します ● 障害者が地域で安心して暮らし、暮らしやすいまちづくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
4. 安心して子どもを育て、子どもの健康や子育ての充実を図ります 5. 原爆被爆者の支援を充実します 6. 暮らしのセーフティネットを充実します	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して出産できるよう、妊娠から出産後まで切れ目のない母子の健康増進に取り組んでいます ● 子育て支援の充実を図っています ● 幼稚園や保育所等の量の確保、質の向上を行うとともに、放課後子ども教室を推進し、児童の安全・安心な地域における居場所を確保する取り組みを行っています ● ひとり親家庭の自立を支援しています ● 結婚を希望する独身男女の婚活を支援しています ● 被爆者が保健・医療・福祉サービスの受けやすい環境を整えています ● 被爆体験者への支援の充実を図っています ● 被爆実態に関する調査研究を促進しています ● 生活困難者の生活の安定に取り組んでいます ● 就労可能な生活保護受給者の就労を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
7. 自らすすめる健康づくりを推進します	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の自主的な健康づくりを推進しています ● 各種がん検診の実施や、受動喫煙防止対策等、健康づくり環境の充実を図っています ● 歯科口腔保健を推進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 安心できる衛生環境を確保します	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症の発生と感染拡大の防止に取り組んでいます ● 飲食物、生活衛生等による健康被害発生の防止に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 安心できる医療環境の充実を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急医療体制の充実を図っています ● 患者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療提供体制の充実を図っています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針G 豊かな心を育むまち <ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな学力の向上を図っています ● 体験活動の充実や、平和教育・人権教育の推進、読書活動の推進のほか特別な支援が必要な子どもや保護者への相談体制の充実など健やかな心と体の育成に取り組んでいます ● 学校公開や寺子屋事業など、学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図っています ● 施設の維持管理や学校規模の適正化など、子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備を行っています ● 公民館などの学習に取り組める場と機会の充実を図っています。 ● 学びを通して習得した経験や知識を、地域における学習活動やボランティア活動に活かす仕組みづくりに取り組んでいます ● スポーツ・レクリエーションを普及促進しています ● 競技スポーツの強化をしています ● 芸術文化に触れる機会を創出しています ● 市民の自主的な芸術文化活動の活性化に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4	
2. だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくれます	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館などの学習に取り組める場と機会の充実を図っています。 ● 学びを通して習得した経験や知識を、地域における学習活動やボランティア活動に活かす仕組みづくりに取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ・レクリエーションを普及促進しています ● 競技スポーツの強化をしています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 芸術文化あふれる暮らしを創出します	<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術文化に触れる機会を創出しています ● 市民の自主的な芸術文化活動の活性化に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

Q11-1-1. 今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考ええる施策」を、3つ以内で選んで○印をつけてください。(なお、基本施策の主な取り組みの内容はQ11(P4~P14)を参照ください。)

基本施策	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針 1. 市民が主役のまちづくりを進めます 2. つながりある地域社会をつくります 3. 市民に信頼される市役所にします	1	2	3	4	1	2	3	4
基本構想の推進(つながる + 創造する) ● 地域コミュニティの活性化を支援しています ● 市民活動団体への活動拠点、経済的支援を行っています ● 多様な主体同士が「協働」の意識を高めるための環境を整えています ● 広報ながさきの発行や市ホームページの運営など、市民との良好なコミュニケーションの形成に取り組んでいます ● 市政への関心を高め、市民の声の市政への反映に取り組んでいます ● 自ら考え、自ら発信し、自ら行動する職員、職場を育成しています ● 効果的で効率的な行財政運営に取り組んでいます	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

まちづくりの方針	基本施策	3つ選んで、○印をつけてください
A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます 2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます 3. 交流のための都市機能高め、交流を促進し、賑わいを創出します 4. 国際性を豊かにします	
B 平和を願い、求め、つくるまち	1. 被爆の実相を継承します 2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	
C 活力に満ち、発展し続けるまち	1. 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します 2. 域外経済への進出を加速します 3. 地場企業の経営資源を強化します 4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します 5. 農林業に新しい活力を生み出します 6. 水産業で長崎の強みを活かします 7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	
D 環境と調和する潤いのあるまち	1. 持続可能な低炭素社会を実現します 2. 循環型社会の形成を推進します 3. 良好な生活環境を確保します 4. 人と自然が共生する環境をつくります 5. 環境行動を実践します	
E 安全・安心で快適に暮らせるまち	1. 災害に強いまちづくりを進めます 2. 消防体制を強化します 3. 犯罪のない地域づくりを進めます 4. 安心できる消費生活環境をつくります 5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します 6. 安全・安心な居住環境をつくります 7. 道路・交通の円滑化を図ります 8. 安全・安心で快適な公共空間をつくります 9. 安全・安心な水を安定して供給します	

まちづくりの方針	基本施策	3つ選んで、○印をつけてください
F 人いやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち	1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を表現します 2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます 3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます 4. 安心して子どもを生み育て、子どもの健やかな育ちを図ります 5. 原爆被爆者の尊厳を充実します 6. 暮らしのセーフティネットを充実します 7. 自らすすめる健康づくりを推進します 8. 安心できる衛生環境を確保します 9. 安心できる医療環境の充実を図ります	
G 豊かな心を育むまち	1. 次代を生きぬく子どもを育みます 2. だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくります 3. スポーツ・レクリエーションの振興を図ります 4. 芸術文化あふれる暮らしを創出します	
H 基本構想の推進（つながる+創造する）	1. 市民が主役のまちづくりを進めます 2. つながりあり地域社会をつくります 3. 市民に信頼される市役所にします	

◆ここからは、地域活動や市民活動に関して、お伺いします。

Q12. あなたの地域活動や市民活動（※）に対する考え方のうち、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

※地域や社会をよくするために市民の皆さんが自主的に取り組まれている自治会活動、ボランティア活動などの活動をいいます。

1. 企画や運営に積極的に参加や手伝いをしたい
2. できる範囲の協力はしたい
3. どうしても頼まれば、参加や手伝いをしてもよい
4. 参加したくない（理由：_____）

Q13. あなたは、地域活動や市民活動に参加したことがありますか。以下のうち、あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

1. お祭りなどの地域の行事
2. 学習会の開催や伝統文化を守る活動
3. スポーツの指導やレクリエーションの場づくり
4. 募金活動や福祉施設訪問などの奉仕活動
5. 町内会、自治会などの会合や子供会などの世話
6. バザーや廃品の回収
7. 献血運動の呼びかけ
8. 地域の清掃や美化活動
9. 防災活動や交通安全運動
10. 災害予防・災害救護・消防活動
11. 国際交流・国際奉仕活動
12. 平和に関する活動
13. PTAなどの学校関係の活動
14. 職場単位でのボランティア
15. まちづくり協議会などの地域のまちづくり活動
16. その他（具体的に_____）
17. 地域活動や市民活動に参加した経験はない

Q14. あなたは、今後どのような地域活動や市民活動に参加してみたいと思いますか。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

No.	活動内容	積極的に参加したい	できれば参加したい	参加してもよい	できれば参加したくない	参加したくない
1	お祭りなどの地域の行事	1	2	3	4	5
2	学習会の開催や伝統文化を守る活動	1	2	3	4	5
3	スポーツの指導やレクリエーションの場づくり	1	2	3	4	5
4	募金活動や福祉施設訪問などの奉仕活動	1	2	3	4	5
5	町内会、自治会などの会合や子供会などの世話	1	2	3	4	5
6	バザーや廃品の回収	1	2	3	4	5
7	献血運動の呼びかけ	1	2	3	4	5
8	地域の清掃や美化活動	1	2	3	4	5
9	防災活動や交通安全運動	1	2	3	4	5
10	災害予防・災害救護・消防活動	1	2	3	4	5
11	国際交流・国際奉仕活動	1	2	3	4	5
12	平和に関する活動	1	2	3	4	5
13	PTAなどの学校関係の活動	1	2	3	4	5
14	職場単位でのボランティア	1	2	3	4	5
15	まちづくり協議会などの地域のまちづくり活動	1	2	3	4	5
16	その他(具体的に)	1	2	3	4	5

記入例

◆あなたの結婚観について、お伺いします。

Q16. あなたは、結婚・家庭などについて、どのようにお考えですか。以下の項目についてそれぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

No.	結婚・家庭などについて	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対
1	結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4
2	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4
3	結婚しても必ずしも子供を持つ必要はない	1	2	3	4
4	結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4

記入例

Q15. あなたが、地域活動や市民活動への参加の支障となるものについて、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 時間的余裕がない
2. 経済的余裕がない
3. 自分の余暇を優先したい
4. 情報の不足などにより参加の方法がわからない (具体的に:)
5. 参加するきっかけがない
6. 参加したいと思わない
7. その他

Q17. あなたは将来、子供がほしいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 1人欲しい (Q17-1)
- 2. 2人欲しい (Q17-1)
- 3. 3人以上欲しい (Q17-1)
- 4. 子供は欲しくない

【Q17で、将来子供が「4. 子供は欲しくない」以外とお答えの方にお伺いします。】

Q17-1. あなたは、将来どこで子育てをしたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 長崎市 (Q17-2)
- 2. 長崎市以外の長崎県内
- 3. 長崎県以外の都道府県 (具体的に：)

【Q17-1で、「1. 長崎市」とお答えの方にお伺いします。】

Q17-2. あなたが将来、長崎市で子育てをしたい理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

- 1. 自分の出身地である
- 2. 両親など、近くに自分の家族がいるから
- 3. 長崎市が好きだから
- 4. 住みやすいから (具体的に：)
- 5. 治安がよいから
- 6. 子育て支援が充実しているから
- 7. その他

Q18. あなたが将来子育てををする際に、どのような支援があればよいと思いますか。もつともあればよいと思う支援を1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 自治体からの育児手当給付
- 2. 公立の保育所・幼稚園の費用の軽減
- 3. 小児科医療体制の充実
- 4. 産婦人科医療体制の充実
- 5. 自分の親などが、子育てをサポートしてくれる
- 6. 子連れで楽しめる場所の充実
- 7. 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境整備
- 8. その他 (具体的に：)

◆あなたの通っている学校について、お伺いします。

Q19. あなたが通っている学校について、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。また、大学・短期大学をお選びの方は学部・学科を、高等学校をお選びの方は学科・コースをご記入ください。

- 1. 国立大学
 - 2. 私立大学
 - 3. 短期大学
 - 4. 公立高等学校
 - 5. 私立高等学校
- } 学部
- } 学科
- } 科・コース
- (※例：普通科)

Q20. あなたが、学校に通学する際に利用される交通手段は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。なお、乗り継ぎで複数の交通手段を利用して通学されている方は、利用する時間がもつとも長い交通手段を1つお選びください。

- 1. J R
- 2. 路面電車
- 3. バス
- 4. 自家用車
- 5. バイク、自転車
- 6. 徒歩
- 7. その他 (具体的に：)

Q21. あなたは長崎市内の学校に通学する際の利便性について、どのように感じていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 便利である
- 2. やや便利である

- 3. やや不便である (Q21-1)
- 4. 不便である (Q21-1)

【Q21で「3. やや不便である」、「4. 不便である」とお答えの方にお伺いします。】

Q21-1. あなたが、Q21で通学が「3. やや不便である」、「4. 不便である」とお答えになった理由に

ついて、次の中からあてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

- 1. J R、路面電車、バスなど公共交通機関の本数が少ない
- 2. J R、路面電車、バスなど公共交通機関の駅、停留所から遠い
- 3. 道路が渋滞して通学に時間がかかる
- 4. 道路が迂回しており、通学に時間がかかる
- 5. 駐車場が不足している
- 6. その他 (具体的に：)

Q22. あなたは、現在通っている学校を卒業後、どのような進路を希望していますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。現時点で、複数の希望をお持ちの方は、第一希望についてお答えください。

1. 長崎市内の短期大学・大学・大学院・専門学校などへの進学を希望する
2. 長崎県内で長崎市以外の短期大学・大学・大学院・専門学校などへの進学を希望する
3. 長崎県外の短期大学・大学・大学院・専門学校などへの進学を希望する
4. 長崎市内の企業・自治体などへの就職を希望する
5. 長崎県内で長崎市以外の企業・自治体などへの就職を希望する
6. 長崎県外の企業・自治体などへの就職を希望する
7. その他（具体的に：)

◆大学生、短大生の方に学生生活についてお伺いします。
(高校生の方は、ご回答いただけなくて結構です)

Q23. あなたの出身地はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 長崎市内 (⇒次ページQ24へ)

2. 長崎市以外の長崎県内

3. 長崎県外 (具体的に

【Q23で「2. 長崎市以外の長崎県内」、「3. 長崎県外」とお答えの方にお伺いします。】
Q23-1. あなたは、長崎市の学校に通学するのは、現在の学校が初めてですか。

1. はい (Q23-2、Q23-3)

2. いいえ (⇒次ページQ24へ)

【Q23-1で「1. はい」とお答えの方にお伺いします。】

Q23-2. 長崎に来る前、あなたは長崎市のまちに対して、どのようなイメージをお持ちでしたか。あてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 豊かな異国情緒
2. 美しい街並み
3. キリスト教
4. ちゃんぽん・カステラなど独自の食文化
5. 人の温かさ (優しい・親切)
6. お祭り (おくんち、ランタンフェスティバルなど)
7. 歴史・文化・世界遺産
8. 平和・原爆
9. その他 (具体的に：)

Q23-3. 学生生活を送ってみて、あなたが長崎市に来る前のイメージと比べて、どのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

1. イメージしていたとおりだった (⇒次ページQ24へ)

2. イメージと違った (Q23-4)

3. よくわからない (⇒次ページQ24へ)

→【Q23-3で「2. イメージと違った」とお答えの方にお伺いします。】

Q23-4. どのような点が、イメージが違ったと感じましたか。あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

1. 豊かな異国情緒
2. 美しい街並み
3. キリスト教
4. ちゃんぽん・カステラなど独自の食文化
5. 人の温かさ (優しい・親切)
6. お祭り (おくんち、ランタンフェスティバルなど)
7. 歴史・文化・世界遺産
8. 平和・原爆
9. その他 (具体的に：)

市政に関する有識者アンケート

有識者アンケート

◆長崎市の住みごちやイメージなどについて、お伺いします。

Q1. あなたは、長崎市が住みやすいと思いますか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。長崎市以外にお住まいの方は、現在お住まいの市町村と比べて長崎市が住みやすいと思いますかどうかをお答えください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

Q2. あなたが、長崎市のまちで住みやすいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 普段の買い物しやすい | 8. 働きやすい環境が整っている |
| 2. 交通の便が良い | 9. 郷土・ふるさとであるから |
| 3. 医療が充実している | 10. 暮らしに関する施設が整っている |
| 4. 治安が良い | 11. アミューズメント・娯楽施設が多い |
| 5. 人情が厚い | 12. 地域のコミュニティが発達している |
| 6. 自然環境が良い | 13. その他 |
| 7. 教育環境が整っている | (具体的に:) |

Q3. あなたが、長崎市のまちで住みにくく感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 普段の買い物しにくい | 8. 働きやすい環境が整っていない |
| 2. 交通の便が悪い | 9. 郷土・ふるさとでないから |
| 3. 医療が充実していない | 10. 暮らしに関する施設が整っていない |
| 4. 治安が悪い | 11. アミューズメント・娯楽施設が少ない |
| 5. 人情が薄い | 12. 地域のコミュニティが発達していない |
| 6. 自然環境が悪い | 13. その他 |
| 7. 教育環境が整っていない | (具体的に:) |

【長崎市にお住まいの方にお伺いします。】

Q4. あなたは、これからも長崎市に住み続けたいとお考えですか。次の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい
2. 当分の間は住み続けたい
3. できれば、他の市町村に転居したい
4. 他の市町村に転居する予定である

皆様には、日頃から市政に対するご理解とご協力とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

長崎市では、平成23年度から10年間のまちづくりの指針となる「長崎市第四次総合計画」に基づいて、計画的な行政を推進しております。

この計画が平成33年3月末で終了することから、平成33年度以降の新たなまちづくりの指針となる第五次総合計画の策定を進めているところです。

このたび、この計画の策定にあたり、長崎市の市政について御見がある方、各界で活躍されている方などの考え方やご意見を伺いし、新しい総合計画に反映させるため、約250名を選ばせていただき、アンケートをお願いすることになりました。お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年11月 長崎市長 田上 富久

ご記入にあたって

- 1 各項目について、思ったこと・感じたことなどをお気軽に教えてください。
- 2 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、切手を貼らずに**11月16日(金)まで**にポストに投函くださるようお願いいたします。
- 3 このアンケートは無記名で、調査結果は統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

【お問合せ先】 長崎市役所 企画財政部 都市経営室
電話 (095) 829-1111

【長崎市以外の市町村にお住まいの方にお伺いします。】

Q5. あなたは今後、長崎市に居住したいと思いませんか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。

1. 長崎市に転居する予定である
2. いつか、長崎市に転居したい
3. 長崎市に転居したいが、実際には難しい
4. 長崎市に転居するつもりはない

Q6. あなたは、現在の長崎市の都市のイメージをどのように感じていますか。また、将来目指すべき都市のイメージについてどう思いませんか。次の中から、「(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード」と「(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード」として、あてはまると思うものをそれぞれ3つ以内で選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|--------------|------------|-------------------------------------|
| 1. 活気がある | 7. 快適な | 13. 創造的な |
| 2. 親しみのある | 8. 機能的な | 14. その他 |
| 3. ゆとりや潤いがある | 9. 質の高い | (1～13)に該当なものがない場合は、回答欄に具体的に記入してください |
| 4. 明るく楽しい | 10. 品格のある | |
| 5. 美しい | 11. 個性のある | |
| 6. 健やかな | 12. 調和のとれた | |

それぞれ、3つ以内で選び、記入してください。	1	2	3
(1)現在の長崎市のイメージにふさわしいキーワード			
(2)将来の都市づくりのイメージとしてふさわしいキーワード			

◆ここからは、あなたのまわりで感じる長崎市の変化についてお伺いします。

Q7. これまでの10年間で、長崎市のまちが変わったと感じることはどのようなことがありますか。身近なことでは、ご自由にご記入ください。

Q8. これからの10年間で、長崎市のまちがどのように変わってほしいと思いますか。身近なことでは、ご自由にご記入ください。

また、そのまちの変化について、あなたが関わることができる場合はどのような関わり方がありますか。

◆ここからは、あなたの幸福感についてお伺いします。

Q9. 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選んで○印をつけてください。
※わからない場合は直感的に選択してください。

とても不幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	とても幸せ

Q10. 幸福感を判断する際に、重視したことはなんですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 金銭的な豊かさ | 9. 家族関係 |
| 2. 就業状況(仕事の有無・安定) | 10. 友人関係 |
| 3. 健康状態 | 11. 職場や学校の人間関係 |
| 4. 自由な時間 | 12. 地域住民との人間関係 |
| 5. 充実した余暇 | 13. 恋愛・結婚 |
| 6. 仕事や学校生活の充実度 | 14. その他() |
| 7. 精神的なゆとり | |
| 8. 趣味・社会貢献などの生きがい | |

◆ここからは、長崎市の様々な施策について、お伺いします。

Q 1.1. 長崎市は現在、長崎市第四次総合計画（計画期間 平成 23 年度から平成 32 年度）に基づいて様々な施策、事業、取組みを行っています。次の各基本施策項目について、主な取組み事例を参考に、長崎市に対する「(1)現在の満足度」と「(2)今後の期待度」について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

基本施策	主な取組み事例	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	期待しない
まちづくりの方針A	住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存・継承・活用に関する取り組みを行っています 歴史文化遺産の研究や「歴史の学校」など市民の学びの機会や学びの場の創出を行っています 出島の復元整備を行っています 世界遺産の登録や保存、情報発信を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	<ul style="list-style-type: none"> 地域の景観や自然等を活かしたまちづくりの推進を行っています 歩いて楽しいまちをなかなかなかをつくる取組みを行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 交流のため都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	<ul style="list-style-type: none"> 長崎独自の観光資源（世界遺産、夜景等）の魅力向上の取組みを行っています 国内外からの観光客やMICEの誘致を行っています 交流のための都市基盤施設の整備（九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺地区の再整備など）を行っています バリアフリー観光の推進や、案内板等の多言語化などを行っています 遊学のまち長崎の魅力向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取組み事例	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	主な取組み事例	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 国際性を豊かにします	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の機会充実と国際的に活躍できる人材を育成しています 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを行っています 留学先としての魅力向上と、留学生の支援を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針B	平和を願い、求め、つくるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 被爆の実相を継承します	<ul style="list-style-type: none"> 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用に取り組んでいます 若い世代や子どもたちへの平和教育を進めています 家族証言等の被爆継承の推進に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	<ul style="list-style-type: none"> 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた国内外への発信を行っています 平和な世界の創造に向け、ネットワークの構築に取り組んでいます 平和をアピールできる人材を育成しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針C	活気に満ち、発展し続けるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 交流を活かした地域企業の活性化と域内経済の価値を促します	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業の魅力ある製品・サービス開発促進を支援しています 商店街や商店の利用促進に取り組んでいます 卸売市場機能の充実と強化に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 域外経済への進出を加速します	<ul style="list-style-type: none"> 域外からの外貨獲得をめざす地場企業を支援しています 地場企業の海外展開を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
3. 地場企業の経営資源を強化します	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場企業の人材育成を支援しています ● 地場企業の人材確保を支援しています ● 地場企業の経営の効率化や生産性強化の取り組みへの支援を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場企業の新分野への参入や創業を促しています ● 域外からの新たな企業誘致へ取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 農林業に新しい活力を生み出します	<ul style="list-style-type: none"> ● 農作物の地域ブランドの育成に取り組んでいます ● 意欲ある農林業者の育成確保に取り組んでいます ● イノシシ等による農作物被害の防止に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 水産業で長崎の強みを活かします	<ul style="list-style-type: none"> ● 漁業者が安定的に漁獲物を供給するための稚魚の放流や、漁場の保全に取り組んでいます ● 収益性の高い養殖業や水産加工業の振興を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな販路拡大や消費拡大に取り組んでいます ● 長崎ならではの食材や食文化の情報発信を行っています ● 食育体験を推進し、食に対する意識向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針D	環境と調和する潤いのあるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 持続可能な低炭素社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民や事業者が温室効果ガスの排出を削減する取り組みを推進しています ● 再生可能エネルギーの活用と省エネルギーを促進しています ● 緑あふれるまちづくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 循環型社会の形成を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ排出量の削減とリサイクルの推進に取り組んでいます ● 廃棄物の適正処理とごみ処理施設の整備を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 良好な生活環境を確保します	<ul style="list-style-type: none"> ● 大気汚染や騒音等の身近な環境を良好に保つ取り組みを行っています ● 下水道整備や浄化槽の普及促進を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人と自然が共生する環境をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境を守る取組みを行っています ● 自然とふれあうイベントや場の創出を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 環境行動を実践します	<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い年代の環境学習の推進と環境活動を担う人材の育成に取り組んでいます ● 協働による環境保全活動の拡大に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

		(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	主な取り組み事例	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針F 人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち									
1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権啓発を推進しています ● 児童虐待やDV、高齢者や障害者虐待等の人権侵害に関する相談体制の充実を図っています ● 男女共同参画に関する意識啓発を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています ● 高齢者の社会参加を推進しています ● 地域で支え合いながら安心して暮らし、また緊急時の安全確保ができれば、地域の見守り支援体制づくりを推進していきます ● 介護サービスの充実を図っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害の早期発見・早期療育を行い、個々の障害や個性に合った地域支援体制を整えています ● 障害者の就労や生活の安定を支援します ● 障害者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

		(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	主な取り組み事例	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 安心して子どもを育て、子どもの健やかな育ちを図ります	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して出産できるよう、妊娠から出産後まで切れ目のない母子の健康増進に取り組んでいます ● 子育て支援の充実を図っています ● 幼稚園や保育所等の量の確保、質の向上を行うとともに、放課後子ども教室を推進し、児童の安全・安心な地域における居場所を確保する取り組みを行っています ● ひとり親家庭の自立を支援しています ● 結婚を希望する独身男女の婚活を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 原爆被爆者の援護を充実します	<ul style="list-style-type: none"> ● 被爆者が保健・医療・福祉サービスを受けやすい環境を整えています ● 被爆体験者への支援の充実を図っています ● 被爆実態に関する調査研究を促進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 暮らしのネットワークを充実します	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者の生活の安定に取り組んでいます ● 就労可能な生活保護受給者の就労を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	現在の満足度	(2) 今後の期待度			
		期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1 2 3 4	1	2	3	4
まちづくりの方針G 豊かな心を育むまち	1 2 3 4	1	2	3	4
<ul style="list-style-type: none"> ● 確かな学力の向上を図っています ● 体験活動の充実や、平和教育・人権教育の推進、読書活動の推進のほか特別な支援が必要な子どもや保護者への相談体制の充実など健やかな心と体の育成に取り組んでいます ● 学校公開や寺子屋事業など、学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図っています ● 施設の維持管理や学校規模の適正化など、子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備を行っています ● 公民館などの学習に取り組める場と機会の充実を図っています。 ● 学びを通して習得した経験や知識を、地域における学習活動やボランティア活動に活かす仕組みづくりに取り組んでいます ● スポーツ・レクリエーションを普及促進しています ● 競技スポーツの強化をしています ● 芸術文化に触れる機会を創出しています ● 市民の自主的な芸術文化活動の活性化に取り組んでいます 	1	2	3	4	

記入例

基本施策	現在の満足度	(2) 今後の期待度			
		期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1 2 3 4	1	2	3	4
7. 自らすすめる健康づくりを推進します	1 2 3 4	1	2	3	4
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の自主的な健康づくりを推進しています ● 各種がん検診の実施や、受動喫煙防止対策等、健康づくり環境の充実を図っています ● 歯科口腔保健を推進しています ● 感染症の発生と感染拡大の防止に取り組んでいます ● 飲食物、生活衛生等による健康被害発生の防止に取り組んでいます ● 救急医療体制の充実を図っています ● 患者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療提供体制の充実を図っています 	1	2	3	4	

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針H	基本構想の推進(つながる+創造する)	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 市民が主役のまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの活性化を支援しています 市民活動団体への活動拠点、経済的支援を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. つながりある地域社会をつくりたい	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体同士が「協働」の意識を高めるための環境を整えています 広報などがさきの発行やホームページの運営など、市民との良質なコミュニケーションの形成に取り組んでいます 市政への関心を高め、市民の声の市政への反映に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 市民に信頼される市役所になります	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、自ら発信し、自ら行動する職員、職場を育成しています 効果的で効率的な行政運営に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

◆ここからは、これまでお聞きした長崎市の政策について、政策課題・優先的に取り組むべき事項をお伺いします

Q12. あなたは、長崎市の政策課題や優先的に取り組むべき事項は何だと思いますか。以下にあげた長崎市第四次総合計画 後期基本計画の基本施策のうち、今後10年間で「特に優先的に進めていくべき」と考える施策を、3つ以内で選び、順位をつけて番号を回答欄に記入し、具体的な内容を自由に記入ください。(なお、基本施策の主な取組みの内容はQ11(P4~P14)を参照ください。)

まちづくりの方針	基本施策
A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	<ol style="list-style-type: none"> 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します 国際性を豊かにします
B 平和を願い、求め、つくるまち	<ol style="list-style-type: none"> 被爆の実相を継承します 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します
C 活力に満ち、発展し続けるまち	<ol style="list-style-type: none"> 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します 域外経済への進出を加速します 地場企業の経営資源を強化します 新しい企業・新しい産業を創造し育成します 農林業に新しい活力を生み出します 水産業で長崎の強みを活かします 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します
D 環境と調和する潤いのあるまち	<ol style="list-style-type: none"> 持続可能な低炭素社会を実現します 循環型社会の形成を推進します 良好な生活環境を確保します 人と自然が共生する環境をつくります 環境行動を実践します
E 安全・安心で快適に暮らせるまち	<ol style="list-style-type: none"> 災害に強いまちづくりを進めます 消防体制を強化します 犯罪のない地域づくりを進めます 安心できる消費生活環境をつくります 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します 安全・安心な居住環境をつくります 道路・交通の円滑化を図ります 安全・安心で快適な公共空間をつくります 安全・安心な水を安定して供給します

市政に関する職員意識調査

第五次総合計画の策定にあたり、市民や有識者等の意見を把握、分析し、計画に反映させるとともに、今後の施策を検討するうえでの基礎資料とするため、市政に関する意識調査を実施しているところです。

このたび、その一環として市政の運営に直接携わっている職員としての立場から、率直な意見をいただき、新しい総合計画策定の基礎資料とするため、職員約500人を無作為抽出しアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。



平成 30 年 1 1 月
企画財政部都市経営室

ご記入にあたって

- 1 ご記入が終わりましたら、所属でとりまとめのうえ11月22日(木)までに都市経営室へ送付いただくようお願いいたします。
- 2 このアンケートは無記名で、調査結果は統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

【 お問合せ先 】 長崎市役所 企画財政部 都市経営室
電話 (095) 829-1111
内線 2115、2116

職員アンケート

◆長崎市の住みごちやイメージなどについて、お伺いします。

Q1. あなたは、長崎市が住みやすいと思いますか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○印をつけてください。長崎市以外にお住まいの方は、現在お住まいの市町村と比べて長崎市が住みやすいまぢだと思ふかお答へください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

Q2. あなたが、長崎市のまぢで住みやすいと感じることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 普段の買ひ物がしやしい | 8. 働きやすい環境が整っている |
| 2. 交通の便がよい | 9. 郷土・ふるさとであるから |
| 3. 医療が充実している | 10. 暮らしに関する施設が整っている |
| 4. 治安がよい | 11. アミューズメント・娯楽施設が多い |
| 5. 人情が厚い | 12. 地域のコミュニティが活発である |
| 6. 自然環境がよい | 13. その他 |
| 7. 教育環境が整っている | (具体的に:) |

Q3. あなたが、長崎市のまぢで住みにくいと感ずることはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 普段の買ひ物がしにくい | 8. 働きやすい環境が整っていない |
| 2. 交通の便が悪い | 9. 郷土・ふるさとでないから |
| 3. 医療が充実していない | 10. 暮らしに関する施設が整っていない |
| 4. 治安が悪い | 11. アミューズメント・娯楽施設が少ない |
| 5. 人情が薄い | 12. 地域のコミュニティが活発でない |
| 6. 自然環境が悪い | 13. その他 |
| 7. 教育環境が整っていない | (具体的に:) |

◆ここからは、長崎市の様々な施策について、お伺いします。

Q11. 長崎市は現在、長崎市第四次総合計画（計画期間 平成28年度から平成32年度）に基づいて様々な施策、事業、取組みを行っています。次の各基本施策項目について、主な取組み事例を参考に、長崎市に対する「(1)現在の満足度」と「(2)今後の期待度」について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度				
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	満足している	まあ期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4	
まちづくりの方針A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち 1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます <ul style="list-style-type: none"> ● 文化財の保存・継承・活用に関する取組みを行っています ● 歴史文化遺産の研究や「歴史の学校」など市民の学びの機会や学びの場の創出を行っています ● 出島の復元整備を行っています ● 世界遺産の登録や保存、情報発信を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4	
2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	1	2	3	4	1	2	3	4	
3. 交流のため都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	1	2	3	4	1	2	3	4	

記入例

	(1)現在の満足度				(2)今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針B 平和を願い、求め、つくるまち 1. 被爆の実相を継承します <ul style="list-style-type: none"> ● 平和・原爆施設の整備及び被爆資料の保存・活用に取り組んでいます ● 若い世代や子どもたちへの平和教育を進めています ● 家族証言等の被爆継承の推進に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します <ul style="list-style-type: none"> ● 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた国内外への発信を行っています ● 平和な世界の創造に向け、ネットワークの構築に取り組んでいます ● 平和をアピールできる人材を育成しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針C 活力に満ち、発展し続けるまち 1. 交流を活かした地域活性化と域内経済の振興を促します <ul style="list-style-type: none"> ● 地場企業の魅力ある製品・サービス開発を促進しています ● 商店街や商店の利用促進に取り組んでいます ● 卸売市場機能の充実と強化に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 域外経済への進出を加速し、地場企業の海外展開を支援します <ul style="list-style-type: none"> ● 域外からの外貨獲得をめざす地場企業の進出を支援しています ● 地場企業の海外展開を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
3. 地場企業の経営資源を強化します	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場企業の人材育成を支援しています ● 地場企業の人材確保を支援しています ● 地場企業の経営の効率化や生産性強化の取り組みへの支援を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します	<ul style="list-style-type: none"> ● 地場企業の新分野への参入や創業を促しています ● 域外からの新たな企業誘致へ取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 農林業に新しい活力を生み出します	<ul style="list-style-type: none"> ● 農作物の地域ブランドの育成に取り組んでいます ● 意欲ある農林業者の育成確保に取り組んでいます ● イノシシ等による農作物被害の防止に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 水産業で長崎の強みを活かします	<ul style="list-style-type: none"> ● 漁業者が安定的に漁獲物を供給するため種の放流や、漁場の保全に取り組んでいます ● 収益性の高い養殖業や水産加工業の振興を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな販路拡大や消費拡大に取り組んでいます ● 長崎ならではの食材や食文化の情報発信を行っています ● 食育体験を推進し、食に対する意識向上に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
まちづくりの方針D	環境と調和する潤いのあるまち	1	2	3	4	1	2	3	4
1. 持続可能な低炭素社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民や事業者が温室効果ガスの排出を削減する取り組みを推進しています ● 再生可能エネルギーの活用と省エネルギーを促進しています ● 緑あふれるまちづくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 循環型社会の形成を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ排出量の削減とリサイクルの推進に取り組んでいます ● 廃棄物の適正処理とごみ処理施設の整備を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 良好な生活環境を確保します	<ul style="list-style-type: none"> ● 大気汚染や騒音等の身近な環境を良好に保つ取り組みを行っています ● 下水道整備や浄化槽の普及促進を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人と自然が共生する環境をつくれます	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境を守る取組みを行っています ● 自然とふれあうイベントや場の創出を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 環境行動を実践します	<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い年代の環境学習の推進と環境活動を担う人材の育成に取り組んでいます ● 協働による環境保全活動の拡大に取り組んでいます 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
主な取り組み事例	2	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針E 安全・安心で快適に暮らせるまち								
1. 災害に強いまちづくりを進めます	1	2	3	4	1	2	3	4
● 土砂災害、浸水被害等を防ぐための、防災対策工事を行っています								
● 防災行政無線や様々な方法を使った防災情報伝達の整備を行っています								
● 防災訓練等による自主防災組織の結成の推進や地域防災マップの作成など防災意識を高める活動に取り組んでいます								
2. 消防体制を強化します	1	2	3	4	1	2	3	4
● 市民の防火意識の向上に取り組んでいます								
● 消防団を中心とした地域防災力の強化に取り組んでいます								
● 消火のための資材の整備や消防車等の更新を行っています								
3. 犯罪のない地域づくりを進めます	1	2	3	4	1	2	3	4
● 防犯啓発活動を推進しています								
● 子どもの安全を地域で見守るためのパトロール活動や青少年の非行防止活動を推進しています								
4. 安心でできる消費生活環境をつくりまします	1	2	3	4	1	2	3	4
● 市民を消費者トラブルから守る取り組みを行っています								
● 消費者が安心して買い物ができるよう、事業者等への適正な計量の指導を行っています								

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
主な取り組み事例	2	2	3	4	1	2	3	4
5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	1	2	3	4	1	2	3	4
● 自然環境を守り、コンパクトな市街地づくりに取り組んでいます								
● まちなかの住環境を整える取り組みを行っています								
● 老朽危険空き家の除去や斜面地の安全、居住環境改善のための生活道路の整備を行っています								
6. 安全・安心な居住環境をつくりまします	1	2	3	4	1	2	3	4
● 市営住宅の供給に取り組んでいます								
● 空き家の有効活用へ取り組んでいます								
● 安全・安心な民間住宅・建築物の普及の促進に取り組んでいます								
7. 道路・交通の円滑化を図ります	1	2	3	4	1	2	3	4
● 広域幹線道路等の道路ネットワークの整備を行っています								
● 路面電車や路線バスなどの公共交通の利便性や安全性の向上に取り組んでいます								
8. 安全・安心で快適な公共空間をつくりまします	1	2	3	4	1	2	3	4
● 斜面地における車みちの整備や道路のバリアフリー化など道路環境の整備を行っています								
● 安全・安心な市有建築物への改善を進めています								
● だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めています								
● 良好な生活環境や観光地等を守るため、地域環境美化を推進しています								

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針F	人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち								
1. 人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発を推進しています 児童虐待やDV、高齢者や障害者虐待等の人権侵害に関する相談体制の充実を図っています 男女共同参画に関する意識啓発を行っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 地域における医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています 高齢者の社会参加を推進しています 地域で支えあいながら安心して暮らし、また緊急時の安全確保ができるよう、地域の見守り支援体制づくりを推進しています 介護サービスの充実を図っています 	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の早期発見・早期療育を行い、個々の障害や個性に合った地域支援体制を整えています 障害者の就労や生活の安定を支援します 障害者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

基本施策	主な取り組み事例	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
		満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
		1	2	3	4	1	2	3	4
4. 安心して子どもを産み育て、子どもの健康やかな育ちを図ります	<ul style="list-style-type: none"> 安心して出産できるよう、妊娠から出産後まで切れ目のない母子の健康増進に取り組んでいます 子育て支援の充実を図っています 幼稚園や保育所等の量の確保、質の向上を行うとともに、放課後子ども教室を推進し、児童の安全・安心な地域における居場所を確保する取り組みを行っています ひとり親家庭の自立を支援しています 結婚を希望する独身男女の婚活を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 原爆被爆者の援護を充実します	<ul style="list-style-type: none"> 被爆者が保健・医療・福祉サービスを受けやすい環境を整えています 被爆体験者への支援の充実を図っています 被爆実態に関する調査研究を促進しています 	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 暮らしのセーフティネットを充実します	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者の生活の安定に取り組んでいます 就労可能な生活保護受給者の就労を支援しています 	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 自らすすめる健康づくりを推進します					1	2	3	4
8. 安心できる衛生環境を確保します	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 安心できる医療体制の充実を図ります	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
主な取り組み事例								
● 市民の自主的な健康づくりを推進しています								
● 各種がん検診の実施や、受動喫煙防止対策等、健康づくり環境の充実を図っています	1	2	3	4	1	2	3	4
● 歯科口腔保健を推進しています								
● 感染症の発生と感染拡大の防止に取り組んでいます	1	2	3	4	1	2	3	4
● 飲食物、生活衛生等による健康被害発生の防止に取り組んでいます								
● 救急医療体制の充実を図っています								
● 患者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療提供体制の充実を図っています	1	2	3	4	1	2	3	4

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針G								
● 豊かな学力の向上を図っています								
● 体験活動の充実や、平和教育・人権教育の推進、読書活動の推進のほか特別な支援が必要な子どもや保護者への相談体制の充実など健やかな心と体の育成に取り組んでいます	1	2	3	4	1	2	3	4
● 学校公開や寺子屋事業など、学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図っています								
● 施設の維持管理や学校規模の適正化など、子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備を行っています								
● 公民館などの学習に取り組める場と機会の充実を図っています。								
● 学びを通して習得した経験や知識を、地域における学習活動やボランティア活動に活かす仕組みづくりに取り組んでいます	1	2	3	4	1	2	3	4
3. スポーツ・レクリエーションを普及促進しています								
● 競技スポーツの強化をしています	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 芸術文化あふれる暮らしを創出します								
● 芸術文化に触れる機会を創出しています	1	2	3	4	1	2	3	4
● 市民の自主的な芸術文化活動の活性化に取り組んでいます								

記入例

	(1) 現在の満足度				(2) 今後の期待度			
	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	期待する	まあ期待する	あまり期待しない	期待しない
基本施策	1	2	3	4	1	2	3	4
まちづくりの方針H	基本構想の推進（つながる + 創造する）							
1. 市民が主役のまちづくりを進めます	1	2	3	4	1	2	3	4
2. つながりある地域社会をつくりまします	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 市民に信頼される市役所になります	1	2	3	4	1	2	3	4

記入例

Q11-1. 今後10年間で「特に優先的に進めていくべきと考えられる施策」を、AからHの4.3施策から3つ以内で選んで○印をつけてください。（なお、基本施策の主な取組みの内容はQ11（P4～P14）を参照ください。）

まちづくりの方針	基本施策	3つ選んで、○印をつけてください
A 住む人が誇り、誰もが訪れたいまち	1. 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます 2. まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます 3. 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します 4. 国際性を豊かにします	
B 平和を願い、求め、つくるまち	1. 被爆の実相を継承します 2. 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	
C 活力に満ち、発展し続けるまち	1. 交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します 2. 域外経済への進出を加速します 3. 地場企業の経営資源を強化します 4. 新しい企業・新しい産業を創造し育成します 5. 農林業に新しい活力を生み出します 6. 水産業で長崎の強みを活かします 7. 地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	
D 環境と調和する潤いのあるまち	1. 持続可能な低炭素社会を実現します 2. 循環型社会の形成を推進します 3. 良好な生活環境を確保します 4. 人と自然が共生する環境をつくりまします 5. 環境行動を実践します	
E 安全・安心で快適に暮らせるまち	1. 災害に強いまちづくりを進めます 2. 消防体制を強化します 3. 犯罪のない地域づくりを進めます 4. 安心できる消費生活環境をつくりまします 5. 暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します 6. 安全・安心な居住環境をつくりまします 7. 道路・交通の円滑化を図ります 8. 安全・安心で快適な公共空間をつくりまします 9. 安全・安心な水を安定して供給します	

Q14. あなたは、今後どのような地域活動や市民活動に参加してみたいと思いますか。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

No.	活動内容	積極的に参加したい	できれば参加したい	参加してもよい	できれば参加したくない	参加したくない
1	お祭りなどの地域の行事	1	2	3	4	5
2	学習会の開催や伝統文化を守る活動	1	2	3	4	5
3	スポーツの指導やレクリエーションの場づくり	1	2	3	4	5
4	募金活動や福祉施設訪問などの奉仕活動	1	2	3	4	5
5	町内会、自治会などの会合や子供会などの世話	1	2	3	4	5
6	バザーや廃品の回収	1	2	3	4	5
7	献血運動の呼びかけ	1	2	3	4	5
8	地域の清掃や美化活動	1	2	3	4	5
9	防災活動や交通安全運動	1	2	3	4	5
10	災害予防・災害救護・消防活動	1	2	3	4	5
11	国際交流・国際奉仕活動	1	2	3	4	5
12	平和に関する活動	1	2	3	4	5
13	PTAなどの学校関係の活動	1	2	3	4	5
14	職場単位でのボランティア	1	2	3	4	5
15	まちづくり協議会などの地域のまちづくり活動	1	2	3	4	5
16	その他(具体的に)	1	2	3	4	5

記入例

◆あなた自身のことについて、お伺いします。

F1. あなたの性別に、○印をつけてください。(※自認する性別で構いません。)

- 1. 男性
- 2. 女性

F2. あなたの年齢に、○印をつけてください。

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代

F3. 現在の家族構成について、あてはまるものに○印をつけてください。

- 1. 単身
- 2. 夫婦のみ
- 3. 二世大家族(『親と子』や『祖父母と孫』など)
- 4. 三世大家族(『親と子と孫』など)
- 5. その他(具体的に)

F4. あなたや同居している家族に、次に該当する方はいますか。あてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

- 1. 乳幼児、未就学児
- 2. 小学生・中学生
- 3. 65歳以上の方
- 4. いない

F5. あなたの職種について、あてはまるものに○印をつけてください。

- 1. 事務職
- 2. 技術職
- 3. 医療職
- 4. 消防職
- 5. その他

Q15. あなたが、地域活動や市民活動への参加の支障となるものについて、あてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- 1. 時間的余裕がない
- 2. 経済的余裕がない
- 3. 自分の余暇を優先したい
- 4. 情報の不足などにより参加の方法がわからない

F6. あなたの役職について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 部長・次長級
2. 課長・課長補佐級
3. 係長・主任級
4. 上級専門官・専門官
5. 一般職

F7. あなたの勤続年数について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 1年～5年未満
2. 5年～10年未満
3. 10年～15年未満
4. 15年～20年未満
5. 20年以上

F8. あなたがお住まいの住宅について、あてはまるものに○印をつけてください。

1. 持ち家一戸建て
2. 分譲マンション
3. 賃貸マンション・アパート
4. 民間借家一戸建て
5. 公営住宅
6. 社宅、寮、官公舎
7. その他(具体的に:)

F9. あなたの長崎市(合併町からを含む)での居住年数について、あてはまるものに○印をつけてください。長崎市以外にお住まいの方は、現在お住まいの市町での居住年数をお答えください。

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20～30年未満
7. 30年以上

F10. あなたがお住まいの地区について、次の表からあてはまるものに○印をつけてください。

※長崎市にお住まいの方でご自分のお住まいの地区がわからない方は、P22～P23の「地区別構成表」をご参照ください。

	あなたがお住まいの地区を選んで○印をつけてください。	
中央東部地区	1. 西坂 2. 勝山 3. 中央 4. 伊良林 5. 小島 6. 愛宕 7. 西山台 8. 上長崎 9. 片淵 10. 鳴滝 11. 本河内 12. 田上	
中央西部地区	13. 稲佐 14. 朝日 15. 麩の浦 16. 立神	
中央南部地区	17. 佐古 18. 北大浦 19. 南山手 20. 仁田 21. 戸町 22. 新戸町	
中央北部地区	23. 小江原 24. 西城山 25. 城山 26. 山里 27. 高尾 28. 三原 29. 坂本 30. 鉢座	
東部地区	31. 日見 32. 横 33. 矢上 34. 古賀 35. 戸石	
西部地区	36. 三重 37. 飲刈 38. 鳴見 39. 式見 40. 手熊 41. 福田 42. 小樽	
南部地区	43. 小ヶ倉 44. 深堀 45. 土井首 46. 南陽 47. 南 48. 茂木 49. 日吉	
北部地区	50. 川平 51. 三川 52. 女の都 53. 西浦上 54. 千歳 55. 住吉 56. 緑が丘 57. 西町 58. 西北 59. 虹が丘 60. 滑石 61. 大園 62. 北陽 63. 横尾	
香焼地区	64. 香焼	
伊王島地区	65. 伊王島	
高島地区	66. 高島	
野母崎地区	67. 高浜 68. 野母 69. 臨岬 70. 榊島	
外海地区	71. 神浦 72. 出津 73. 黒崎東 74. 池島	
三和地区	75. 蚊焼 76. 為石 77. 川原	
琴海地区	78. 形上 79. 尾戸 80. 長浦 81. 村松	
長崎市以外	82. 諫早市 83. 大村市 84. 長与町 85. 時津町 86. その他	

最後に、長崎市のまちづくりに関するご意見、ご要望がありましたらお書きください。

[]

*** ご協力いただき、ありがとうございます! **

ご記入いただきましたこの調査票は、11月22日(木)までに、所属でとりまとめのうえ都市経営室に送付くださるようお願いいたします。

無記名のアンケート調査ですので、調査票に所属、お名前等を記入いただく必要はありません。

